

mitsubishi

三菱電機 汎用 パッケージエアコン '95年度版

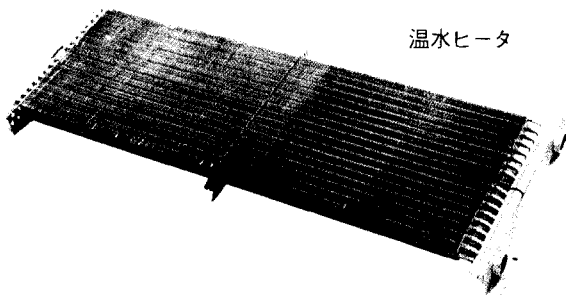
別売部品取付説明マニュアル



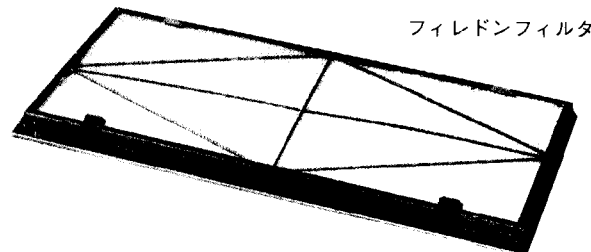
電気ヒータ



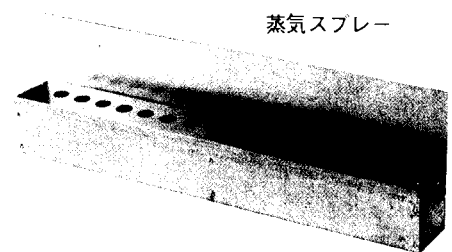
吸込ダクトフランジ



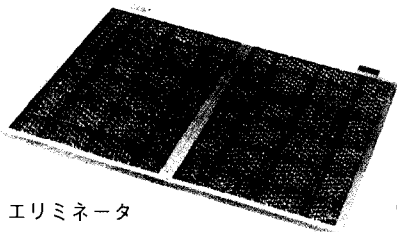
温水ヒータ



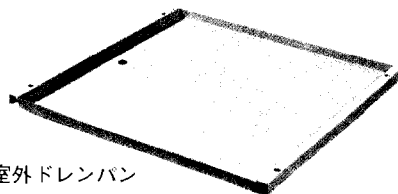
フィレドンフィルタ



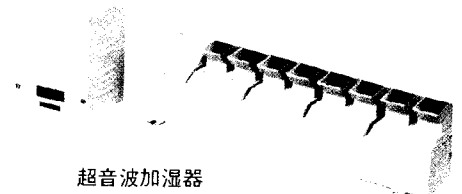
蒸気スプレー



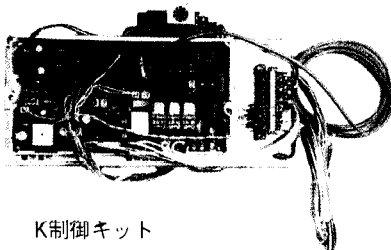
エリミネータ



室外ドレンパン



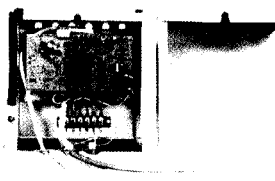
超音波加湿器



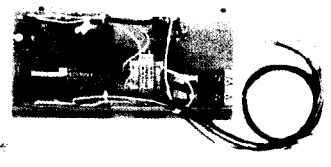
K制御キット



遠方操作箱



室外ファンコントローラ
PV(H)-8/10D用



室外ファンコントローラ
PV(H)-5D用

目次

◇ダクトタイプ<PAH-J140~J560DC形>リモート

室内ユニット対応

●室外ユニットは次頁に記載。

項目	形名	PAH-J140DC	PAH-J140DC-H	PAH-J200DC	PAH-J200DC-H	PAH-J280DC	PAH-J280DC-H	PAH-J400DC	PAH-J560DC	ページ
加 熱 器	蒸気	×	×	×	×	×	×	×	×	—
	温水	×	×	×	×	×	×	×	×	—
器	電気<小容量>	○	○	○	○	○	○	○	○	1~9
	電気<大容量>	○	○	○	○	○	○	○	○	11~19
加 湿 器	透過膜加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	45・47
	超音波式加湿器 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	21・25
加 湿 器	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	29・31
	ペーパーパン	○	○	○	○	○	○	○	○	33・35
器	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37・39
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37・39
風 路 部 品	高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41・43
	高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41・43
部 品	プレナム	○	×	○	×	○	×	○	○	—
	吸込ダクトフランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	53・54
部 品	吹出ダクトフランジ <ダンパ・無>	○	付	○	付	○	付	○	付	49
	吹出ダクトフランジ <ダンパ・有>	○	×	○	×	○	×	○	×	49
電 気 部 品	外気取入口 フランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	51・52
	高静圧モータ	○	×	○	×	○	×	○	×	83~87
エ ア フ ィ ル タ 類	フィレドフィルタ <PS-400>	○	○	○	○	○	○	○	○	56・57
	フィレドフィルタ <PS-600>	○	○	○	○	○	○	○	○	56・57
電 気 部 品	予備フィルタ <塩化ビニル・ニカム織>	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	エリミネータ	○	○	○	○	○	○	○	○	59・60
電 気 部 品	K制御キット	○	○	○	○	○	○	○	○	61
	簡易遠方操作 セット	○	○	○	○	○	○	○	○	63
電 気 部 品	リモート コントローラ	○	○	○	○	○	○	○	○	65
	遠方操作箱	○	○	○	○	○	○	○	○	67
電 気 部 品	進相コンデンサ ※2	○	○	○	○	○	○	○	○	89・91
	余熱排除回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	69
電 気 部 品	遠方表示回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	71
	再起動遅延回路 部品	○	○	○	○	○	○	○	○	73・75
電 気 部 品	冷暖自動切換部品	○	○	○	○	○	○	○	○	77
	圧力計	○	○	○	○	○	○	○	○	79
そ の 他	左配管部品	○	○	○	○	○	○	○	○	80・81
	木合	○	○	○	○	○	○	○	○	—
そ の 他	サービス工具	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	ガス検知器	○	○	○	○	○	○	○	○	—

注1. ※1の部品は、1~4種類の部品の中から選定して組込が可能です。

2. PAH-J400・J560DC形の場合、電気ヒータ<大容量>とエリミネータの同時組込が出来ません。

3. ※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷熱ハンドブックなどでご確認ください。

注. 付: 標準品に取付済 ○: 取付可 △: 受注対応にて取付可 ×: 取付不可 下段は部品形名を表す。

◇直吹きタイプ<PAH-PC>リモート

室内ユニット対応

項目	形名	PAH-J140PC	PAH-J200PC	PAH-J280PC	ページ
加 熱 器	蒸 気	×	×	×	—
	温 水	×	×	×	—
	電 気<小容量>	○	○	○	107~111
	電 気<大容量>	PAC-CK01EH	PAC-CK02EH	PAC-CK03EH	113~117
加 湿 器	透湿膜加湿器	○	○	○	127
	超音波式加湿器 ※1	PAC-CL56TF	PAC-CL57TF	PAC-CL58TF	119
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	121
	ペーパーパン	○	○	○	33
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	123
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	123
	高圧スプレー式加湿 器<ヘッダー1本>	○	○	○	125
	高圧スプレー式加湿 器<ヘッダー2本>	○	○	○	125
	外気取入口フランジ	○	○	○	51
	予備フィルタ <塩化ビニル織>	○	○	○	—
電 気 部 品	エリミネータ	PAC-CQ48YF	PAC-CQ49YF	PAC-CQ50YF	129
	K制御キット	○	○	○	61
	簡易遠方操作 セット	○	○	○	63
	リモート コントローラ	○	○	○	65
	遠方操作箱	○	○	○	67
	進相コンデンサ ※2	○	○	○	135
	余熱排除回路部品	○	○	○	69
	遠方表示回路部品	○	○	○	71
	再起動遅延回路 部品	○	○	○	73
	冷暖自動切換部品	○	○	○	77
そ の 他	圧 力 計	○	○	○	79
	左 配 管 部 品	○	○	○	130
	木 台	○	○	○	—
	サービス工具	○	○	○	—
	ガス検知器	○	○	○	—
			PAC-CQ05GK		—

室外ユニット対応

項目	形名	PVH-J140D	PVH-J200D	PVH-J280D	PVH-J140LD	PVH-J200LD	PVH-J280LD	ページ
室外ファン コントローラ	○	○	○	○	○	○	○	93~97
防雪フード <吸込側>	PAC-CN28CR	○	PAC-CN29CR	○	○	PAC-CN31CR	○	99~101
防雪フード <吹出側>	PAC-336BD※3	○	○	○	○	○	○	101
吹出ガイド	×	○	○	○	○	○	○	102
室外ドレンパン	PAC-294SG	×	×	×	×	×	×	103~105
	○	○	○	○	○	○	○	
	PAC-929DP※3		PAC-CN39DP				PAC-CN40DP	

注1.※1の部品は、1~3種類の部品の中から選定して組込が可能です。

注2.※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷暖ハンドブックなどでご確認ください。

注3.※3の部品は、スリムエアコンの別売部品を流用しています。

注. 付：標準品に取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 ×：取付不可 下段は部品形名を表す。

◇ダクトタイプ<PA-J140~J560DC形>リモート

室内ユニット対応

●室外ユニットは次頁に記載。

項目	形名	PA-J140DC	PA-J140DC-H	PA-J200DC	PA-J200DC-H	PA-J280DC	PA-J280DC-H	PA-J400DC	PA-J560DC	ページ
加 熱 器	蒸気	○	○	○	○	○	○	○	○	131-133
		PAC-CK41SH		PAC-CK42SH		PAC-CK43SH		PAC-CK44SH	PAC-CK45SH	
	温水	○	○	○	○	○	○	○	○	131-133
		PAC-CL06WH		PAC-CL07WH		PAC-CL08WH		PAC-CL09WH	PAC-CL10WH	
電 気	電気<小容量>	○	○	○	○	○	○	○	○	1~9
		PAC-CK06EH		PAC-CK07EH		PAC-CK08EH		PAC-CK09EH	PAC-CK10EH	
電 気	電気<大容量>	○	○	○	○	○	○	○	○	11~19
		PAC-CK14EH		PAC-CK15EH		PAC-CK16EH		PAC-CK17EH	PAC-CK18EH	
加 湿 器	透湿膜加湿器	×	×	×	×	×	×	×	×	—
	超音波式加湿器 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	21-25
		PAC-CM17, 18CH		PAC-CM17, 18, 19CH		PAC-CM17, 18, 19, 20CH		PAC-CM21CH		
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	29-31
		PAC-CL30SS						PAC-CL33SS	PAC-CL34SS	
	ペーパーパン	○	○	○	○	○	○	○	○	33-35
		PAC-CM04VP			PAC-CM05VP			PAC-CM06VP		
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37-39
		PAC-CL16WS			PAC-CL18WS			PAC-CL20WS	PAC-CL22WS	
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37-39
	PAC-CL17WS			PAC-CL19WS			PAC-CL21WS	PAC-CL23WS		
高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41-43	
	PAC-CL40HPS			PAC-CL42HPS			PAC-CL44HPS	PAC-CL46HPS		
高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41-43	
	PAC-CL41HPS			PAC-CL43HPS			PAC-CL45HPS	PAC-CL47HPS		
プレナム	○	×	○	×	○	×	○	×	○	—
	PAC-CM40PL		—	PAC-CM41PL		—	PAC-CM42PL		—	
吸込ダクトフランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	53-54
	PAC-CP01DF			PAC-CP02DF			PAC-CP03DF	PAC-CP04DF	PAC-CP05DF	
吹出ダクトフランジ <ダンパ・無>	○	付	○	付	○	付	○	付	○	49
	PAC-CR41FD		—	PAC-CR42FD		—	PAC-CR43FD		—	
吹出ダクトフランジ <ダンパ・有>	○	×	○	×	○	×	○	×	○	49
	PAC-CM46FD		—	PAC-CM47FD		—	PAC-CM48FD		—	
外気取入口 フランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	51-52
	PAC-CP11GF						PAC-CP14GF			
高静圧モータ	○	×	○	×	○	×	○	×	○	83~87
	PAC-CR37MR		—	PAC-CR38MR		—	PAC-CR39MR		—	
フィレドンフィルタ <PS-400>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	56-57
	PAC-CP18FF			PAC-CP19FF			PAC-CP20FF	PAC-CP21FF	PAC-CP22FF	
フィレドンフィルタ <PS-600>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	56-57
	PAC-CP68FF			PAC-CP69FF			PAC-CP70FF	PAC-CP71FF	PAC-CP72FF	
予備フィルタ <強化ビニルにカ織>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	PAC-CQ43YF			PAC-CQ44YF			PAC-CQ45YF	PAC-CQ46YF	PAC-CQ47YF	
エリミネータ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	59-60
	PAC-CM30EN			PAC-CM31EN			PAC-CM32EN	PAC-CM33EN	PAC-CM34EN	
K制御キット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	61
	PAC-CQ01KT									
簡易遠方操作 セット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	63
	PAC-CQ41RC									
リモート コントローラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	65
	PAC-CP44RC									
遠方操作箱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	67
	PAC-CP42RB									
進相コンデンサ ※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	89-91
	※2									
電気制御部品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	69
余熱排除回路部品	PAC-CQ03YH									
遠方表示回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	71
	PAC-CQ11DH									
再起動遅延回路 部品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	73-75
	PAC-CQ08KS			PAC-CQ09KS						
圧力計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	79
	PAC-CP40PG									
左配管部品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	80-81
	PAC-CN12RP		PAC-CN13RP		PAC-CN14RP		PAC-CN15RP	PAC-CN16RP		
木台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	PAC-CQ31MD		PAC-CQ32MD		PAC-CQ33MD		PAC-CQ34MD	PAC-CQ35MD		
サービス工具	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	PAC-CQ04SK									
ガス検知器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	PAC-CQ05GK									

注1. ※1の部品は、1~4種類の部品の中から選定して組込が可能です。

2. PA-J400・J560DC形の場合、電気ヒータ<大容量>とエリミネータの同時組込が出来ません。

3. ※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷熱ハンドブックなどでご確認ください。

注. 付：標準品に取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 ×：取付不可 下段は部品形名を表す。

◇直吹きタイプ<PA-PC>リモート

室内ユニット対応

項目	形名	PA-J140PC	PA-J200PC	PA-J280PC	ページ
加 熱 器	蒸気	○	○	○	131
		PAC-CK38SH	PAC-CK39SH	PAC-CK40SH	
	温水	○	○	○	131
		PAC-CL03WH	PAC-CL04WH	PAC-CL05WH	
電 気	電気<小容量>	○	○	○	107~111
		PAC-CK01EH	PAC-CK02EH	PAC-CK03EH	
電 気	電気<大容量>	○	○	○	113~117
		PAC-CK21EH	PAC-CK22EH	PAC-CK23EH	
加 湿 器	透湿膜加湿器	×	×	×	—
	超音波式加湿器 ※1	○	○	○	119
		PAC-CM14CH	PAC-CM14, 15, 16CH		
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	121
			PAC-CL27SS		
	ペーパーパン	○	○	○	33
		PAC-CM04VP	PAC-CM05VP		
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	123
			PAC-CL13WS	PAC-CL15WS	
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	123
		PAC-CL73WS	PAC-CL75WS		
高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	125	
		PAC-CL37HPS	PAC-CL39HPS		
高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	125	
		PAC-CL97HPS	PAC-CL99HPS		
外気取入口フランジ	○	○	○	51	
		PAC-CP11GF			
フ ィ ル タ	予備フィルタ <塩化ビニルにカラム>	○	○	○	—
		PAC-CQ48YF	PAC-CQ49YF	PAC-CQ50YF	
電 気 部 品	エリミネータ	○	○	○	129
		PAC-CM27EN	PAC-CM28EN	PAC-CM29EN	
電 気 部 品	K制御キット	○	○	○	61
			PAC-CQ01KT		
	簡易遠方操作 セット	○	○	○	63
			PAC-CQ41RC		
リモート コントローラ	○	○	○	65	
		PAC-CP44RC			
遠方操作箱	○	○	○	67	
		PAC-CP42RB			
進相コンデンサ ※2	○	○	○	135	
		※2			
電気制御部 品	余熱排除回路部品	○	○	○	69
			PAC-CQ03YH		
遠方表示回路部品	○	○	○	71	
		PAC-CQ11DH			
再起動遅延回路 部品	○	○	○	73	
		PAC-CQ08KS			
圧力計	○	○	○	79	
		PAC-CP40PG			
左配管部品	○	○	○	130	
	PAC-CN04RP	PAC-CN05RP	PAC-CN06RP		
木台	○	○	○	—	
	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD		
サービス工具	○	○	○	—	
		PAC-CQ04SK			
ガス検知器	○	○	○	—	
		PAC-CQ05GK		—	

室外ユニット対応

項目	形名	PV-J140D	PV-J200D	PV-J280D	PV-J140LD	PV-J200LD	PV-J280LD	ページ
室 外 フ ァ ン	室外ファン	○	○	○	○	○	○	93~97
	コントローラ	PAC-CN28CR	PAC-CN29CR		PAC-CN31CR			
防 雪 フ ォ ード	<吸込側>	○	○	○	○	○	○	99~101
		PAC-336BD※3	PAC-CN35SD					
防 雪 フ ォ ード	<吹出側>	×	○	○	○	○	○	101
		—	PAC-CN36TD					
吹出ガイド	○	×	×	×	×	×	×	102
室 外 ド レ ン パン	室外ドレンパン	○	○	○	○	○	○	103~105
		PAC-929DP※3	PAC-CN39DP					

注1. ※1の部品は、1~3種類の部品の中から選定して組込が可能です。

注2. ※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷熱ハンドブックなどでご確認ください。

注3. ※3の部品は、スリムエアコンの別売部品を流用しています。

注. 付：標準品に取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 ×：取付不可 下段は部品形名を表す。

◇ダクトタイプ<PWH-J160~J630DC形>

室内ユニット対応

項目	形名	PWH-J160DC	PWH-J160DC-H	PWH-J250DC	PWH-J250DC-H	PWH-J315DC	PWH-J315DC-H	PWH-J500DC	PWH-J630DC	ページ
加 熱 器	蒸気	×	×	×	×	×	×	×	×	—
	温水	×	×	×	×	×	×	×	×	—
	電気<小容量>	○	○	○	○	○	○	○	○	1~9
	電気<大容量>	○	○	○	○	○	○	○	○	11~19
加 湿 器	透湿膜加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	45・47
	超音波式加湿器 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	21・25
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	29・31
	ペーパーパン	○	○	○	○	○	○	○	○	33・35
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37・39
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37・39
	高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41・43
	高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41・43
	プレナム	○	×	○	×	○	×	○	×	—
	吸込ダクトフランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	53・54
部 品	吹出ダクトフランジ <ダンパ・無>	○	付	○	付	○	付	○	付	49
	吹出ダクトフランジ <ダンパ・有>	○	×	○	×	○	×	○	×	49
	外気取入口 フランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	51・52
	高静圧モータ	○	×	○	×	○	×	○	×	83~87
エ ア フ ィ ル タ 類	フィレドフィルタ <PS-400>	○	○	○	○	○	○	○	○	56・57
	フィレドフィルタ <PS-600>	○	○	○	○	○	○	○	○	56・57
	予備フィルタ <塩化ビニルに絡む>	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	エリミネータ	○	○	○	○	○	○	○	○	59・60
電 気 部 品	K制御キット	○	○	○	○	○	○	○	○	61
	簡易遠方操作 セット	○	○	○	○	○	○	○	○	63
	リモート コントローラ	○	○	○	○	○	○	○	○	65
	遠方操作箱	○	○	○	○	○	○	○	○	67
電 気 制 御 部 品	進相コンデンサ ※2	○	○	○	○	○	○	○	○	89・91
	余熱排除回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	69
	遠方表示回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	71
	再起動遅延回路 部品	○	○	○	○	○	○	○	○	73・75
そ の 他	冷暖自動切換部品	○	○	○	○	○	○	○	○	77
	圧力計	○	○	○	○	○	○	○	○	79
	水圧保護開閉器	○	○	○	○	○	○	○	○	137
	節水弁ポート取出	○	○	○	○	○	○	○	○	139
他	木台	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	サービス工具	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	ガス検知器	○	○	○	○	○	○	○	○	—

注1. ※1の部品は、1~4種類の部品の中から選定して組込が可能です。
 2. PWH-J500・J630DC形の場合、電気ヒータ<大容量>とエリミネータの同時組込が出来ません。
 3. ※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷暖ハンドブックなどでご確認ください。
 注. 付：標準品に取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 ×：取付不可 下段は部品形名を表す。

◇直吹きタイプ<PWH・PW-PC>

室内ユニット対応

項目	形名	PWH-J160PC	PWH-J250PC	PWH-J315PC	PW-J160PC	PW-J250PC	PW-J315PC	ページ
加 熱 器	蒸気	×	×	×	○ PAC-CK38SH	○ PAC-CK39SH	○ PAC-CK40SH	131
	温水	×	×	×	○ PAC-CL03WH	○ PAC-CL04WH	○ PAC-CL05WH	131
	電気<小容量>	○ PAC-CK01EH	○ PAC-CK02EH	○ PAC-CK03EH	○ PAC-CK01EH	○ PAC-CK02EH	○ PAC-CK03EH	107~111
	電気<大容量>	○ PAC-CK21EH	○ PAC-CK22EH	○ PAC-CK23EH	○ PAC-CK21EH	○ PAC-CK22EH	○ PAC-CK23EH	113~117
加 湿 器	透湿膜加湿器	○ PAC-CL56TF	○ PAC-CL57TF	○ PAC-CL58TF	×	×	×	127
	超音波式加湿器 ※1	○ PAC-CM14CH	○ PAC-CM14, 15, 16CH	○ PAC-CM14CH	○ PAC-CM14, 15, 16CH	○ PAC-CM14, 15, 16CH	○ PAC-CM14, 15, 16CH	119
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	○	○	○	121
	ペーパーパン	○ PAC-CM04VP	○ PAC-CM05VP	○	○ PAC-CM04VP	○ PAC-CM05VP	○	33
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○ PAC-CL13WS	○	○ PAC-CL15WS	○ PAC-CL13WS	○	○ PAC-CL15WS	123
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○ PAC-CL73WS	○	○ PAC-CL75WS	○ PAC-CL73WS	○	○ PAC-CL75WS	123
	高圧スプレー式加湿 器<ヘッダー1本>	○ PAC-CL37HPS	○	○ PAC-CL39HPS	○ PAC-CL37HPS	○	○ PAC-CL39HPS	125
	高圧スプレー式加湿 器<ヘッダー2本>	○ PAC-CL97HPS	○	○ PAC-CL99HPS	○ PAC-CL97HPS	○	○ PAC-CL99HPS	125
	外気取入口フランジ	○	○	○	○	○	○	51
	フ ィ ル タ	予備フィルタ <塩化ビニルハニカム織>	○ PAC-CQ48YF	○ PAC-CQ49YF	○ PAC-CQ50YF	○ PAC-CQ48YF	○ PAC-CQ49YF	○ PAC-CQ50YF
エリミネータ		○ PAC-CM27EN	○ PAC-CM28EN	○ PAC-CM29EN	○ PAC-CM27EN	○ PAC-CM28EN	○ PAC-CM29EN	129
K制御キット		○	○	○	○	○	○	61
簡易遠方操作 セット		○	○	○	○	○	○	63
リモート コントローラ		○	○	○	○	○	○	65
遠方操作箱		○	○	○	○	○	○	67
進相コンデンサ ※2		○	○	○	○	○	○	135
余熱排除回路部品		○	○	○	○	○	○	69
遠方表示回路部品		○	○	○	○	○	○	71
再起動遅延回路 部品		○	○ PAC-CQ06KS	○	○	○ PAC-CQ08KS	○	73
電 気 制 御 部 品	冷暖自動切換部品	○	○ PAC-CQ02RG	○	—	—	—	77
	圧力計	○	○	○	○	○	○	79
	水圧保護開閉器	○	○	○	○	○	○	137
	節水弁ポート取出	○	○	○	○	○	○	139
	木台	○ PAC-CQ30MD	○ PAC-CQ31MD	○ PAC-CQ32MD	○ PAC-CQ30MD	○ PAC-CQ31MD	○ PAC-CQ32MD	—
	サービス工具	○	○	○	○	○	○	—
	ガス検知器	○	○	○	○	○	○	—
	その他	○	○	○	○	○	○	—

注1.※1の部品は、1~3種類の部品の中から選定して組込が可能です。

注2.※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷暖ハンドブックなどでご確認ください。

注. 付: 標準品に取付済 ○: 取付可 △: 受注対応にて取付可 ×: 取付不可 —: 該当せず 下段は部品形名を表す。

◇ダクトタイプ<PW-J160~J630DC形>

室内ユニット対応

項目	形名	PW-J160DC	PW-J160DC-H	PW-J250DC	PW-J250DC-H	PW-J315DC	PW-J315DC-H	PW-J500DC	PW-J630DC	ページ
加 熱 器	蒸 気	○	○	○	○	○	○	○	○	131・133
		PAC-CK41SH		PAC-CK42SH		PAC-CK43SH		PAC-CK44SH	PAC-CK45SH	
	温 水	○	○	○	○	○	○	○	○	131・133
		PAC-CL06WH		PAC-CL07WH		PAC-CL08WH		PAC-CL09WH	PAC-CL10WH	
電 気<小容量>		○	○	○	○	○	○	○	○	1~9
		PAC-CK06EH		PAC-CK07EH		PAC-CK08EH		PAC-CK09EH	PAC-CK10EH	
電 気<大容量>		○	○	○	○	○	○	○	○	11~19
		PAC-CK14EH		PAC-CK15EH		PAC-CK16EH		PAC-CK17EH	PAC-CK18EH	
加 湿 器	透湿膜加湿器	×	×	×	×	×	×	×	×	—
	超音波式加湿器 ※1	○	○	○	○	○	○	○	○	21・25
		PAC-CM17, 18CH		PAC-CM17, 18, 19CH		PAC-CM17, 18, 19, 20CH		PAC-CM21CH		
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	○	○	○	○	○	29・31
		PAC-CL30SS				PAC-CL33SS		PAC-CL34SS		
	ペーパーパン	○	○	○	○	○	○	○	○	33・35
		PAC-CM04VP		PAC-CM05VP				PAC-CM06VP		
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37・39
		PAC-CL16WS		PAC-CL18WS				PAC-CL20WS	PAC-CL22WS	
	水スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	37・39
	PAC-CL17WS				PAC-CL19WS		PAC-CL21WS	PAC-CL23WS		
高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー1本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41・43	
	PAC-CL40HPS				PAC-CL42HPS		PAC-CL44HPS	PAC-CL46HPS		
高圧スプレー式加湿器 <ヘッダー2本>	○	○	○	○	○	○	○	○	41・43	
	PAC-CL41HPS				PAC-CL43HPS		PAC-CL45HPS	PAC-CL47HPS		
プレナム	○	×	○	×	○	×	○	×	—	
	PAC-CM40PL	—	PAC-CM41PL	—	PAC-CM42PL	—	PAC-CM43PL	PAC-CM44PL		
風 路 部 品	吸込ダクトフランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	53・54
		PAC-CP01DF		PAC-CP02DF		PAC-CP03DF		PAC-CP04DF	PAC-CP05DF	
	吹出ダクトフランジ <ダンパ・無>	○	付	○	付	○	付	○	付	49
		PAC-CR41FD	—	PAC-CR42FD	—	PAC-CR43FD	—	—	—	
吹出ダクトフランジ <ダンパ・有>	○	×	○	×	○	×	○	×	49	
	PAC-CM46FD	—	PAC-CM47FD	—	PAC-CM48FD	—	—	—		
外気取入口 フランジ	○	○	○	○	○	○	○	○	51・52	
	PAC-CP11GF				PAC-CP14GF					
高静圧モータ	○	×	○	×	○	×	○	×	83~87	
	PAC-CR37MR	—	PAC-CR38MR	—	PAC-CR39MR	—	—	—		
エ ア フ ィ ル タ 類	フィレドフィルター <PS-400>	○	○	○	○	○	○	○	○	56・57
		PAC-CP18FF		PAC-CP19FF		PAC-CP20FF		PAC-CP21FF	PAC-CP22FF	
	フィレドフィルター <PS-600>	○	○	○	○	○	○	○	○	56・57
		PAC-CP68FF		PAC-CP69FF		PAC-CP70FF		PAC-CP71FF	PAC-CP72FF	
	予備フィルター <塩化ビニルにカミ織>	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	PAC-CQ43YF		PAC-CQ44YF		PAC-CQ45YF		PAC-CQ46YF	PAC-CQ47YF		
エリミネータ	○	○	○	○	○	○	○	○	59・60	
	PAC-CM30EN		PAC-CM31EN		PAC-CM32EN		PAC-CM33EN	PAC-CM34EN		
電 気 部 品	K制御キット	○	○	○	○	○	○	○	○	61
		PAC-CQ01KT				PAC-CQ01KT				
	簡易遠方操作 セット	○	○	○	○	○	○	○	○	63
		PAC-CQ41RC				PAC-CQ41RC				
リモート コントローラ	○	○	○	○	○	○	○	○	65	
	PAC-CP44RC				PAC-CP44RC					
遠方操作箱	○	○	○	○	○	○	○	○	67	
	PAC-CP42RB				PAC-CP42RB					
進相コンデンサ ※2	○	○	○	○	○	○	○	○	89・91	
	※2				※2					
電 気 制 御 部 品	余熱排除回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	69
		PAC-CQ03YH				PAC-CQ03YH				
	遠方表示回路部品	○	○	○	○	○	○	○	○	71
		PAC-CQ11DH				PAC-CQ11DH				
再起動遅延回路 部品	○	○	○	○	○	○	○	○	73・75	
	PAC-CQ08KS				PAC-CQ09KS					
そ の 他	圧 力 計	○	○	○	○	○	○	○	○	79
		PAC-CP40PG				PAC-CP40PG				
	水圧保護開閉器	○	○	○	○	○	○	○	○	137
		PAC-CP45WP				PAC-CP45WP				
節水弁ポート取出	○	○	○	○	○	○	○	○	139	
	PAC-CP48RV				PAC-CP48RV					
木 台	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	PAC-CQ31MD		PAC-CQ32MD		PAC-CQ33MD		PAC-CQ34MD	PAC-CQ35MD		
サービス工具	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	PAC-CQ04SK				PAC-CQ04SK					
ガス検知器	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	PAC-CQ05GK				PAC-CQ05GK					

注1. ※1の部品は、1~4種類の部品の中から選定して組込が可能です。
 2. PW-J500・J630DC形の場合、電気ヒータ<大容量>とエリミネータの同時組込が出来ません。
 3. ※2の部品は組合せ方式になっていますので、冷熱ハンドブックなどでご確認ください。
 注. 付：標準品に取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 ×：取付不可 下段は部品形名を表す。

◇ダクトタイプ<P-J630~J1000DC形>

室内ユニット対応

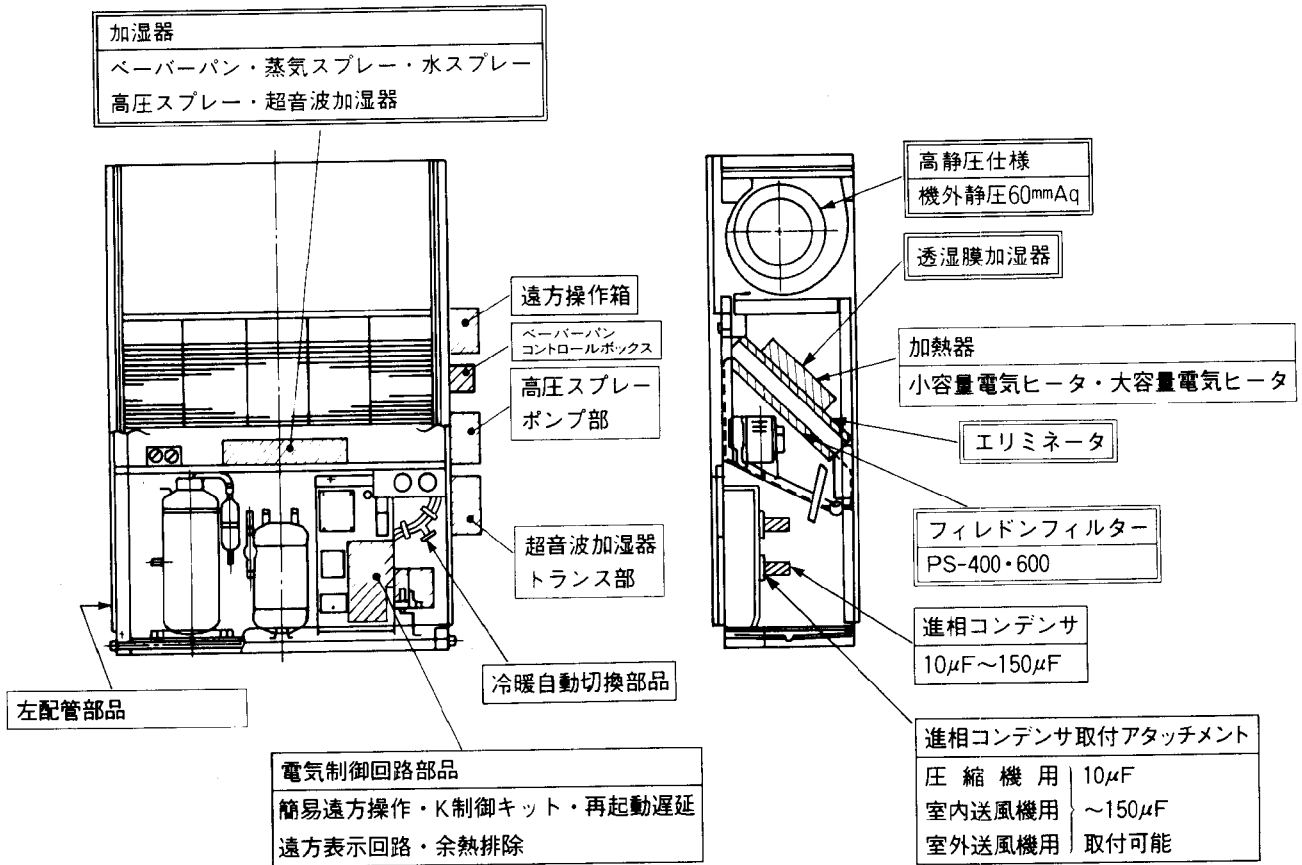
●室外ユニットはPAH・PA-PCの頁に記載。

項目	形名	PAH-J630DC	PAH-J800DC	PA-J630DC	PA-J800DC	PWH-J1000DC	PW-J800DC	PW-J1000DC	ページ
加 熱 器	蒸 気	×	×	○	○	×	○	○	141
		—		PAC-CK51XH		—		PAC-CK51XH	
	温 水	×	×	○	○	×	○	○	141
		—		PAC-CK51XH		—		PAC-CK51XH	
電 気	電気<小容量>	○	○	○	○	○	○	○	143
		PAC-CK11EH	PAC-CK12EH	PAC-CK11EH	PAC-CK12EH	PAC-CK12EH	PAC-CK11EH	PAC-CK12EH	
電 気	電気<大容量>	○	○	○	○	○	○	○	143
		PAC-CK11EHx2	PAC-CK12EHx2	PAC-CK11EHx2	PAC-CK12EHx2	PAC-CK12EHx2	PAC-CK11EHx2	PAC-CK12EHx2	
加 湿 器	超音波式加湿器	△	△	△	△	△	△	△	153参考
	蒸気スプレー式 加湿器	○	○	○	○	○	○	○	147
		—		PAC-CL35SS		—		—	
	ペーパーパン	○	○	○	○	○	○	○	149
		—		PAC-CM08VP		—		—	
	水スプレー式加湿器	○	○	○	○	○	○	○	153参考
		—		PAC-CL25WS		—		—	
	高圧スプレー式 加湿器	△	△	△	△	△	△	△	153参考
	プレナム	○	○	○	○	○	○	○	151
		—		PAC-CM45PL		—		—	
エ ア フ ィ ル タ	フィレドンフィルタ <PS-400>	△	△	△	△	△	△	△	—
	フィレドンフィルタ <PS-600>	△	△	△	△	△	△	△	—
フ ィ ル タ 類	予備フィルタ <塩化ビニルにカミ織>	○	○	○	○	○	○	○	—
		—		PAC-CQ61YF		—		—	
	エリミネータ <ピニロック>	○	○	○	○	○	○	○	153
		—		PAC-CM36EN		—		—	
電 気 部 品	エリミネータ <S U S >	○	○	○	○	○	○	○	153
		—		PAC-CM37EN		—		—	
電 気 部 品	K制御キット	○	○	○	○	○	○	○	157
		—		PAC-CQ01KT		—		—	
	簡易遠方操作 セット	○	○	○	○	○	○	○	159
		—		PAC-CQ41RC		—		—	
電 気 部 品	リモート コントローラ	○	○	○	○	○	○	○	161
		—		PAC-CP44RC		—		—	
	遠方操作箱	○	○	○	○	○	○	○	163
	—		PAC-CP42RB		—		—		
電 気 部 品	進相コンデンサ ※	○	○	○	○	○	○	○	165
		—		※		—		—	
	余熱排除回路部品	○	○	○	○	○	○	○	167
		—		PAC-CQ03YH		—		—	
電 気 部 品	遠方表示回路部品	○	○	○	○	○	○	○	169
		—		PAC-CQ11DH		—		—	
	再起動遅延回路 部品	○	○	○	○	○	○	○	171
		PAC-CQ07KS		PAC-CQ09KS		PAC-CQ07KS		PAC-CQ09KS	
電 気 部 品	冷暖自動切換部品	○	○	×	×	○	×	×	173
		PAC-CQ02RG		—		PAC-CQ02RG		—	
	独立保護回路部品	○	○	○	○	○	○	○	148
	—		PAC-CQ12FH		—		—		
電 気 部 品	3ステージ 容量制御サーモ	○	○	○	○	○	○	○	175
		—		PAC-CQ13DT		—		—	
	電気ヒータ制御回路 部品<サーモ付>	○	○	○	○	○	○	○	177
	—		PAC-CQ14EK		—		—		
電 気 部 品	電気ヒータ制御回路 部品<サーモ無>	○	○	○	○	○	○	○	177
		—		PAC-CQ15EK		—		—	
そ の 他	圧 力 計	付	付	付	付	付	付	付	—
	水圧保護開閉器	—	—	—	—	○	○	○	179
		—		—		PAC-CP45WP		—	
	左 配 管 部 品	×	×	×	×	—	—	—	—
そ の 他	木 台	×	×	×	×	×	×	×	—
	サービス工具	○	○	○	○	○	○	○	—
		—		PAC-CQ04SK		—		—	
ガス検知器	○	○	○	○	○	○	○	—	
	—		PAC-CQ05GK		—		—		

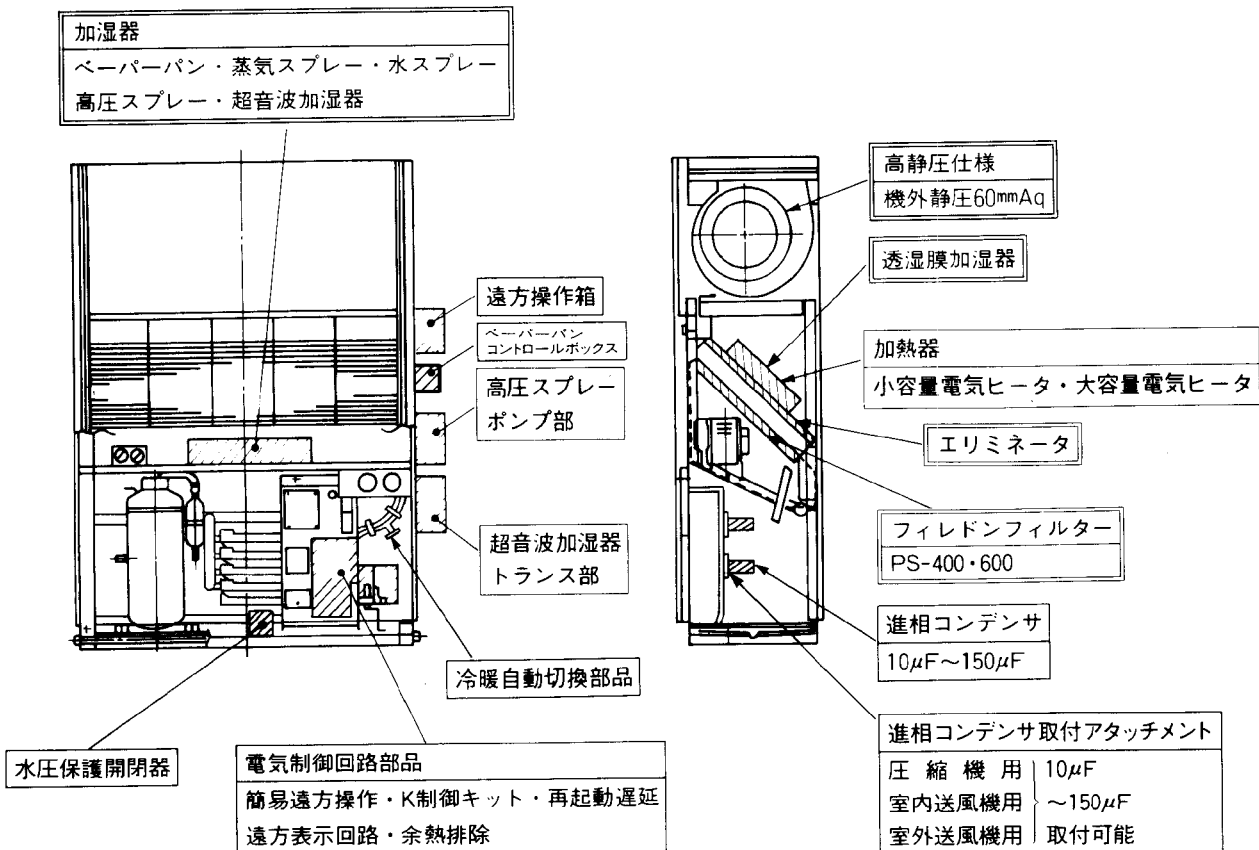
注1. ※の部品は組合せ方式になっていますので、冷熱ハンドブックなどでご確認ください。

注. 付：標準品に取付済 ○：取付可 △：受注対応にて取付可 ×：取付不可 —：該当せず 下段は部品形名を表す。

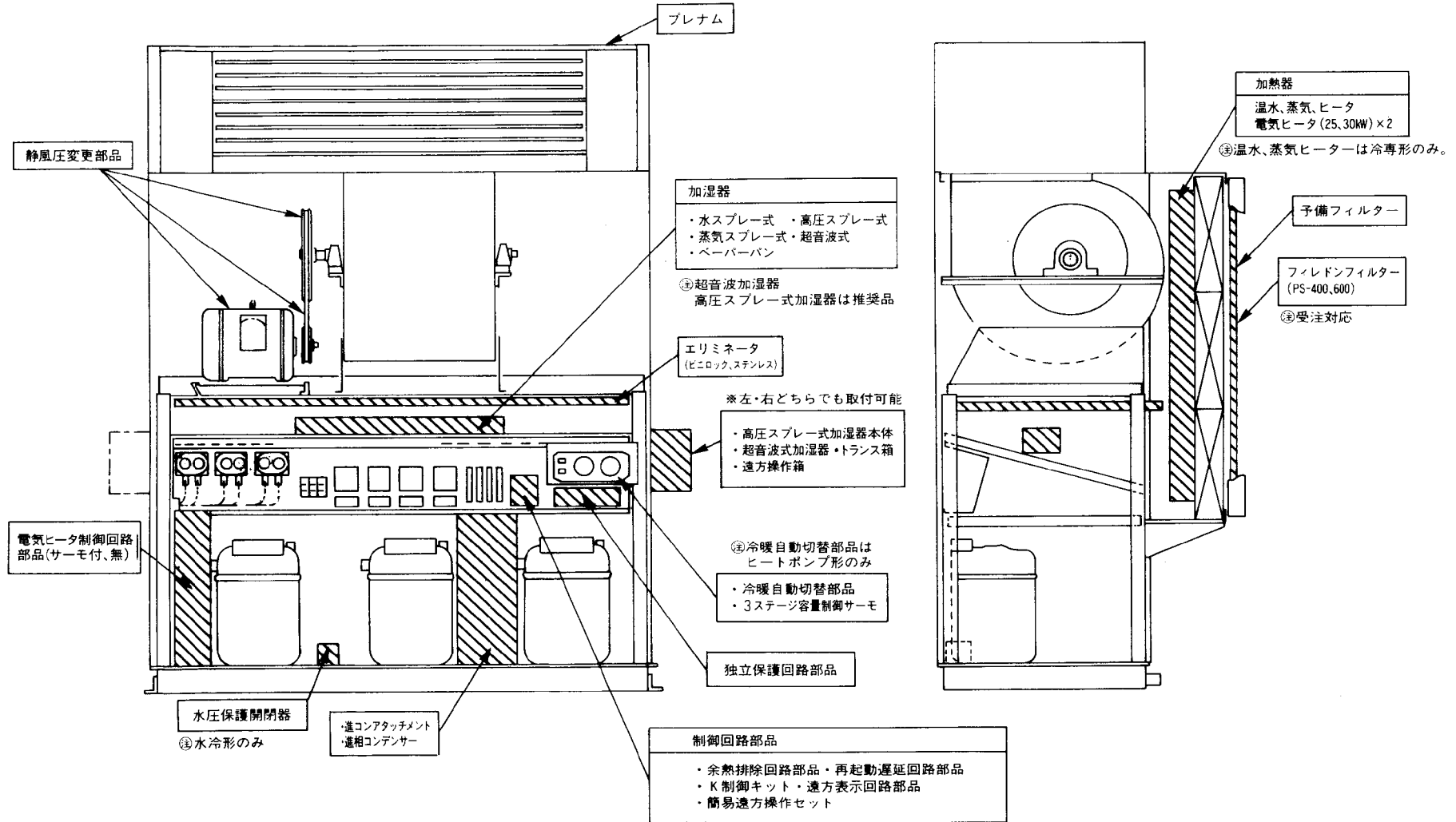
●別売部品の組立内容



●別売部品の組立内容



●別売部品の組立内容



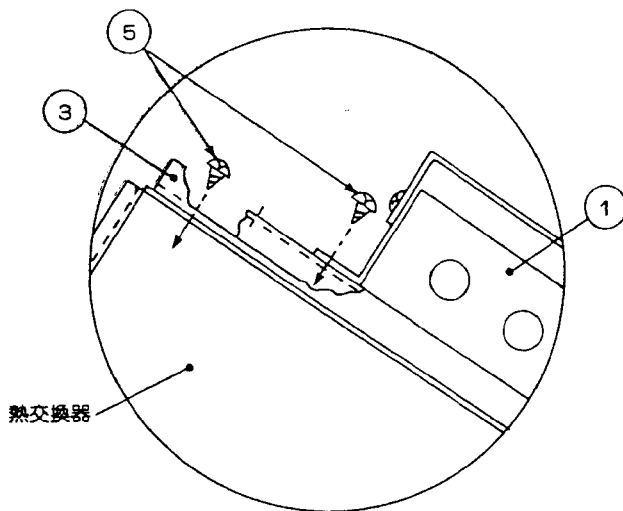
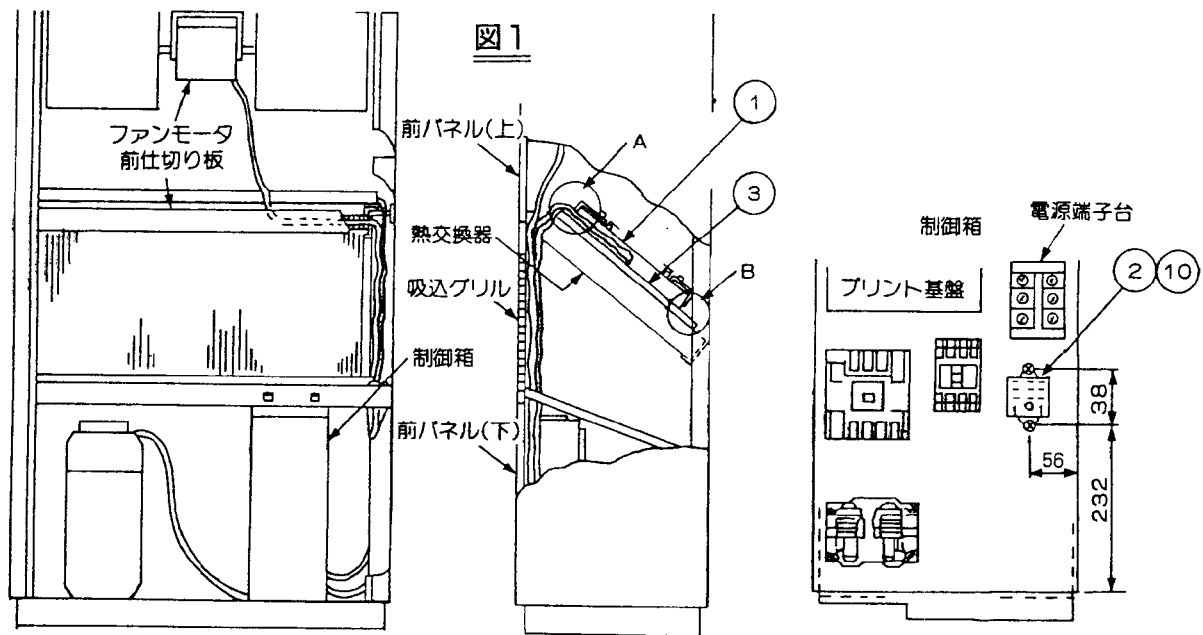
電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J140DC(H)
PW(H)-J160DC(H)
P-5DC(H)

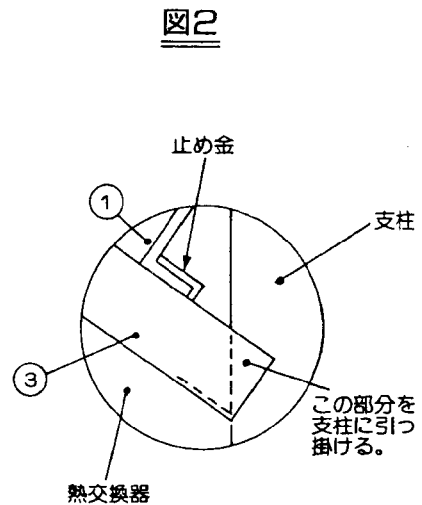
1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 3kw	⑥	リード線	1	VSF 1.25 赤
②	電磁接触器	1	LY-3F	⑦	〃	1	〃 白
③	ヒータ取付板(右)	1		⑧	〃	1	〃 青
④	〃 (左)	1		⑨	〃	1	VSF 0.75 青
⑤	タッピンネジ	6	4×10(予備2本)	⑩	タッピンネジ	4	3.5×10(予備2本)

2. 取付要領 (高静圧(H)タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)



A部詳細図

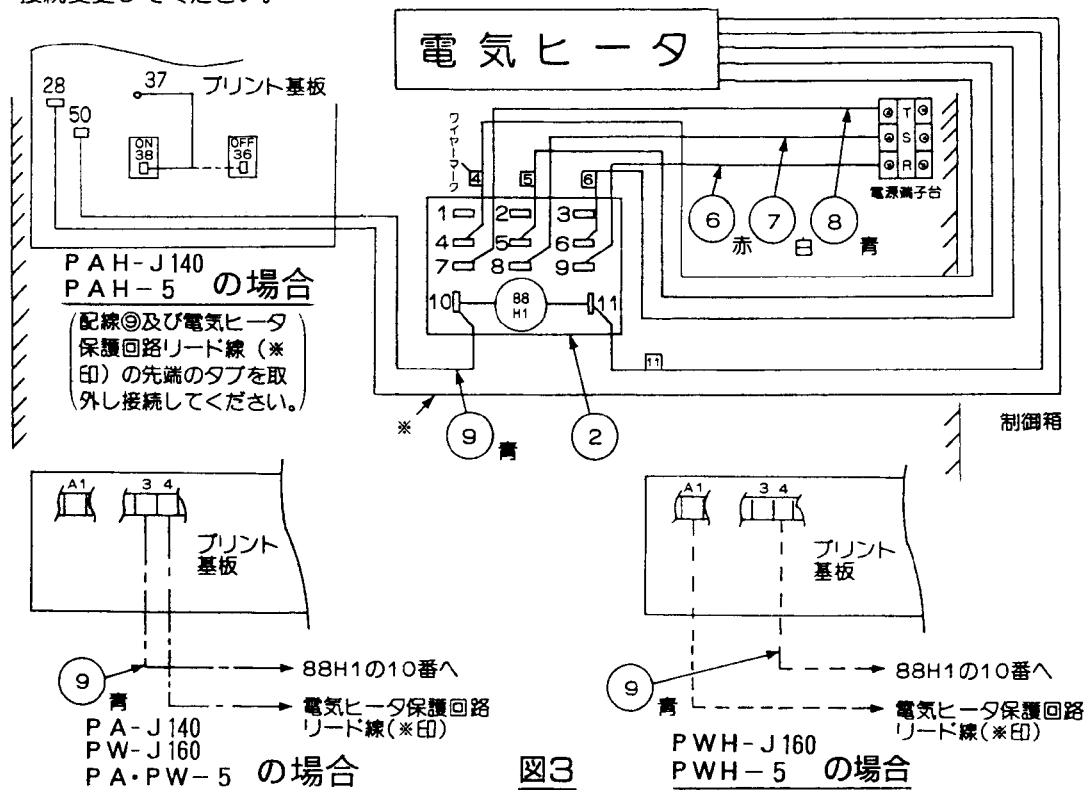


B部詳細図

- (1) 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及び前仕切り板（取付ネジ2本）を取外し、ヒータ取付板③、④を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め（タッピンネジ⑥2本）してください。（図1 A,B部詳細図）
- (2) 電気ヒータ①を配線が右側から出るようにヒータ取付板③、④の上にネジ止め（タッピンネジ⑥2本）してください。（図1 A部詳細図）
- (3) リード線は、前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通してください。（図1）
- (4) 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め（タッピンネジ⑩2本）してください。（図2）

3. 配線要領（組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。）

- (1) 電気ヒータからのリード線は電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑦⑧は、制御箱内電源端子台と電磁接触器間に、リード線⑨はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。（図3）
- (2) PAHの場合のみプリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて、38番ファストンタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1) 別売加湿器（水・高圧・蒸気スプレー、超音波式、ペーパーパン）と同時組込む場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
（所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。）
- (2) 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願いによる簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4) エアフィルターは常にきれいにして使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

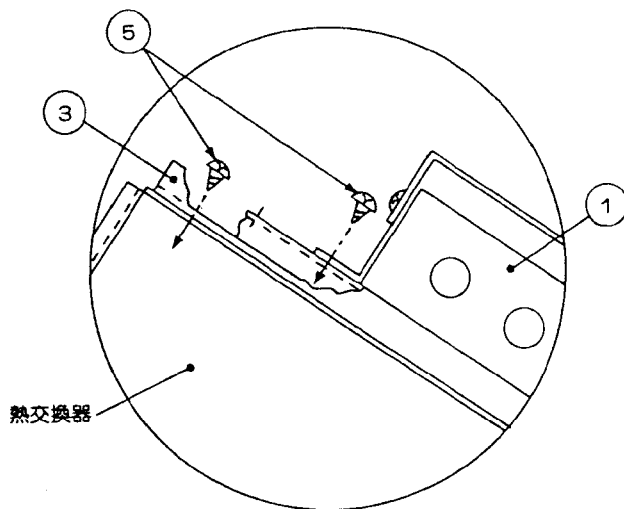
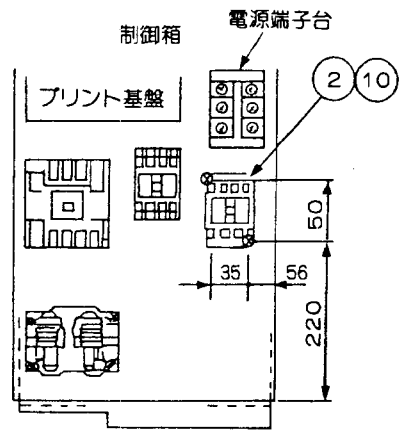
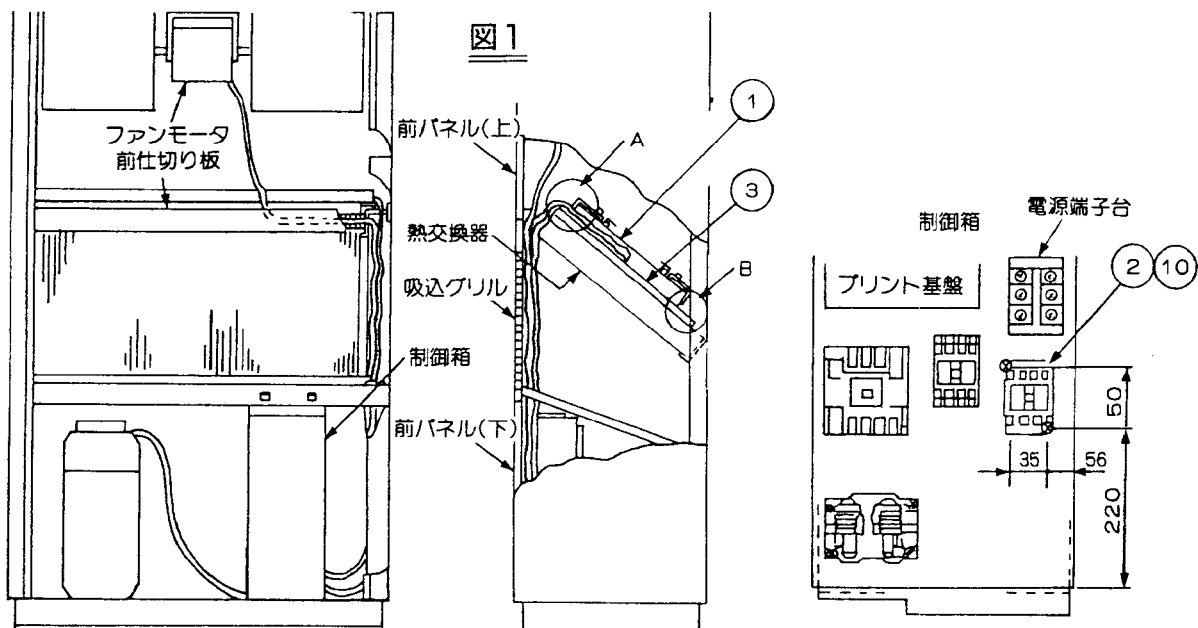
電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J200DC(H)
PW(H)-J250DC(H)
P-8DC(H)

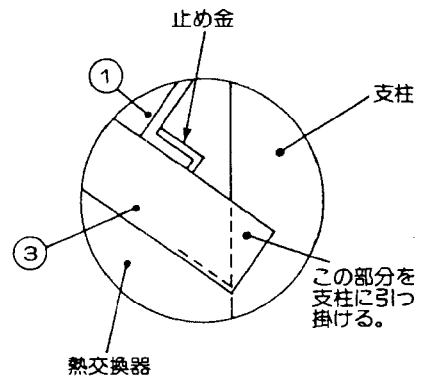
1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 5.1kw	⑥	リード線	1	VSF 2.0 赤
②	電磁接触器	1	S-K10	⑦	〃	1	〃 白
③	ヒータ取付板(右)	1		⑧	〃	1	〃 青
④	〃 (左)	1		⑨	〃	1	VSF 0.75 青
⑤	タッピンネジ	6	4×10(予備2本)	⑩	タッピンネジ	4	4×20(予備2本)

2. 取付要領 (高静圧(H)タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)



A部詳細図

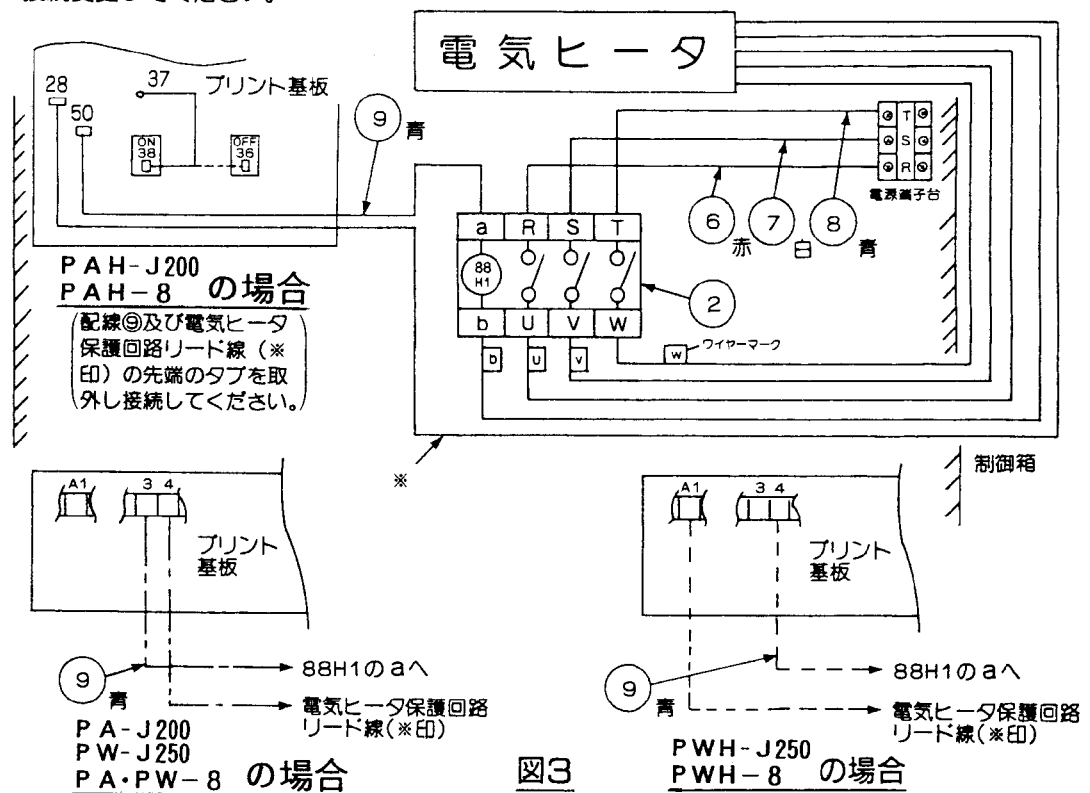


B部詳細図

- (1) 吸込グリル, 前パネル上下 (取付ネジ各2本) 及び前仕切り板 (取付ネジ2本) を取外し, ヒータ取付板③, ④を止め金付の方を先にし, 熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め (タップインネジ⑥2本) してください。(図1 A,B部詳細図)
- (2) 電気ヒータ①を配線が右側から出るようにヒータ取付板③, ④の上にネジ止め (タップインネジ⑥2本) してください。(図1 A部詳細図)
- (3) リード線は, 前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通してください。(図1)
- (4) 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め (タップインネジ⑩2本) してください。(図2)

3. 配線要領 (組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。)

- (1) 電気ヒータからのリード線は電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑦⑧は, 制御箱内電源端子台と電磁接触器間に, リード線⑨はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。(図3)
- (2) PAHの場合のみプリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて, 38番ファストンタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1) 別売加湿器 (水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン) と同時組込む場合は, 加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2) 取付完了後, 再度取付状況, 配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4) エアフィルターは常にきれいにして使用してください。
洗浄は週一回, 特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

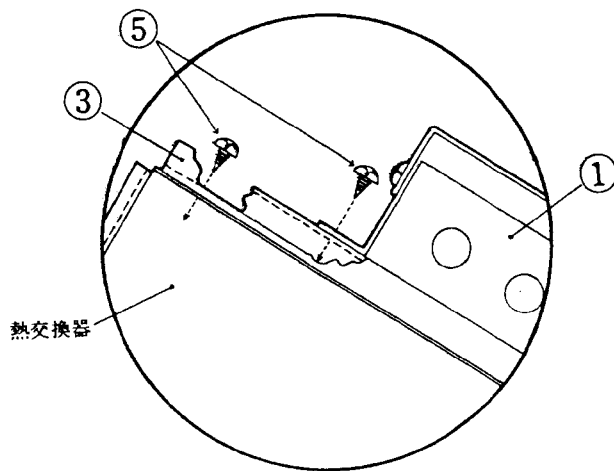
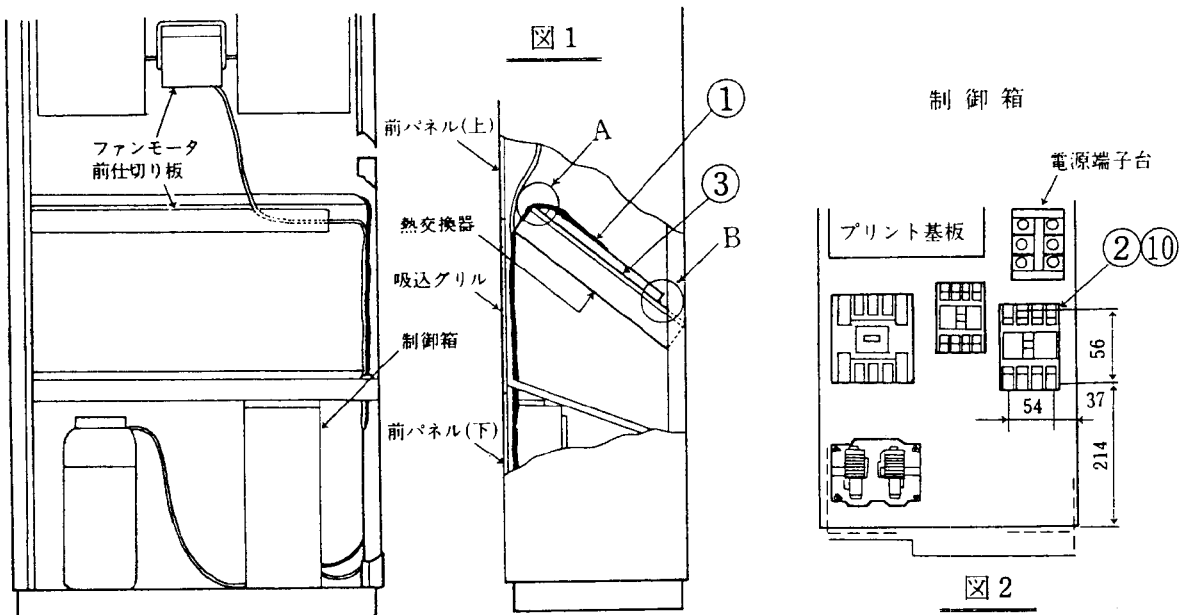
MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK08EH

電気ヒータ取付説明書 [PA(H)-J280DC(H)
PW(H)-J315DC(H)
P-10DC(H)]

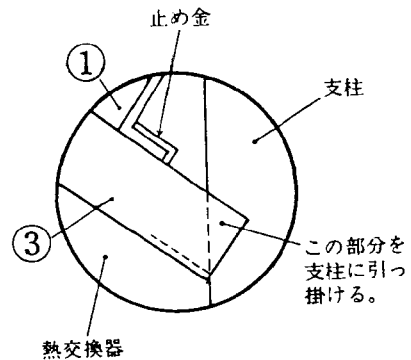
1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ	1	3φ200V7.5kW	⑥	リード線	1	IV 2.0 赤
②	電磁接触器	1	S-K20	⑦	"	1	" 白
③	ヒータ取付板 (右)	1		⑧	"	1	" 青
④	" (左)	1		⑨	"	1	VSF 0.75 青
⑤	タッピンネジ	6	4×10 (予備2本)	⑩	タッピンネジ	4	4×20 (予備2本)

2. 取付要領 (高静圧 (H) タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)



A部詳細図

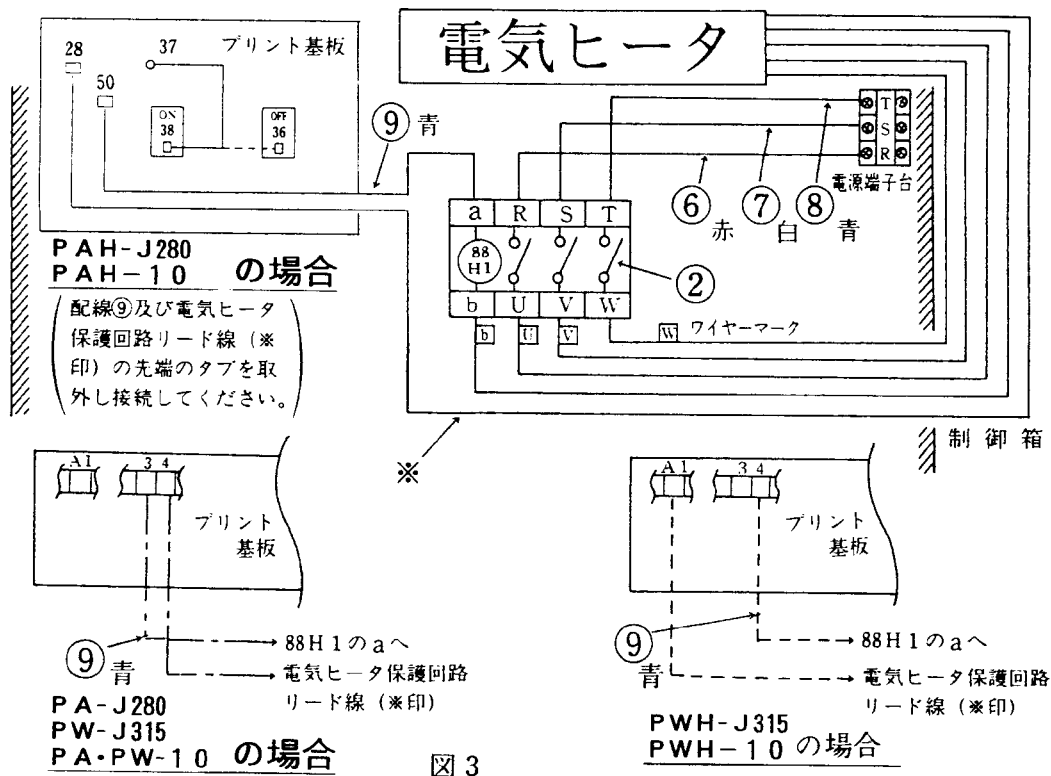


B部詳細図

- (1) 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及び前仕切り板（取付ネジ2本）を取外し、ヒータ取付板③、④を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め（タッピンネジ⑤2本）してください。（図1 A, B部詳細図）
- (2) 電気ヒータ①を配線が右側から出るようにヒータ取付板③、④の上にネジ止め（タッピンネジ⑤2本）してください。（図1 A部詳細図）
- (3) リード線は、前仕切り板の右側からファンモタリード線と同じ様に通してください。（図1）
- (4) 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め（タッピンネジ⑩2本）してください。（図2）

3. 配線要領（組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。）

- (1) 電気ヒータからのリード線は電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑥⑦⑧は、制御箱内電源端子台と電磁接触器間に、リード線⑨はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。（図3）
- (2) PAHの場合のみプリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて、38番ファストタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1) 別売加湿器（水・高圧・蒸気スプレー，超音波式，ペーパーパン）と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
（所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。）
- (2) 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」（JRA 4001）に基くお願いによる簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4) エアーフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK09EH

電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J400DC
PW(H)-J500DC
P-15DC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 10kw	⑧	リード線	1	IV 5.5mm ² 白
②	電磁接触器	1	S-K20	⑨	"	1	" 青
③	ヒータ取付板 (右)	1		⑩	"	1	VSF 0.75 青
④	" (左)	1		⑪	タッピンネジ	6	4×10 (予備2本)
⑤	温度調節器	1	19℃OFF, 17℃ON	⑫	"	4	4×20 (予備2本)
⑥	感温筒固定金具	1		⑬	"	3	5×10 (予備1本)
⑦	リード線	1	IV 5.5mm ² 赤				

2. 取付要領

1. 吸込グリル, 前パネル上下 (取付ネジ各2本) 及びプレート (取付ネジ4本) を取外してください。
2. ヒータ取付板③, ④を後方を支持板上の止め金の位置 (図1, A部詳細図) まで差し込み、手前をネジ止め (タッピンネジ⑪2本) してください。
3. ヒータ①を (2) 項で取付けたヒータ取付板③, ④上に設置 (後方は止め金により固定) し、手前をヒータ取付板③, ④にネジ止め (タッピンネジ⑩2本) してください。 (図1)
4. ヒータ①のリード線は、前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通し、制御箱へ導いてください。 (図1)
5. 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め (タッピンネジ⑫2本) してください。 (図2)
6. PAH・PWHの場合のみ温度調節器⑤を制御箱内の所定位置にネジ止め (タッピンネジ⑬2本) してください。 (図2)
7. 温度調節器⑤の感温筒は、本体ユニット, 温度調節器感温筒と同じ要領で固定金具⑥にて、吸込空気温度が検知出来る位置に取付けてください。 (図1, 矢視B)

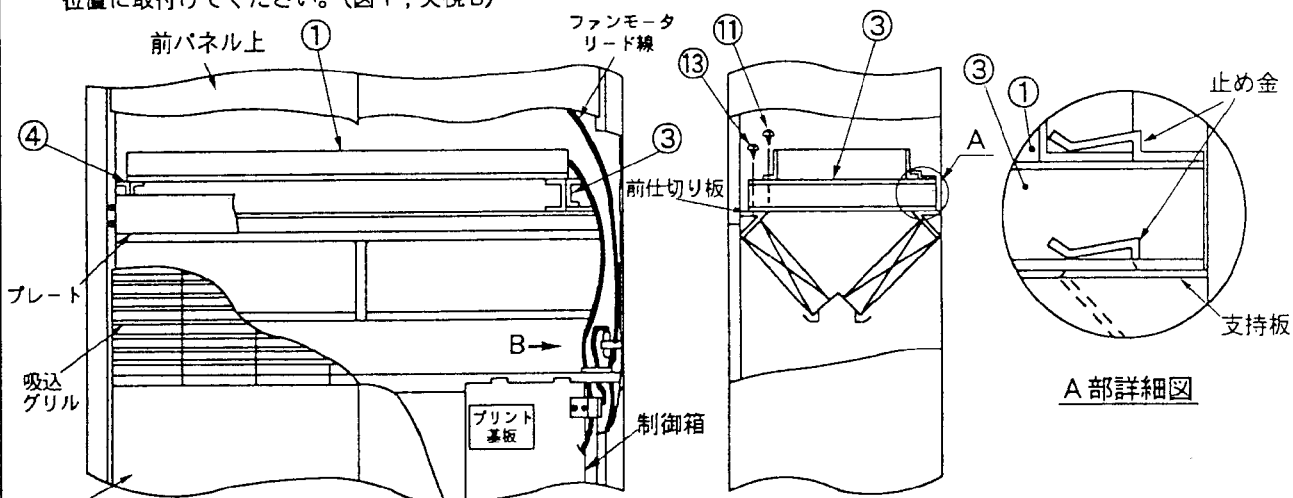


図 1

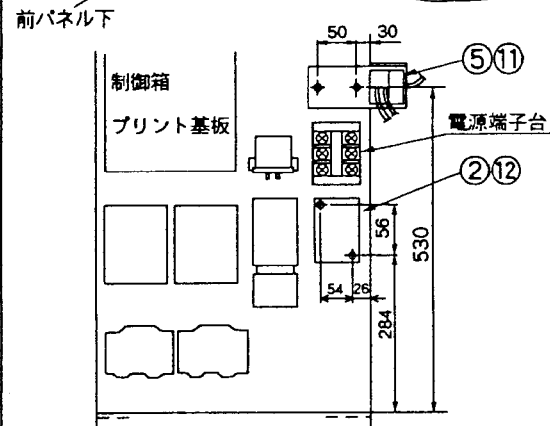
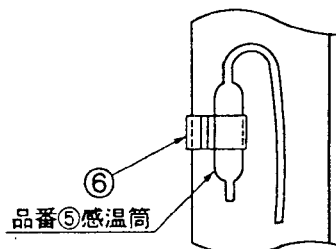


図 2



矢視 B

3. 配線要領 (組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。)

- 1). 電気ヒータからのリード線は、電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑦,⑧,⑨は制御箱内端子台と電磁接触器間に、リード線⑩ (PWHは不要) はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。
- 2). PAH・PWHの場合のみ温度調節器⑤を図3の様に接続してください。
- 3). 超音波式加湿器と同時組込める場合は、4-2) 項に示す配線の変更が必要です。

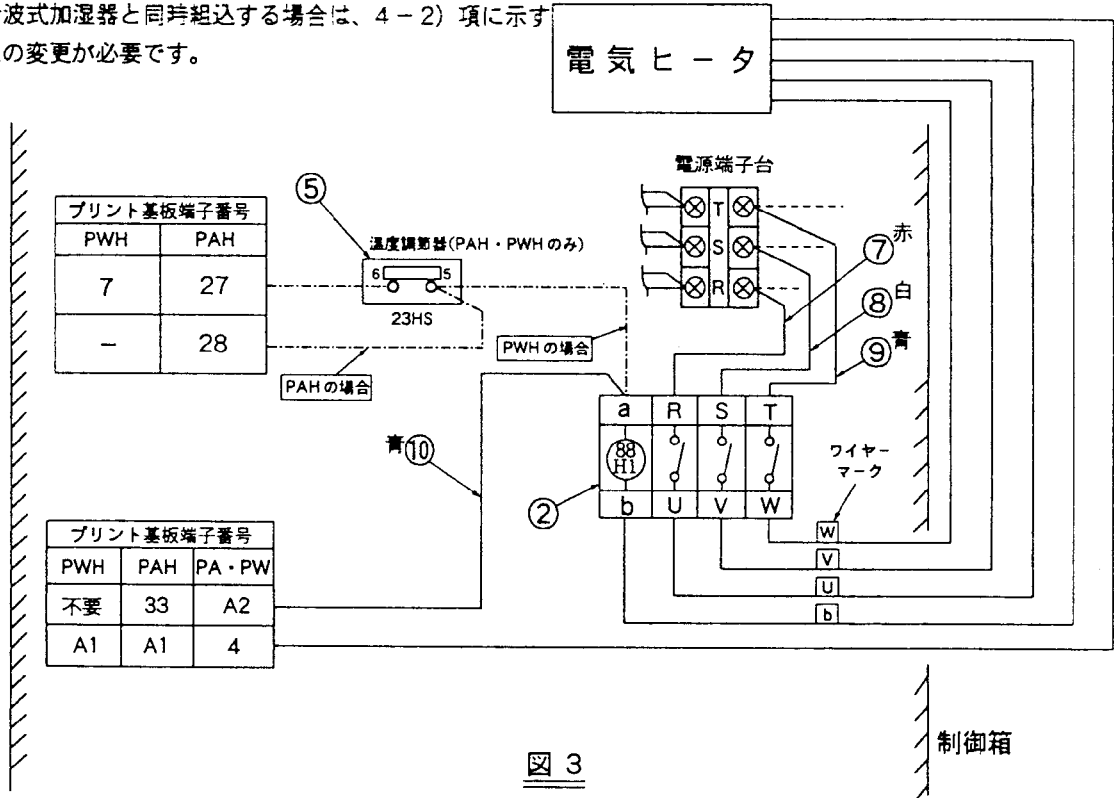


図 3

4. 注意事項

- 1). 別売加湿器 (水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーバン) と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- 2). 超音波式加湿器と同時組込める場合、超音波式加湿器の配線 [現地配線] を図4の様に変更してください。

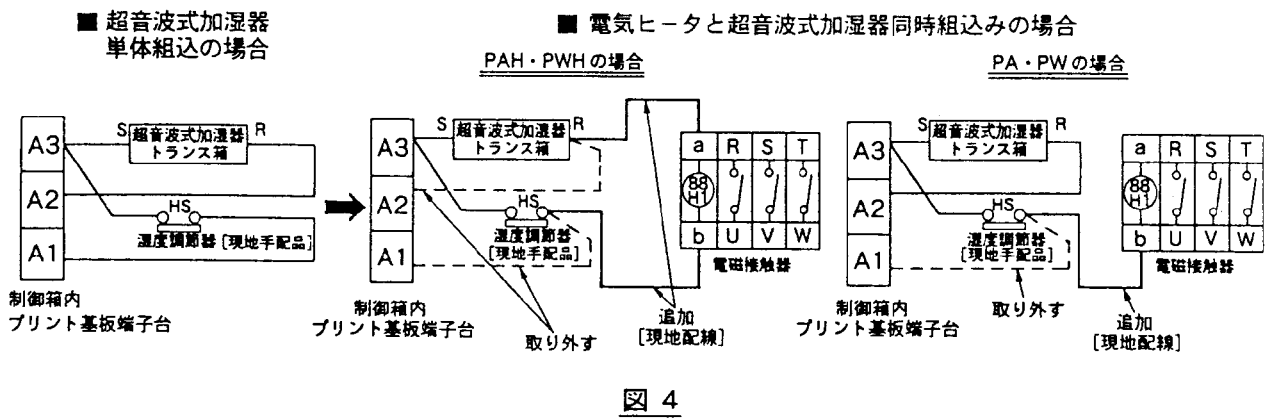


図 4

- 3). 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 4). 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- 5). エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK10EH

電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J560DC
PW(H)-J630DC
P-20DC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 15kw	⑧	リード線	1	IV 14mm ² 白
②	電磁接触器	1	S-K35	⑨	"	1	" 青
③	ヒータ取付板 (右)	1		⑩	"	1	VSF 0.75 青
④	" (左)	1		⑪	タッピンネジ	6	4×10 (予備2本)
⑤	温度調節器	1	19℃OFF, 17℃ON	⑫	"	4	4×20 (予備2本)
⑥	感温筒固定金具	1		⑬	"	3	5×10 (予備1本)
⑦	リード線	1	IV 14mm ² 赤				

2. 取付要領

1. 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及びプレート（取付ネジ4本）を取外してください。
2. ヒータ取付板③、④を後方を支持板上の止め金の位置（図1、A部詳細図）まで差し込み、手前をネジ止め（タッピンネジ③2本）してください。
3. ヒータ①を（2）項で取付けたヒータ取付板③、④上に設置（後方は止め金により固定）し、手前をヒータ取付板③、④にネジ止め（タッピンネジ⑪2本）してください。（図1）
4. ヒータ①のリード線は、前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通し、制御箱へ導いてください。（図1）
5. 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め（タッピンネジ⑫2本）してください。（図2）
6. PAH・PWHの場合のみ温度調節器⑤を制御箱内の所定位置にネジ止め（タッピンネジ⑪2本）してください。（図2）
7. 温度調節器⑤の感温筒は、本体ユニット、温度調節器感温筒と同じ要領で固定金具⑥にて、吸込空気温度が検知出来る位置に取付けてください。（図1、矢視B）

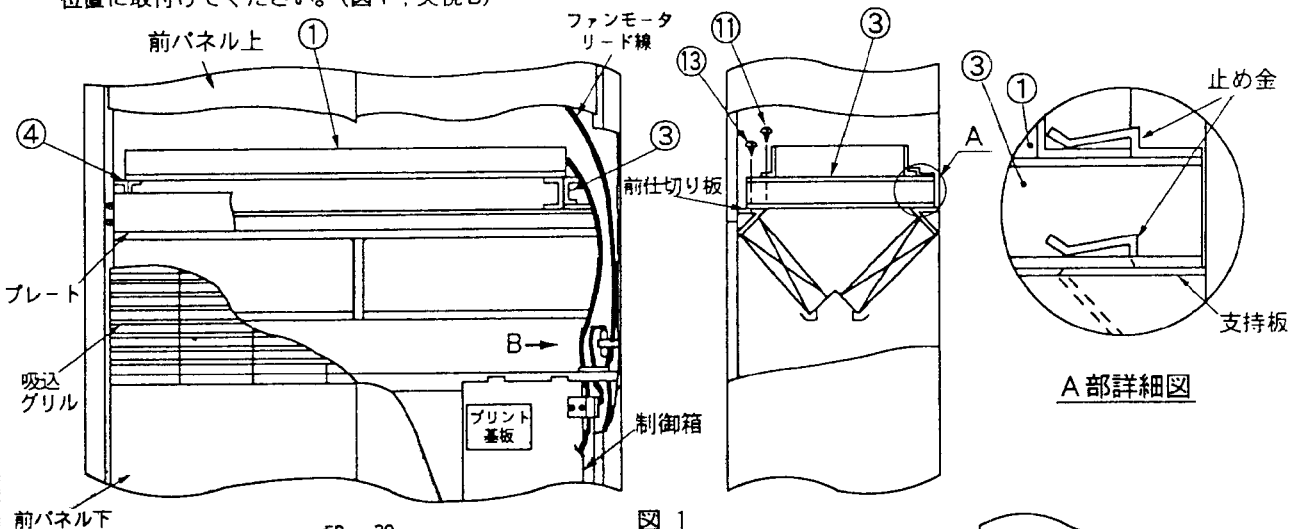


図 1

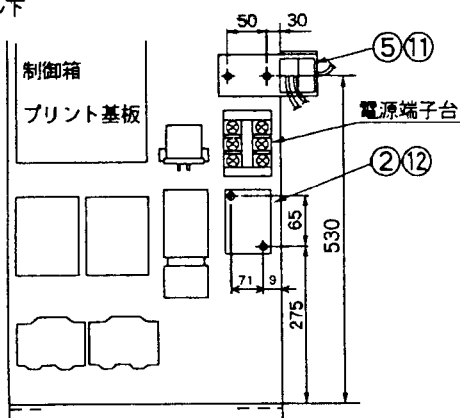
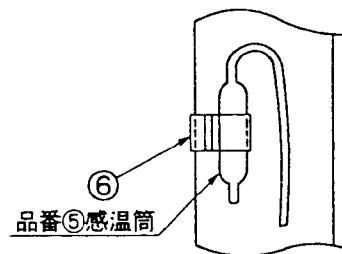


図 2



矢視 B

3. 配線要領 (組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。)

- 電気ヒータからのリード線は、電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑦,⑧,⑨は制御箱内端子台と電磁接触器間に、リード線⑩ (PWHは不要) はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。
- PAH・PWHの場合のみ温度調節器⑤を図3の様に接続してください。
- 超音波式加湿器と同時組込める場合は、4-2) 項に示す配線の変更が必要です。

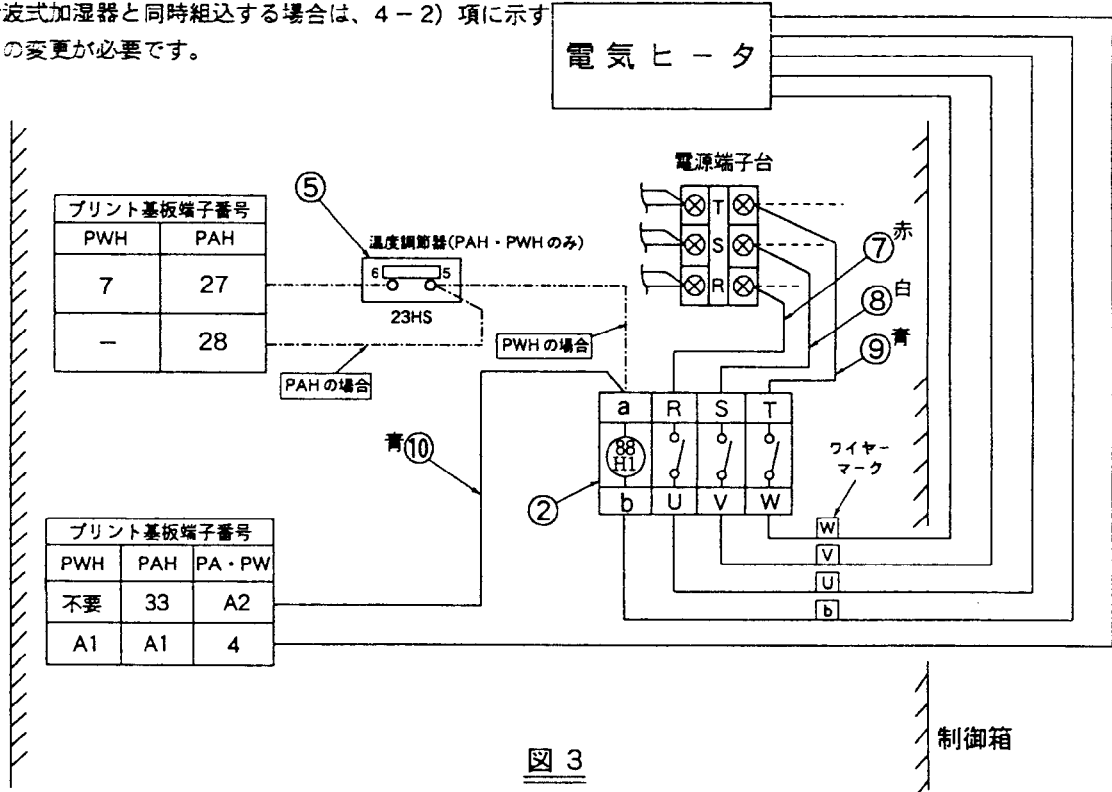


図 3

4. 注意事項

- 別売加湿器 (水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン) と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- 超音波式加湿器と同時組込める場合、超音波式加湿器の配線 [現地配線] を図4の様に変更してください。

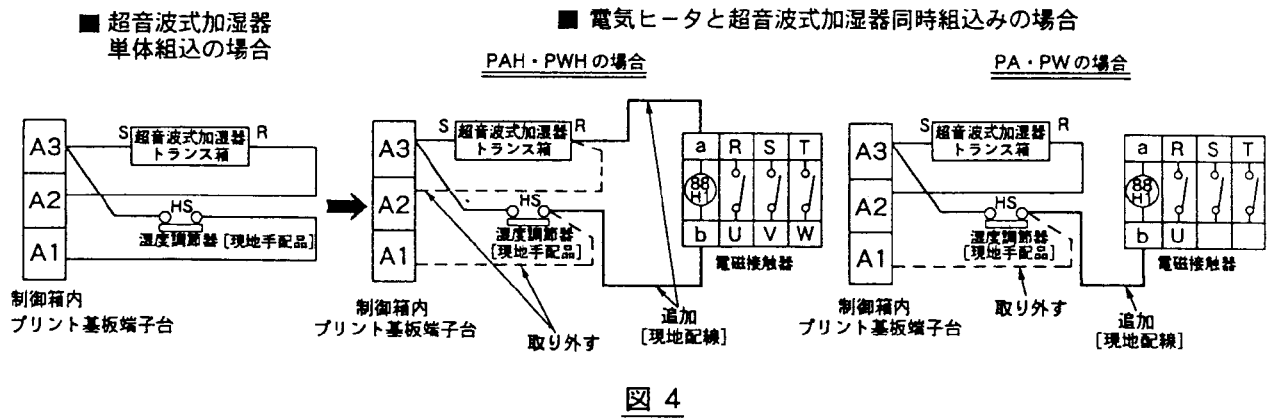


図 4

- 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- エアフィルターは常にきれいにして使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK14EH

電気ヒータ取付説明書

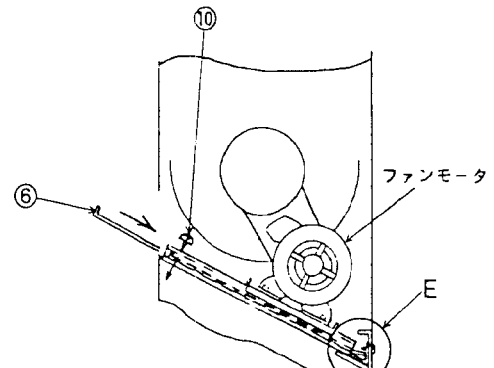
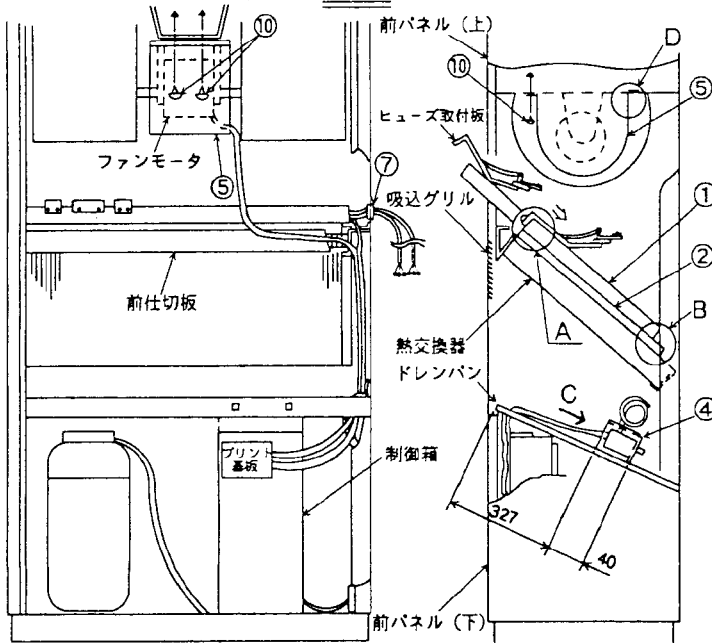
PA(H)-J140DC(H)
PW(H)-J160DC(H)
P-5DC(H)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

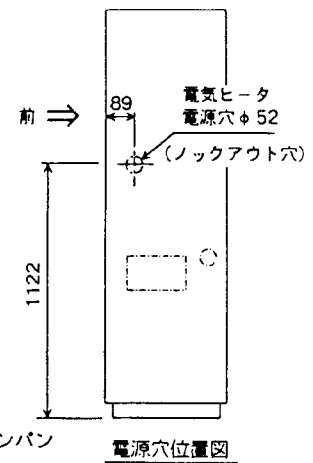
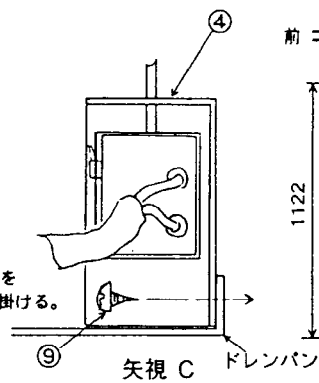
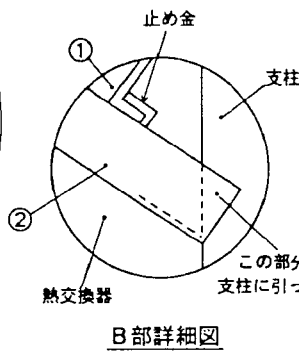
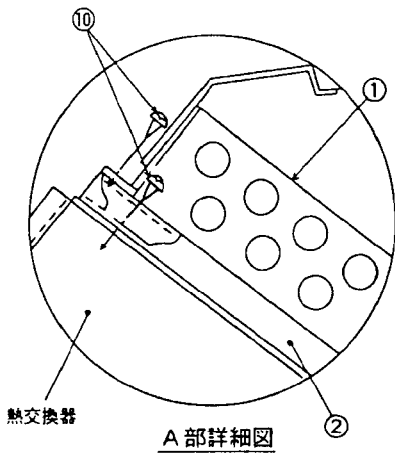
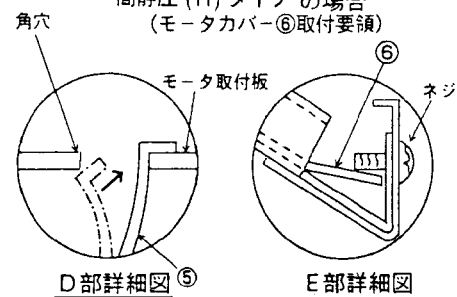
品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 15 (9+6) kw	⑩	Pトラスネジ	2	M4×12
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑪	ナット	2	M4
③	" (左)	1		⑫	バネ座金	2	M4
④	温度調節器	1	19℃OFF, 17℃ON	⑬	座金	2	M4
⑤	モータカバー (防熱板)	1	P-5DC用 (アルミ)	⑭	Pトラスネジ	6	M5×12
⑥	" (")	1	P-5DC(-H)用(亜鉛鋼板)	⑮	ナット	6	M5
⑦	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑯	バネ座金	6	M5
⑧	予備温度ヒューズ	2	130℃ 25A	⑰	座金	6	M5
⑨	タッピンネジ	10	4×10 (予備2本)				

2. 取付要領 (高静圧 (H) タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)

図 1



高静圧 (H) タイプの場合
(モータカバー⑥取付要領)



- (1). 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及び前仕切り板（取付ネジ2本）を取外し、図1の電源穴位置図に示します電源穴（φ52ノックアウト穴）を打ち抜き、ゴムブッシュ⑦にてプッシングしてください。
- (2). モータカバー⑤又は⑥を図1のように取付けて、ネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。
(DCタイプとDC-Hタイプで取付が異なります。)
- (3). ヒータ取付板②、③を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて、手前をネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。（図1. A, B部詳細図）
- (4). 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組込み、ヒータ取付板②、③にネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。
[逆向きには組まないでください。]（図1. A, B部詳細図）
- (5). 本ヒータはヒューズの取付位置が高い為、組込時FANケーシングにヒューズ部分が高すぎるおそれがありますので、予めヒューズ取付板を取外し、図1のような状態にしてから組込んでください。組込完了後、ヒューズ取付板を元の状態に戻してください。
この時、取付ネジにゆるみがないかお確かめください。
- (6). 図1は右配線の場合を示しますが、左配線の場合は、配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- (7). 温度調節器④を、ドレンパン上右側の図1に示す位置にネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。（図1. 矢視図C）

3. 配線要領

- (1). 図2のように配線してください。（破線は現地配線を示します。）
- (2). 現地配線との接続は、ネジ及びナット類（主回路：品番⑭⑮⑯⑰、制御回路：品番⑩⑪⑫⑬）で行ない、テープにて絶縁してください。
- (3). PAHの場合のみ、プリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて、38番ファストスタブに接続変更してください。

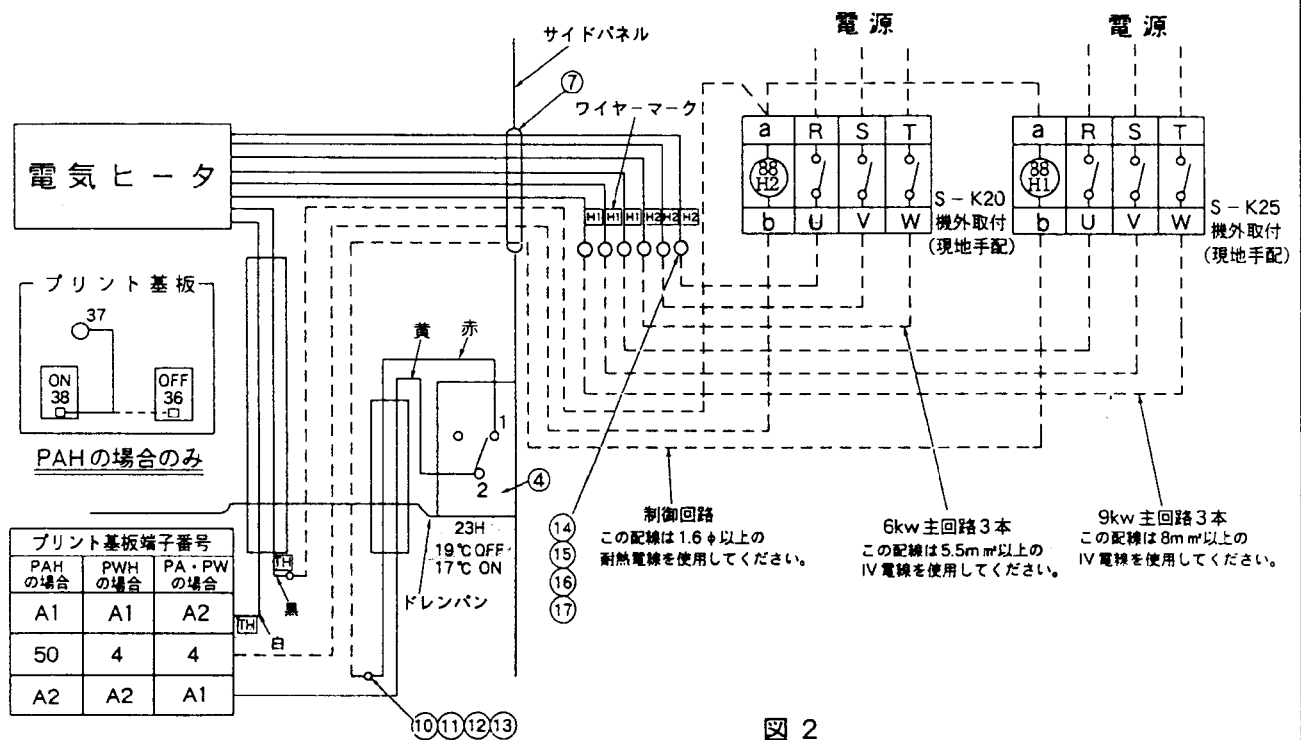


図 2

4. 注意事項

- (1). 別売加湿器（水・高圧・蒸気スプレー、超音波式、ペーパーパン）と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2). 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3). 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4). エアフィルターは常にきれいにして使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- (5). 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
- (6). 品番⑩温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK15EH

電気ヒータ取付説明書

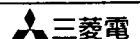
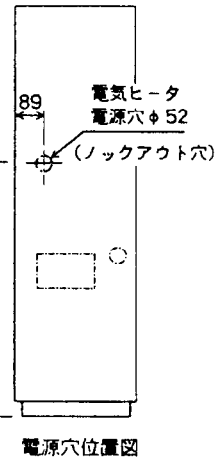
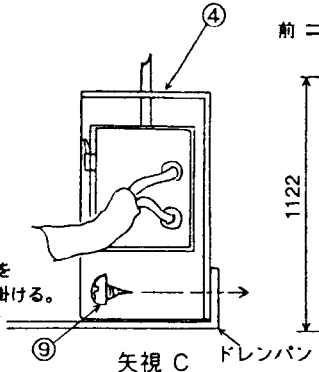
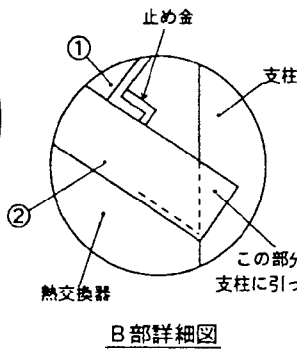
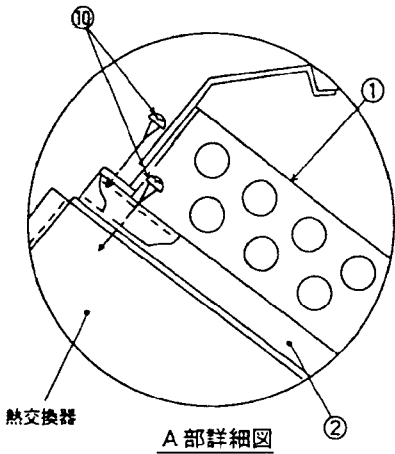
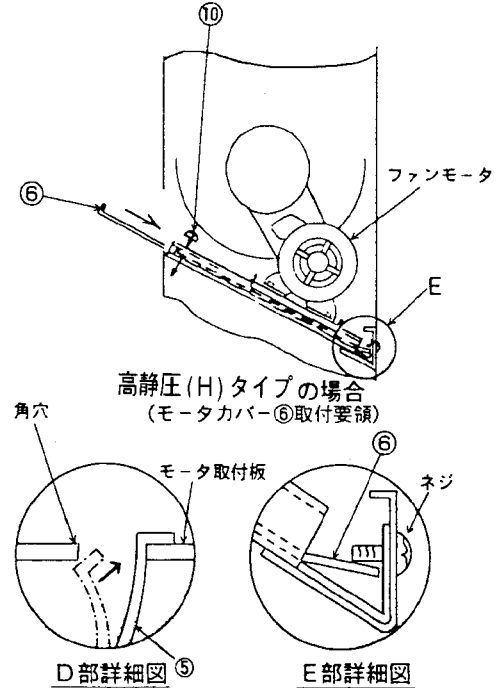
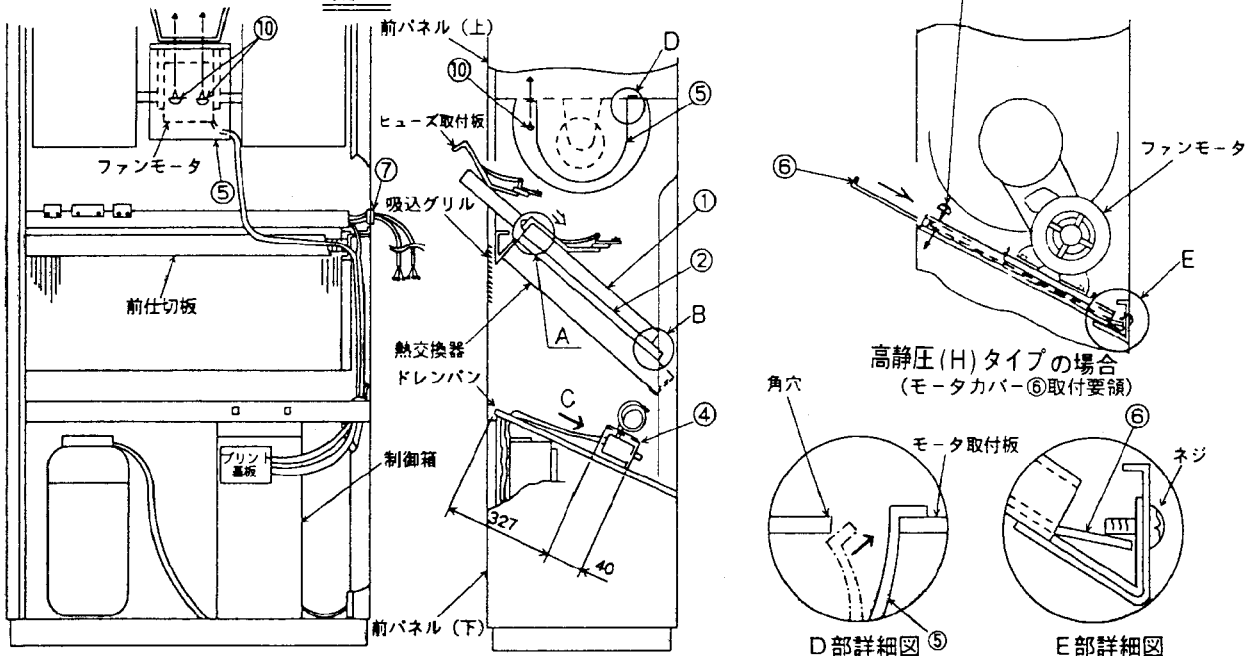
PA(H)-J200DC(H)
PW(H)-J250DC(H)
P-8DC(H)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 24(14.4-9.6)kw	⑩	Pトラスネジ	2	M4×12
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑪	ナット	2	M4
③	" (左)	1		⑫	バネ座金	2	M4
④	温度調節器	1	19℃OFF, 17℃ON	⑬	座金	2	M4
⑤	モータカバー (防熱板)	1	P-8DC用 (アルミ)	⑭	Pトラスネジ	6	M6×12
⑥	" (")	1	P-8DC(-H)用 (亜鉛鋼板)	⑮	ナット	6	M6
⑦	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑯	バネ座金	6	M6
⑧	予備温度ヒューズ	2	130℃ 25A	⑰	座金	6	M6
⑨	タッピンネジ	10	4×10 (予備2本)				

2. 取付要領 (高静圧(H)タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)

図 1



- (1). 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及び前仕切り板（取付ネジ2本）を取外し、図1の電源穴位置図に示します電源穴（φ52ノックアウト穴）を打ち抜き、ゴムブッシュ⑦にてブッシングしてください。
- (2). モータカバー⑤又は⑥を図1のように取付けて、ネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。
(DCタイプとDC-Hタイプで取付が異なります。)
- (3). ヒータ取付板②、③を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて、手前をネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。（図1. A, B部詳細図）
- (4). 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組込み、ヒータ取付板②、③にネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。
[逆向きには組込まないでください。]（図1. A, B部詳細図）
- (5). 本ヒータはヒューズの取付位置が高い為、組込時FANケーシングにヒューズ部分が当たるおそれがありますので、予めヒューズ取付板を取外し、図1のような状態にしてから組込んでください。組込完了後、ヒューズ取付板を元の状態に戻してください。
この時、取付ネジにゆるみがないかお確かめください。
- (6). 図1は右配線の場合を示しますが、左配線の場合は、配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- (7). 温度調節器④を、ドレンパン上右側の図1に示す位置にネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。（図1. 矢視図C）

3. 配線要領

- (1). 図2のように配線してください。（破線は現地配線を示します。）
- (2). 現地配線との接続は、ネジ及びナット類（主回路：品番⑭⑮⑯⑰、制御回路：品番⑩⑪⑫⑬）で行ない、テープにて絶縁してください。
- (3). PAHの場合のみ、プリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて、38番ファストタブに接続変更してください。

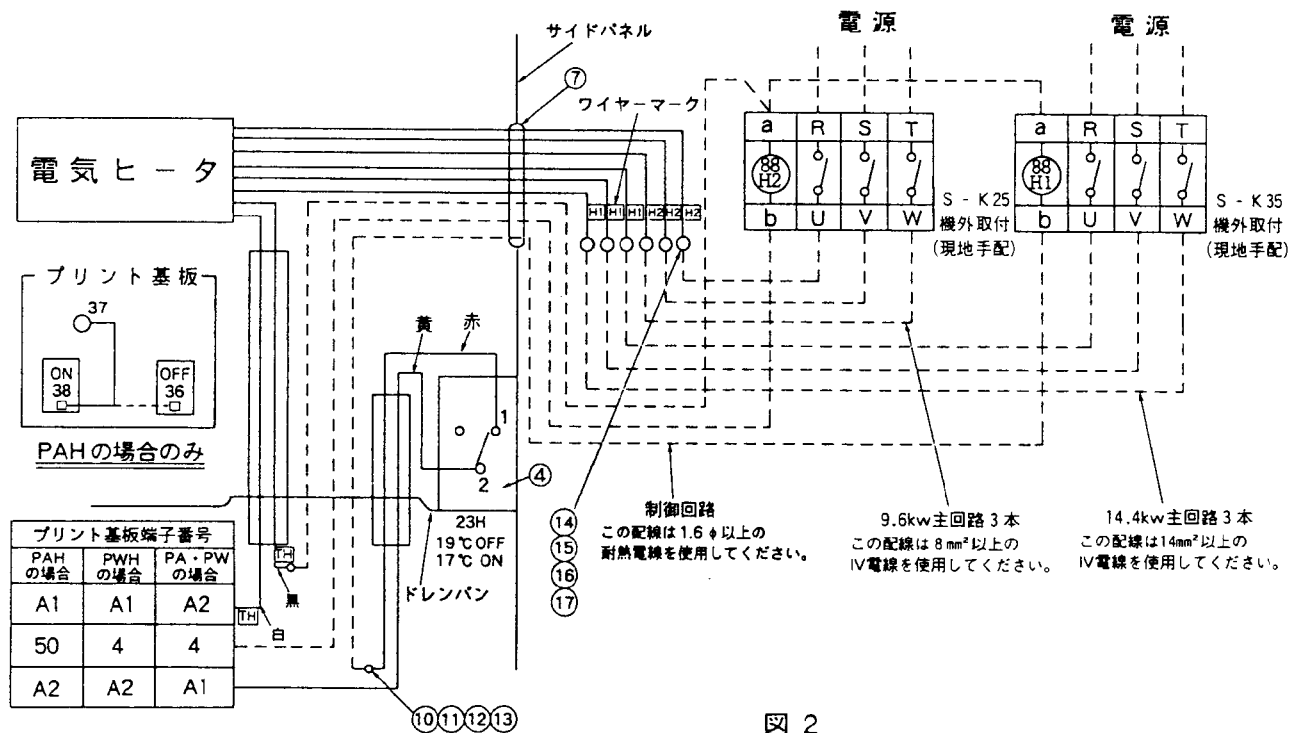


図 2

4. 注意事項

- (1). 別売加湿器（水・高圧・蒸気スプレー、超音波式、ペーパーパン）と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2). 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3). 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4). エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- (5). 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
- (6). 品番⑧温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK16EH

電気ヒータ取付説明書

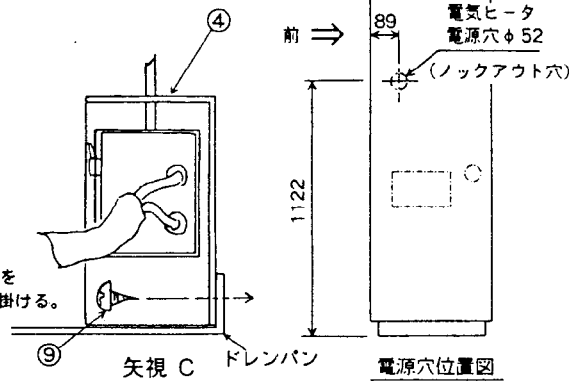
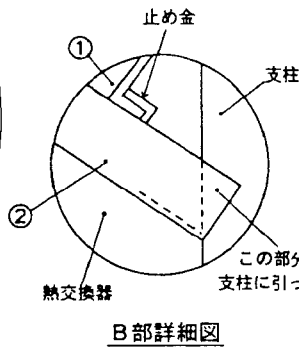
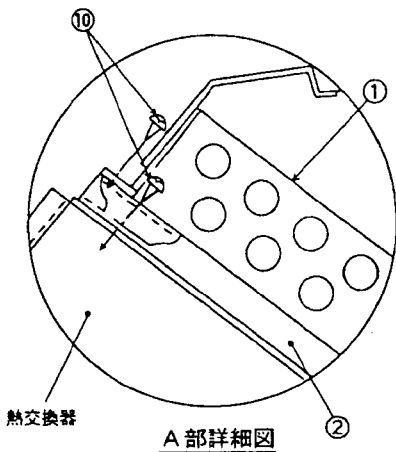
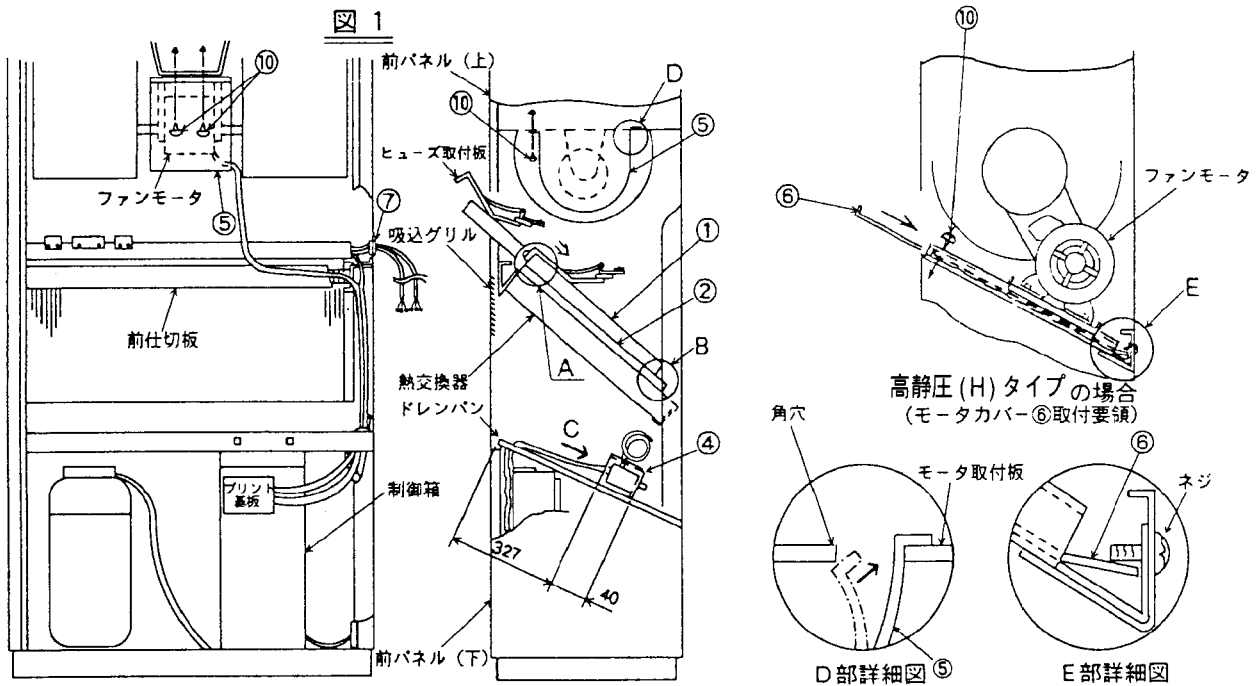
PA(H)-J280DC(H)
PW(H)-J315DC(H)
P-10DC(H)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 30 (18+12) kw	⑩	Pトラスネジ	2	M4×12
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑪	ナット	2	M4
③	" (左)	1		⑫	バネ座金	2	M4
④	温度調節器	1	19℃OFF, 17℃ON	⑬	座金	2	M4
⑤	モータカバー (防熱板)	1	P-10DC用 (アルミ)	⑭	Pトラスネジ	6	M6×12
⑥	" (")	1	P-10DC(-H)用(亜鉛鋼板)	⑮	ナット	6	M6
⑦	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑯	バネ座金	6	M6
⑧	予備温度ヒューズ	2	130℃ 25A	⑰	座金	6	M6
⑨	タッピンネジ	10	4×10 (予備2本)				

2. 取付要領 (高静圧 (H) タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)

図 1



- (1). 吸込グリル, 前パネル上下 (取付ネジ各2本) 及び前仕切り板 (取付ネジ2本) を取外し, 図1の電源穴位置図に示します電源穴 (φ52 ノックアウト穴) を打ち抜き, ゴムブッシュ⑦にてプッシングしてください。
- (2). モータカバー⑤又は⑥を図1のように取付けて, ネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。
(DCタイプとDC-Hタイプで取付が異なります。)
- (3). ヒータ取付板②, ③を止め金付の方を先にし, 熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて, 手前をネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。 (図1. A, B部詳細図)
- (4). 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組込み, ヒータ取付板②, ③にネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。
[逆向きには組込まないでください。] (図1. A, B部詳細図)
- (5). 本ヒータはヒューズの取付位置が高い為, 組込時FANケーシングにヒューズ部分が当たるおそれがありますので, 予めヒューズ取付板を取外し, 図1のような状態にしてから組込んでください。組込完了後, ヒューズ取付板を元の状態に戻してください。
この時, 取付ネジにゆるみがないかお確かめください。
- (6). 図1は右配線の場合を示しますが, 左配線の場合は, 配線を右側から前仕切板上を通し, 左側に取出してください。
- (7). 温度調節器④を, ドレンパン上右側の図1に示す位置にネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。 (図1. 矢視図C)

3. 配線要領

- (1). 図2のように配線してください。(破線は現地配線を示します。)
- (2). 現地配線との接続は, ネジ及びナット類 (主回路: 品番⑭⑮⑯⑰, 制御回路: 品番⑩⑪⑫⑬) で行ない, テープにて絶縁してください。
- (3). PAHの場合のみ, プリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて, 38番ファストタブに接続変更してください。

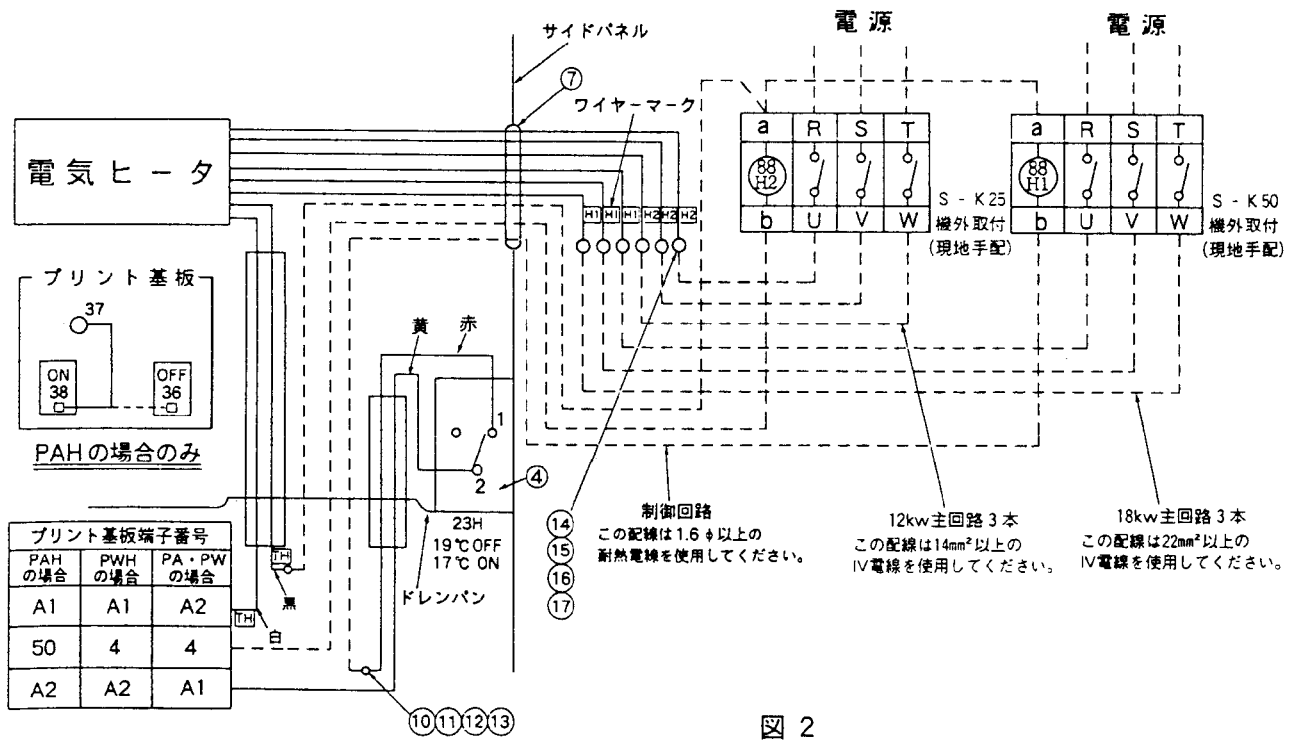


図 2

4. 注意事項

- (1). 別売加湿器 (水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン) と同時組込める場合は, 加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2). 取付完了後, 再度取付状況, 配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3). 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4). エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回, 特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- (5). 運転を停止するときは, 電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
- (6). 品番⑥温度ヒューズは, 電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK17EH

電気ヒータ取付説明書

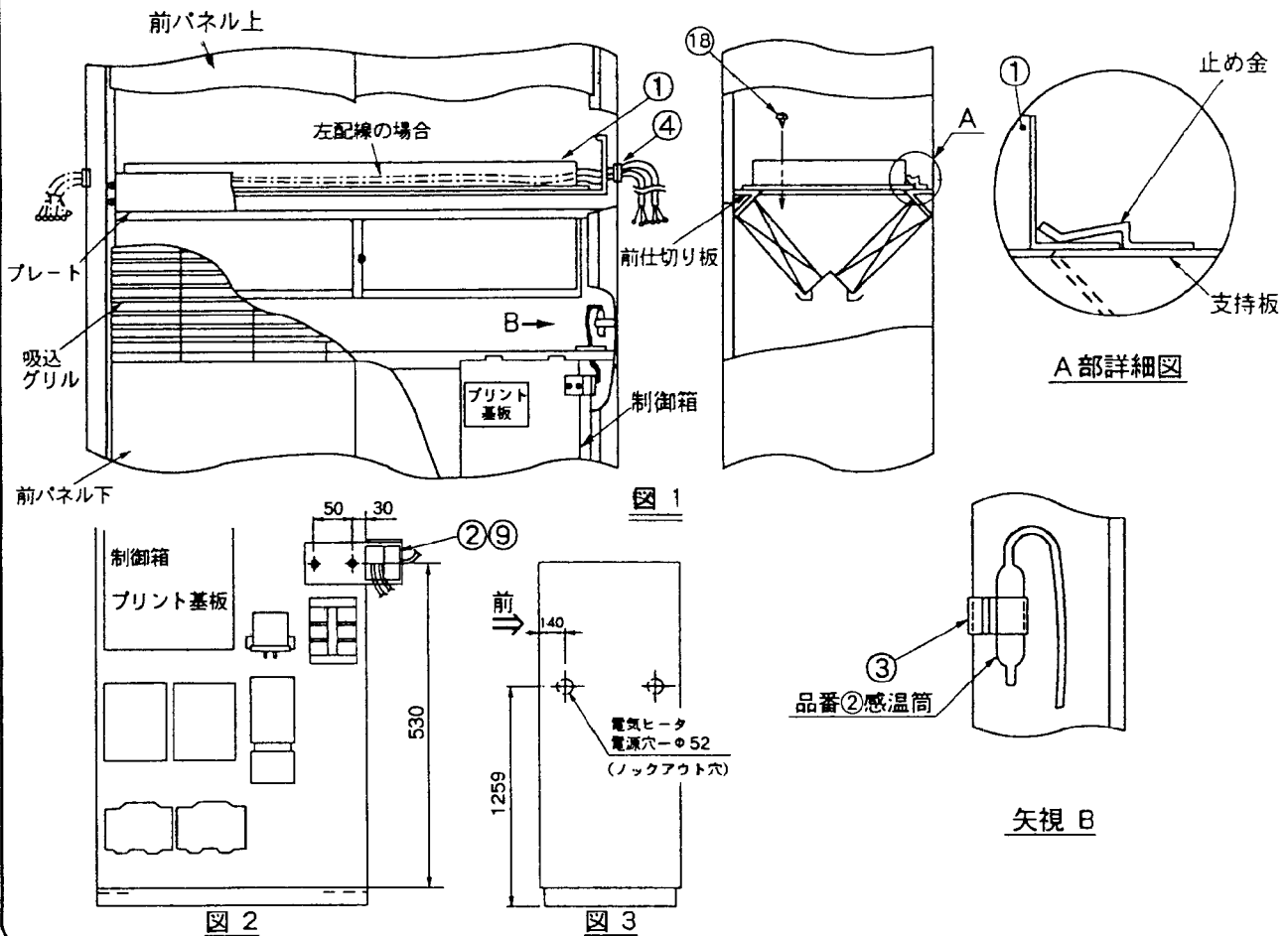
PA(H)-J400DC
PW(H)-J500DC
P-15DC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3Φ 200V 45(27+18)kw	⑫	バネ座金	1	M4
②	温度調節器	1	19℃ OFF, 17℃ ON	⑬	座金	1	M4
③	感温筒固定金具	1		⑭	Pトラスネジ	6	M6×12
④	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑮	ナット	6	M6
⑤	予備温度ヒューズ	4	110℃ 25A	⑯	バネ座金	6	M6
⑥	タブ	2		⑰	座金	6	M6
⑦	閉端接続子	2		⑱	タッピンネジ	3	5×10 (予備1本)
⑧	リード線	1	VSF 0.75 青				
⑨	タッピンネジ	4	4×10 (予備2本)				
⑩	Pトラスネジ	1	M4×12				
⑪	ナット	1	M4				

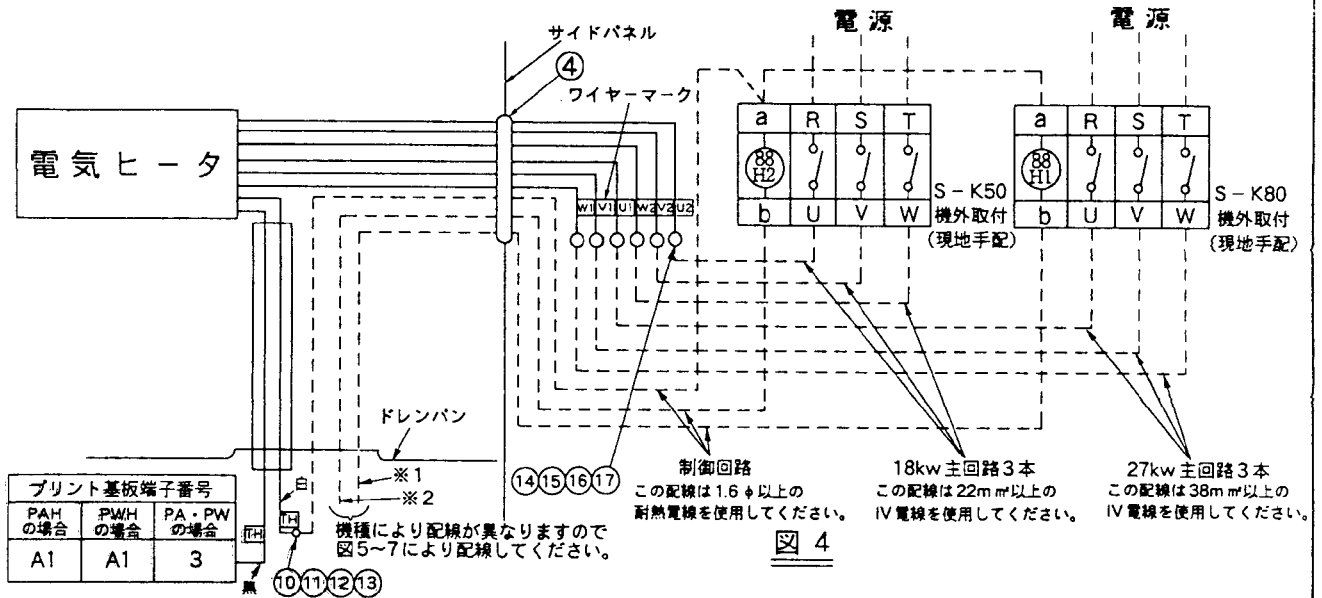
2. 取付要領

- 1). 吸込グリル、前パネル上下 (取付ネジ各2本) 及びプレート (取付ネジ4本) を取外し、図3に示す側面パネルのノックアウト穴 (電源穴) を打ち抜き、ゴムブッシュ④にてプッシングしてください。
- 2). 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組み込み、後方を支持板上の止め金に固定 (図1, A部詳細図) し、手前はネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。 (図1)
- 3). 図1は右配線の場合を示します。左配線の場合は、電気ヒータの方向を変えずに配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- 4). PAH・PWHの場合のみ温度調節器②を制御箱内の所定位置にネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。(図2)
- 5). 温度調節器②の感温筒は、本体ユニット温度調節器感温筒と同じ要領で固定金具③にて、吸込空気温度が検知出来る位置に取付けてください。(図1, 矢視B)

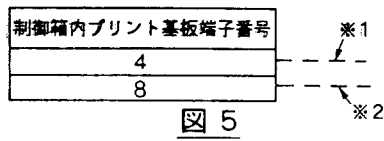


3. 配線要領 [組込む機種により配線が異なりますのでご注意ください。]

- 1). 図4, 図5, 図6, 図7のように配線してください。(破線は現地配線を示します。)
- 2). 電気ヒータからの配線と現地配線との接続は、ネジ及びナット類 (主回路: 品番⑭⑮⑯⑰、制御回路: 品番⑩⑪⑫⑬) で行ない、テープにて絶縁してください。
但し、温度調節器②と現地配線 (図中 ※1, 2) との接続は閉端接続子⑦を使用してください。
- 3). PAH・PWHの場合のみ温度調節器②を図6, 7の様に接続してください。
- 4). 超音波式加湿器と同時組込める場合は、4-2) 項に示す配線の変更が必要です。



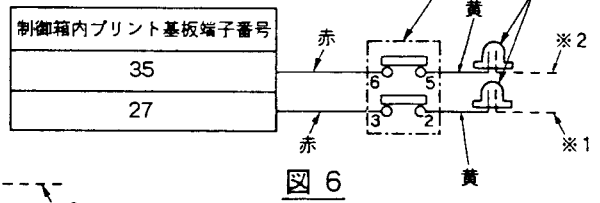
■ PA・PWの場合



■ PWHの場合



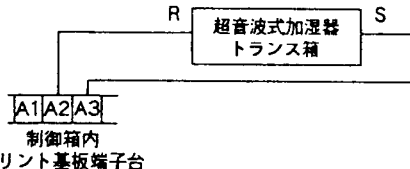
■ PAHの場合



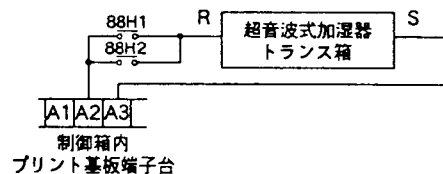
4. 注意事項

- 1). 別売加湿器 (水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン) と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- 2). 超音波式加湿器と同時組込める場合、超音波式加湿器の配線 [現地配線] を図8の様に変更してください。

超音波式加湿器
単体組込の場合



電気ヒータと超音波式加湿器
同時組込の場合



- 3). 別売エリミネータ (PAC-CM33EN) との併用は出来ません。
- 4). 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 5). 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- 6). エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- 7). 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
- 8). 品番⑤温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK18EH

電気ヒータ取付説明書

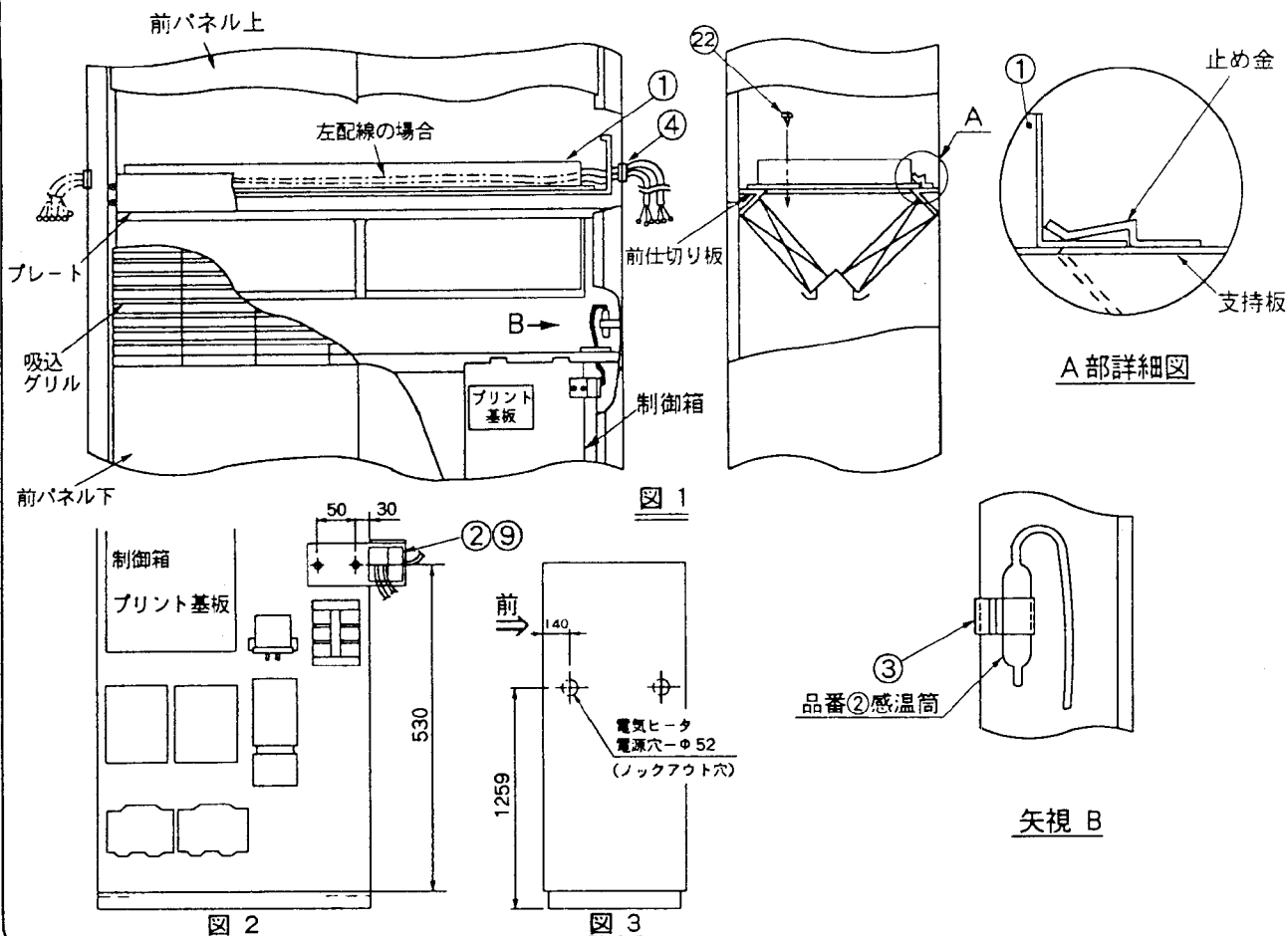
PA(H)-J560DC
PW(H)-J630DC
P-20DC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 60(36+24)kw	⑫	バネ座金	1	M4
②	温度調節器	1	OFF . 17℃ ON . 15℃	⑬	蓋金	1	M4
③	感温筒固定金具	1		⑭	Pトラスネジ	3	M6×12
④	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑮	ナット	3	M6
⑤	予備温度ヒューズ	5	110℃ 25A	⑯	バネ座金	3	M6
⑥	タブ	2		⑰	座金	3	M6
⑦	閉端接続子	2		⑱	Pトラスネジ	3	M8×12
⑧	リード線	1	VSF 0.75 青	⑲	ナット	3	M8
⑨	タッピンネジ	4	4×10 (予備2本)	⑳	バネ座金	3	M8
⑩	Pトラスネジ	1	M4×12	㉑	座金	3	M8
⑪	ナット	1	M4	㉒	タッピンネジ	3	5×10 (予備1本)

2. 取付要領

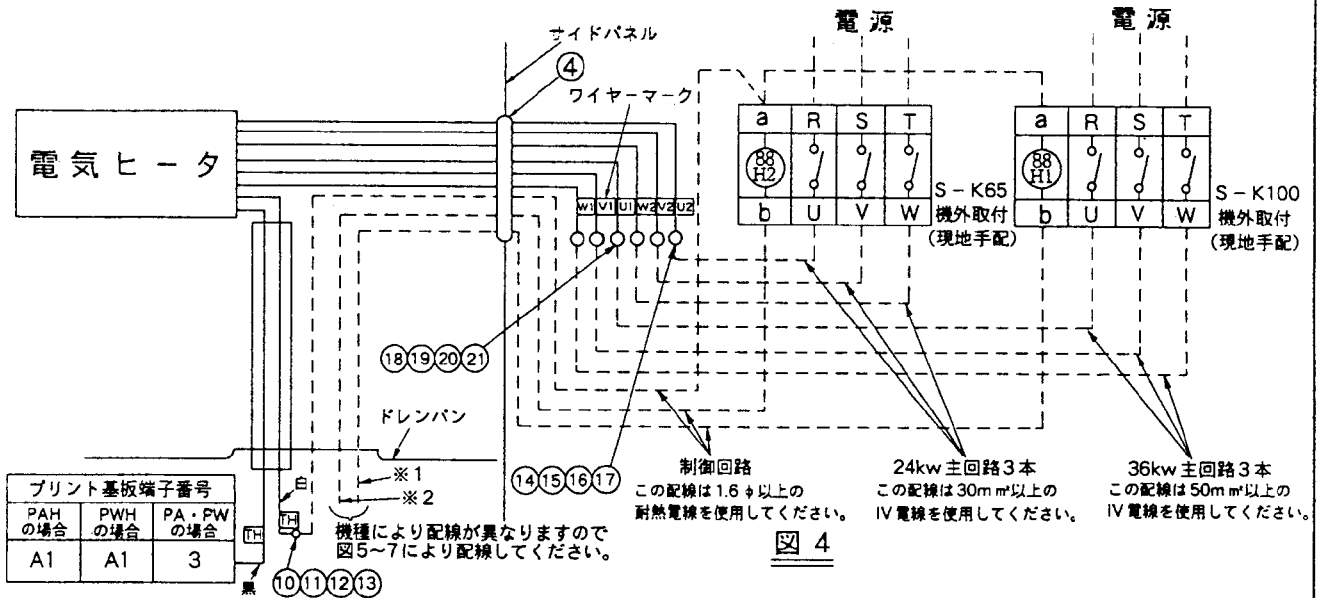
- 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及びプレート（取付ネジ4本）を取外し、図3に示す側面パネルのロックアウト穴（電源穴）を打ち抜き、ゴムブッシュ④にてブッシングしてください。
- 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組み込み、後方を支持板上の止め金に固定（図1、A部詳細図）し、手前はネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。（図1）
- 図1は右配線の場合を示します。左配線の場合は、電気ヒータの方向を変えずに配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- PAH・PWHの場合のみ温度調節器②を制御箱内の所定位置にネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。（図2）
- 温度調節器②の感温筒は、本体ユニット温度調節器感温筒と同じ要領で固定金具③にて、吸込空気温度が検出出来る位置に取付けてください。（図1、矢視B）



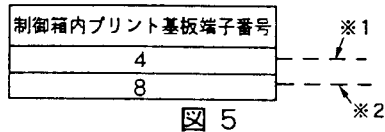
三菱電

3. 配線要領 [粗込む機種により配線が異なりますのでご注意ください。]

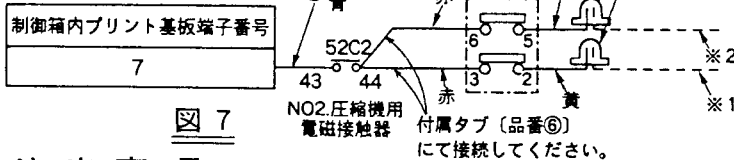
- 1). 図4, 図5, 図6, 図7のように配線してください。(破線は現地配線を示します。)
- 2). 電気ヒータからの配線と現地配線との接続は、ネジ及びナット類 (主回路 U1, V1, W1: 品番 ⑱⑲⑳㉑) 主回路 U2, V2, W2: 品番 ⑭⑮⑯⑰、制御回路: 品番 ⑩⑪⑫⑬) で行ない、テープにて絶縁してください。但し、温度調節器②と現地配線 (図中 ※1, 2) との接続は閉端接続子⑦を使用してください。
- 3). PAH・PWHの場合のみ温度調節器②を図6, 7の様に接続してください。
- 4). 超音波式加湿器と同時組込める場合は、4-2) 項に示す配線の変更が必要です。



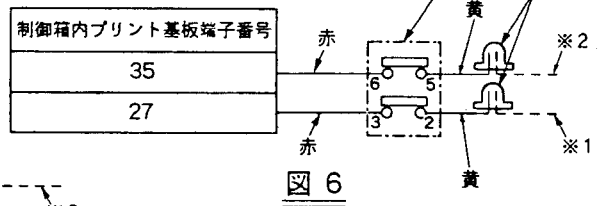
■ PA・PWの場合



■ PWHの場合



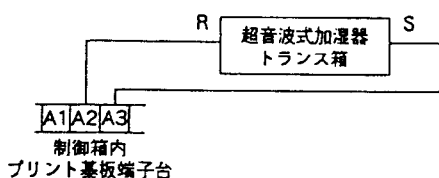
■ PAHの場合



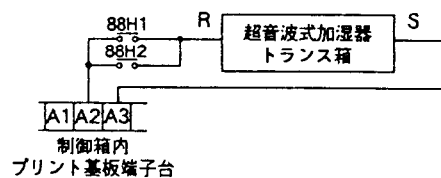
4. 注意事項

- 1). 別売加湿器 (水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン) と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- 2). 超音波式加湿器と同時組込める場合、超音波式加湿器の配線 [現地配線] を図8の様に変更してください。

超音波式加湿器
単体組込の場合



電気ヒータと超音波式加湿器
同時組込の場合



- 3). 別売エリミネータ (PAC-CM34EN) との併用は出来ません。
- 4). 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 5). 別に示す注意書『「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い』による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- 6). エアフィルターは常にきれいに使用してください。洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- 7). 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
- 8). 品番⑤温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI

超音波式加湿器取付説明書

PAC-CM17・18CH
 …P-5・J140・J160DC(-H)
 P-8・J200・J250DC(-H)
 P-10・J280・J315DC(-H)
 PAC-CM19CH
 …P-8・J200・J250DC(-H)
 P-10・J280・J315DC(-H)
 PAC-CM20CH
 …P-10・J280・J315DC(-H)

1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	備 考	個 数		
			PAC-CM17・18CH	PAC-CM19CH	PAC-CM20CH
1	加湿器	接続コード付き	1	1	1
2	トランス箱		1	1	1
3	ディフューザ	後吸込タイプ時使用(パネル口等)	1組	1組	1組
4	給水軟銅管	φ6(リングナット・真鍮リング各2個付き)	1	1	1
5	給水ストレーナ	T型・給水接続手兼用 1/2B	1	1	1
6	加湿器取付板	ゴム吸着足付き	2	2	2
7	加湿器取付ネジ	M6×12(予備1)	5	5	5
8	トランス箱取付ネジ	M5×20 ナット・座金付(予備1)	5	5	5
9	モータカバー	PA(H)-5DC用	1	—	—
10	モータカバー	PA(H)-8DC用	1	1	—
11	モータカバー	PA(H)-10DC用	1	1	1
12	モータカバー	PA(H)-5DC-H用	1	—	—
13	モータカバー	PA(H)-8・10DC-H用	1	1	1
14	モータカバー取付ネジ	4×10(予備)	3	3	3
15	グロメット		2	2	2
16	予備ヒューズ	トランス箱内	2	2	2
17	取扱説明書		1	1	1

●加湿器本体

The drawing shows the humidifier unit with dimensions: L (length), P (width), 140 (height), 120 (height), 157 (height), 25, 58, 17, 37, 67, 26, 20, 13, and 18. Callouts a through f and 4, 5, 18 point to specific components. A side view shows the air inlet (風入口) and air outlet (風出口).

	加湿器型番	加湿器本体寸法(mm)	
		L	P
PAC-CM17CH	WM-ENS2400MO	340	240
PAC-CM18CH	WM-ENS3600MO	460	360
PAC-CM19CH	WM-ENS4800MO	580	480
PAC-CM20CH	WM-ENS6000MO	700	600

部番	部品名称
a	コントロール水槽
b	霧化水槽
c	エリミネータ
d	接続コード
e	コードクリップ
f	オーバフロー管
g	排水管
4	給水軟銅管
5	給水ストレーナ
18	給水サービス井 (現地手配)

2. 取付要領

- 1) エアコンの吸込グリル、前パネル上下を取り外してください。
- 2) 加湿器取付

1. 加湿器①に加湿器取付板②を固定します。(M6ネジ4本⑦)
2. 加湿器を図1のようにドレンパン上に、左右ほぼ中央の位置に置いてください。

(所定以外の位置に設置しますと、送風機用電動機の巻線部、別売電気ヒータの充電部が絶縁不良を
起こす危険があります。)

注：後吸込タイプの場合（吸込ダクトフランジ PAC-CP01 ～ 05DF 組込時）は、加湿器①を加湿器取付板②
に逆向きに固定し、ディフューザ③を必ず取り付けてください。

●ディフューザ③取付(後吸込タイプのみ)

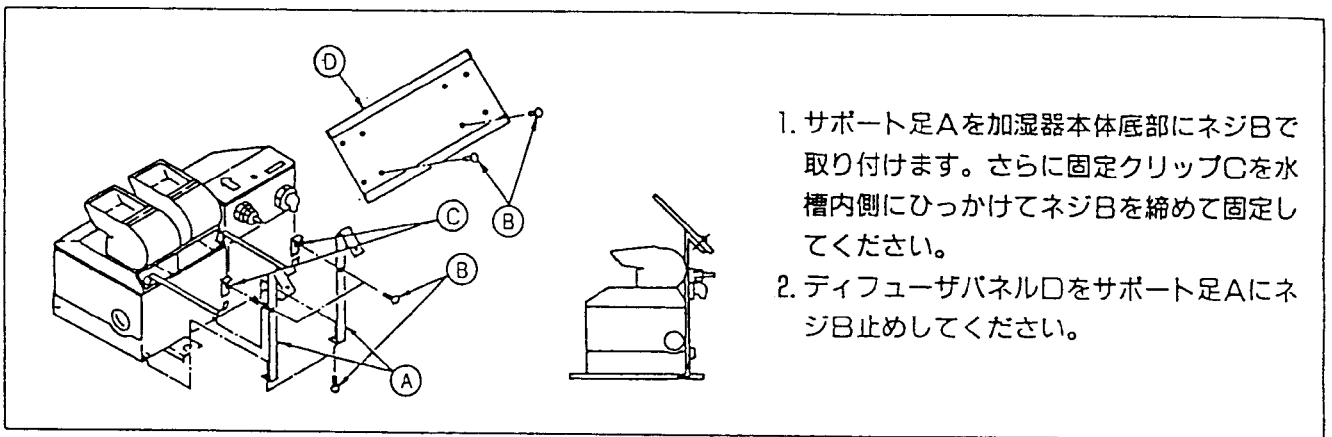
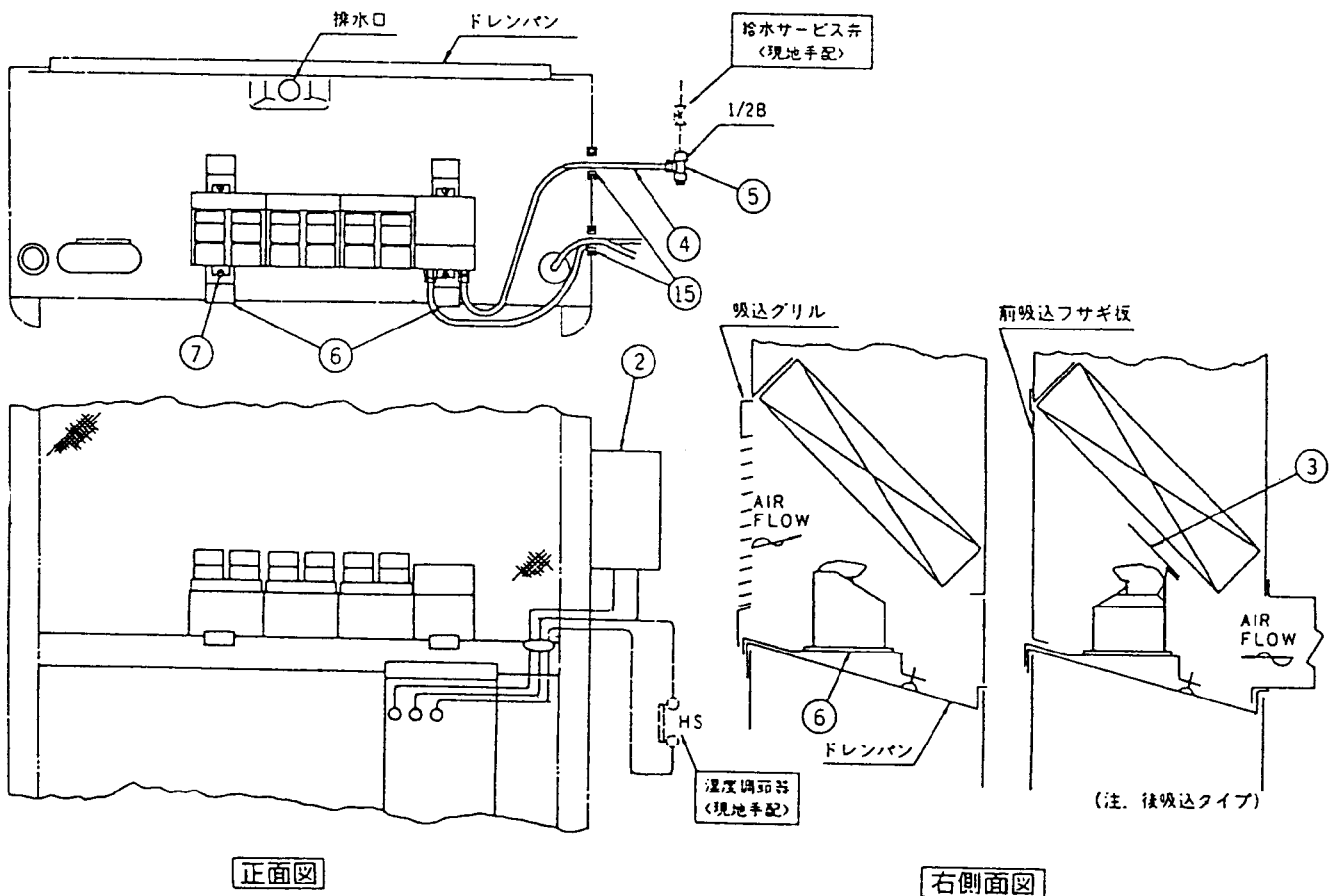
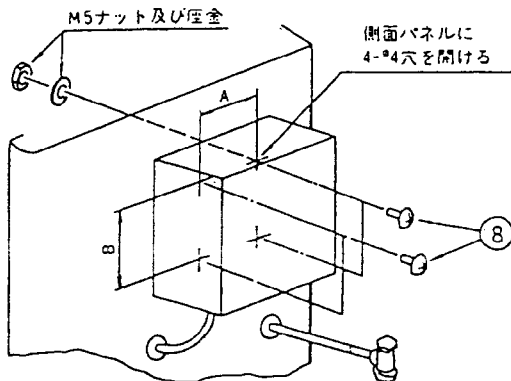


図1



4) トランス箱取付

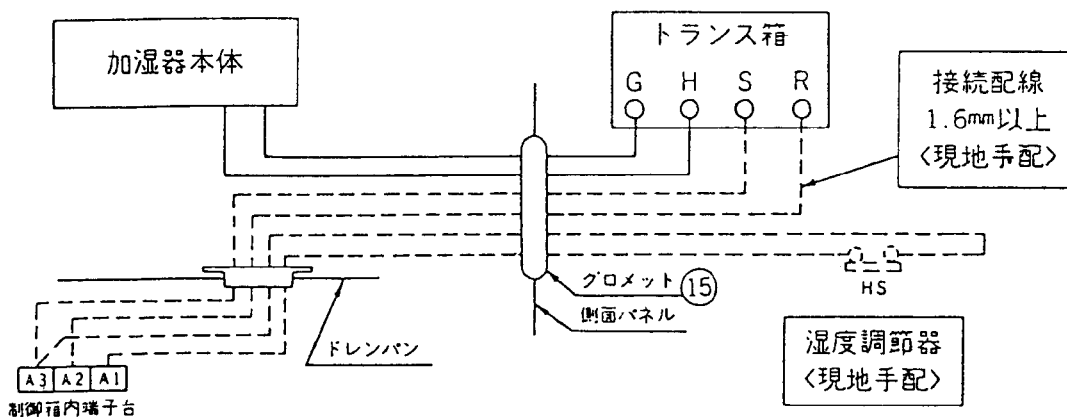
図2



トランス箱②はユニット側面にネジ止めしてください。(M5ネジ4本⑧)

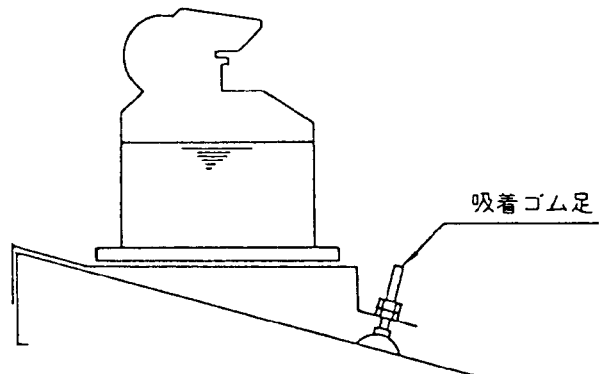
	A	B
PAC-CM17・18CH	110	130
PAC-CM19・20CH	130	160

5) 電気配線要領

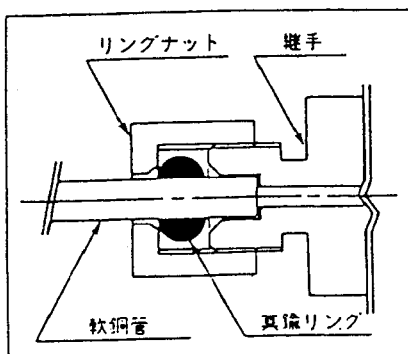


6) 給水配管

1. 給水配管系には必ずサービス弁⑩を設けてください。
2. 加湿器への給水は、公共の水道管から直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可のもの)をご使用ください。
3. 給水ストレーナ⑨はT型で給水接続手兼用となっています。給水ストレーナ⑨を給水配管に取り付け、加湿器本体①との間を給水軟銅管④で接続してください。(下図の給水軟銅管の接続を参照してください。)
4. 加湿器取付板⑥を浮かし、吸着ゴム足の高さを調整し、本体が水平になるようにしてください。



使用範囲 給水水温 5℃～40℃
水 圧 0.02～0.5MPa
(0.2～5.0kg/cm²)



●給水軟銅管の接続

- I. 軟銅管の一方の端にリングナットおよび真鍮リングをいれます。
- II. 付属の給水ストレーナの継手部に軟銅管を奥まで挿入し、リングナットをスパナで締めつけ、半月リングを軟銅管にくい込ませます。
- III. 軟銅管の加湿器本体側についても同様に取付けます。

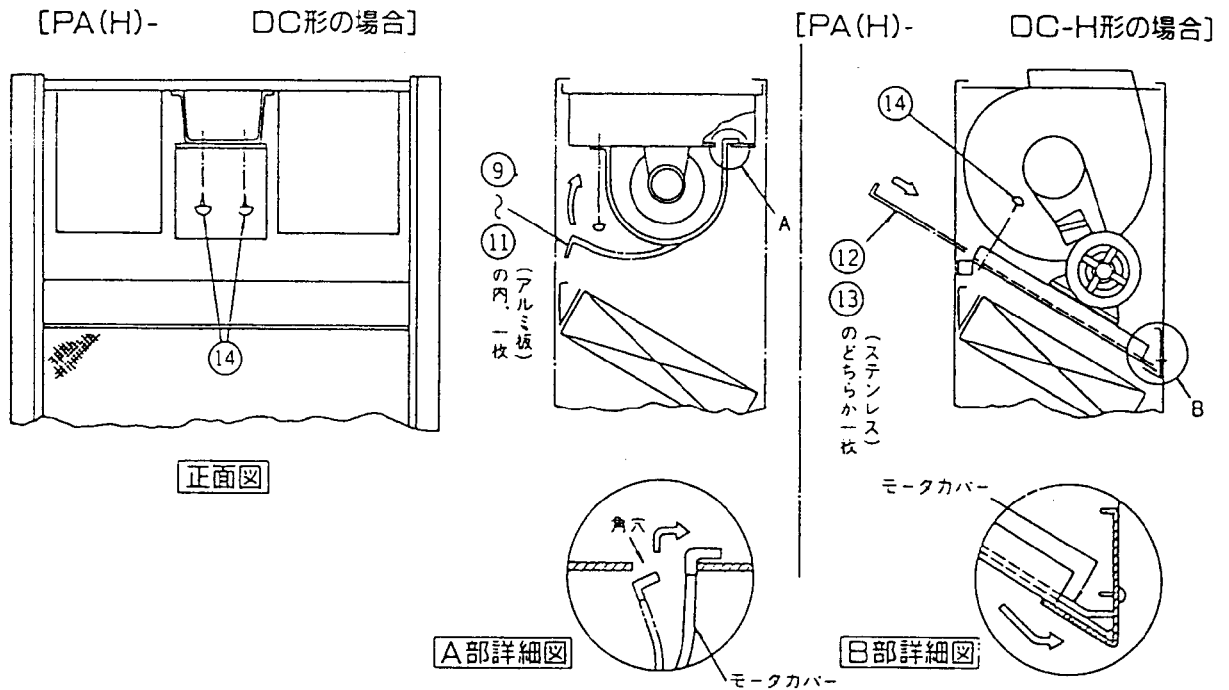
(注)加湿器本体の継手に接続するときは、必ずモンキーレンチ(125mm程度)2本を使用してください。1本のモンキーレンチで加湿器側継手を固定し、もう1本でリングナットを締め付けます。(締め付トルク100kgfcm程度)モンキーレンチ1本で締め付けますと、電磁弁の固定樹脂板が破損します。

7) モータカバー取付

1. モータカバー (⑨~⑬の内、1枚) を図3のようにとりつけてネジ止めしてください。
(4×10ネジ4本⑭)

(モータカバーは、エアコンの形名に合わせて選んでください。)

図3



3. 試運転

1. 給水サービス弁を開けて通水してください。
 2. エアコンの操作スイッチを暖房にセットしてください。
 3. トランス箱のスイッチをいれてください。電源が入り、まず給水が始まり、正常水位になれば霧化が始まります。
- ※エリミネータ全てから霧が発生していることを確認してください。
- ※加湿器本体の水槽内水位は、フロートスイッチと電磁弁により一定に保たれています。オーバフロー管からの流水のないことを確認してください。

4. 清掃・点検

付属の取扱説明書に従い、保守点検してください。

《お願い》

取り付け終了後、この取付説明書は取扱説明書とともに、必ずお客様にお渡しください。

MITSUBISHI

超音波式加湿器取付説明書

三菱パッケージエアコン別売部品

PAC-CM21CH

…P-15・J400・J500DC

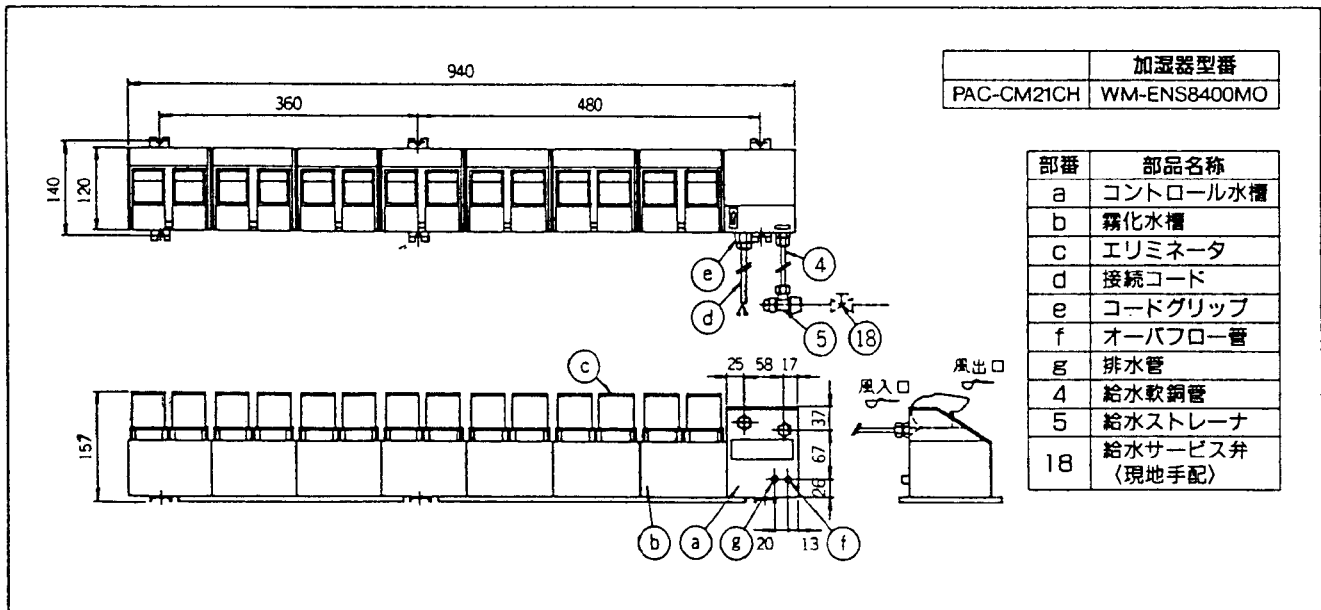
P-20・J560・J630DC

1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

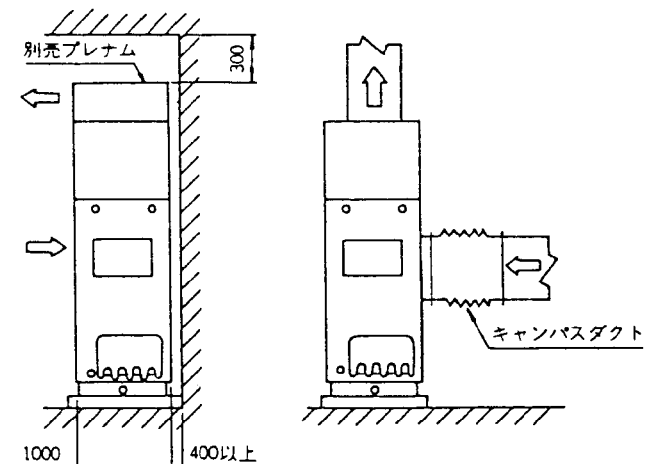
品番	品 名	備 考	個数
1	加湿器	接続コード付き	1
2	トランス箱		1
3	ディフューザ	サポート足・固定クリップ・パネル・ネジ	1組
4	給水軟銅管	φ6 (リングナット・真鍮リング各2個付き)	1
5	給水ストレーナ	T型・給水接続手兼用 1/2B	1
6	加湿器取付板	ゴム吸着足付き	3
7	固定板		1
8	加湿器取付ネジ	M6×12 (予備) 1)	8
9	トランス箱取付ネジ	M5×20ナット・座金付 (予備) 1)	5
10	オーバーフローホース		1
11	クロメット		2
12	予備ヒューズ	トランス箱内	2
13	取扱説明書		1

●加湿器本体



●ご注意

この加湿器は、後吸込口から保守点検をしていただきますので、後面側のサービススペースは必ず400mm以上確保してください。また、別売後吸込ダクトフランジ (PAC-CN 04・05DF) 組み込み時は、必ずキャンバダクトを取り外せるようにしてください。



2. 取付要領

1) エアコンの吸込グリル、前パネル下を取り外してください。

注：加湿器の取付けは、後吸込口よりおこないます。後吸込タイプの場合（吸込ダクトフランジ PAC-CP04 05DF 組込時）は、後吸込口のキャンバスダクトを取り外してください。

2) 加湿器取付

1. 加湿器①に加湿器取付板⑥を固定します。（M6ネジ6本⑧）
2. 加湿器①にディフューザ③を必ず取り付けてください。
3. 中央の加湿器取付板⑥に固定板⑦を取り付けてください。（M6ネジ1本⑧）
4. 加湿器を図1のようにドレンパン上に、指定寸法の位置に置いてください。
5. オーバフローホース⑩を加湿器①に取り付けてください。

●ディフューザ③取付

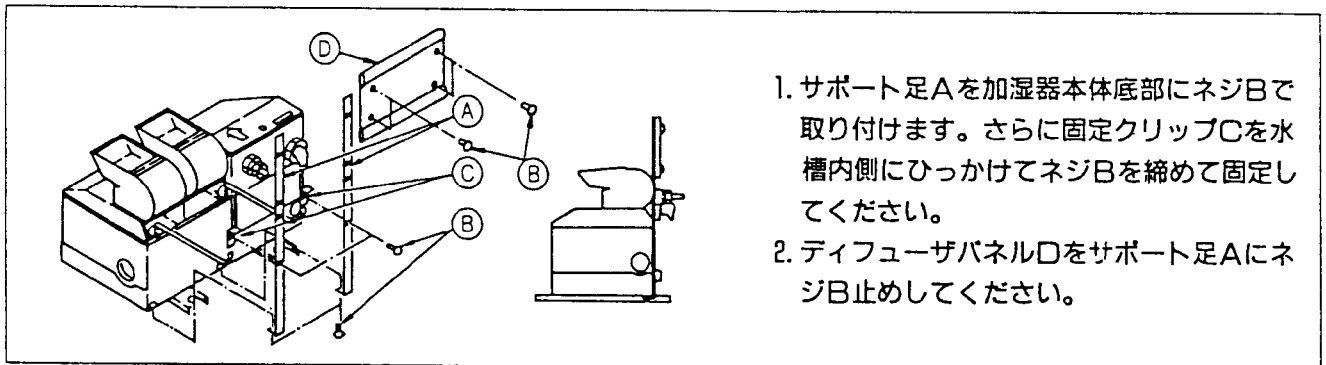
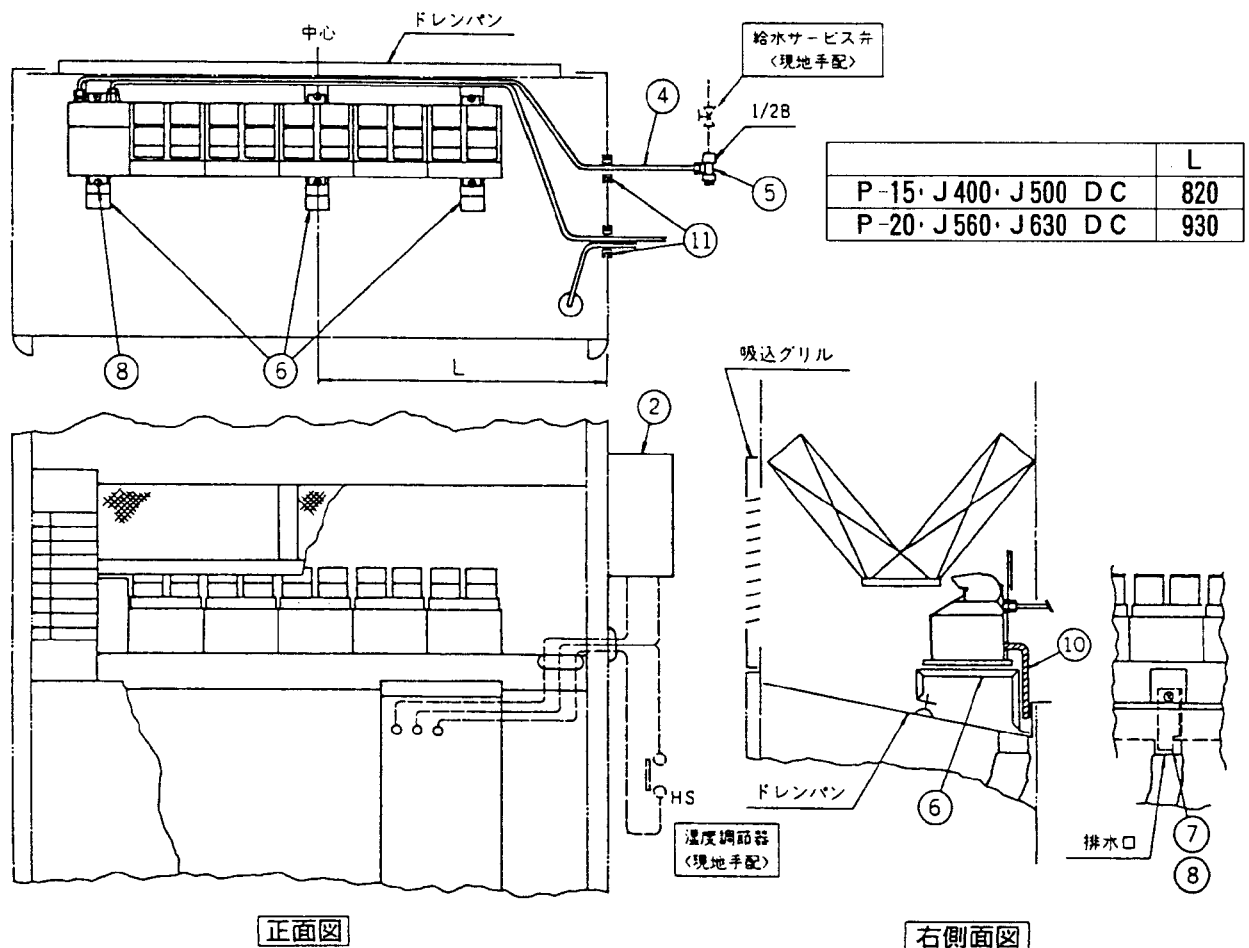
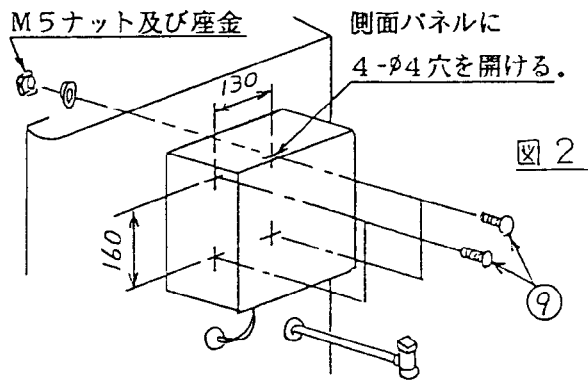


図1



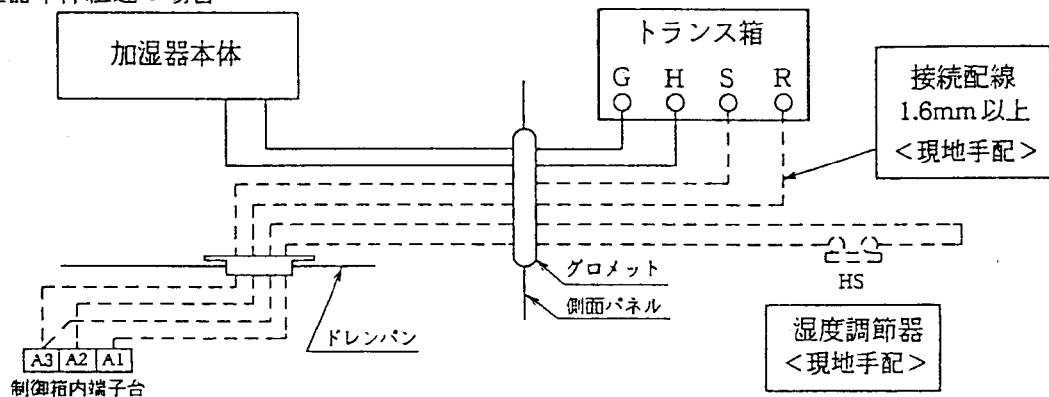
4) トランス箱取付



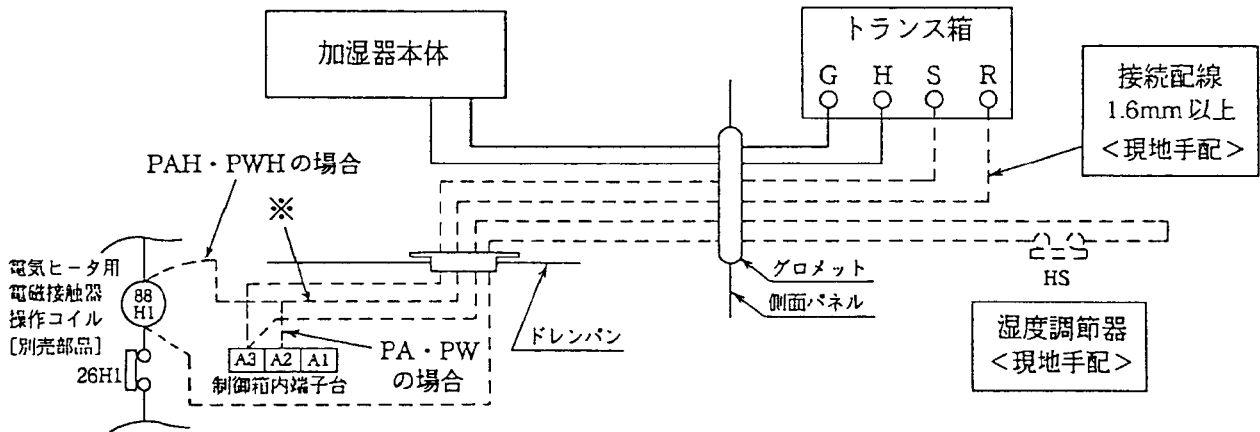
トランス箱②はユニット側面にネジ止めしてください。(M5ネジ4本⑨)

5) 電気配線要領

●加湿器単体組込の場合

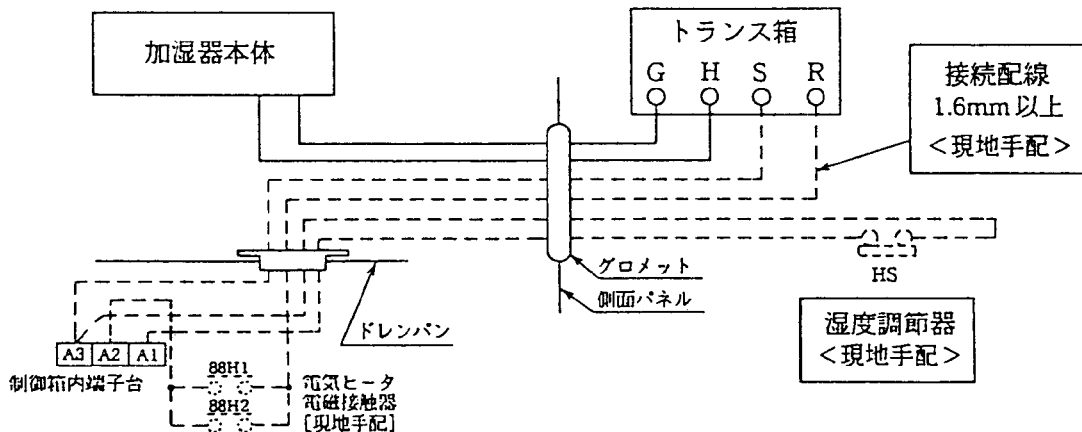


●別売小容量電気ヒータ [PAC-CK09,10EH] と同時組込の場合



注. ※印の配線は、組込む本体の機種により配線が異なりますのでご注意ください。

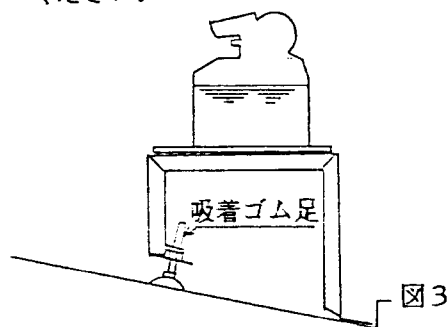
●別売大容量電気ヒータ [PAC-CK17,18EH] と同時組込の場合



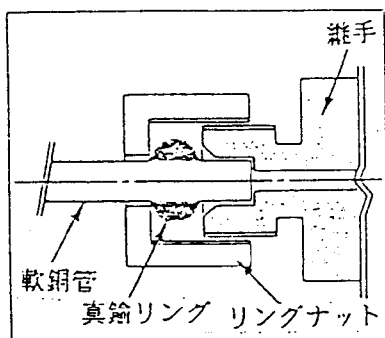
6) 給水配管

1. 給水配管系には必ずサービス弁⑩を設けてください。
2. 加湿器への給水は、公共の水道管から直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可のもの）をご使用ください。
3. 給水ストレーナ⑨はT型で給水接続手兼用となっています。給水ストレーナ⑨を給水配管に取り付け、加湿器本体①との間を給水軟銅管④で接続してください。（下図の給水軟銅管の接続を参照してください。）

4. 加湿器取付板⑥を浮かし、吸着ゴム足の高さを調整し、本体が水平になるようにしてください。



使用範囲	給水水温	5℃～40℃
	水圧	0.02～0.5MPa (0.2～5.0kg/cm ²)



給水軟銅管の接続

- I. 軟銅管の一方の端にリングナットおよび真鍮リングをいれます。
- II. 付属の給水ストレーナの継手部に軟銅管を奥まで挿入し、リングナットをスパナで締めつけ、半月リングを軟銅管に食い込ませます。
- III. 軟銅管の加湿器本体側についても同様に取付けます。

(注) 加湿器本体の継手に接続するときは、必ずモンキーレンチ(125mm程度) 2本を使用してください。1本のモンキーレンチで加湿器側継手を固定し、もう1本でリングナットを締付けます。(締付トルク100kgfcm程度) モンキーレンチ1本で締付けますと、電磁弁の固定樹脂板が破損します。

3. 試運転

1. 給水サービス弁を開けて通水してください。
2. エアコンの操作スイッチを暖房にセットしてください。
3. トランス箱のスイッチをいれてください。電源が入り、まず給水が始まり、正常水位になれば霧化が始まります。
 - * エリミネータ全てから霧が発生していることを確認してください。
 - * 加湿器本体の水槽内水位は、フロートスイッチと電磁弁により一定に保たれています。オーバーフロー管からの流水のないことを確認してください。

4. 清掃・点検

付属の取扱説明書に従い、後吸込口から加湿器本体を取り出して、保守・点検してください。

お願い

取り付け終了後、この取付説明書は取扱説明書とともに、必ずお客様にお渡しください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CL30SS

蒸気スプレー取付説明書

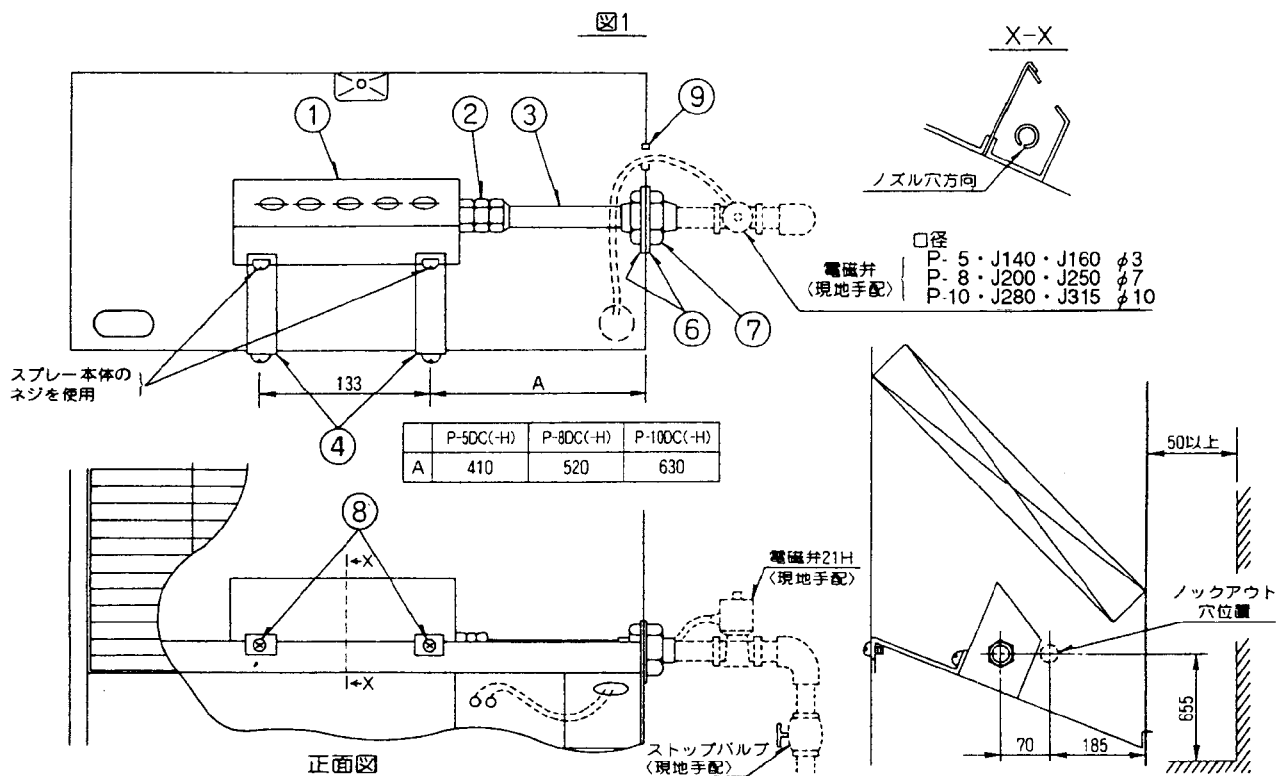
P-5・J140・J160DC(-H)
P-8・J200・J250DC(-H)
P-10・J280・J315DC(-H)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	スプレー本体	1		⑥	パッキン	2	
②	ツギテ	1		⑦	ナット	1	
③	ツナギ管	3	長P-10DC, 中P-8DC, 短P-5DC	⑧	取付ネジ	5	支持板2. モータカバー2. (予備1)
④	支持板	2		⑨	グロメット	1	
⑤	モータカバー	5	形名印字				

2. 取付要領

- 1) エアコンの吸込グリル、前パネル上下をとりはずしてください。
 - 2) スプレー本体の取付け
 1. スプレー本体①のノズル穴が下向きになっていることを確認してください。
 2. スプレー本体①に、ツギテ②、ツナギ管③を取付けてください。
(ツナギ管③は、形名に合わせて選んでください。〈長:P-10DC, 中:P-8DC, 短:P-5DC〉)
 3. 側面パネルのノックアウト穴を打ち抜き、図示要領(図1)で蒸気スプレーを取り付けてください。
- 注1. 各部の締めつけは必ずダブルスパナで行ってください。
2. ナット⑦締め付け部にはパネルへの伝熱防止のため必ずパッキン⑥をはさんでください。
 3. PTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。



3) モータカバーの取付け

1. モータカバー⑤をエアコンの形名に合わせて選んでください。
2. 1.のモータカバーを図2のように取り付けてネジ⑧止めしてください。

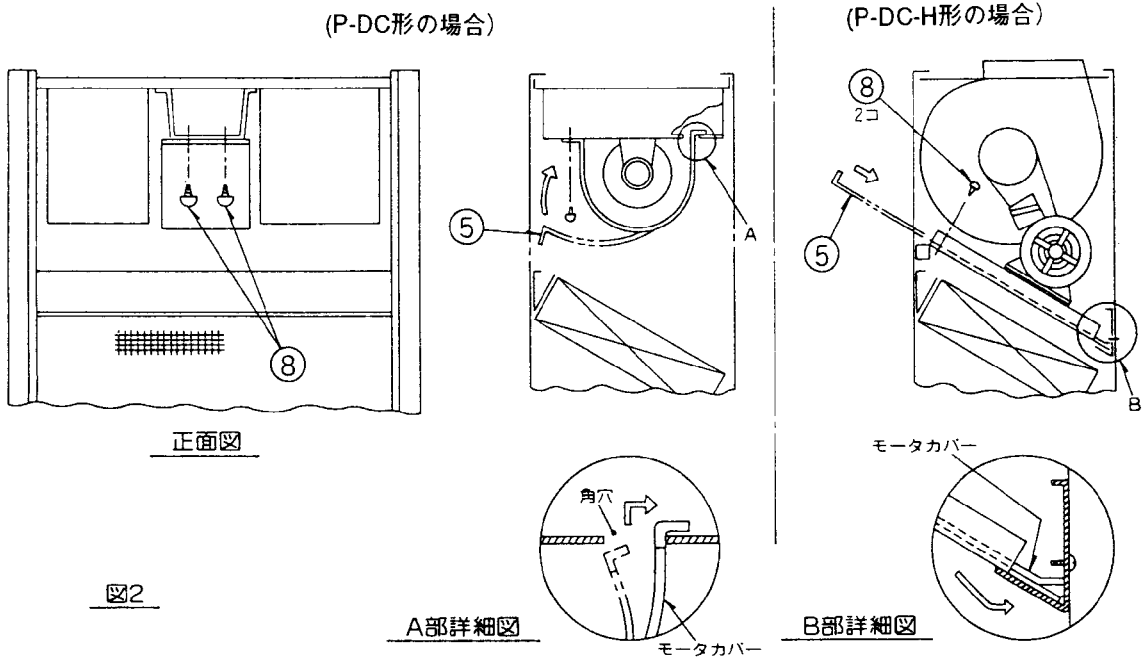
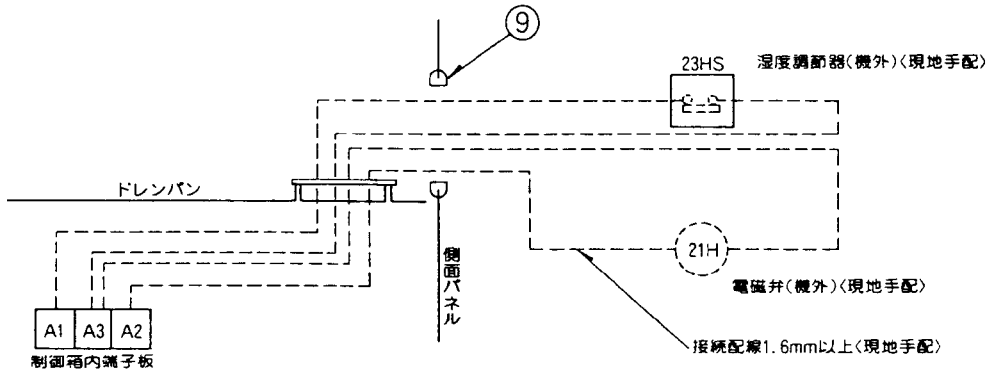


図2

3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



お願い

1. ストップバルブ、電磁弁21H(または塞止弁)は必ず設けてください。
電磁弁21Hの口径は下表より選定してください。

	電磁弁口径
P-5・J140・J160	φ3
P-8・J200・J250	φ7
P-10・J280・J315	φ10

使用範囲
蒸気圧力 0.02 ~ 0.12MPa
(0.2~1.2kg/cm³)

2. 長期休止時には、蒸気スプレー内を点検し、汚れがひどい場合には分解し、掃除してください。
3. エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。

蒸気スプレー取付説明書

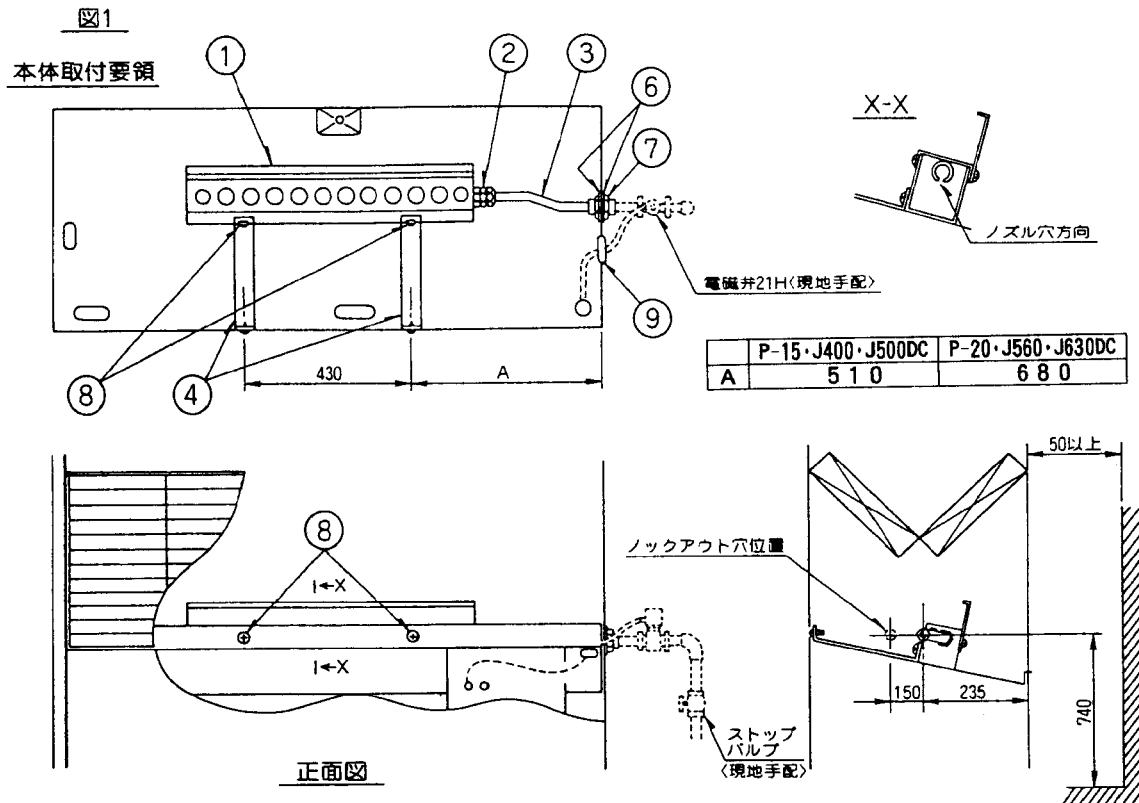
PAC-CL33SS
 ...P-15・J400・J500DC
 PAC-CL34SS
 ...P-20・J560・J630DC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

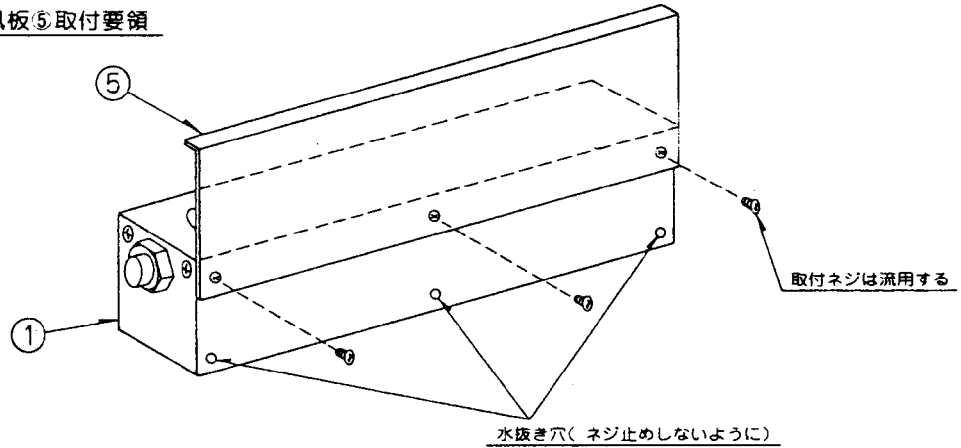
品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	スプレー本体	1		⑥	パッキン	2	
②	ツギテ	1		⑦	ナット	1	
③	ツナギ管	1		⑧	取付ネジ	5 (予備1)	
④	支持板	2		⑨	グロメット	1	
⑤	導風板	1					

2. 取付要領

- 1) エアコンの吸込グリル、前パネル下をとりはずしてください。
 - 2) スプレー本体の取付け
 1. スプレー本体①のノズル穴が下向きになっていることを確認してください。
 2. スプレー本体①に導風板⑤を本体のネジを流用して取り付けてください。
 3. 側面パネルのノックアウト穴を打ち抜き、図示要領(図1)で蒸気スプレーを取り付けてください。
- 注1. 各部の締めつけは必ずダブルスパナで行ってください。
2. ナット⑦締め付け部にはパネルへの伝熱防止のため必ずパッキン⑥をはさんでください。
 3. PTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。

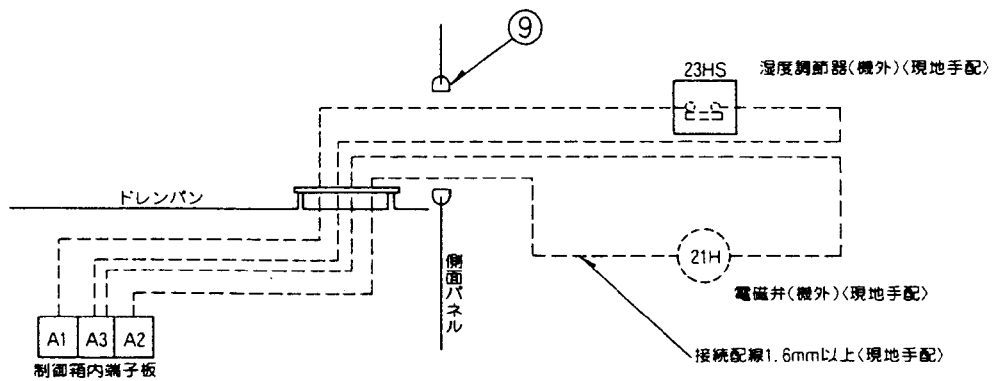


導風板⑤取付要領



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



お願い

1. ストップバルブ、電磁弁21H(または塞止弁)は必ず設けてください。

電磁弁21Hの口径は下表より選定してください。

	電磁弁口径
PAC-CL33SS	φ 10
PAC-CL34SS	φ 10

使用範囲 蒸気圧力 0.02~0.12MPa
(0.2~1.2kg/cm²)

2. この加湿器と別売電気ヒータ(PAC-CK 09・10・17・18EH)との同時組み込みは、できません。
3. 長期休止時には、蒸気スプレー内を点検し、汚れがひどい場合には分解し、掃除してください。
4. エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品

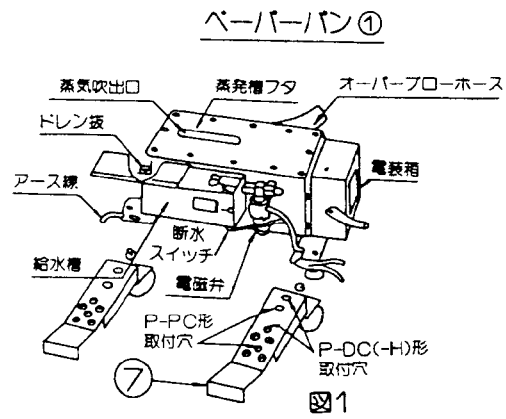
ペーパーパン取付説明書

PAC-CM04VP
 …P-5・J140・J160DC(-H), PC
 PAC-CM05VP
 …P-8・J200・J250DC(-H), PC
 P-10・J280・J315DC(-H), PC

1. 部品

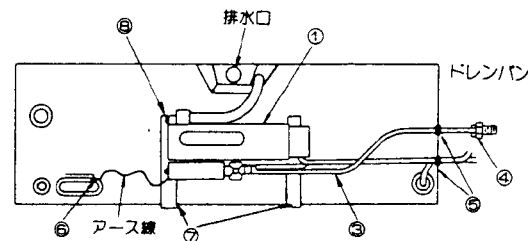
この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考
①	ペーパーパン	1	3φ200V
②	コントロールボックス	1	
③	両端フレアナット付銅管	1	φ6, 900mm
④	ハーフユニオン(ストレナー付)	1	1/4"-20UNF×PT1/2
⑤	グロメット	2	
⑥	コントロールボックス取付ビス	5	4ネジ(アース用1)
⑦	取付板	2	
⑧	ペーパーパン取付ネジ	5	M4ネジ(予備1)

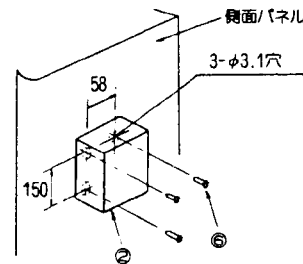


2. 取付要領

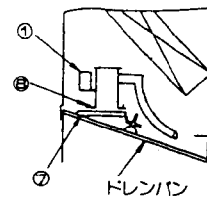
- 1) 本体の吸込グリル、前パネル(下)を取りはずします。
- 2) ペーパーパン①に取付板⑦を固定します。(M4ネジ4本⑧)…組み込む機種により取付穴位置が異なります。(図1)
- 3) ペーパーパンを図2のようにドレンパン上に左右ほぼ中央の位置に置きオーバーブローホースをドレンパン排水口の近くへ導いてください。図2は右配管の場合を示しますが、左配管の場合は、銅管③を曲げて、左側面パネルより配管してください。
- 4) コントロールボックス②を側面パネルに取りつけてください。
- 5) 次に配線、配管の順で作業を行ない、最後に試運転を行ないます。



正面図



穴は現物あわせであけてください

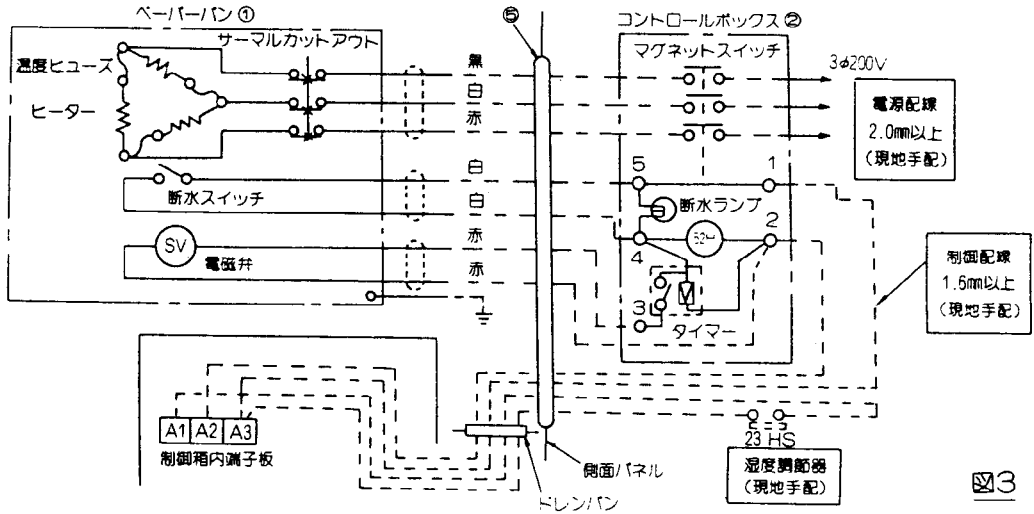


右側面図

図2

3. 配線要領

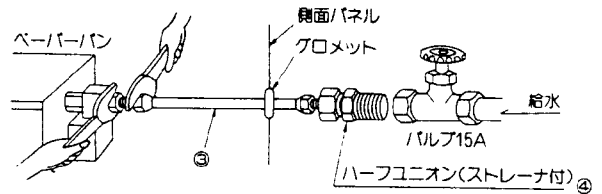
このペーパーパンはマグネットスイッチ等を納めたコントロールボックスがペーパーパンと分離していますので、図3の要領で配線してください。



4. 配管要領

- 1) 付属ストレーナ付ハーフユニオン④を使用して図4のように配管してください。
- 2) 給水槽内のフロート押えスチロールをとりさってください。
- 3) 吸着ゴム足を浮かし、調整ネジをまわしてゴム足の高さを調整し図5のようにペーパーパンを水平になるようにしてください。

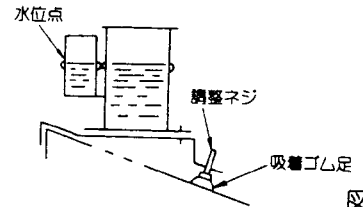
使用範囲	補給水温	0℃～80℃	水質が悪い(総硬度100ppm以上)のところは軟水器を御使用下さい。
	水圧	0.03～0.5MPa (0.3～5.0kg/cm ²)	



水道法で上水道との連結は禁止、受水槽など介して接続のこと。

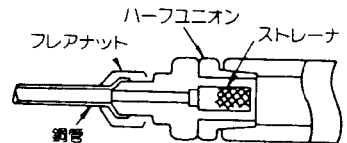
5. 試運転要領

- 1) エアコンの操作スイッチを暖房にセットすると運転を開始します。
- 2) ペーパーパンの蒸気吹出口から蒸気が出るか確認してください。(5～10分くらいかかります)

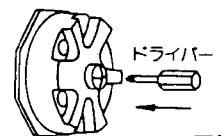


6. 掃除・点検

- 1) このペーパーパンは加湿運転が合計5時間に達すると、自動的にオーバーフローし、濃縮された水を排出させスケールの発生を抑制させております。しかしスケールの付着は完全にはありません。この為、1シーズン(1400時間位)に1回は蒸発槽のフタをあけてスケールを排出してください。
- 2) 長期にわたり使用しない場合は水を抜いてください。
- 3) 給水パイプから水が出なくなったり、水の出が悪くなった場合は図6の要領でストレーナを清掃してください。
- 4) ペーパーパンが作動しなくなった場合は、電装箱をあけて温度過昇防止装置(サーマルカットアウト)を調べてください。動いているとリセットボタン(青色)が少し飛び出しています。(2～3mm)、異常を確認し正常にした後にドライバーの先でリセットボタンを強く押し込みリセットしてください。(図7)



フレアナットをゆるめパイプをはずし、ハーフユニオンにはめ込まれているストレーナを取り出して水洗いします。



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 ベーパーパン取付説明書

PAC-CM06VP
 ...P-15・J400・J500DC
 P-20・J560・J630DC

1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	ベーパーパン	1	3φ200V 6KW	⑥	グロメット	2	
②	コントロールボックス	1		⑦	ベーパーパン取付台	2	
③	両端フレアナット付銅管	1	φ6 1500mm	⑧	ガイド板	1	
④	ハーフユニオン(ストレナー付)	1	7/16-20UNFXPT1/2	⑨	コントロールボックス取付ネジ	4	4ネジ(アース用1)
⑤	取付板、ガイド板、取付ネジ	5	M4ネジ(予備1)				

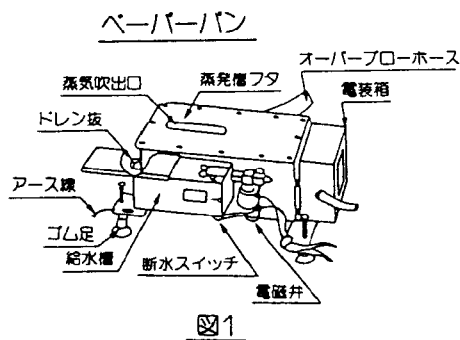


図1

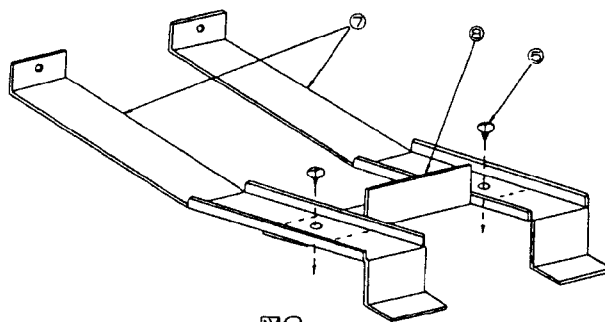
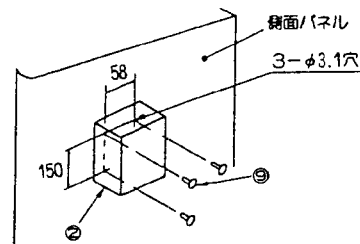
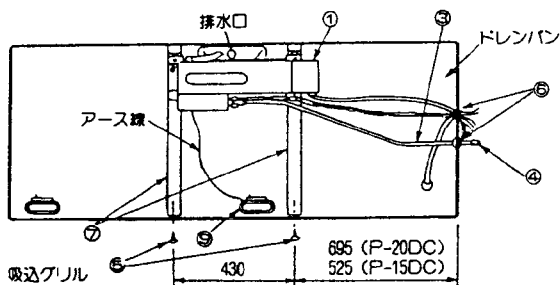


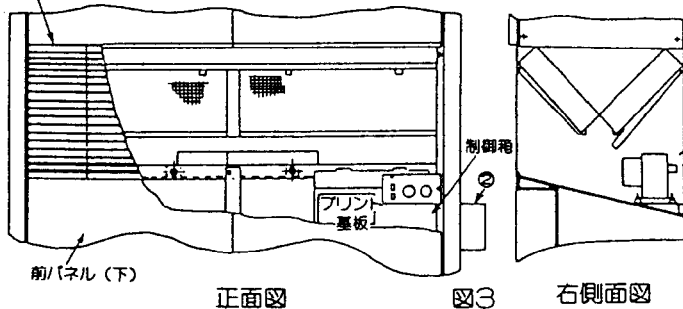
図2

2. 取付要領

- 1) 本体の吸収グリル、前パネル(下)を取はずします。
- 2) 取付台⑦を図2のように組立てた後、図3のようにドレンパン上に取付けてください。
この時、オープンブローホースは、ドレンパン排水口の近くへ導いてください。
※図3は右配管の場合を示しますが、左配管の場合は銅管③を曲げて、左配管パネルより配管してください。
- 4) コントロールボックス②を側面パネルに取付けてください。(取ネジ⑨3本)
- 5) 次に、配線、配管の順で作業を行ない、最後に試運転を行ないます。



穴は現物あわせで取付けてください



正面図

図3

右側面図

3. 配線要領

このペーパーパンはマグネットスイッチ等を納めたコントロールボックスがペーパーパンと分離していますので、図4の要領で配線してください。

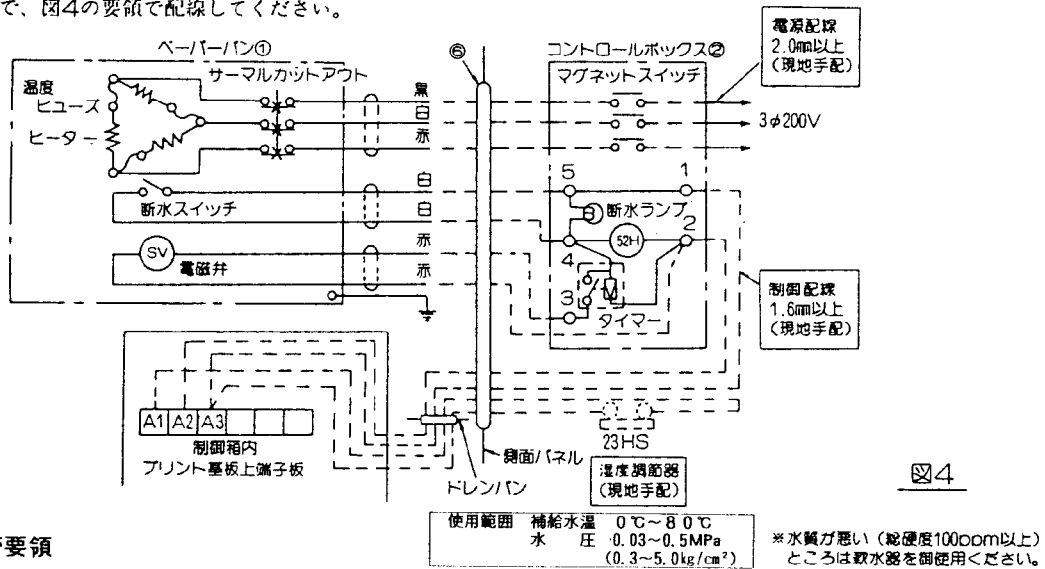
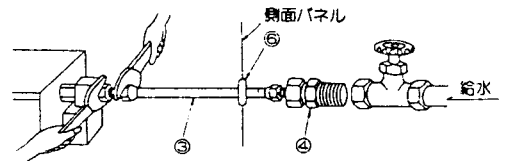


図4

4. 配管要領

- 1) ペーパーパンの継手にかぶせているビニールキャップをはずし、付属の両端フレアナット付銅管③、ストレーナ付ハーフユニオン④を使用して、図5のように配管してください。
- 2) 給水槽内のフロート押えスチロールをとりさってください。
- 3) 吸着ゴム足の調整ネジをまわしてゴム足の高さを調整し、図6のようにペーパーパンが水平になるようにしてください。



水道法で上水道との連絡は禁止、受水槽など介して接続のこと。

図5

5. 試運転要領

- 1) エアコンの操作スイッチを暖房にセットすると運転を開始します。
- 2) ペーパーパンの蒸気吹出口から蒸気が出るか確認してください。(5分~10分くらいかかります。)

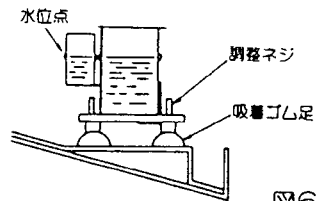
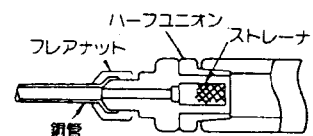


図6

6. 掃除・点検

- 1) このペーパーパンは加湿運転が合計5時間に達すると、自動的にオーバーフローし、濃縮された水を排出させスケールの発生を抑制させております。しかしスケールの付着は完全にはなくなりません。この為、1シーズン(1400時間位)に1回は蒸発槽のフタをあけてスケールを排出してください。
- 2) 長期にわたり使用しない場合は水を抜いてください。
- 3) 給水パイプから水が出なくなったり、水の出が悪くなった場合は、図7の要領でストレーナを清掃してください。
- 4) ペーパーパンが作動しなくなった場合は、電装箱をあけて温度過昇防止装置(サーマルカットアウト)を調べてください。働いているとリセットボタン(青色)が少し飛び出しています(2~3mm)異常を確認し正常にした後にドライバーの先でリセットボタンを強く押し込みリセットしてください。(図8)



フレアナットをゆるめ、パイプをはずし、ハーフユニオンにはめ込まれているストレーナを取り出して水洗いします。

図7

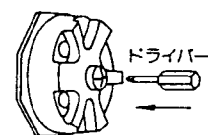


図8

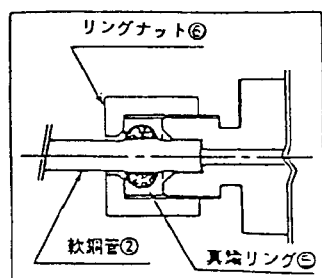
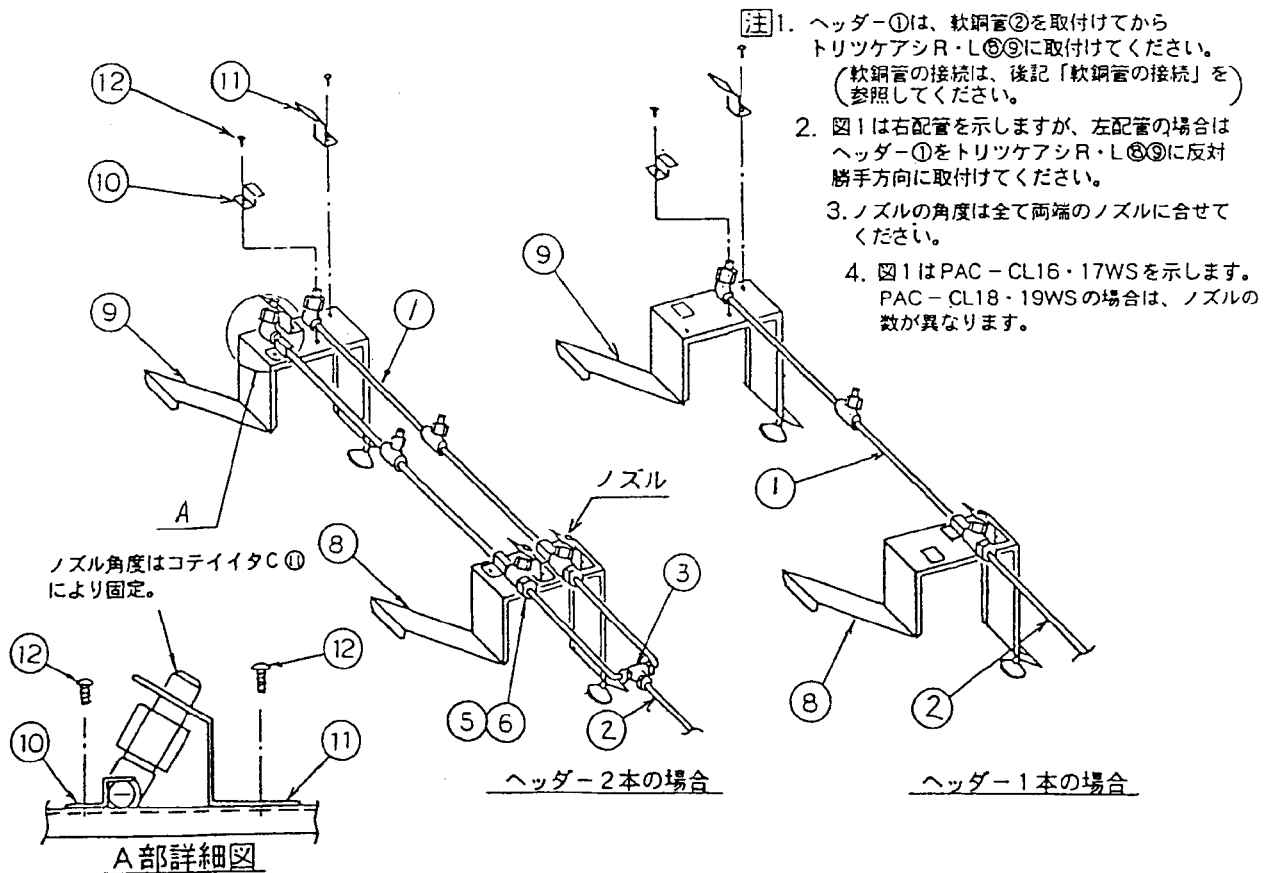
MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 水スプレー式加湿器取付説明書

PAC-CL16・17WS
 ...P-5・J140・J160DC(-H)
 P-8・J200・J250DC(-H)
 PAC-CL18・19WS
 P-10・J280・J315DC(-H)

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	備考	個数			
			PAC-CL16WS	PAC-CL17WS	PAC-CL18WS	PAC-CL19WS
1	ヘッダー	ノズル×3コ	1	2	-	-
		ノズル×4コ	-	-	1	2
2	軟銅管	外径φ6×1000φ	1	1	1	1
		外径φ6×400φ	-	2	-	2
3	分岐継手		-	1	-	1
4	給水ストレーナ	T型100メッシュ1/2B	1	1	1	1
5	真鍮リング		3(予備1)	8(予備2)	3(予備1)	8(予備2)
6	リングナット		2	6	2	6
7	ブッシュ		2	2	2	2
8	トリツケアシ R	キューバンアシ付	1	1	1	1
9	トリツケアシ L	キューバンアシ付	1	1	1	1
10	コテイタ B		2	4	2	4
11	コテイタ C		2	4	2	4
12	取付ネジ	M4×10 (SUS)	6(予備2)	10(予備2)	6(予備2)	10(予備2)



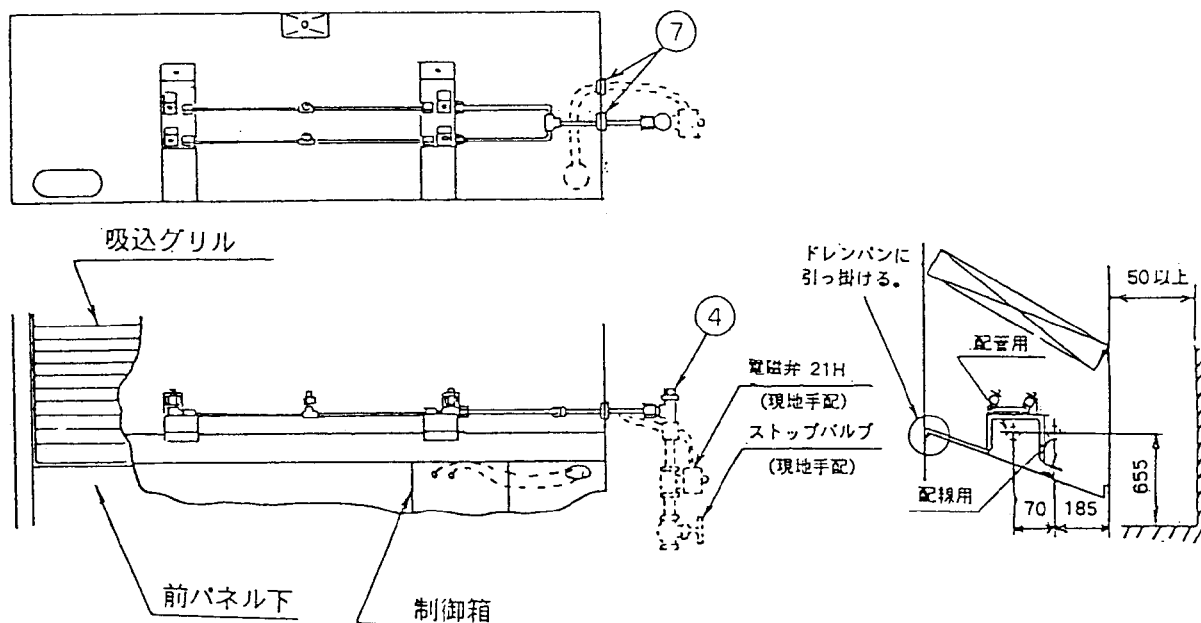
軟銅管の接続

- 1). 軟銅管②の一方の端に、リングナット⑥および真鍮リング⑤をいれます。
- 2). 凹部に軟銅管②を奥まで挿入し、リングナット⑥をスパナで締めつけ、真鍮リング⑤を軟銅管②にくり込ませます。
- 3). 給水ストレーナ④についても同様に取付けます。

2. 取付要領

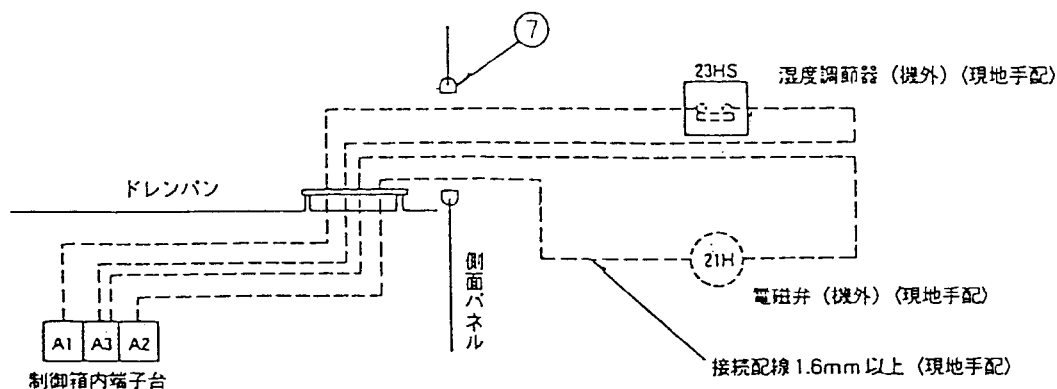
- 1). 本体吸込グリル及び前パネル下（取付ネジ2本）を取りはずしてください。
- 2). 水スプレーを本体ユニットに組込む前に図1の様に部品を組立ててください。
- 3). 2) 項にて部品を組立てた後、側面パネルのノックアウト穴を打ち抜きブッシュ⑦にてブッシングし、水スプレーを図2の様に左右ほぼ中央の位置に設置して、給水ストレーナ④を接続してください。

- ③1. 図2は右配管の場合を示しますが、左配管の場合も同様の位置に置き、左側面パネルより配管をしてください。（但し、ヘッダーは反対勝手に取付けて組立てる。）
2. 給水ストレーナ④のPTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 3. 図2はPAC-CL17WSを示しますが、その他の機種の場合、ヘッダーの本数及びノズルの個数が異なります。



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



4. お願い

- 1). ストップバルブ、電磁弁 21H（または塞止弁）は必ず設けてください。
- 2). 給水圧力は、0.1~0.4MPa（1~4kg/cm²）としてください。
- 3). 給水は、健康衛生上できるだけきれいな水（市水・上水）をお使いください。
- 4). 運転中は定期的にノズルからの噴霧状態、配管各部からの漏水の有無などを点検してください。
- 5). 長期にわたり使用しない場合は、休止前にきれいな水を通してノズルを洗い、残っている水を抜いて給水ストレーナを掃除しておいてください。
- 6). 年一回（シーズンインの時）及び噴霧状態不良のときは、ノズル先端のセラミックチップを取外し、チップの先端部・側面の過流孔を細い針で掃除してください。
- 7). エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 水スプレー式加湿器取付説明書

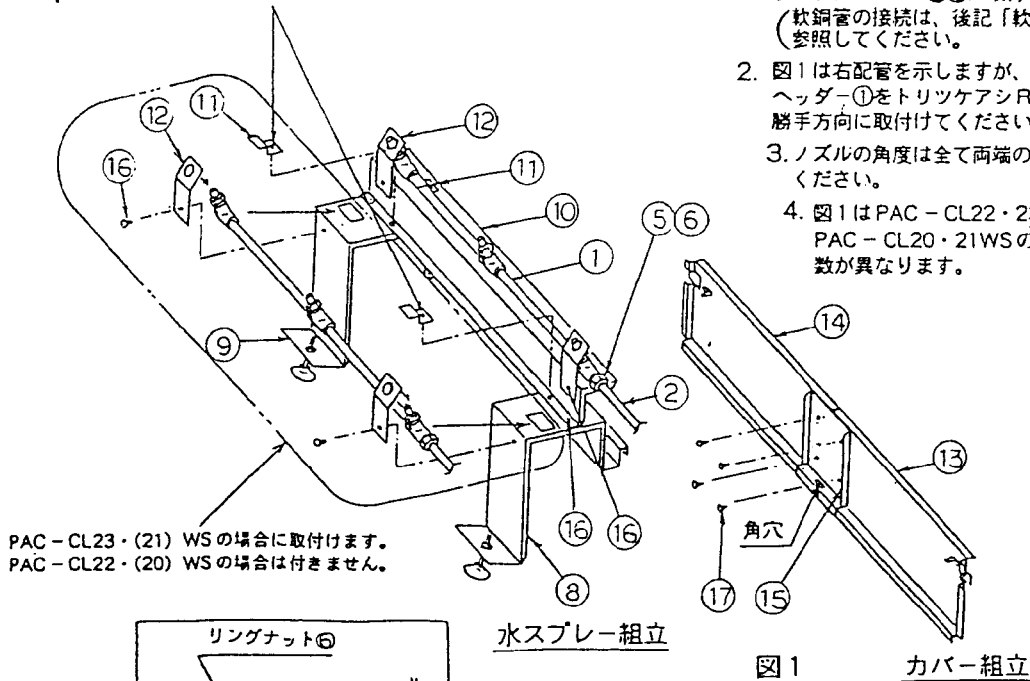
PAC-CL20・21WS
…P-15・J400・J500DC
PAC-CL22・23WS
…P-20・J560・J630DC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	備考	個数			
			PAC-CL20WS	PAC-CL21WS	PAC-CL22WS	PAC-CL23WS
1	ヘッダー	ノズル×2コ	1	2	-	-
		ノズル×3コ	-	-	1	2
2	軟銅管	外径φ6×1500φ	1	1	1	1
		外径φ6×400φ	-	2	-	2
3	分岐継手		-	1	-	1
4	給水ストレーナ	T型100メッシュ1/2B	1	1	1	1
5	真鍮リング		3(予備1)	8(予備2)	3(予備1)	8(予備2)
6	リングナット		2	6	2	6
7	ブッシュ		2	2	2	2
8	トリツケアシ R	キュウバンアシ付	1	1	1	1
9	トリツケアシ L	キュウバンアシ付	1	1	1	1
10	トリツケイタ	ノズル×2コ用	1	1	-	-
		ノズル×3コ用	-	-	1	1
11	コティイタ A		2	4	2	4
12	コティイタ B		2	4	2	4
13	カバー R	寸法 770×166	1	1	-	-
		寸法 880×166	-	-	1	1
14	カバー L	寸法 770×166	1	1	-	-
		寸法 880×166	-	-	1	1
15	ホキョウイタ		1	1	1	1
16	取付ネジ	M4×10 (SUS)	10(予備2)	12(予備2)	10(予備2)	12(予備2)
17	タッピンネジ	M4×10	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)

(コティイタA⑪は、トリツケイタ⑩を固定している
取付ネジ⑬にて、トリツケイタ⑩と一緒に固定)

- 注1. ヘッダー①は、軟銅管②を取付けてからトリツケアシR・L⑧⑨に取付けてください。
(軟銅管の接続は、後記「軟銅管の接続」を参照してください。)
2. 図1は右配管を示しますが、左配管の場合はヘッダー①をトリツケアシR・L⑧⑨に反対勝手方向に取付けてください。
3. ノズルの角度は全て両端のノズルに合わせてください。
4. 図1はPAC-CL22・23WSを示します。PAC-CL20・21WSの場合は、ノズルの数が異なります。



PAC-CL23・(21) WS の場合に取付けます。
PAC-CL22・(20) WS の場合は付きません。

水スプレー組立

図1 カバー組立

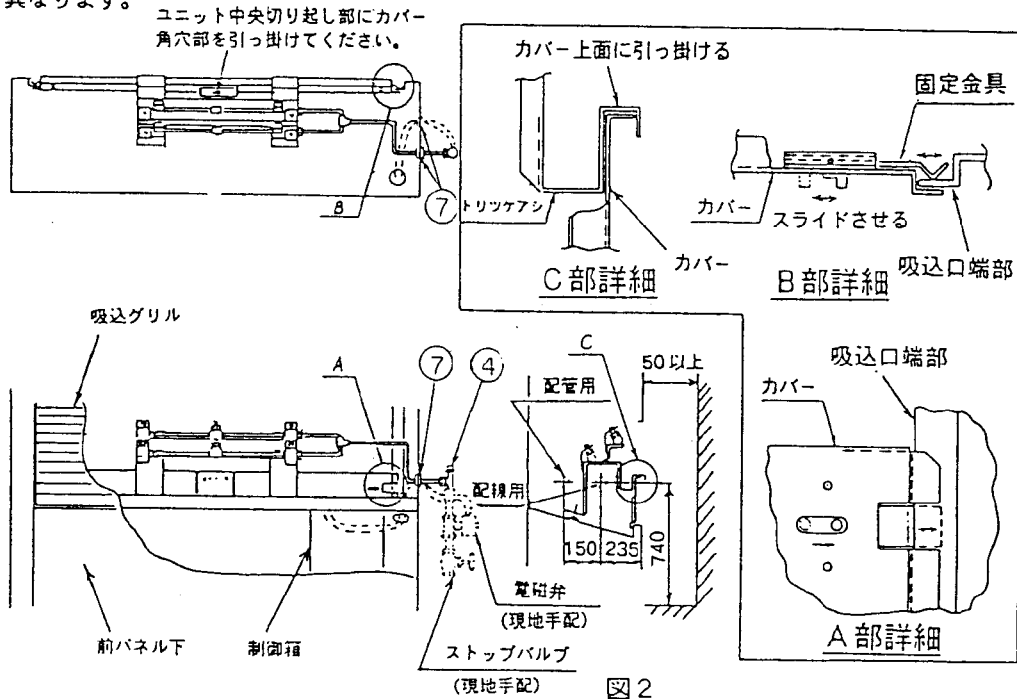
軟銅管の接続

1. 軟銅管②の一方の端に、リングナット⑥および真鍮リング⑤をいれます。
2. 凹部に軟銅管②を奥まで挿入し、リングナット⑥をスパナで締めつけ、真鍮リング⑤を軟銅管②にくい込ませます。
3. 給水ストレーナ④についても同様に取付けます。

2. 取付要領

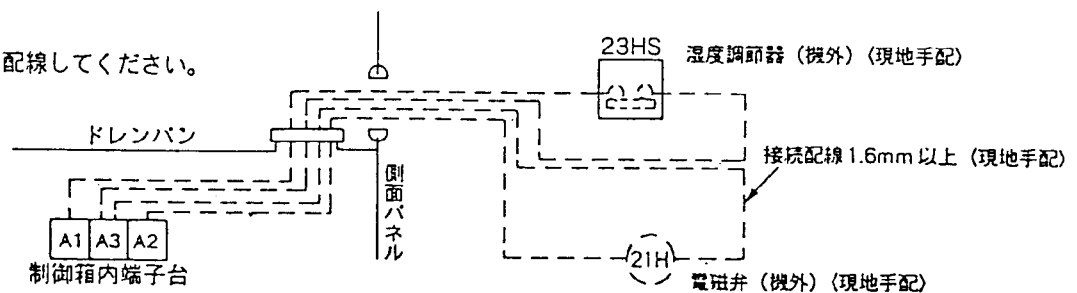
- 1). 本体吸込グリル及び前パネル下（取付ネジ2本）を取りはずしてください。
- 2). 水スプレーを本体ユニットに組込む前に図1の様にヘッダー及びカバーを組立ててください。
- 3). カバーを後吸込口のドレンパン上に取付けてください。（図2参照）
 - ・カバーの取付けは、カバー中央角穴部をユニット中央切り起し部に引っ掛けた後、両端の固定金具を後吸込口の両端部にスライドさせて固定してください。
- 4). 側面パネルのノックアウト穴を打ち抜きブッシュ⑦にてブッシングし、水スプレーを図2の様に左右ほぼ中央の位置に設置してください。
- 5). 水スプレーはトリツケアシR・L⑧⑨の凹部をカバー上面に引っ掛けて固定（図2，C部詳細図）してください。

- 注1. 図2は右配管の場合を示しますが、左配管の場合も同様の位置に設置し、左側面パネルより配管をしてください。（但し、ヘッダーは反対勝手に取付けて組立てる。）
2. 給水ストレーナ④のPTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 3. 図2はPAC-CL23WSを示しますが、その他の機種の場合、ヘッダーの本数及びノズルの個数が異なります。



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



4. お願い

- 1). ストップバルブ、電磁弁21H（または塞止弁）は必ず設けてください。
- 2). 給水圧力は、0.1~0.4MPa（1~4kg/cm²）としてください。
- 3). 給水は、健康衛生上できるだけきれいな水（市水・上水）をお使いください。
- 4). 運転中は定期的にノズルからの噴霧状態、配管各部からの漏水の有無などを点検してください。
- 5). 長期にわたり使用しない場合は、休止前にきれいな水を通してノズルを洗い、残っている水を抜いて給水ストレーナを掃除しておいてください。
- 6). 年一回（シーズンインの時）及び噴霧状態不良のときは、ノズル先端のセラミックチップを取外し、チップの先端子・側面の過流孔を細い針で掃除してください。
- 7). エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。

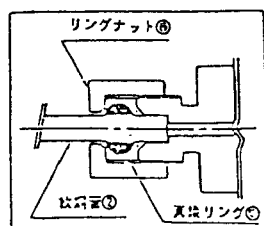
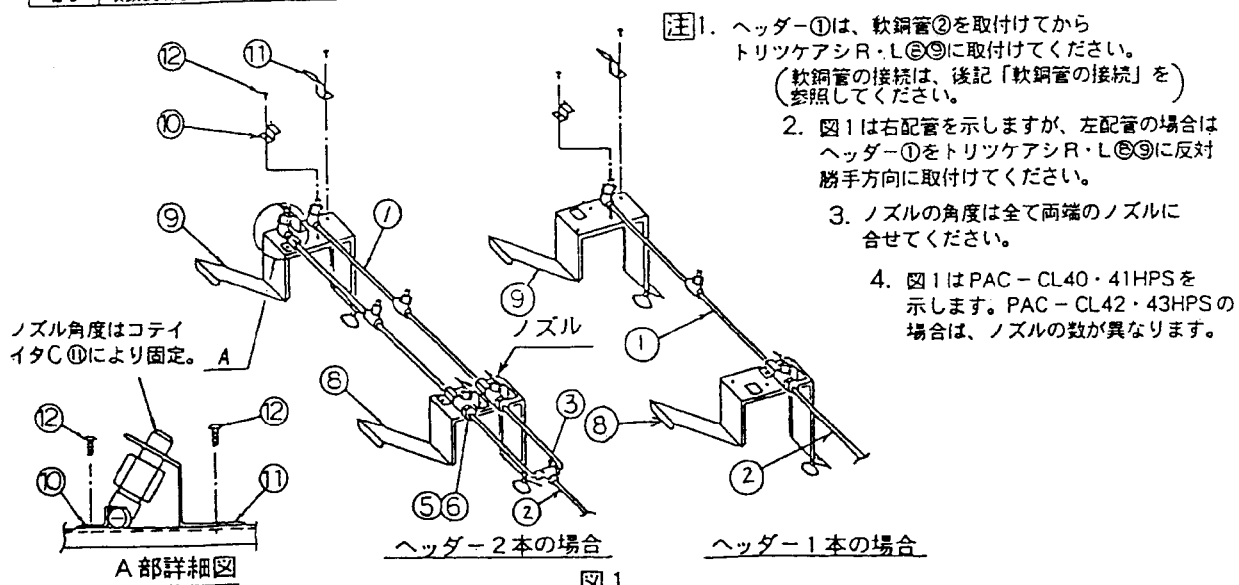
MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 高圧スプレー式加湿器取付説明書

PAC-CL40・41HPS
 ...P-5・J140・J160DC(-H)
 P-8・J200・J250DC(-H)
 PAC-CL42・43HPS
 ...P-10・J280・J315DC(-H)

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品 番	品 名	備 考	個 数			
			PAC-CL40HPS	PAC-CL41HPS	PAC-CL42HPS	PAC-CL43HPS
1	ヘッダー	ノズル×3コ	1	2	-	-
		ノズル×4コ	-	-	1	2
2	軟鋼管	外径φ6×1500φ	1	1	1	1
		外径φ6×400φ	-	2	-	2
3	分岐継手		-	1	-	1
4	給水ストレーナ	T型100メッシュ1/2B	1	1	1	1
5	真鍮リング		5(予備1)	10(予備2)	5(予備1)	10(予備2)
6	リングナット		4	8	4	8
7	ワッシャー		2	2	2	2
8	トリツケアシ R	キューバンアシ付	1	1	1	1
9	トリツケアシ L	キューバンアシ付	1	1	1	1
10	コティイタ B		2	4	2	4
11	コティイタ C		2	4	2	4
12	取付ネジ	M4×10(SUS)	6(予備2)	10(予備2)	6(予備2)	10(予備2)
13	加湿器本体	噴霧量 10kg/h	1	-	-	-
		" 20kg/h	-	1	-	-
		" 12kg/h	-	-	1	-
		" 24kg/h	-	-	-	1
14	本体取付用L型ベース		1	1	1	1
15	電源コード	加湿器本体に取付	1	1	1	1
16	給水軟鋼管	外径 φ6×400φ	1	1	1	1
17	ドレンホース		1	1	1	1
18	L型ベース取付ネジ	1/4インチ×20mm Sφ5×20φ HSナット、ワッシャーφ6.6×φ12.5	各5(予備1)	各5(予備1)	各5(予備1)	各5(予備1)
19	本体固定ネジ	M4	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)
20	取扱説明書		1	1	1	1



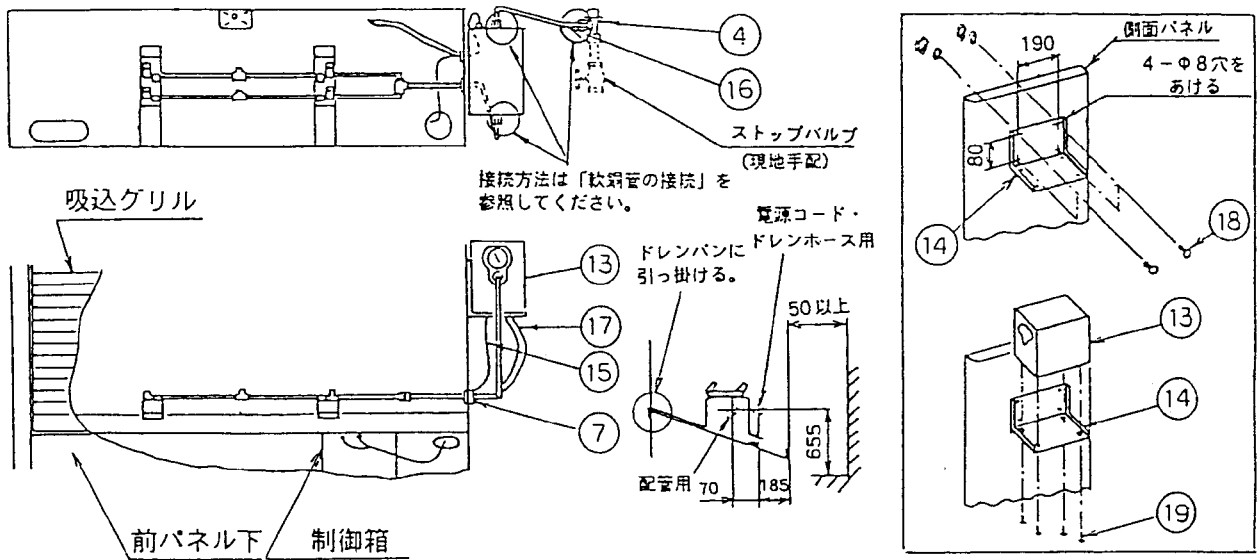
軟鋼管の接続

- 1). 軟鋼管②の一方の端に、リングナット⑥および真鍮リング⑤を入れます。
- 2). ノズル部に軟鋼管②を奥まで挿入し、リングナット⑥をスパナで締めつけ、真鍮リング⑤を軟鋼管②に食い込ませます。
- 3). 加湿器本体⑬側及び給水ストレーナ④についても同様に取付けます。

2. 取付要領

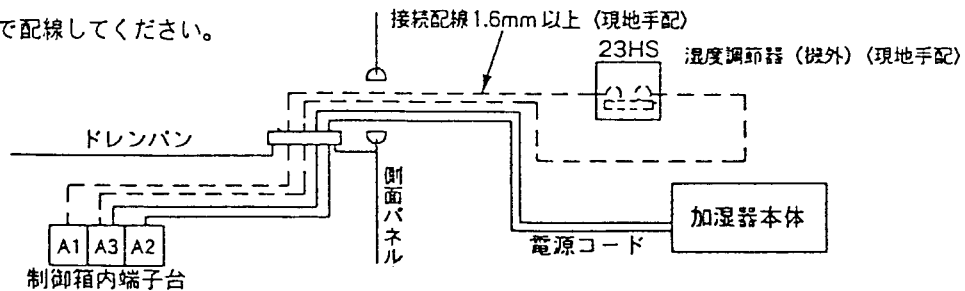
- 1). 本体吸込グリル及び前パネル下（取付ネジ2本）を取りはずしてください。
- 2). 高圧スプレーを本体ユニットに組込む前に、図1の様に部品を組立ててください。
- 3). 側面パネルにドレンパンよりも高い位置で、保守点検のための十分なスペースのある位置を選定し、図2に示す寸法の穴をあけてください。
- 4). 本体取付用L型ベース⑭を、3) 項であけた穴にL型ベース取付ネジ⑮にて固定した後、L型ベースの上に加湿器本体⑬をのせて、L型ベースの下側から本体固定ネジ⑯にて固定します。
- 5). 側面パネルのノックアウト穴を打ち抜きブッシュ⑰にてブッシングし、2) 項にて組立てた高圧スプレーを図2の様に左右ほぼ中央の位置に設置してください。
- 6). 図2に示す様に、加湿器本体⑬・軟銅管②・給水軟銅管⑥・給水ストレーナ④の配管を接続してください。接続方法は前記「軟銅管の接続」を参照してください。

- 【注】1. 図2は右配管の場合を示します。左配管の場合は、高圧スプレーを同様の位置に設置（但し、ヘッダーは反対勝手に取付けて組立て）し、加湿器本体⑬を左側面パネルに取付けて配管を行ってください。
2. PTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 3. 図2はPAC-CL41HPSを示しますが、その他の機種の場合、ヘッダーの本数及びノズルの個数が異なります。



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



4. お願い

- 1). ストップバルブは必ず設けてください。
- 2). 給水圧力は、0.1~0.4MPa (1~4kg/cm²)とってください。
- 3). 長期にわたり使用しない場合は水を抜いてください。
- 4). エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。
- 5). 取付終了後、この取付説明書は取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。
- 6). 保守点検は、付属の取扱説明書に従い実施してください。

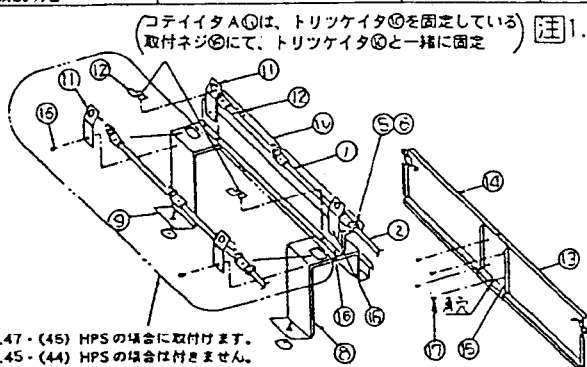
MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 高圧スプレー式加湿器取付説明書

PAC-CL44・45HPS
...P-15・J400・J500DC
PAC-CL46・47HPS
...P-20・J560・J630DC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	備考	個数			
			PAC-CL44HPS	PAC-CL45HPS	PAC-CL46HPS	PAC-CL47HPS
1	ヘッダー	ノズル×2コ	1	-	2	-
		ノズル×3コ	-	1	-	2
2	軟銅管	外径φ6×1500φ	1	1	1	1
		外径φ6×400φ	-	-	2	2
3	分岐継手		-	-	1	1
4	給水ストレーナ	T型100メッシュ1/2B	1	1	1	1
5	真鍮リング		5(予備1)	5(予備1)	10(予備2)	10(予備2)
6	リングナット		4	4	8	8
7	ブッシュ		2	2	2	2
8	トリツケアシ R	キュウバンアッ付	1	1	1	1
9	トリツケアシ L	キュウバンアッ付	1	1	1	1
10	トリツケイタ	ノズル×2コ用	1	-	1	-
		ノズル×3コ用	-	1	-	1
11	コテイイタ A		2	2	4	4
12	コテイイタ B		2	2	4	4
13	カバー A	寸法 770×166	1	-	1	-
		寸法 880×166	-	1	-	1
14	カバー B	寸法 770×166	1	-	1	-
		寸法 880×166	-	1	-	1
15	ホキヨウイタ		1	1	1	1
16	取付ネジ	M4×10 (SUS)	10(予備2)	10(予備2)	12(予備2)	12(予備2)
17	タッピンネジ	M4×10	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)
18	加湿器本体	噴霧量 18kg/h	1	-	-	-
		" 25kg/h	-	1	-	-
		" 36kg/h	-	-	1	-
		" 50kg/h	-	-	-	1
19	本体取付用し型ベース		1	1	1	1
20	電源コード	加湿器本体に取付	1	1	1	1
21	給水軟銅管	外径 φ6×400φ	1	1	1	1
22	ドレンホース		1	1	1	1
23	L型ベース取付ネジ	↑トリツケアシ5φ5×20φ NSナット、ワッパφ6.6×φ12.5	各5(予備1)	各5(予備1)	各5(予備1)	各5(予備1)
24	本体固定ネジ	M4	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)
25	取扱説明書		1	1	1	1



PAC-CL47・(45) HPS の場合に取付けます。
PAC-CL45・(44) HPS の場合は付しません。

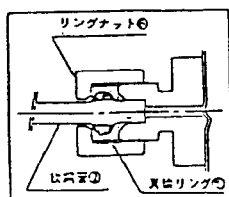
高圧スプレー組立

カバー組立

図1

軟銅管の接続

- 1). 軟銅管②の一方の端に、リングナット⑥および真鍮リング⑤を入れます。
- 2). 凹部に軟銅管②を奥まで挿入し、リングナット⑥をスパナで締めつけ、真鍮リング⑤を軟銅管②にくい込ませます。
- 3). 給水ストレーナ④についても同様に取付けます。



注1. ヘッダー①は、軟銅管②を取付けてからトリツケアシR・L⑧⑨に取付けてください。

(軟銅管の接続は、後記「軟銅管の接続」を参照してください。)

2. 図1は右配管を示しますが、左配管の場合はヘッダー①をトリツケアシR・L⑧⑨に反対勝手方向に取付けてください。

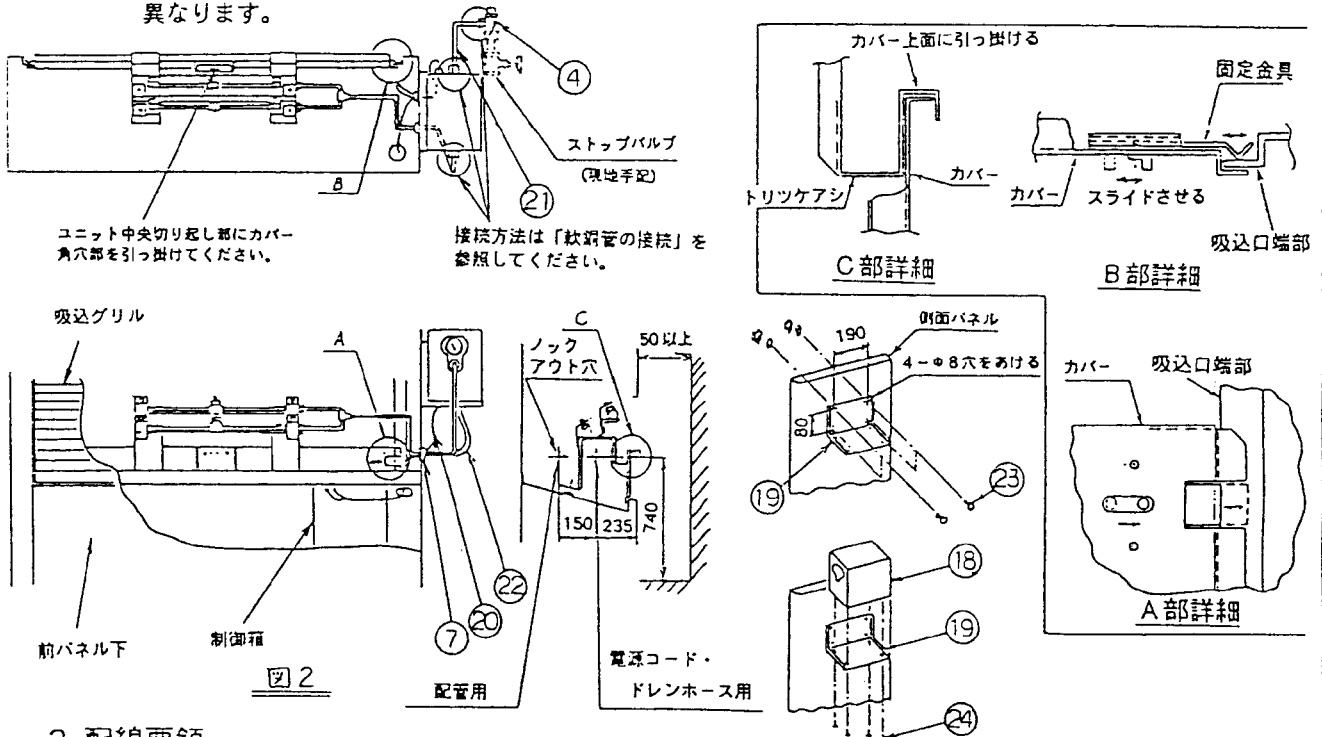
3. ノズルの角度は全て両端のノズルに合せてください。

4. 図1はPAC-CL45・47HPSを示します。PAC-CL44・46HPSの場合は、ノズルの数が異なります。

2. 取付要領

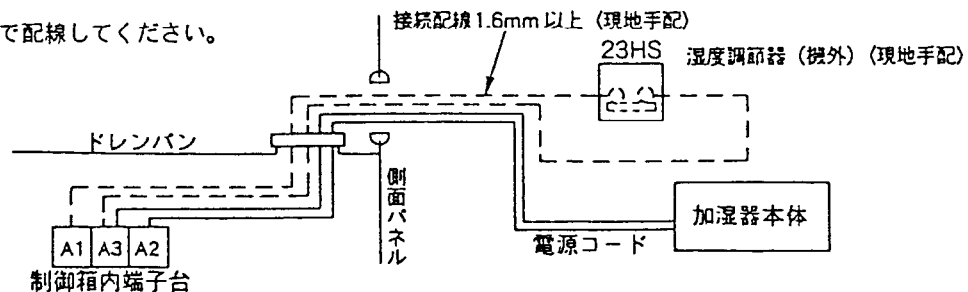
- 1). 本体吸込グリル及び前パネル下（取付ネジ2本）を取りはずしてください。
- 2). 高圧スプレーを本体ユニットに組込む前に、図1の様にヘッダー及びカバーを組立ててください。
- 3). 側面パネルにドレンパンよりも高い位置で、保守点検のための充分なスペースのある位置を選定し、図2に示す寸法の穴をあけてください。
- 4). 本体取付用L型ベース⑥を、3) 項であけた穴にL型ベース取付ネジ⑦にて固定した後、L型ベースの上に加湿器本体⑧をのせて、L型ベースの下側から本体固定ネジ⑨にて固定します。
- 5). カバーを後吸込口のドレンパン上に取付けてください。（図2参照）
・カバーの取付けは、カバー中央角穴部をユニット中央切り起し部に引っ掛けた後、両端の固定金具を後吸込口の両端部にスライドさせて固定してください。
- 6). 側面パネルのノックアウト穴を打ち抜きブッシュ⑩にてブッシングし、2) 項にて組立てた高圧スプレーを図2の様に左右ほぼ中央の位置に設置してください。
- 7). 高圧スプレーはトリツケアシR・L⑪⑫の凹部をカバー上面に引っ掛けて固定してください。
- 8). 図2に示す様に、加湿器本体⑧・軟銅管⑬・給水軟銅管⑭・給水ストレーナ⑮の配管を接続してください。
接続方法は前記「軟銅管の接続」を参照してください。

- 【注】1. 図2は右配管の場合を示します。左配管の場合は、高圧スプレーを同様の位置に設置（但し、ヘッダーは反対勝手に取付けて組立て）し、加湿器本体⑧を左側面パネルに取付けて配管を行ってください。
2. PTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 3. 図2はPAC-CL47HPSを示しますが、その他の機種の場合、ヘッダーの本数及びノズルの個数が異なります。



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



4. お願い

- 1). ストップバルブは必ず設けてください。
- 2). 給水圧力は、0.1~0.4MPa（1~4kg/cm²）としてください。
- 3). 長期にわたり使用しない場合は水を抜いてください。
- 4). エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。
- 5). 取付終了後、この取付説明書は取扱説明書と共に必ずお客様にお渡してください。
- 6). 保守点検は、付属の取扱説明書に従い実施してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品

透湿膜加湿器取付説明書

PAC-CL51・52・53TF

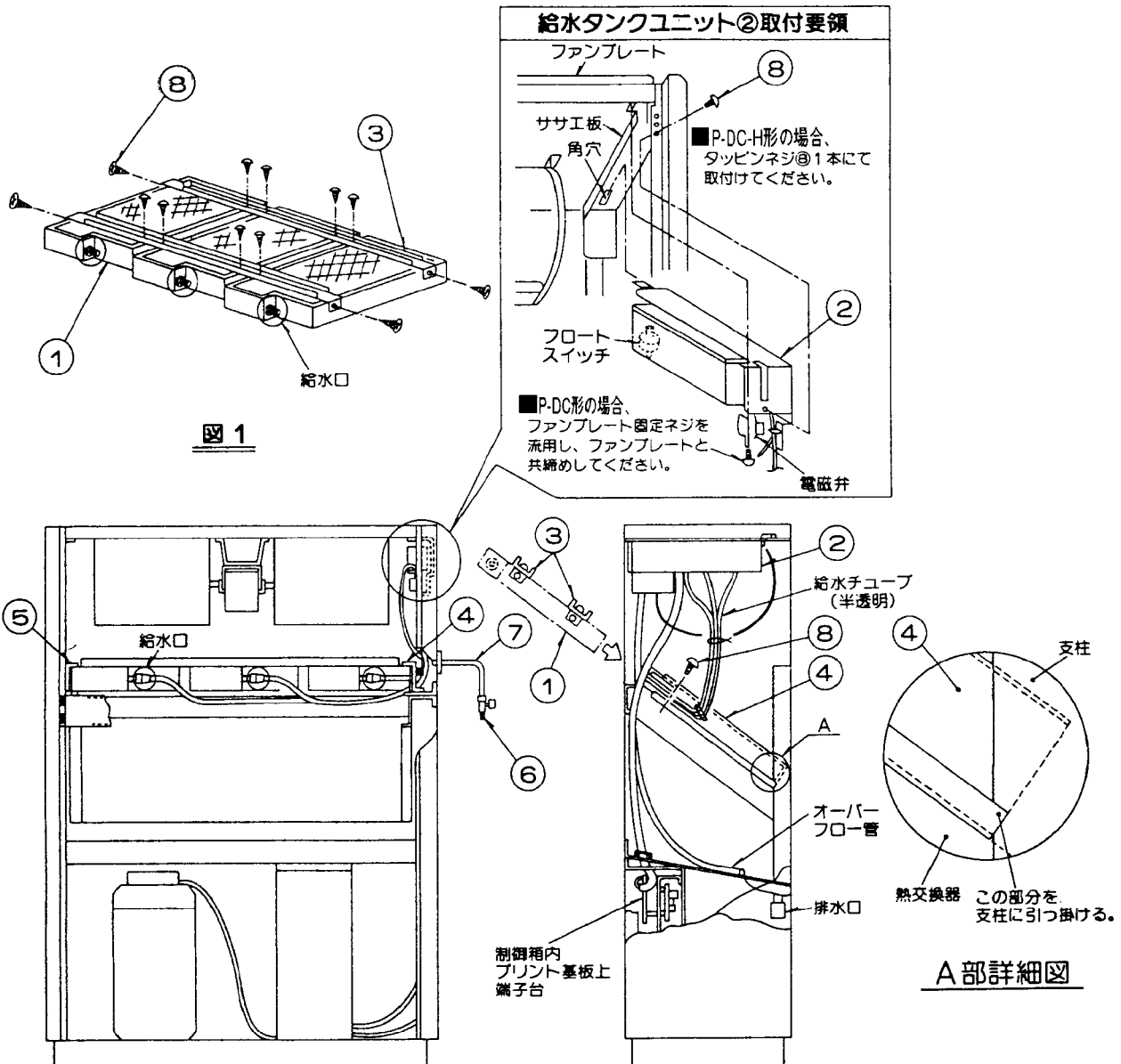
…PAH-J140・J200・J280DC(-H)

PWH-J160・J250・J315DC(-H)

PAH・PWH-5・8・10DC(-H)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	加湿エレメント	3		⑤	取付板(左)	1	加湿エレメント用
②	給水タンクユニット	1	電磁弁付	⑥	給水バルブセット	1	(ストレーナ付)
③	接続板	2	加湿エレメント用	⑦	銅管(6φ×1m)	1	フレアーナット、プッシュ付
④	取付板(右)	1	〃	⑧	タッピンネジ	16	4×10(予備3本)

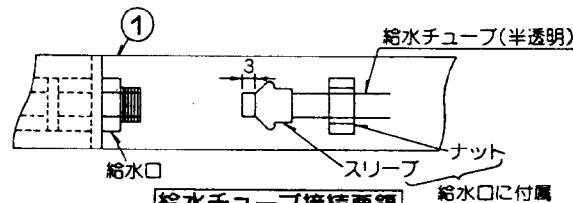


2. 取付要領

- 1). 吸込グリル, 前パネル上, 下(取付ネジ各2本)を取り外してください。
- 2). 給水タンクユニット②の取付
後方はファンプレートササ工板の角穴に引っ掛け、前方をネジ止めしてください。
(機種により前方のネジ止め位置が異なりますので図2を参照してください。)
- 3). 加湿エレメントの取付
■取付板(右), (左)④⑤を熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら、支柱に押し当てて後方を支柱に引っ掛けた後、手前をネジ止め(タッピンネジ⑥2本)してください。(図2, A部詳細図)
■加湿エレメント①をユニットに組込む前に、接続板③により図1の様に巻き合せてください。(タッピンネジ⑥12本)
■加湿エレメント①を巻き合せた後、取付板(右), (左)④⑤にて形成された枠内に加湿エレメントの給水口を上にして組込んでください。(後方は支柱に引っ掛けてください。)

3. 配管要領 (給水チューブ・オーバーフロー管等の配管は折曲がらない様に次の要領で作業を行なってください。)

- 1). 加湿エレメントへの接続
給水タンクユニット②から出ている給水チューブ(半透明)3本を各加湿エレメント給水口に付属のナット及びスリーブにて接続してください。
尚、チューブは十分に差し込み給水口はナットを手締めしたあと肩口スパナにて増締めしてください。



- 2). オーバーフロー管の設置
給水タンクユニット②から出ているオーバーフロー管を、熱交換器上側のファンモーターリード線を通して穴を通し、ドレンパンの排水口の近くへ導いてください。
- 3). 電磁弁と給水バルブセット⑥間の接続(電磁弁はタンクユニットに付属)
右側面パネルのノックアウト穴(図3)を打ちぬき、給水タンクユニット②の電磁弁と給水バルブセット⑥間を銅管⑦にて接続した後、銅管⑦に付属のプッシュにてプッシングしてください。(締付トルク30~50kg・cm)

ご注意 本加湿器は右配管を標準としております。左配管の場合は、付属銅管⑦を使用しまずと給水バルブはユニット内になり、現地配管の接続はユニット内となります。
(給水バルブをユニット外に出す場合は、現地に付属銅管⑦を長い配管と交換してください。この際ゴムプッシュは付属銅管⑦の物を流用してください。)

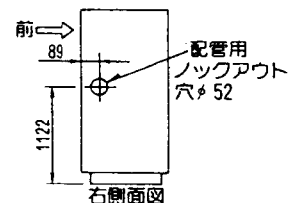


図3

4. 配線要領

- 1). 図4の要領で配線してください。
(配線はファンモーターリード線と同じ順路で制御箱内まで導いてください。)

湿度調節器 (現地手配)

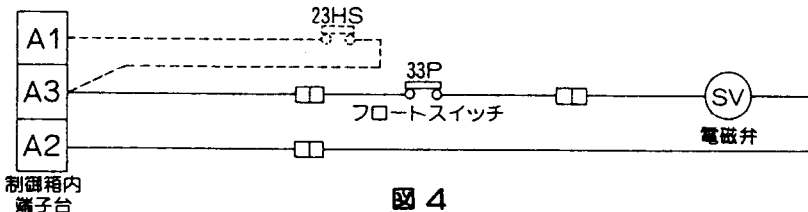


図4

※ 現地側給水配管工事

- 1). 給水配管は、付属の給水バルブに接続してください。(給水バルブはPT1/2オネジです。)
- 2). 給水は、市水又は上水を使用してください。但し、公共の水道管に直接接続することはできません。
この様な場合には、シスターンタンクをご使用ください。

※ メンテナンス

- 1). 加湿エレメントの交換
■加湿エレメントは5年ごとに交換してください。
尚、飲水装置を設置された場合は10年ごとに交換してください。
- 2). 加湿エレメントの乾燥についてお願い
■暖房シーズン終了後そのまま放置しますと、場所によってはカビが発生することがあります。カビの発生を防止するため、暖房シーズン終了後加湿エレメントの強制乾燥を行なってください。
(強制乾燥は約20時間「送風」運転してください。)

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品

透湿膜加湿器取付説明書

PAC-CL54・55TF
 ...PAH-J400・J560DC
 PWH-J500・J630DC
 PAH・PWH-15・20DC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかにも下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	加湿エレメント	4		⑥	取付板(中)	1	加湿エレメント用
②	給水タンクユニット	1	電磁弁付	⑦	給水バルブセット	1	(ストレーナ付)
③	接続板	4	加湿エレメント用	⑧	銅管(6φ×1m)	1	フレア・ナット、ブッシュ付
④	取付板(右)	1	"	⑨	タッピンネジ	24	4×10(予備5本)
⑤	"(左)	1	"	⑩	"	4	5×12(予備2本)

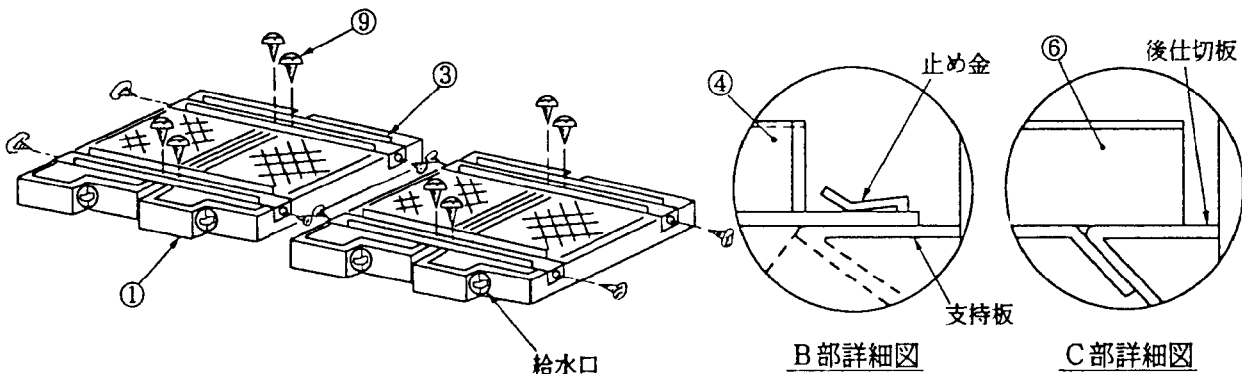


図 1

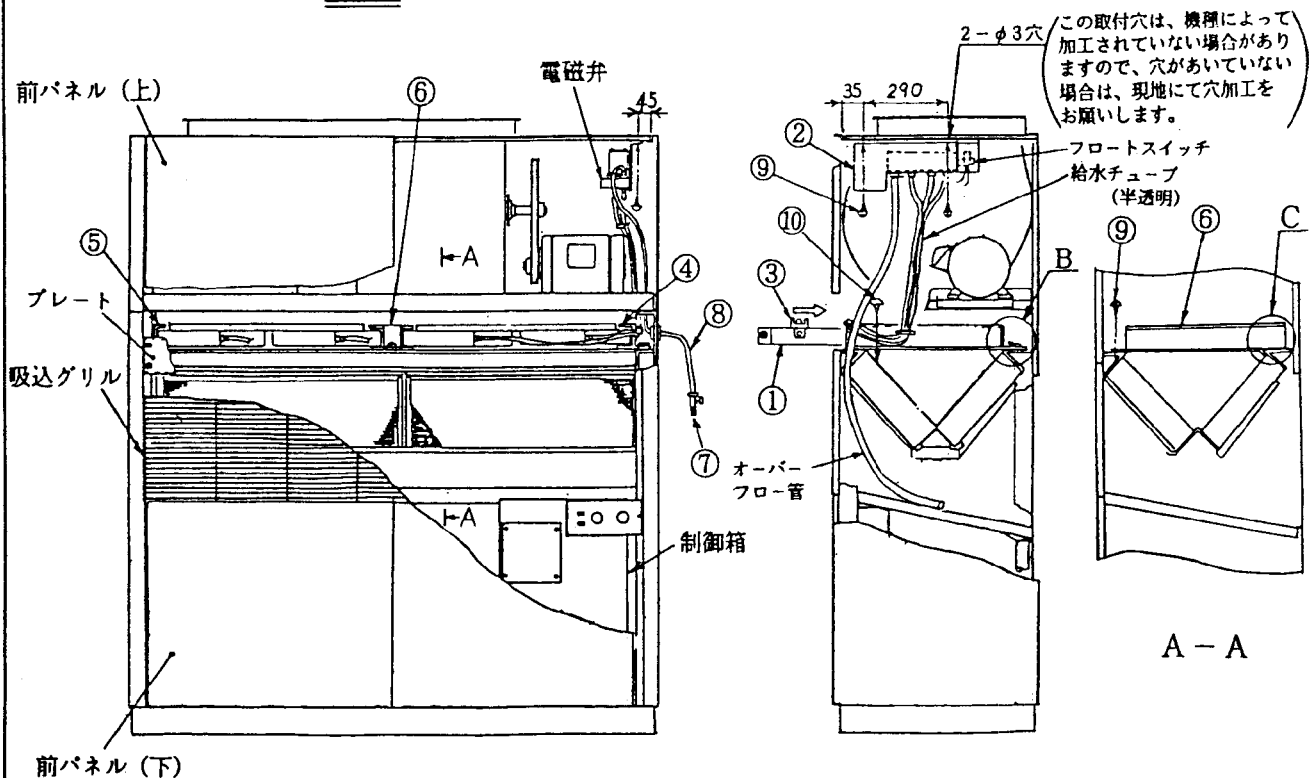


図 2

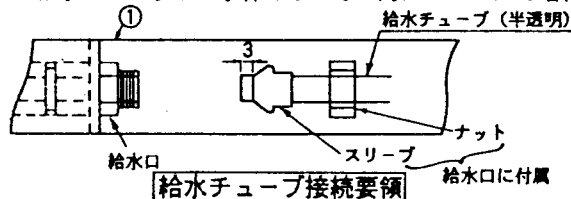
2. 取付要領

- 1). 吸込グリル前パネル上・下（取付ネジ各2本）及びプレート（取付ネジ4本）を取外してください。
- 2). 給水タンクユニット②の取付
図2に示す位置にネジ止め（タッピンネジ⑨2本）してください。
- 3). 加湿エレメントの取付
■取付板（右）・（左）・（中）④⑤⑥を取付けてください。
・取付板④⑤は後方を支持板上の止め金の位置（B部詳細図）まで差し込み、手前をネジ止め（タッピンネジ⑩2本）してください。
・取付板（中）⑥は後方を熱交換器後仕切板に押し当て（C部詳細図）、手前をネジ止め（タッピンネジ⑨1本）してください。
■加湿エレメント①をユニットに組込む前に、接続板③により各2個づつ図1の様に継ぎ合わせてください。
（タッピンネジ⑨16本）
■加湿エレメント①を継ぎ合せた後、取付板（右）・（左）・（中）④⑤⑥にて形成された枠内に、加湿エレメントの給水口を手前にして組込んでください。

3. 配管要領【給水チューブ・オーバーフロー管等の配管は折曲がらない様に次の要領で作業を行なってください。】

1). 加湿エレメントへの接続

給水タンクユニット②から出ている給水チューブ（半透明）3本を各加湿エレメント給水口に付属のナット及びスリーブにて接続してください。
尚、チューブは充分に差し込み給水口はナットを手締めしたあと両口スパナにて増締めしてください。

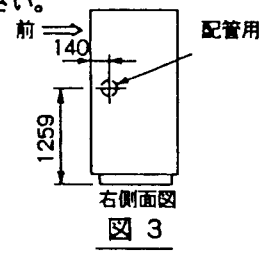


2). オーバーフロー管の設置

給水タンクユニット②から出ているオーバーフロー管を、前仕切板の右側からファンモータリード線と同じ様に通し、ドレンパンの排水口の近くへ導いてください。

3). 電磁弁と給水バルブセット⑦間の接続（電磁弁はタンクユニットに付属）

右側面パネルのノックアウト穴（図3）を打ちぬき、給水タンクユニット②の電磁弁と給水バルブセット⑦間を銅管⑧にて接続した後、銅管⑧に付属のブッシュにてブッシングしてください。
（締付トルク 30～50kg・cm）

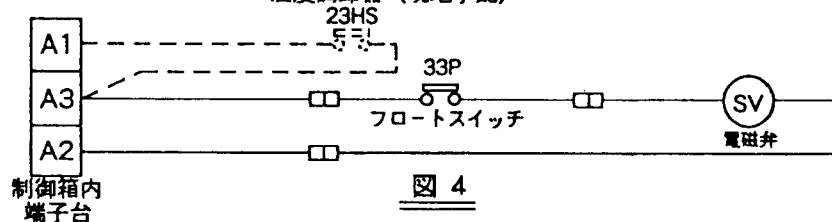


ご注意

本加湿器は右配管を標準としております。左配管の場合は、付属銅管⑧を使用しますと給水バルブはユニット内になり、現地配管の接続はユニット内となります。
（給水バルブをユニット外に出す場合は、現地にて付属銅管⑧を長い配管と交換してください。この際ゴムブッシュは付属銅管⑧の物を流用してください。）

4. 配線要領

- 1). 給水タンクユニット②から出ているリード線を図4の要領で配線してください。
（配線はファンモータリード線と同じ順路で制御箱内まで導いてください。）



※ 現地側給水配管工事

- 1). 給水配管は、付属の給水バルブに接続してください。（給水バルブはPT1/2オネジです。）
- 2). 給水は、市水又は上水を使用してください。但し、公共の水道管に直接接続することはできません。
この様な場合には、シスタータンクをご使用ください。

※ メンテナンス

- 1). 加湿エレメントの交換
■加湿エレメントは5年ごとに交換してください。
尚、軟水装置を設置された場合は10年ごとに交換してください。
- 2). 加湿エレメントの乾燥について
■暖房シーズン終了後そのまま放置しますと、場所によってはカビが発生することがあります。カビの発生を防止するため、暖房シーズン終了後加湿エレメントの強制乾燥を行なってください。
（強制乾燥は約20時間「送風」運転してください。）

吹出ダクトフランジ取付説明書

1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに、下記部品が入っていますので、ご確認ください。

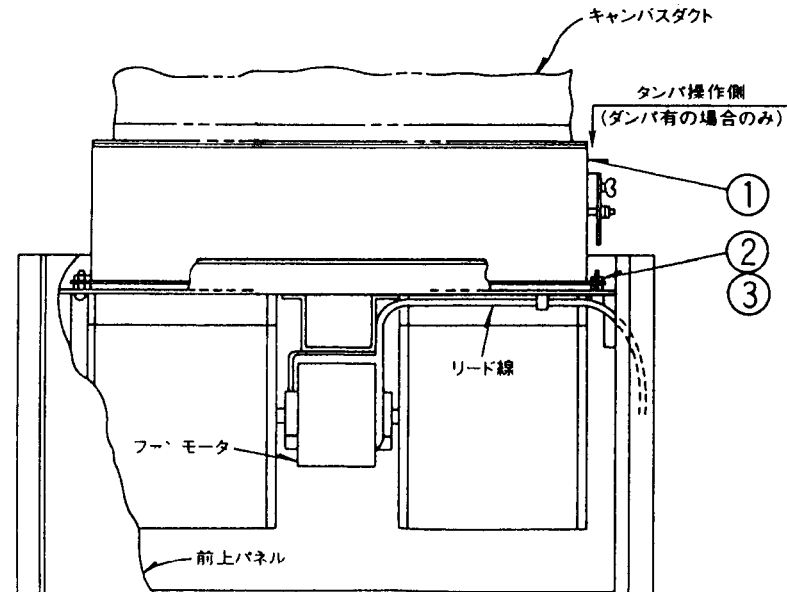
品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	吹出ダクトフランジ	1	ダンパ無……PAC-CR41FD, CR42FD, CR43FD	③	ナット 5	4	
			ダンパ有……PAC-CM46FD, CM47FD, CM48FD	④	閉端接続子	3	
②	歯付座金 AB5	4		⑤	標準仕様変更銘板	1	CR41FD 0.38kw, CR42FD 0.7kw, CR43FD 0.9kw CM46FD 0.38kw, CM47FD 0.7kw, CM48FD 0.9kw

2. 取付要領

- (1) 吸込グリルを取外し、前下パネル（取付ネジ2本）の順に取外してください。
- (2) ファンケーシングを取付けているネジを流用して、図1の要領にて、吹出ダクトフランジを取付け（歯付座金AB5②、ナット5③各4個）てください。
- (3) スイッチパネル下部のファンモータの配線を3項の要領にて変更してください。
- (4) 標準仕様変更銘板をドレンパン上の製品名板の横に貼ってください。
- (5) 上記作業完了後、取り外した部品を元通りに取付けてください。

3. 配線変更要領

- (1) ファンモータのリード線をA部(図1)の個所で図2のように変更します。
- (2) 黄色のリード線を切断しないよう注意して赤、白、青のリード線を切断し、それぞれの先端を15mm皮むきた後、同色のリード線をより合せ、閉端接続子で接続してください。なお、チューブを作業しやす



いように縦に切開いてください。作業後は、チューブに絶縁テープを巻いてください。

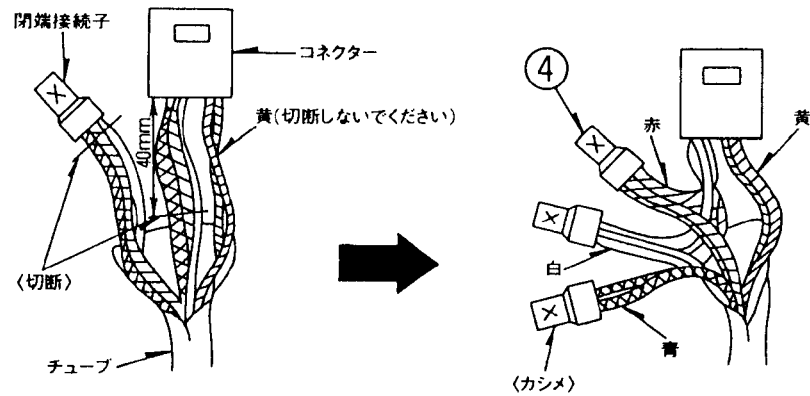


図2 (A部)[カシメ作業には圧着ベンチを使用]

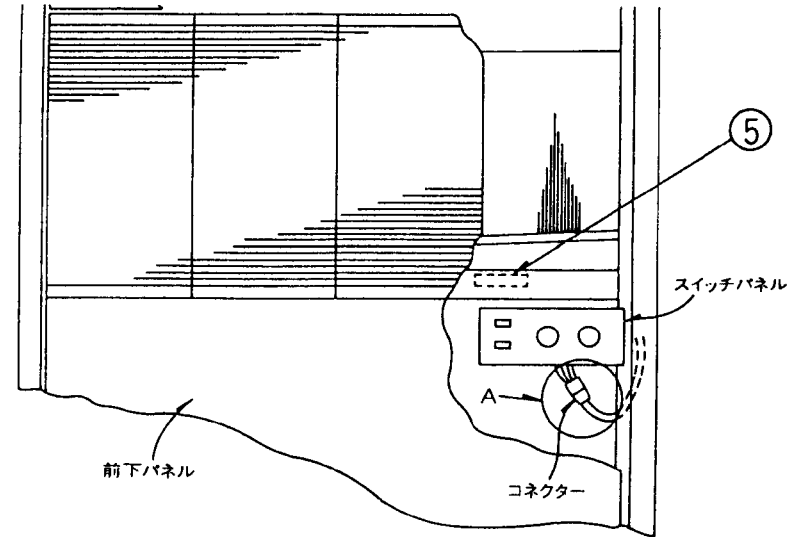


図1

4. 注意事項

- (1) ダクトの本体接続部には、必ずキャンバスダクト(300mm以上)を使用してください。
- (2) ダクト施工後の試運転時に必ず風量測定を行ってダンパにより規定風量に調節してください。(ダンパ有りの場合のみ)

形名	形式	機外静風圧 (Pa) < mmAq >				
		0 <0>	50 <5>	100 <10>	150 <15>	200 <20>
P-5・J140・J160DC(H) (45m³/min)	前吸込グリル 上吹出ダクト	50Hz				
		0°	30°	60°	90°	60Hz
P-8・J200・J250DC(H) (70m³/min)	前吸込グリル 上吹出ダクト	50Hz				
		60°	90°	60Hz	90°	
P-10・J280・J315DC(H) (90m³/min)	前吸込グリル 上吹出ダクト	50Hz				
		60°	90°	60Hz	90°	

注) ———— 標準モータ△結線
機外静風圧ダンパ角度(参考)
(0° ……全開, 90° ……全閉)

- (3) 後吸込ダクト形式で使用する際は、機内抵抗が変更し、上記の調節基準も異なります。この場合は、あらかじめご相談ください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP11GF

外気取入フランジ取付説明書

P-5・J140・J160DC(-H), PC
P-8・J200・J250DC(-H), PC
P-10・J280・J315DC(-H), PC

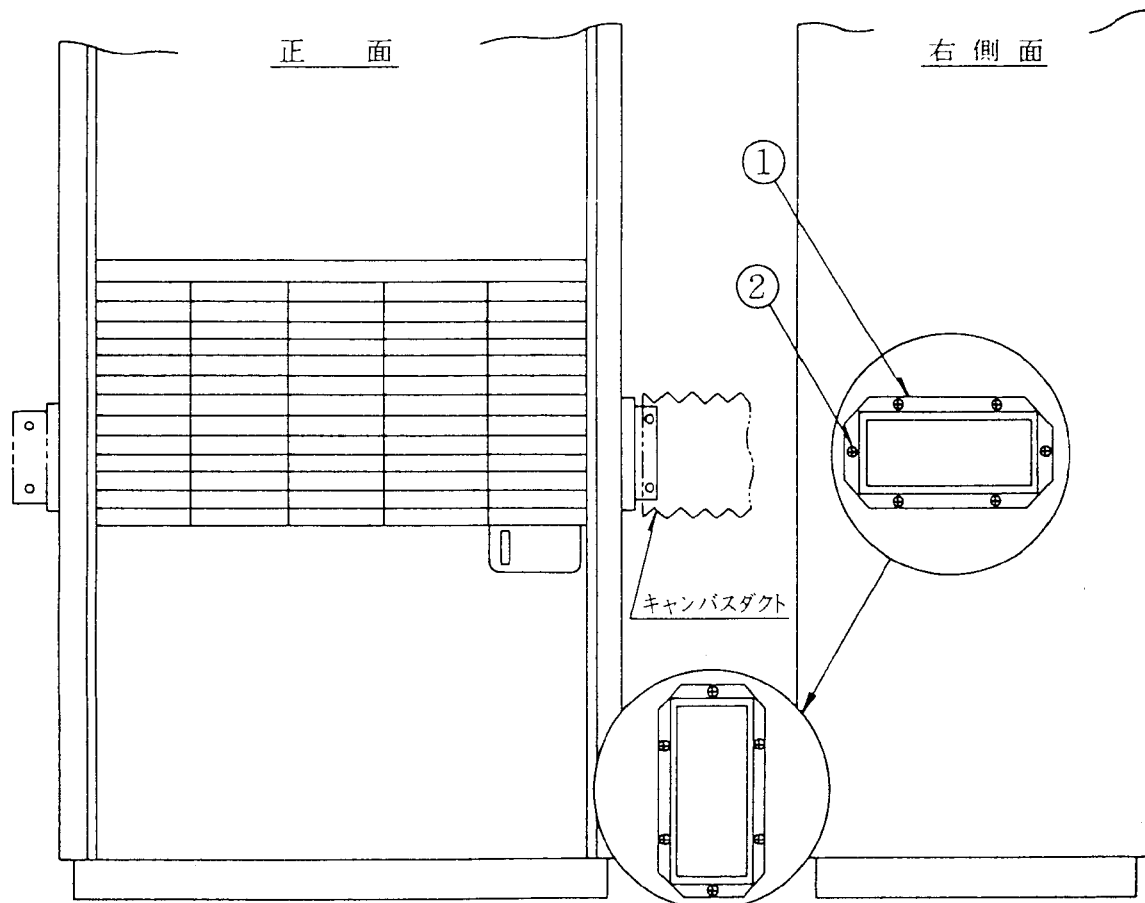
1. 部 品

この箱には本説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	外気取入フランジ	1		②	タッピンネジ	8	4×10(予備2本)

2. 取付要領

- エアコンの側面にある横吸込用ロックアウトを打抜いてください。
なお、打抜くときにエアコン内部の配管等を傷つけないようにご注意ください。
- 取付けは、左右いずれか希望の側に取付けてください。



(P-PCの場合は、フランジを)
縦に取付けてください。

3. 注意事項

- ダクトの本体接続部には必ずキャンバスダクトを使用してください。
- ダクトの室外側開口部は雨水の流入、障害物の混入のないように、ヨロイ板を設けてください。
- 室内の適当な場所に換気扇を設けると有効です。

外気取入フランジ取付説明書

[P-15・J400・J500D C
P-20・J560・J630D C]

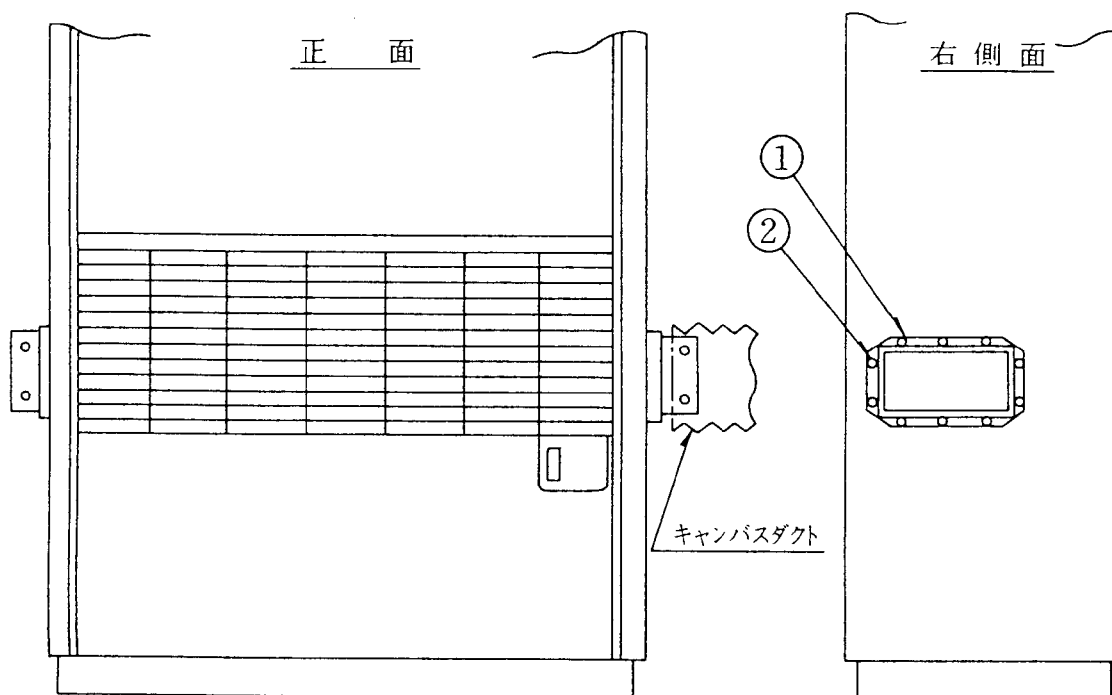
1. 部 品

この箱には本説明書のほか下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	外気取入フランジ	1		②	タッピンネジ	12	4×10(予備2本)

2. 取付要領

- (1) エアコンの側面にある横吸込用ロックアウトを打抜いてください。
なお、打抜くときにエアコン内部の配管等を傷つけないようにご注意ください。
- (2) 取付けは、左右いずれか希望の側に取付けてください。



3. 注意事項

- (1) ダクトの本体接続部には必ずキャンバスダクトを使用してください。
- (2) ダクトの室外側開口部は雨水の流入、障害物の混入のないように、ヨロイ板を設けてください。
- (3) 室内の適当な場所に換気扇を設けると有効です。

PAC-CP01DF[P-5, J140, J160DC(+H), PAT・PWT-5E(+H)用]
 PAC-CP02DF[P-8, J200, J250DC(+H), PAT・PWT-8E(+H)用]
 PAC-CP03DF[P-10, J280, J315DC(+H), PAT・PWT-10E(+H)用]

後吸込ダクトフランジ取付説明書

1. 部品 この箱には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考
①	後吸込ダクトフランジ	1	表面処理 亜鉛メッキ
②	前吸込口被い板	1	表面処理 亜鉛メッキ
③	タッピンネジ4×10(予備2本含む)	PAC-CP01DF 7	PAC-CP02・03DF 8
④	トラップ	1	
⑤	ペン	1	
⑥	固定バンド	1	

2. 取付要領

- (1) 本体後面のウシロパネルLを取り外し、ドレンチューブを図1に示す長さに切断してください。(図1)
- (2) 切断したドレンチューブの先端に④トラップを差し込み⑥固定バンドにてしっかり固定してください。(図1)
- (3) ④トラップの先端に⑤ペンを差し込んでください。(図1)
- (4) ウシロパネルLを元通り取り付けてください。
- (5) 本体後面の吸込口に①後吸込ダクトフランジを③タッピンネジで取り付けてください。(図1)
- (6) 本体前面の前吸込グリルを取り外してください。(図2)
- (7) 本体前面の吸込口に②前吸込口被い板を取り付けてください。
まず上部の突起(3ヶ所)を前パネル(上)の下部に差し込み、ドレンパン上にのせてください。
- (8) 前吸込グリルを元通り取り付けてください。

3. ご注意

- (1) **ドレントラップの取り付けを忘れず、上部ドレンパンに滞留したドレン水が機外へ滴下する恐れがありますので必ず取り付けてください。**
- (2) ダクトの本体接続部にはキャンバスタクトをご使用ください。
- (3) 後吸込ダクト仕様でご使用になりますと本体の機内抵抗が増し風量が減少しますので、静風圧変更部品(別売)を併用してください。
- (4) 前吸込口被い板を取り付けますと、エアフィルタの着脱が多少不便になりますが、エアフィルタの洗浄は週に一回以上行ってください。エアフィルタは前吸込グリル、前吸込口被い板を取り外して手前へ引き出します。

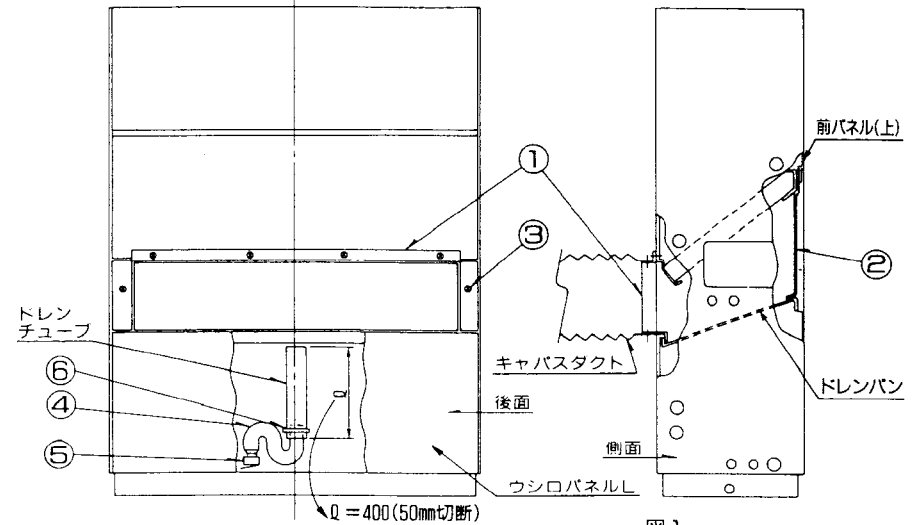


図1

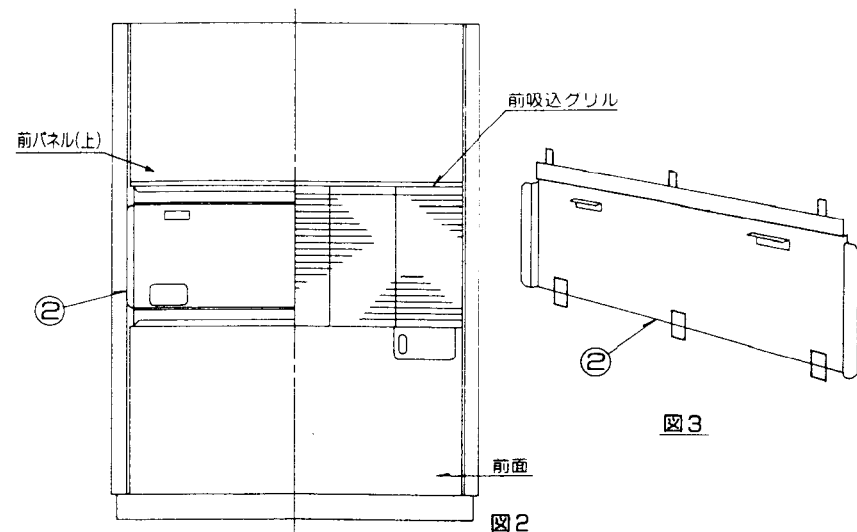


図3

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品

PAC-CP04DF [P-15,J400,500DC,PAT-15,J375E,PWT-15,J425E用]
 PAC-CP05DF [P-20,J560,630DC,PAT-20,J500E,PWT-15,J560E用]

後吸込ダクトフランジ取付説明書

1. 部品 この箱には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考
①	後吸込ダクトフランジ	1	表面処理 亜鉛メッキ
②	前吸込口被い板	1	表面処理 黒色塗装
③	タッピンネジ4×10(予備2本含む)	16	
④	トラップ	1	
⑤	ペン	1	
⑥	固定バンド	1	
⑦	トリツケイタ	2	圧力計併用組込み時のみ使用

2. 取付要領

- 本体後面のウシロパネルLを取り外し、ドレンチューブを図1に示す長さに切断してください。(図1)
- 切断したドレンチューブの先端に④トラップを差し込み⑥固定バンドにてしっかり固定してください。(図1)
- ④トラップの先端に⑤ペンを差し込んでください。(図1)
- ウシロパネルLを元通り取り付けてください。
- 本体後面の吸込口に①後吸込ダクトフランジを③タッピンネジで取り付けてください。(図1)
- 本体前面の前吸込グリルを取り外してください。(図2)
- 本体前面の吸込口に②前吸込口被い板を取り付けてください。
 ②前吸込口被い板の掛け金をスライドさせて本体左右の枠に固定してください。(図1・2)
 ※圧力計と併用組込みする場合は付属の⑦トリツケイタを圧力計取付部に取付けてください。(図4)
- 前吸込グリルを元通り取り付けてください。

3. ご注意

- ドレンラップの取り付けを忘れますと、上部ドレンパンに滞留したドレン水が機外へ滴下する恐れがありますので必ず取り付けてください。
- ダクトの本体接続部にはキャンバスダクトをご使用ください。
- 後吸込ダクト仕様でご使用になりますと本体の機内抵抗が増し風量が減少しますので、静風圧変更部品(別売)を併用してください。

- 前吸込口被い板を取り付けますと、エアフィルタの着脱が多少不便になりますが、エアフィルタの洗浄は週に一回以上行ってください。エアフィルタは前吸込グリル、前吸込口被い板を取り外して手前へ引き出します。

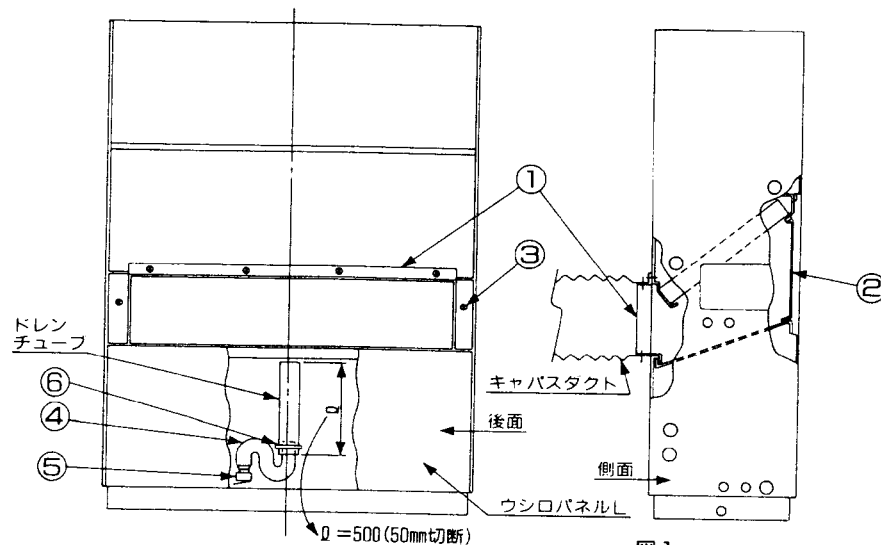


図1

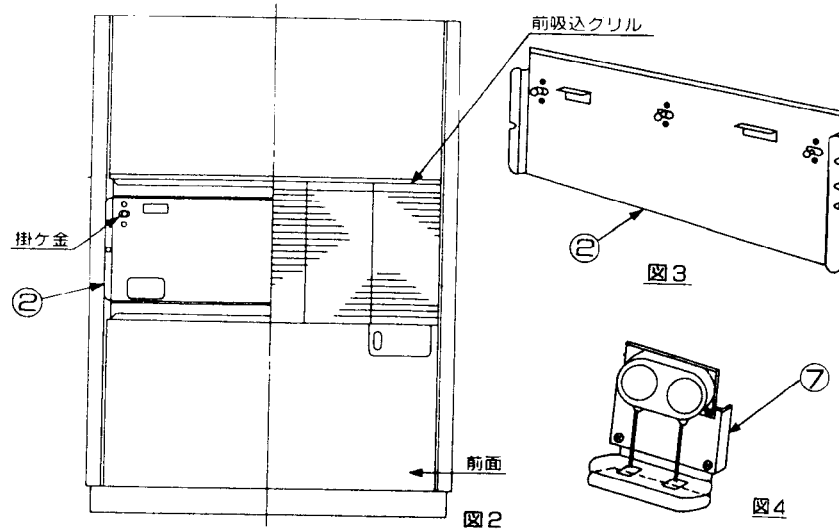


図3

図4

mitsubishi

三菱パッケージエアコン別売部品
 フィレドンフィルタ取付説明書

PAC-CP18・68FF
 …P-5・J140・J160DC(-H)
 PAC-CP19・69FF
 …P-8・J200・J250DC(-H)
 PAC-CP20・70FF
 …P-10・J280・J315DC(-H)

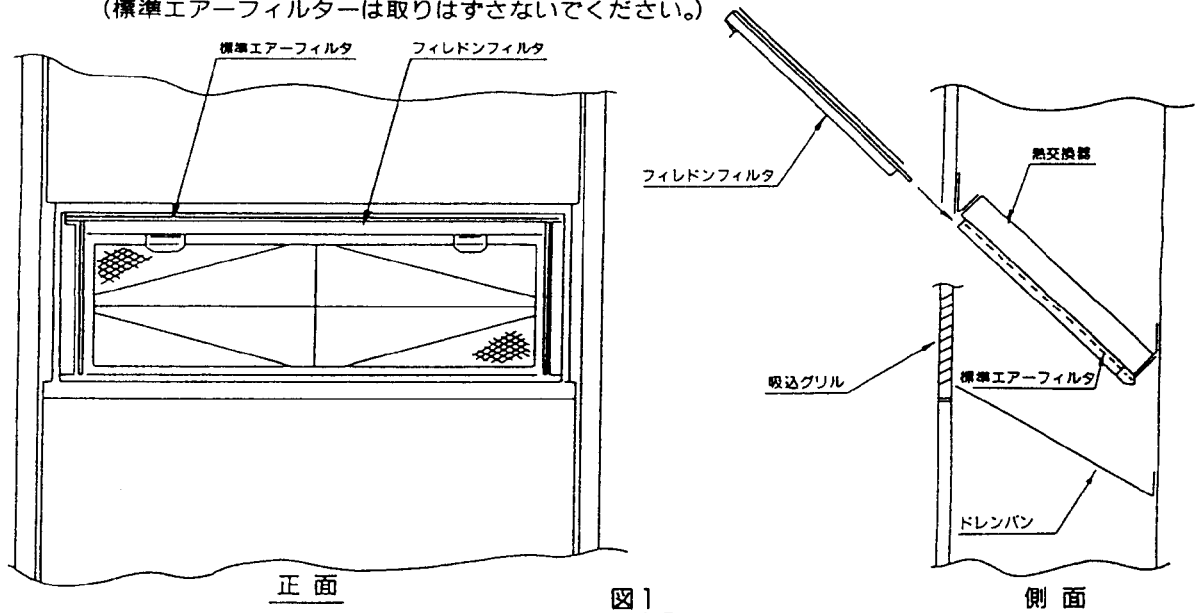
1. 部 品

この箱にはこの説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品 名	仕 様	個 数					
		PAC-CP18FF	PAC-CP19FF	PAC-CP20FF	PAC-CP68FF	PAC-CP69FF	PAC-CP70FF
フィレドンフィルタ	PS/400	1	—	—	—	—	—
		—	1	—	—	—	—
		—	—	1	—	—	—
	PS/600	—	—	—	1	—	—
		—	—	—	—	1	—
		—	—	—	—	—	1

2. 取付要領

- ① カバーを図1の様に組立ててください。
- ② フィレドンフィルタを図1の様に標準エアフィルタにだき合わせて装着してください。
 (標準エアフィルタは取りはずさないでください。)



3. 注 意 事 項

- ① フィレドンフィルタは常にきれいに使用してください。
 洗浄は週1回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

4. 洗 浄 方 法

- ① 水槽内での押し洗い
- ② スプレ洗浄
- ③ 洗浄機での機械洗浄
- ④ 圧縮空気による吹きとばし又は掃除機による吸引などの洗浄方法があります。特に、産業設備用途などでは、油塵埃が多いため、この様なものには中性洗剤(洗剤、粉石けん等)を湯(40°C程度)に95:5の割合とし、所定時間(1昼夜)浸漬後押し洗いをして清水にてすすぎ洗いをするをおすすめします。なお洗浄後は自然乾燥をして下さい。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品
 フィレドンフィルタ取付説明書

PAC-CP21・71FF
 …P-15・J400・J500DC
 PAC-CP22・72FF
 …P-20・J560・J630DC

1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	仕 様	個 数			
			PAC-CP21FF	PAC-CP22FF	PAC-CP71FF	PAC-CP72FF
1	フィレドンフィルタ (前)	PS/400	2	—	—	—
		PS/600	—	2	—	—
2	フィレドンフィルタ (後)	PS/400	—	—	2	—
		PS/600	—	—	—	2
3	カバーA	寸法 770×166	1	—	1	—
		寸法 880×166	—	1	—	1
4	カバーL	寸法 770×166	1	—	1	—
		寸法 880×166	—	1	—	1
5	ホキョウウイタ		1	1	1	1
6	タッピンネジ	4×10	6(予備2)	6(予備2)	6(予備2)	6(予備2)

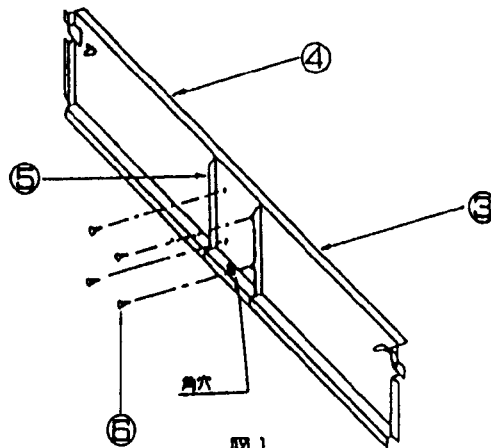


図1 カバー組立

2. 取付要領

- ① カバーを図1の様に組立ててください。
- ② 本体吸込グリルを取りはずしてください。
- ③ カバーを後面吸込口のドレンパン上に取付けてください。(図2)
 (カバーの取付けは、カバー中央角穴部をユニット中央切り起し部に引っ掛けた後、
 両端の固定具を、後面吸込口の両端部にスライドさせて固定してください。)
- ④ フィレドンフィルタを図2の様に標準エアフィルタにだき合わせて装着してください。
 標準エアフィルタは取りはずさないでください。
 (フィレドンフィルタには前面用と後面用の2種類がありますので注意してください。)
 (後面用はフィルターがセンターから折れ曲がります。)

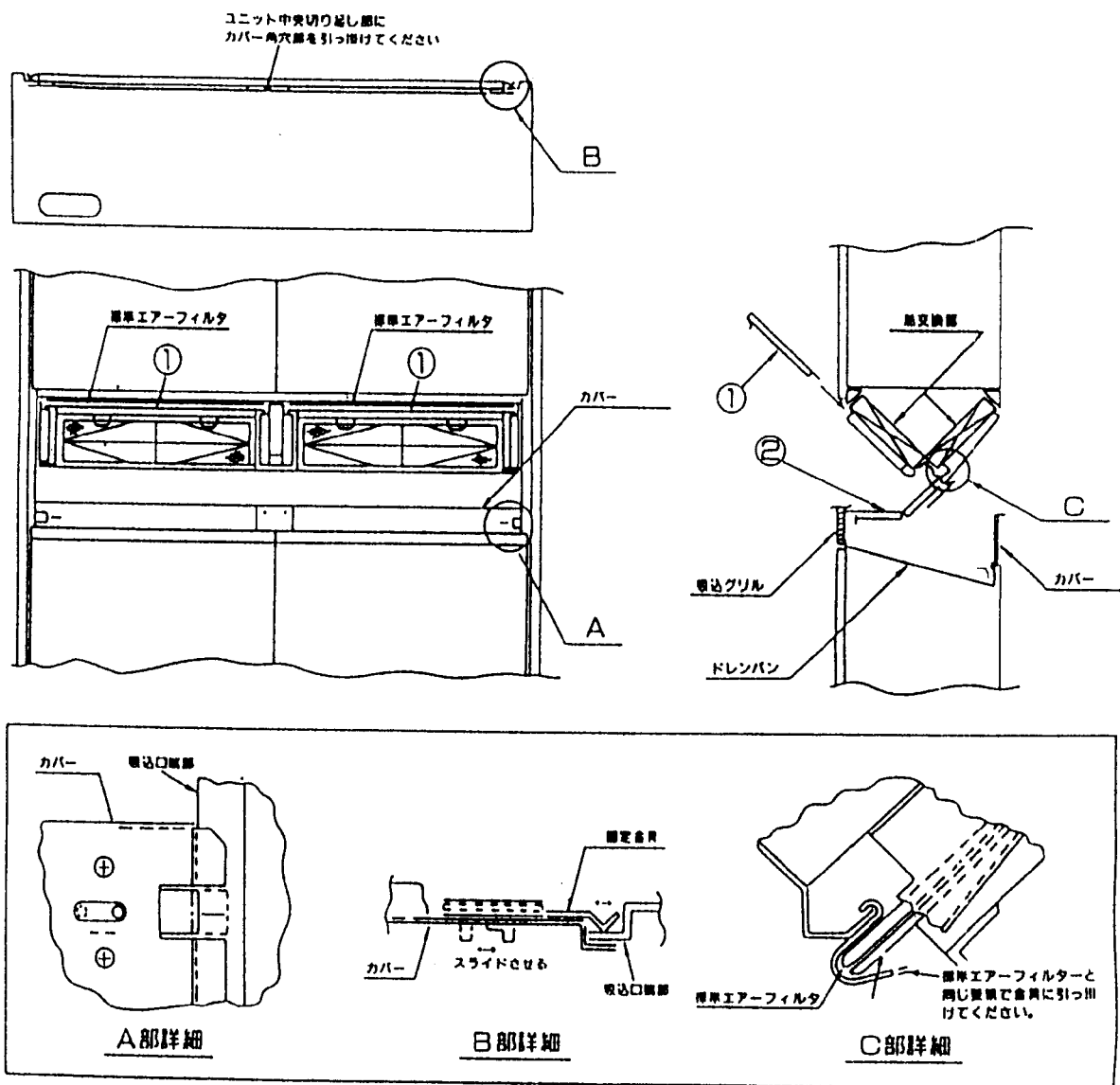


図2

3. 注意事項

- ① フィレドフィルタは常にきれいに使用してください。
洗浄は週1回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

4. 洗浄方法

- ① 水槽内での押し洗い
- ② スプレ洗浄
- ③ 洗浄機での機械洗浄
- ④ 圧縮空気による吹きとばし又は掃除機による吸引などの洗浄方法があります。特に、産業設備用途などでは、油塵埃が多いため、この様なものには中性洗剤(洗剤、粉石けん等)を湯(40℃程度)に95:5の割合とし、所定時間(1昼夜)浸漬後押し洗いをして清水にてすすぎ洗いをするをおすすめします。なお洗浄後は自然乾燥をして下さい。

エリミネータ 取付説明書

(PAC-CM30EN・・・P-5.J140.J160DC(-H)
 PAC-CM31EN・・・P-8.J200.J250DC(-H)
 PAC-CM32EN・・・P-10.J280.J315DC(-H))

1. 部品

この箱には本説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考
1	エリミネータ	1	

2. 装着要領

- (1) 吸込グリル、前パネル（取付ネジ2本）を取り外してください。
- (2) エリミネータ①を図1の様に熱交換器上面に装着し、取っ手を前仕切板に押し当ててください。（A部詳細図）
- (3) 加熱器と併用する場合は、予め前仕切板（取付ネジ2本）を取外し、エリミネータを装着してください。
 エリミネータ装着後、前仕切板を元通り取り付けてください。

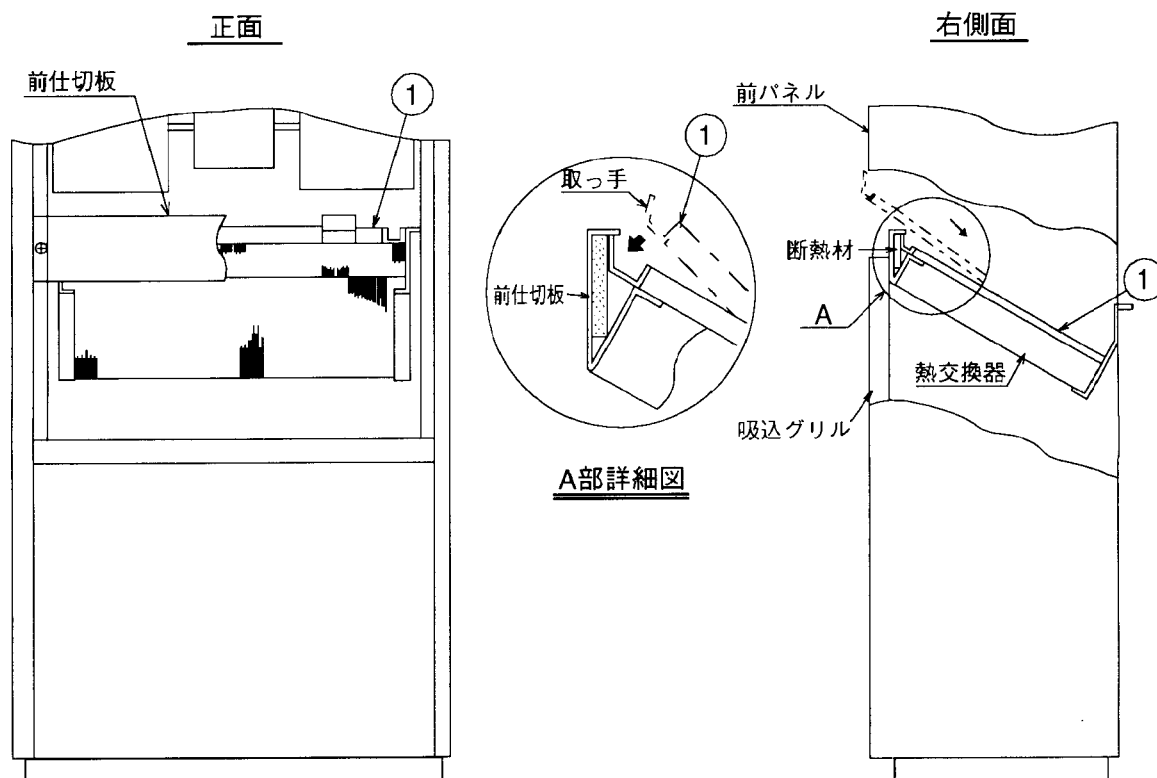


図1

エリミネータ 取付説明書 (PAC-CM33EN・・・P-15.J400.J500DC) (PAC-CM34EN・・・P-20.J560.J630DC)

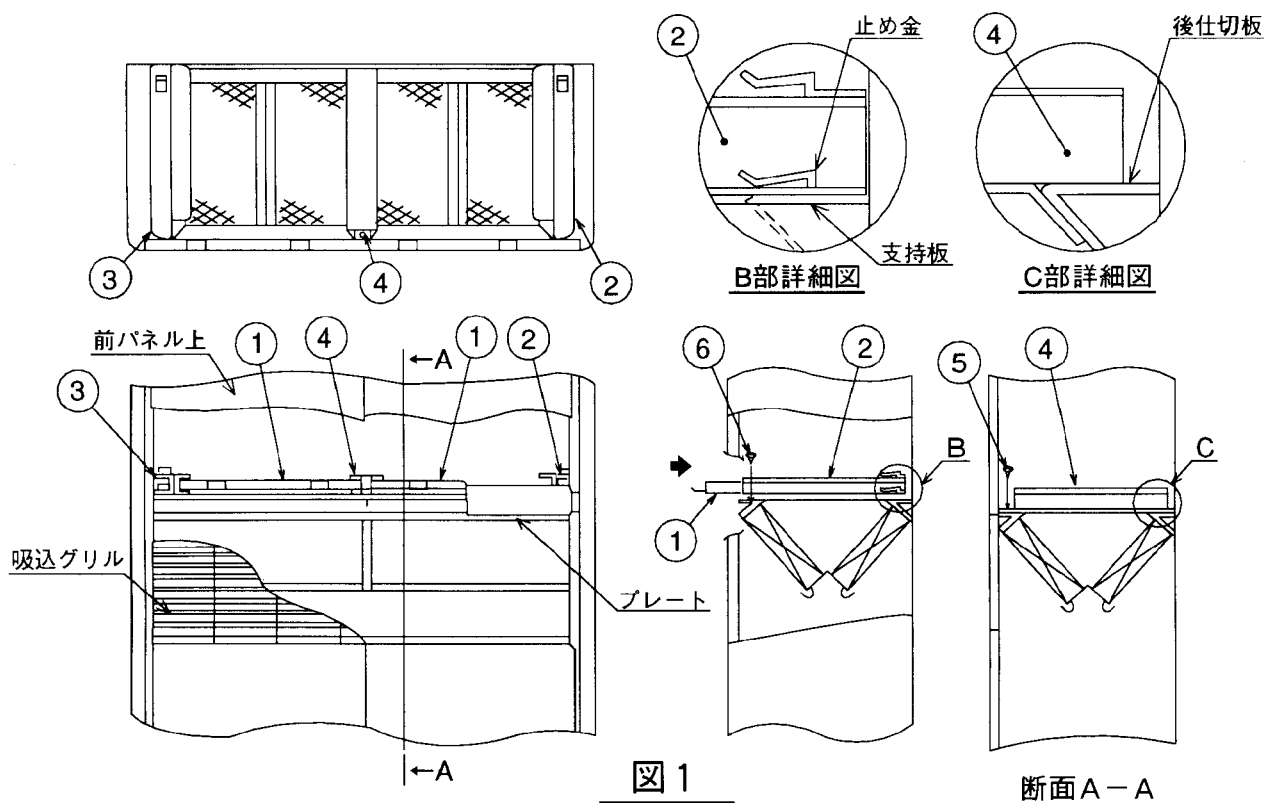
1. 部品

この箱には本説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
1	エリミネータ	2		4	レールC	1	
2	レールR	1		5	タッピンネジ	2	4×10 (予備1本)
3	レールL	1		6	タッピンネジ	3	5×10 (予備1本)

2. 装着要領

- (1) 吸込グリル、前パネル上 (取付ネジ2本) 及びプレート (取付ネジ4本) を取り外してください。(図1)
- (2) エリミネータのレール②③④を取り付けてください。
 - ・レールR、L②③は後方を支持板上の止め金の位置まで差込み(図1、B部詳細図)、手前をネジ止め(タッピンネジ⑥2本)してください。
 - ・レールC④は後方を熱交換器後仕切板に押し当て(図1C部詳細図)手前をネジ止め(タッピンネジ⑤1本)してください。
- (3) エリミネータを(2)項にて取り付けたレールに装着し、プレートを元通り取り付けてください。



3. 注意事項

- (1) 本エリミネータは、別売電気ヒータ (大容量) [PAC-CK17・18EH] との同時組込みはできません。
- (2) レールR、L②③は蒸気ヒータ [PAC-CK44・45SH]、温水ヒータ [PAC-CL9・10WH] 電気ヒータ (小容量) [PAC-CK9・10EH] の取付板と兼用です。

K制御キット取付説明書

P-J140~J630
P-5~20

P-25~30については別の説明書をご覧ください。

1. 部品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	K制御本体	1		5	コネクタミタテ(3Pシロ)	1	P-P-C用
②	コネクタミタテ(シロ)	1		6	室温検知サーモ	1	シールド線仕様
③	コネクタミタテ(アカ)	1		7	ゴムブッシュ	2	大小各1個
④	コネクタミタテ(アオ)	1		8	結束バンド	4	
				9	取付ネジPTT4×10	4	予備 2
				10	接続要領書	1	
				11	リモコン操作説明書	1	

手元リモコンが必要な場合は、下記の区分にて手配してください。

尚、手配数については組むシステムによりしますので接続要領書10を参照して決めてください。

ダクトタイプ(P-DC) : CMR-503K-B

プレナムタイプ(P-PC) : CMR-502K-B

2. 部品の使用区分

別売部品を共用化しており、上記部品のうちコネクタミタテ②、③、④、⑤は機種により下記のように選択して使用します。(指定部品以外は不要部品となります。)

使用部品番号

機種名	PAH-5	PWH-5	PAH-15	PWH-15	PA-5, J140	PW-5, J160
		-8 -10 -J140 -J200 -J280	-8 -10 -J160 -J250 -J315	-20 -J400 -J560	-20 -J500 -J630	-8, J200 -10, J280 -15, J400 -20, J560
DCタイプ	②		③		④	
PCタイプ	②	⑤	③	⑤	④	⑤

3. 取付要領

- 本体正面中央の吸込グリルを外し、前パネル下(取付ネジ2個)を取外してください。
- 制御箱の右下の角穴にK制御キット1の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ9を2個使用して取付けてください。(図1参照)
この時、制御箱内の配線を傷つけない、はさみ込まないように注意してください。

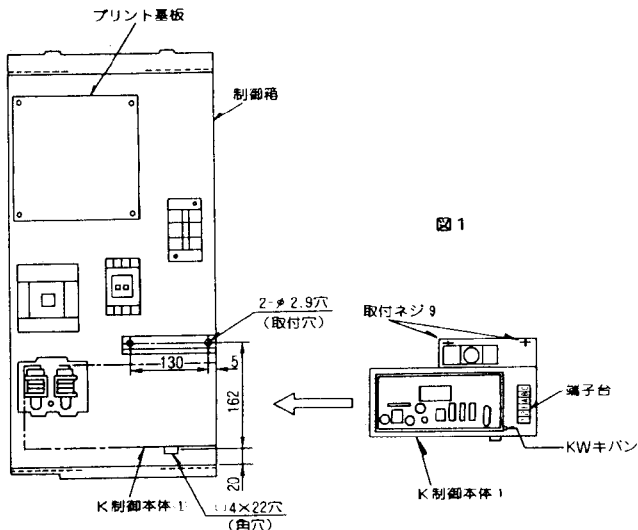


図1

- 次に室温検知サーモ6を取付けます。(図2参照)
K制御キットのコネクタ端子CN20へ室温検知サーモの端子台“E”に接続し、横のスナップバンドにて、後述のリモコンサーモ部分はドレンパンの配線穴より上部にて固定します。

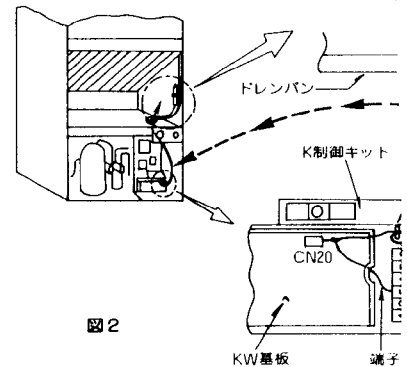
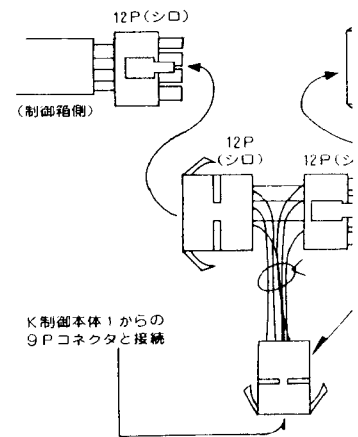


図2

- 制御箱と操作部を接続しているコネクタミタテ②、③、④を挿入接続します。(図3参照)
接続後適切な箇所を結束バンド8にて結束



- P-PC(プレナムタイプ)においては、さらにコネクタミタテ5を取付け、丸形圧着接続します。

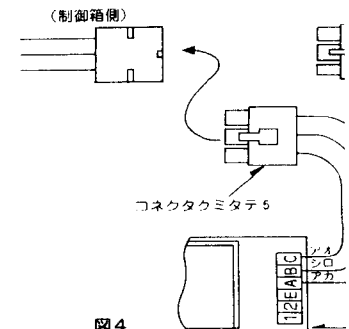
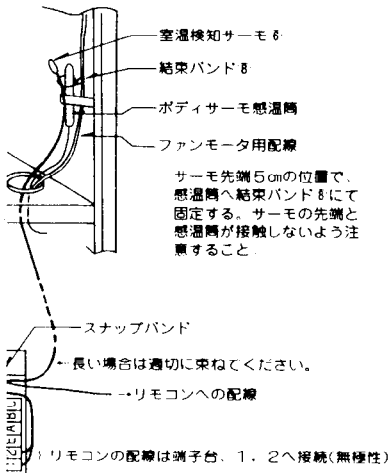


図4

2参照)

検知サーモ⑥のコネクタを差し込みアース端子
トす。コネクタ部にかが加わらないよう端子台
への配線と共にしっかりと固定します。
ねに通しボディサーモの感温筒に結束バンド⑧に



台Eへ接続

12P)を外し、この間に2項により選定したコネ
欠にK制御本体1からの9Pコネクタとも接続し

装してください。

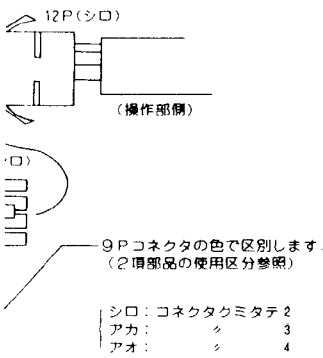
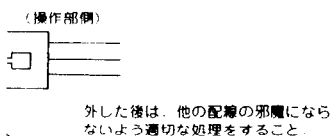


図3

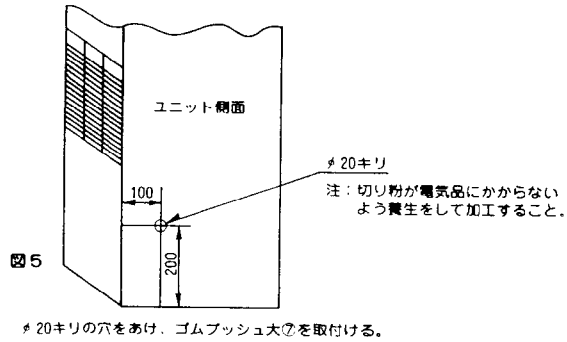
らに制御箱上部の3Pコネクタを外し図4に従っ
ず端子側はK制御本体1の端子台A、B、Cに接



K制御キット

3.6 リモコンとの接続

- 1 K制御本体①の取付後リモコンへの配線を接続します。
- 2 使用電線の種類やシステム配線等詳細は別添付の接続要領書を参照してください。
- 3 K制御本体①の端子台1、2へ接続し、3.3項の室温検知サーモ⑥の配線と共に端子台横のスナップバンドにてしっかりと固定します。(図2参照)
- 4 電気ノイズを受けないようできるだけ電源配線から離して配線します。本体からの取出し場所によりどうしても電源線と接触する場合は、図5に示すようにリモコン配線取出穴をあけ付属のゴムブッシュ⑦を取付けて配線します。



- 5 ユニット外部でも、リモコン配線が電源配線の電気ノイズを受けないよう5mm以上離してください。
- 6 リモコン配線は2芯線を使用してください。系統の異なるリモコン配線を多芯の同一ケーブル内で配線しますと伝送信号の送受信が正常にできなくなり誤動作の原因になりますので、絶対に行わないでください。

4. 別売ヒータを組み込んでいる場合の処置

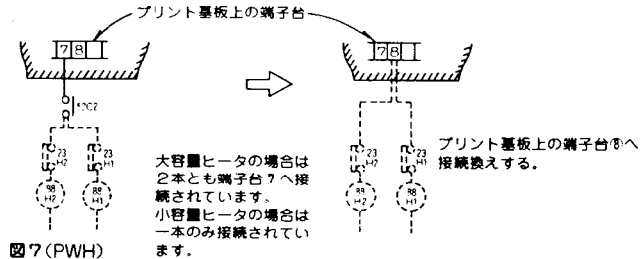
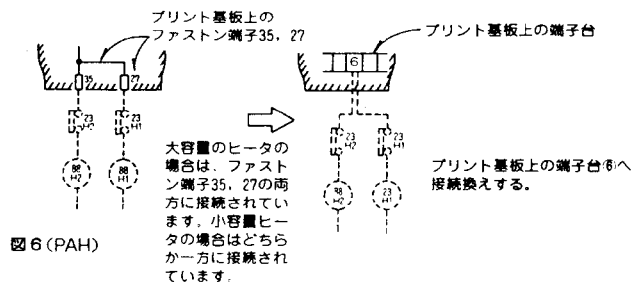
ヒートポンプ方式(PAH, PWH)で別売の電気ヒータを組み込む場合、機種により次のような処
理をしてください。

4.1 PAH-5・8・10・J140~J280, PWH-5・8・10・J160~J315 形の場合

別売電気ヒータの取付説明書通り組込んでください。

4.2 PAH-15・20・J400・J560, PWH-15・20・J500・J630 形の場合

- 1 別売電気ヒータに付属の温度調節器によりヒータのON-OFFを行う場合は別売電気ヒータの取付説明書通りに組込んでください。
- 2 K制御によるヒータの制御(設定温度-2℃にてOFF, -3℃にてON)を併用して行う場合は図6(PAH), 図7(PWH)により接続変更をしてください。



5. 注意事項

- 5.1 作業完了後ネジのユルミ、コネクタの差込み不良等ないか再度確認してください。
- 5.2 別添付の接続要領書、リモコン操作説明書を参照の上試運転を行い、充分動作確認をしてください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ41RC

簡易形遠方操作セット取付説明書

P-J140~J630
P-5~20
P-25、30については、
別の説明書をご覧ください

1. 部品

この箱には説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	簡易形遠方操作セット	1		③	結束バンド	2	
②	取付ネジPT4×10	4	予備2				

2. 取付要領

2.1 本体正面中央の吸込グリルを外し、前パネル(下)を取りはずしてください。

2.2 制御箱の右下の角穴に簡易形遠方操作セット①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ②により取付けてください。(右図参照)

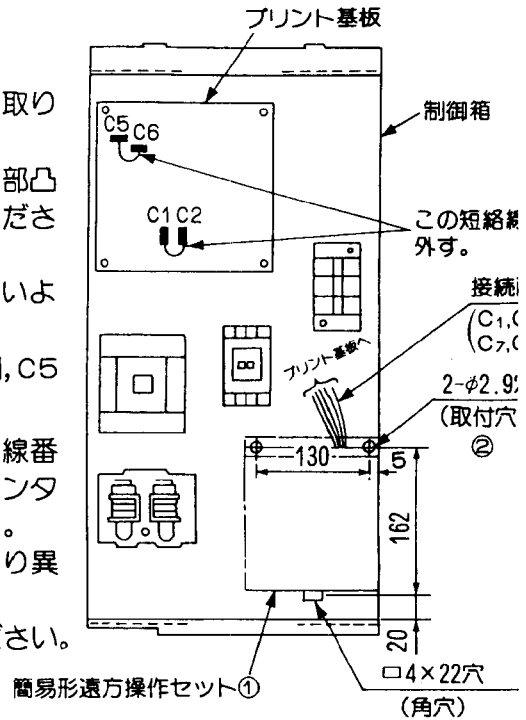
この時、制御箱内の配線を傷つけたりはさみこまないよう注意してください。

※2.3 制御箱内のプリント基板の接続線のうちC1-C2間、C5-C6間の短絡線を外してください。

※2.4 簡易形遠方操作セット①を接続する配線(7本)の線番C1、C2、C5、C6、C7、C8、C9とプリント基板のファストン・タブの記号を合わせて接続(差し込む)してください。

※2.3、2.4 項のファストン・タブの位置は機種により異なりますので、注意してください。

2.5 接続後結束バンド③にて適切な箇所を結束してください。

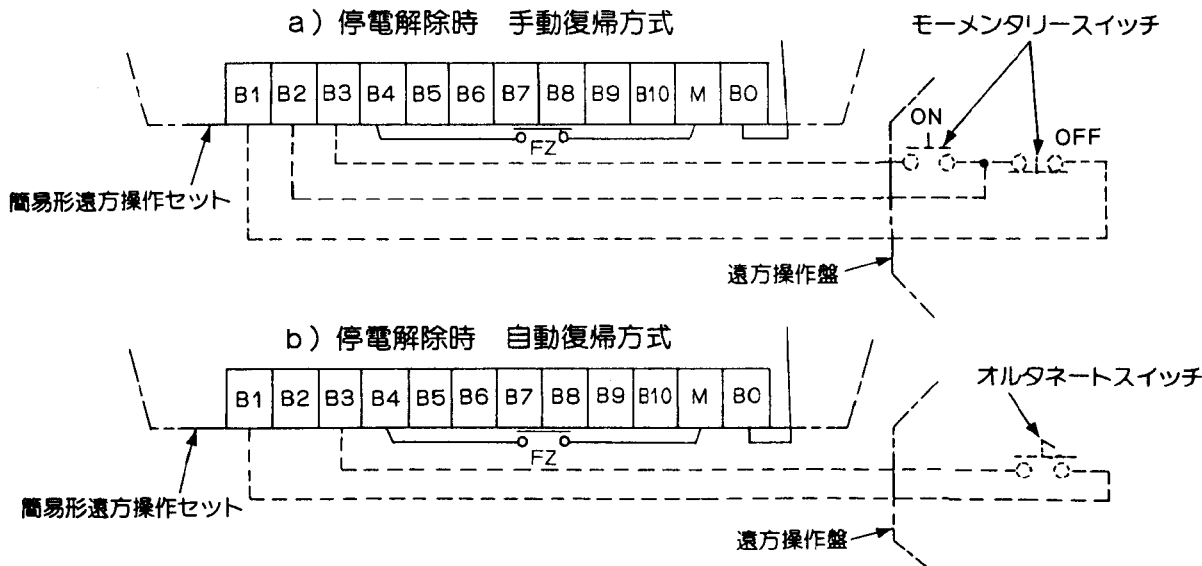


3. 配線要領

簡易形遠方操作セットと遠方操作盤との間を下記要領にて配線してください。

現地配線は破線で示します。IVφ1.6(最大こう長100m)以上にて配線してください。

3.1 押しボタンスイッチによる操作の場合

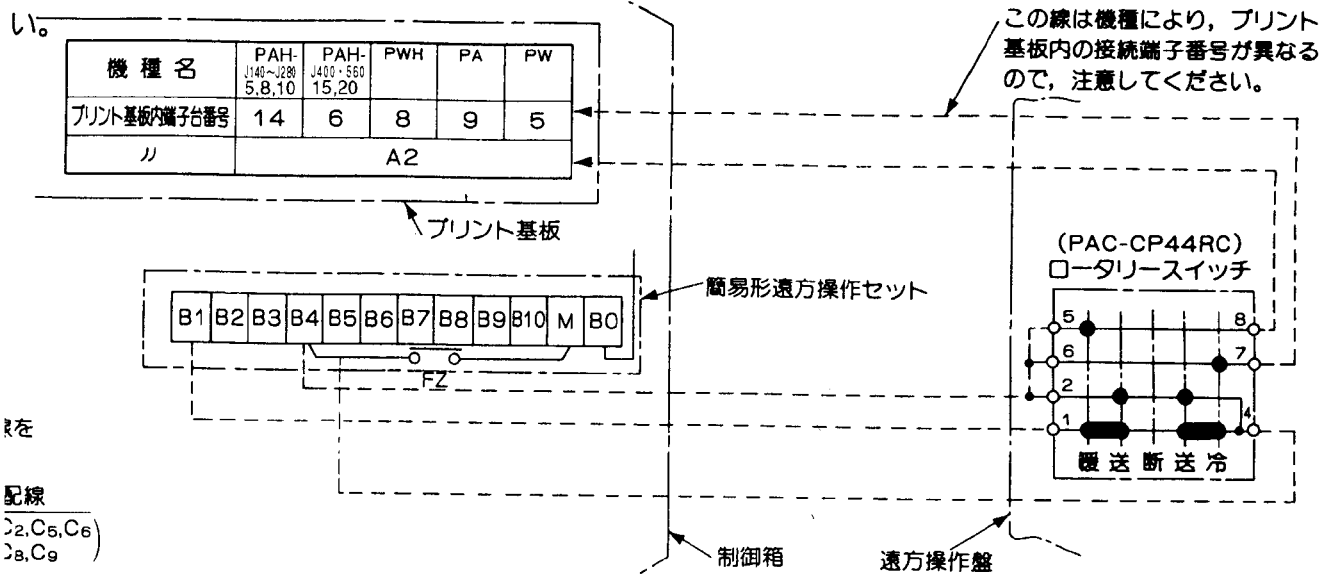


2. 4項
内、プ
端子C1
シテー

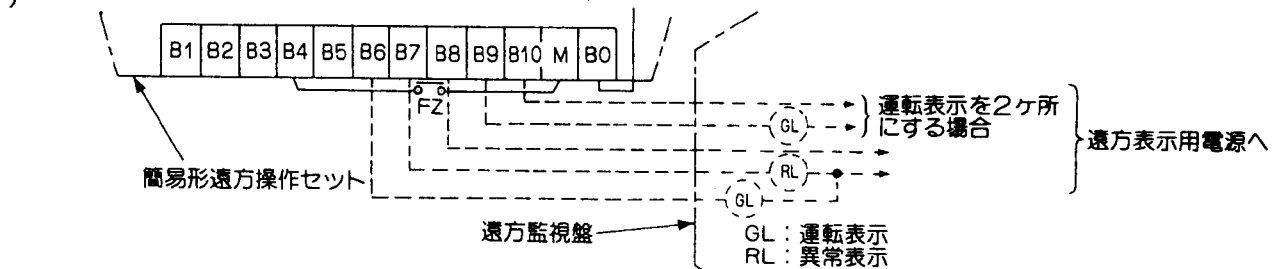
3.2 ロータリースイッチによる操作の場合

下図に示すように接続してください。

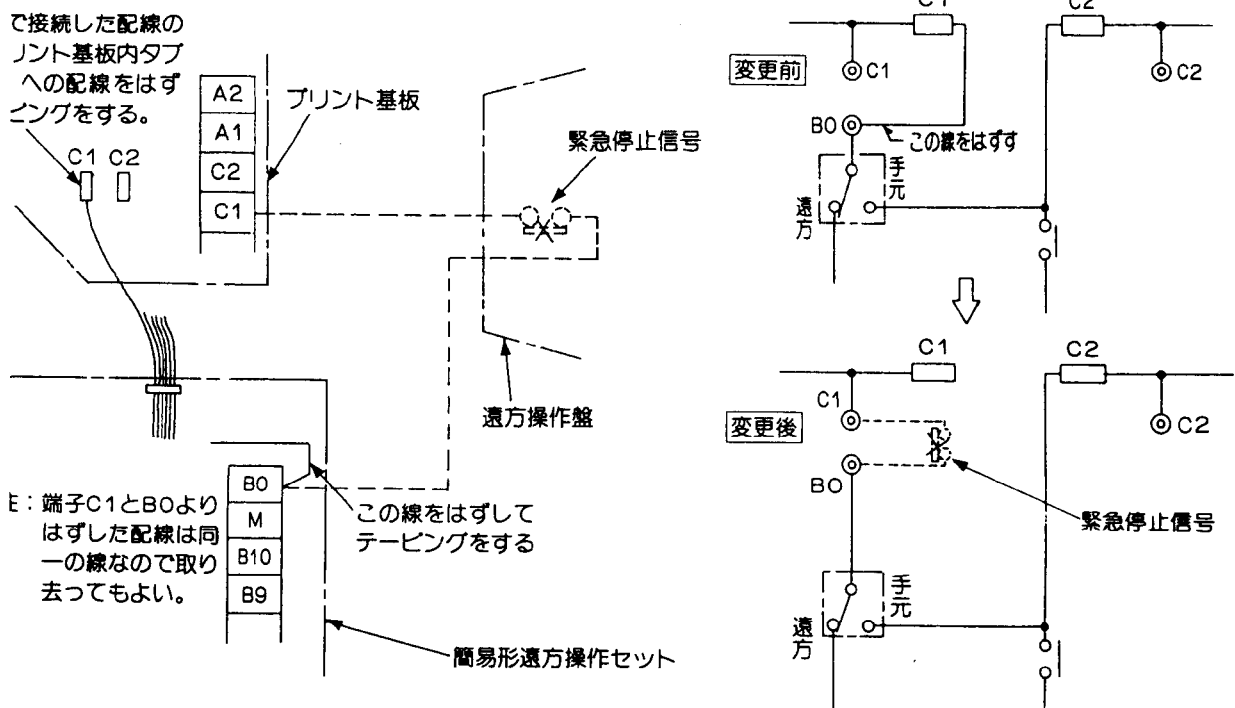
ロータリースイッチは別売部品PAC-CP44RCを利用してください。



3.3 遠方表示（運転、異常表示）をする場合



3.4 緊急停止回路を設ける場合



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP44RC

リモートコントローラ取付説明書

P-J140~J630
P-5~20
P-25・30については別の説明書をご覧ください。

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数
①	リモートコントローラ	1
②	閉端接続子	5

このリモートコントローラは、簡易形遠方操作セット(PAC-CQ41RC)と合わせて使用します。

2. 取付要領

- 2.1 取付にあたっては1個用スイッチボックス(カバー付 JISC8336)が必要です。(図1参照)
- 2.2 リモートコントローラは、日常の操作がしやすい所に、取付けてください。

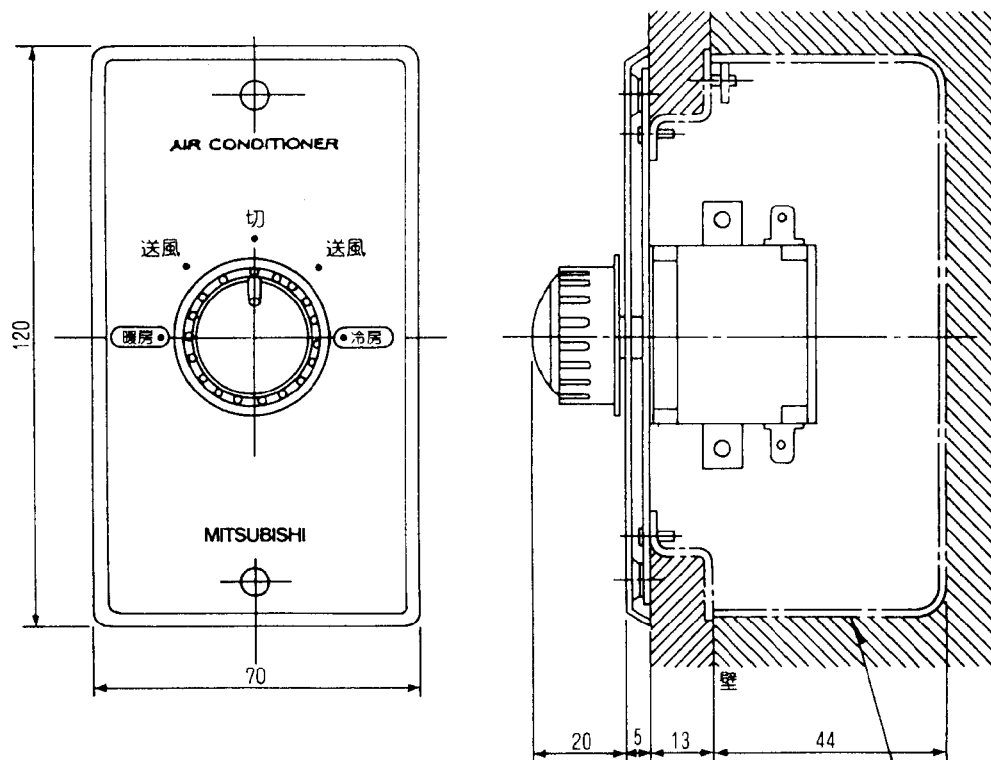


図1

1コ用 スイッチボックス
(カバー付)
JIS C 8336
(現地手配)

プリン
簡易形
(PAC-

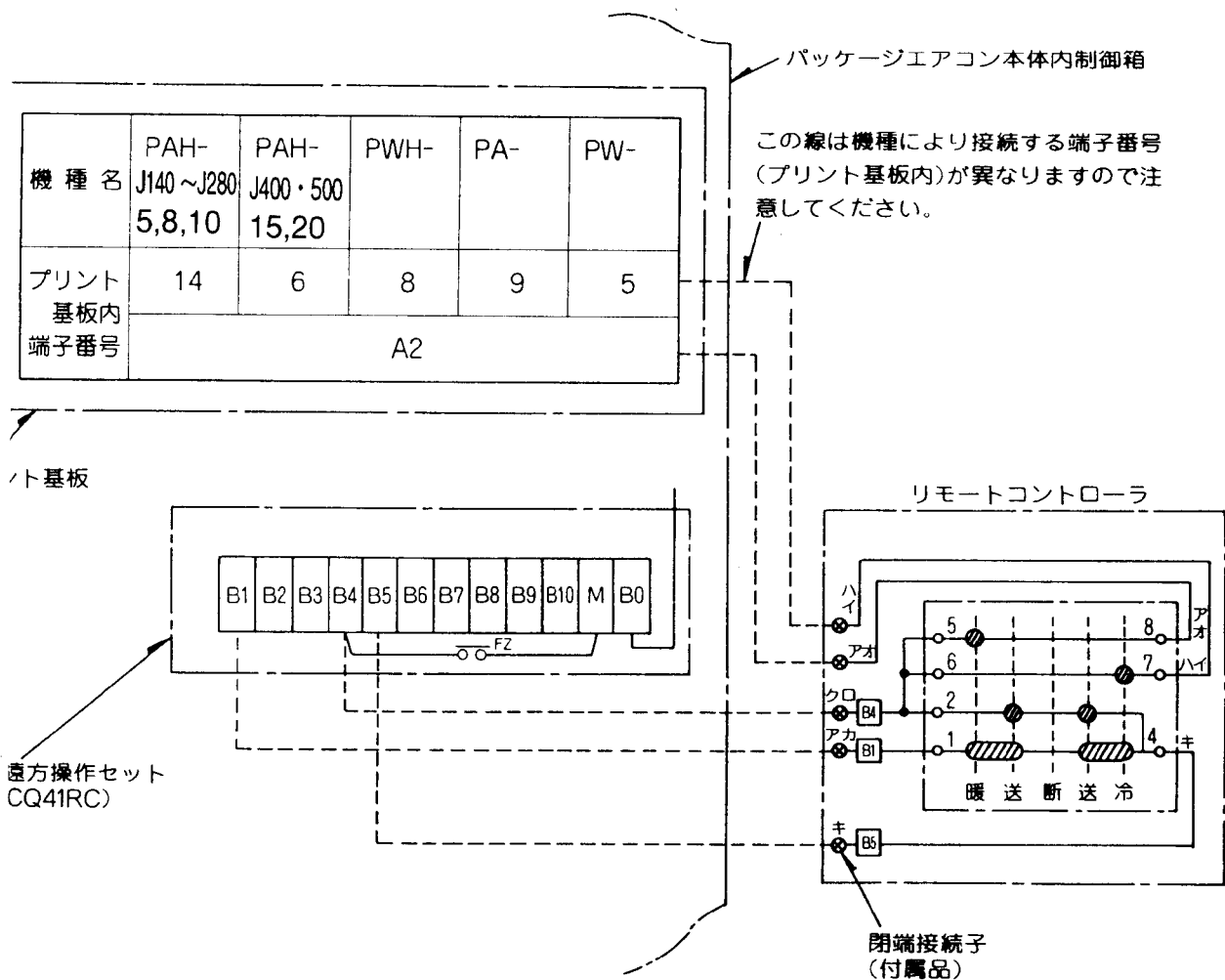
3. 配線要領

3.1 簡易遠方操作セットを組み込んだパッケージエアコン本体とリモートコントローラの間を図2のように接続してください。

破線は現地配線を示します。IV ϕ 1.6(最大こう長 100m) 以上の接続線にて配線してください。

リモートコントローラ側は、付属の閉端接続子により接続してください。

注：①機種により接続する端子番号が異なるので注意してください。



4. 作業完了後誤配線はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。特に機種により基板上的接続端子番号が異なりますので機種名と端子番号を必ず点検してください。

遠方操作箱取付説明書 P-J140~J630
P-5~20

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	遠方操作箱	1		④	ゴムブッシュ	1	
②	取付ネジPTT4×10	6	予備2個	⑤	つなぎ線	2	
③	型 紙	1					

2. 取付要領

- 2.1 空調機側面パネルに配管穴電源穴等をさけて、遠方操作箱取付用穴をあけてください。(図1参照、型紙をご利用ください)
高静圧タイプ(P-J140~J315DC-H)は図2により穴を開けてください。
- 2.2 側面パネルにあけたφ45の穴にゴムブッシュ④をつけ、取付ネジ②4本で遠方操作箱を取り付けてください。
- 2.3 シキリ板(取付ネジ2本)をはずし送風機用配線と同じ経路で配線し、操作部と制御箱との接続コネクタを外し遠方操作箱からのコネクタにそれぞれ接続してください。
- 2.4 左側面に取り付けた場合は、つなぎ線⑤を使用しシキリ板の内側を通して右側面まで配線し、以後は2、3項と同じ要領で接続してください。
尚つなぎ線を接続する時コネクタ部は遠方操作箱内にあるようにしてください。
- 2.5 遠方操作箱への配線をしてください。

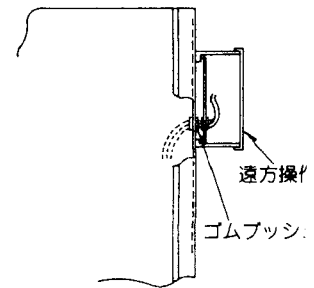
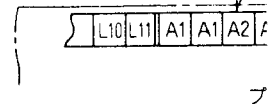


図2 高

3. 配線要領

- 現地配線は破線で示同等以上にて配線して
- 3.1 緊急時空調機停止

短絡片をはずす。



3.2 遠方表示回路
(無電圧接点)

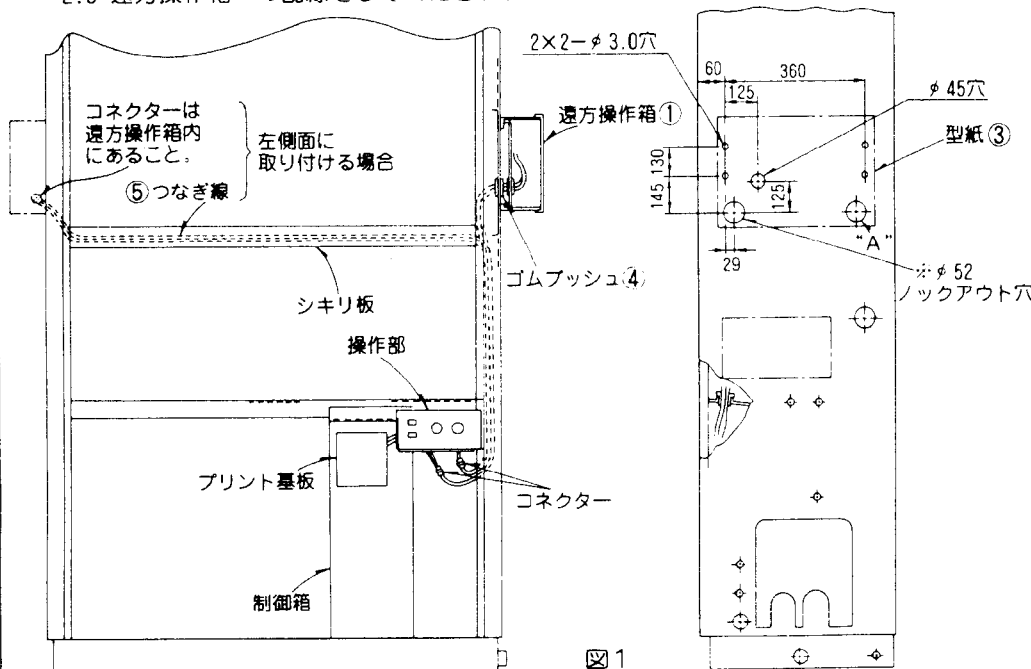
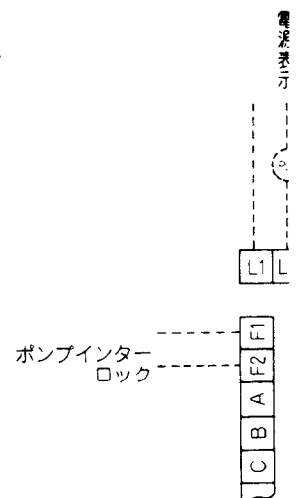
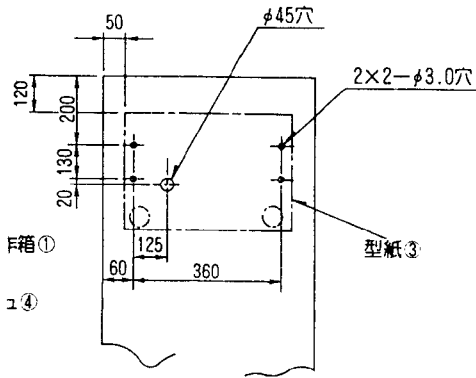


図1

※φ52ノックアウト穴

この穴に型紙の穴を合わせて位置を決める。
左側面に取り付ける場合は、型紙“A”の穴と合わせる。

3.3 遠方操作回路（押釦スイッチ5点方式の場合を示す。）



静圧タイプの場合

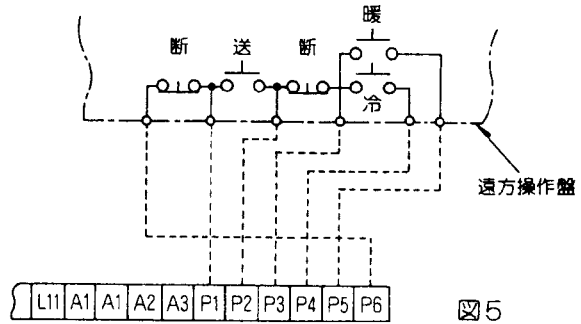


図5

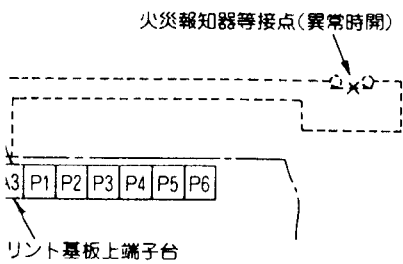
※他の遠方操作方式については
技術情報を参照してください。

4. 遠方一手元切換スイッチを遠方操作箱外より操作できるようにする場合

4.1 遠方操作箱内プリント基板上の短絡線S2、S5を外します。

はします。IVφ1.6(最大こう長 100m)
ください。

回路



プリント基板上端子台

図3

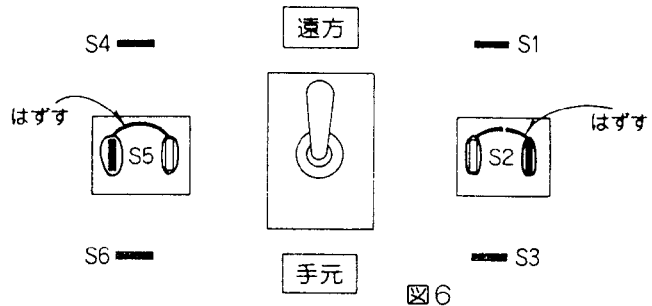


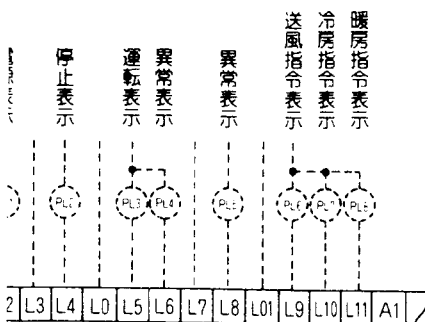
図6

4.2 別の遠方一手元切換スイッチを準備します。(2極双投)

4.3 遠方操作箱の側面にあるφ12.5ノックアウト穴を利用するか又は取り
付けたい場所にスイッチを取り付けます。

4.4 下図のように接続します。

図7は、遠方の場合を示します。



PL1~PL8: 表示灯

図4

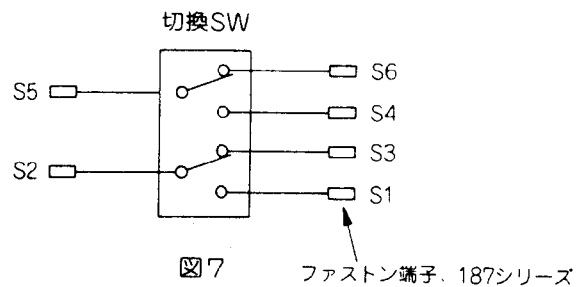


図7

S1~S6のファストン端子は、4.1 項
で示すファストンタブへ挿入します。
S2、S5端子は2つつあるので、図
6により必ず側へ接続します。

5. 注意事項

5.1 作業完了後誤配線がないか確認後、試運転をして動作確認をしてくだ
さい。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ03YH

余熱排除回路部品取付説明書

P-J 140～J630
P-5～20

P.25～30については別の説明書をご覧ください。

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	タイマー組立	1		③	結 束 バ ン ド	3	
②	取付ネジPPT4×25	4	予備2個				

2. 取付要領

- 2.1 本体正面中央の吸込グリルを外し、前パネル下（取付けネジ2本）を取外してください。
- 2.2 制御箱の右下にタイマー組立①を取付ネジ②2本にて取付けてください。
（図1参照）
- 2.3 別売簡易形遠方操作セット（PAC-CQ41RC）を組んでいる場合にはこの簡易形遠方操作セットの上に、タイマー組立①を取付ネジ②2本にて取付けてください。
（図2参照）

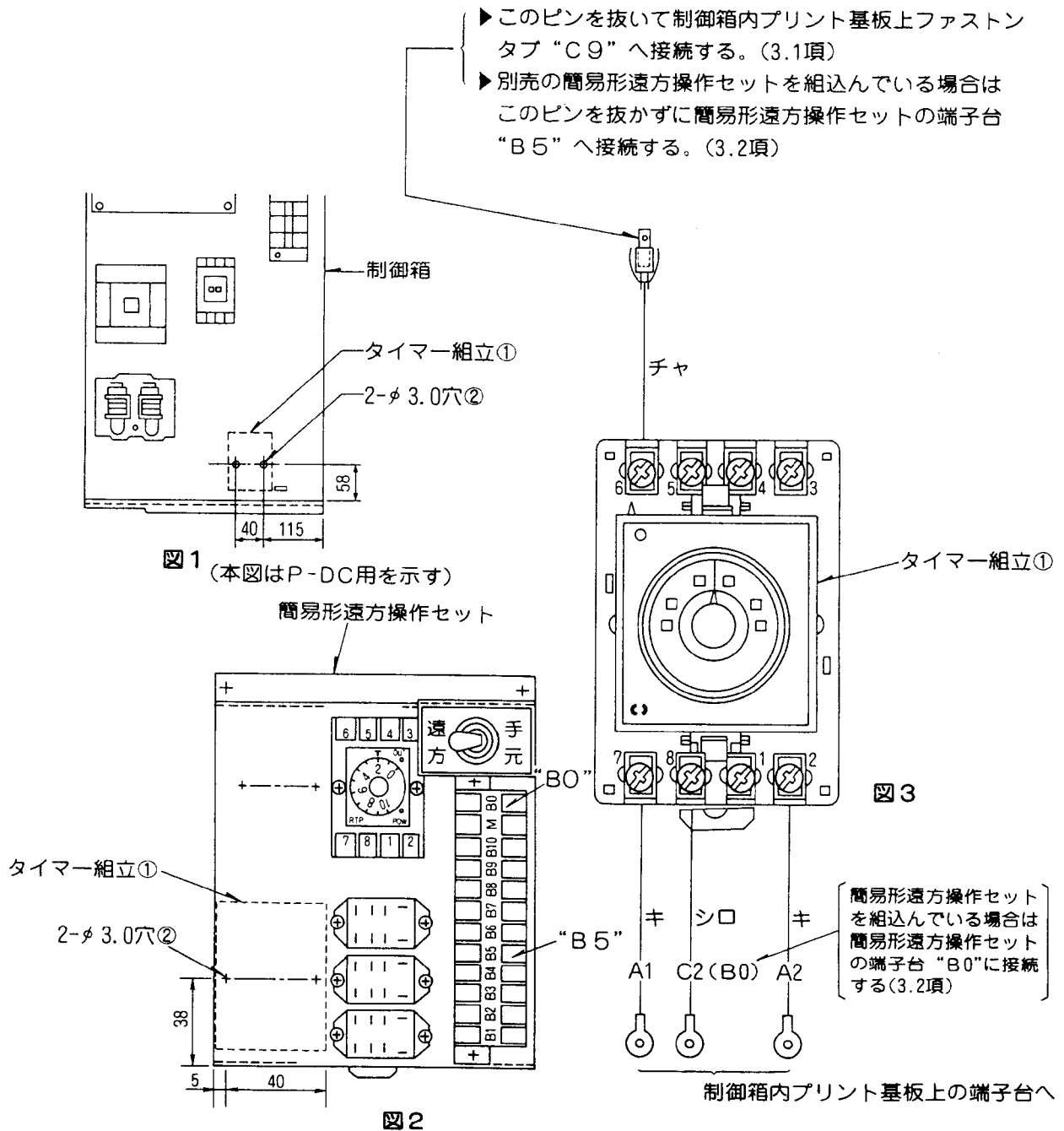
3. 配線要領

- 3.1 2項により取付けたタイマー組立①より出ている接続線を制御箱内プリント基板上の端子台A1，A2，C2およびファストンタブC9へ接続します。
この場合、ファストン端子に挿入されているピンを抜いてから“C9”へ接続します。
（図3参照）
- 3.2 別売簡易形遠方操作セット（PAC-CQ41RC）を組んでいる場合はC9へ接続するリード線は、簡易形遠方操作セットの端子台“B5”へ接続します。
C2へ接続するリード線は、簡易形遠方操作セットの端子台“B0”へ接続します。
（図3参照）
- 3.3 接続後、結束バンド③にて適切な箇所を結束してください。



4. 注意事項

- 4.1 作業完了後誤配線がないか確認後試運転をして動作確認をしてください。
タイマーのセット時間の確認もあわせて行ってください。
- 4.2 タイマー設定時間は、ヒータ停止後ヒータの周囲温度が下がるのに要する時間とし、通常1～2分です。工場出荷時余裕をみて3分にセットしています。尚タイマーは最大10分までセット可能です。



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ11DH

遠方表示回路部品取付説明書 P-J140~J630 P-5~20

1. 部品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	遠方表示回路部品	1		③	取付ネジPTT4×10	8	予備含む
②	ササエ	1	簡易遠方と 相合わせ時 使用	④	結束バンド	3	

2. 取付要領

本体正面中央の吸込グリルを外し、前パネル下（取付けネジ2本）を取り外してください。

2.1 本別売品のみ取付ける場合

(1)制御箱の右下の角穴に遠方表示回路部品①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ③を2個使用して取付けてください。（図1参照）

この時、制御箱内の配線を傷ついたり、はさみ込まないように注意してください。

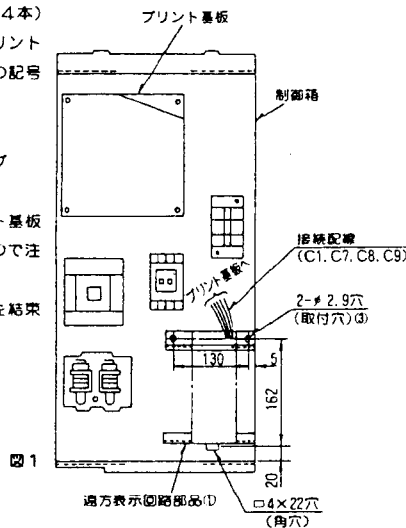
(2)遠方表示回路部品①を接続する配線（4本）の線番C1、C7、C8、C9とプリント基板上の端子台及びファストタブの記号を合わせて接続してください。

C1：端子台

C7、C8、C9：ファストタブ

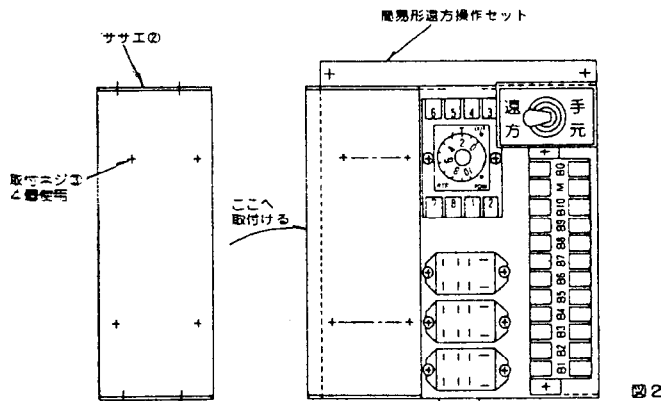
※C1、C7、C8、C9のプリント基板上の位置は機種により異なりますので注意してください。

(3)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

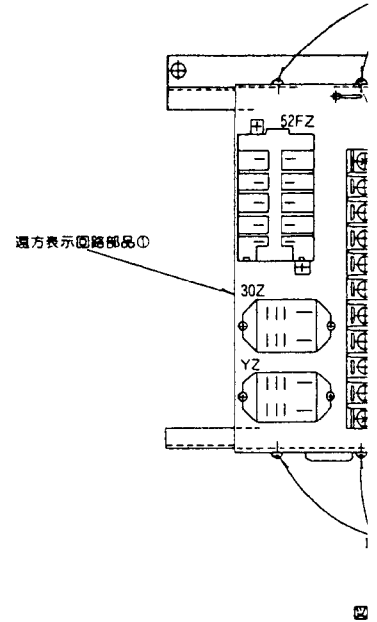


2.2 簡易形遠方操作セット (PAC-CQ41RC) と相合わせて取付ける場合

(1)簡易形遠方操作セットを組込む前に、簡易形遠方操作セットの左にササエ②を取付けます。（取付ネジ③を4個使用）（図2参照）

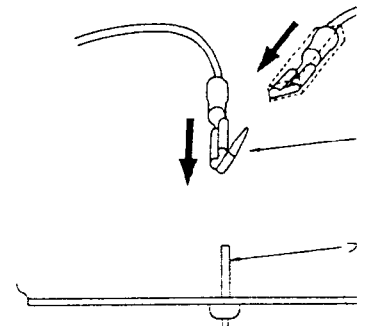


(2)遠方表示回路部品の取付足A、Bを外し（セットに取付けたササエ②の上に乗せて取付ネジを使用してササエ②に固定し、簡易形セット）。（図3参照）



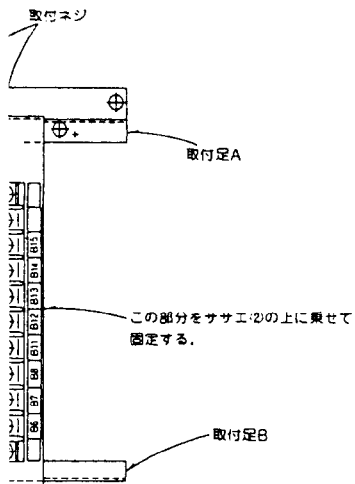
(3)簡易形遠方操作セットの取付説明書によりけます。（2.1項(1)とほぼ同じ要領です）

(4)遠方表示回路部品①を接続する配線4本を操作セットはその取付説明書に示す要領でこの時、ファストタブC7、C8、C9易形遠方操作セットからの線と両方の接続線を先に取付け次にこの接続線の先端にあの接続線を差し込みます。（図4参照）



(5)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束

取付ネジ各2個) 2.2項(1)にて簡易形遠方操作付ネジ④、あるいは、取付足A、Bを外した遠方操作セットに遠方表示回路部品を取付け



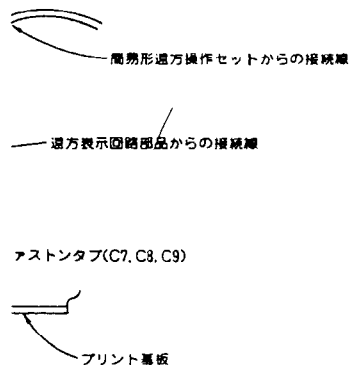
取付ネジ

3

簡易形遠方操作セットを制御箱右下に取付

2.1項(2),(3)に示す要領で接続し、簡易形遠方接続します。

への遠方表示回路部品からの接続線と、簡線がきますので遠方表示回路部品からの接続るファストタブに簡易形遠方操作セットが



4

してください。

2.3 再起動遅延回路部品(PAC-CQ06KS, 07KS, 08KS, 09KS)と組合わせて取付ける場合
(1)遠方表示回路部品の取付足A、B、及び再起動遅延回路部品の取付足A、B(遠方表示回路部品の取付足A、Bと同一)を外し(取付ネジ各2個)遠方表示回路部品を右に、再起動遅延回路部品は左にくるように並べ取付足A、Bに取付けます。(図5参照)

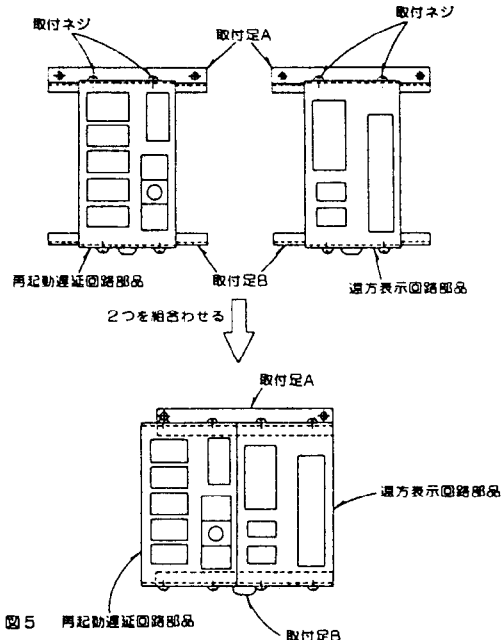


図5 再起動遅延回路部品

(2)遠方表示回路部品と再起動遅延回路部品を組合せたものを2.1項(1)の要領で制御箱右下に取付けます。

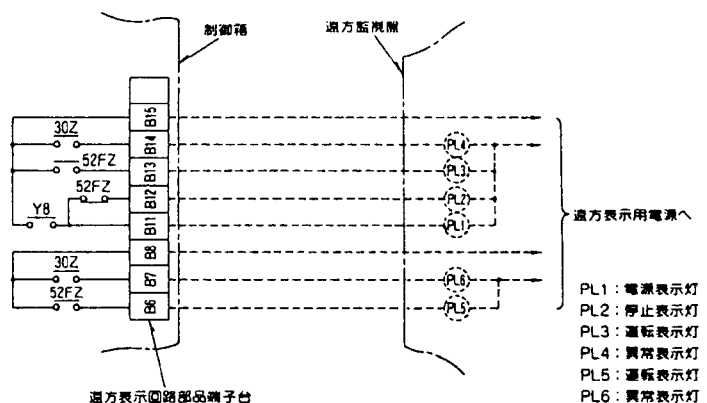
(3)遠方表示回路部品①を接続する配線4本を、2.1項(2),(3)に示す要領で接続し、再起動遅延回路部品は、その取付説明書に示す要領で接続します。

(4)各々接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

3. 配線要領

遠方表示回路部品と遠方監視盤との間を下記要領にて配線してください。

現地配線は破線で示します。IV# 1.6(最大こう長100m)以上の接続線にて配線してください。



4. 注意事項

4.1 作業完了後誤配線ネジのユルミ等はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。特に機種によりプリント基板上のファストタブの位置が異なりますので接続線の線番と基板上の記号とをかみならず点検してください。

4.2 取付けた部品の板金エッジ部に接続線が当たる箇所があれば、テープ等適切な方法でエッジ部を覆って配線の保護をしてください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ06KS(ヒートポンプ)
PAC-CQ08KS(冷専)

再起動遅延回路部品取付説明書 P-J140~J315
P-5~10

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	再起動遅延回路部品	1		③	取付ネジPTT4×10	8	予備含む
②	サ サ エ	1	簡易選方と 相合わせ時 使用	④	結 束 バ ン ド	3	

2. 取付要領

本体正面中央の吸込グリルを外し、前パネル下（取付ネジ2本）を取り外してください。

2.1 本別売品のみ取付ける場合

(1)制御箱の右下の角穴に再起動遅延回路部品①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ③を2個使用して取付けてください。（図1参照）

この時、制御箱内の配線を傷つけない、はさみ込まないよう注意してください。

(2)制御箱と操作部を接続しているコネクタ（12P）を外して、再起動遅延回路部品①に接続されているコネクタとそれぞれ接続します。（図2参照）

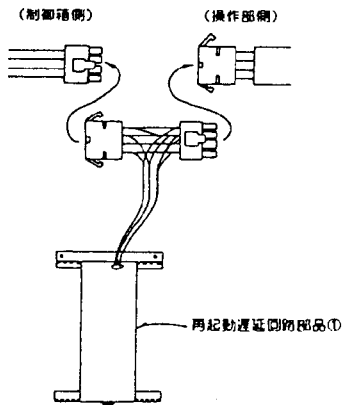


図2

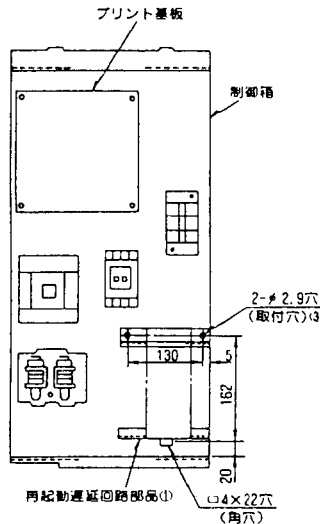


図1

(3)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

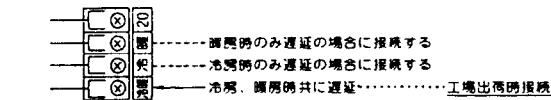
(4)ヒートポンプ用(PAC-CQ06KS)の場合は、再起動遅延をする回路を

- I) 冷房時暖房時共遅延
- II) 冷房時のみ遅延
- III) 暖房時のみ遅延

の3つのパターンに選択することができます。

工場出荷時はI)の冷房時暖房時共遅延にセットされています。

変更をする時は図3を参照して配線を差しかえてください。



再起動遅延回路部品①上の端子台

図3

2.2 簡易形選方操作セット(PAC-CQ41RC)

(1)簡易形選方操作セットを組込む前に、履ます。（取付ネジ③を4個使用）（図4参照）

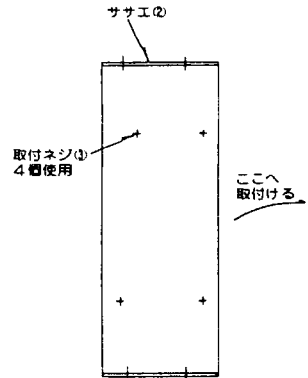


図4

(2)再起動遅延回路部品①の取付足A,Bを外し操作セットに取付けたササエの上に乗せてたネジを使用してササエのに固定し、簡易取付けます。（図5参照）

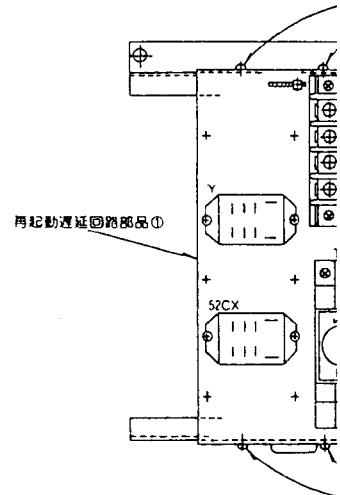
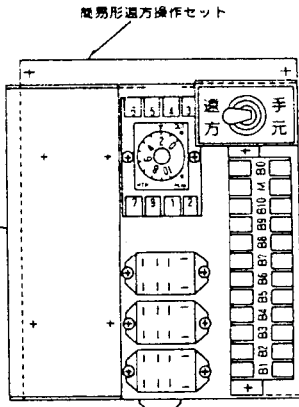


図5

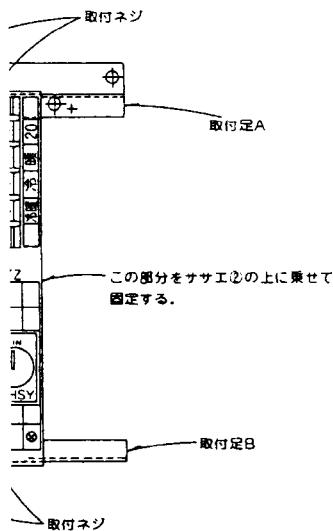
と合わせて取付ける場合

簡易形遠方操作セットの左にササエ②を取付け
照)



4

（取付ネジ各2個）2.2項(1)にて簡易形遠方操
取付ネジ④、あるいは、取付足A、Bを外し
形遠方操作セットに再起動遅延回路部品①を



5

- (3)簡易形遠方操作セットの取付説明書により、簡易形遠方操作セットを制御箱右下に取付
けます。（2.1項(1)とほぼ同じ要領です）
- (4)再起動遅延回路部品①は2.1項(2)の要領で、簡易形遠方操作セットはその取付説明書に
示す要領でそれぞれ接続します。
- (5)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

2.3 遠方表示回路部品(PAC-CQ11DH)と合わせて取付ける場合

- (1)再起動遅延回路部品①の取付足A、B及び遠方表示回路部品の取付足A、B(再起動遅延
回路部品①の取付足A、Bと同一)を外し(取付ネジ各2個) 遠方表示回路部品を右に、
再起動遅延回路部品①は左にくるように並べ取付足A、Bに取付けます。(図6参照)

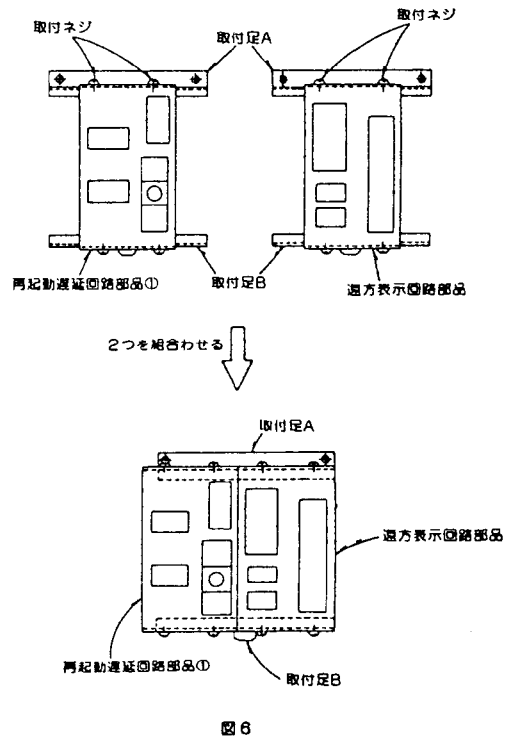


図6

- (2)再起動遅延回路部品①と遠方表示回路部品を組合せたものを2.1項(1)の要領で制御箱
右下に取付けます。
- (3)再起動遅延回路部品①は、2.1項(2)、(3)、(4)に示す要領で接続し、遠方表示回路部品は、
その取付説明書に示す要領で接続します。
- (4)各々接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

3. 注意事項

- 3.1 作業完了後誤配線ネジのユルミ等はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。
- 3.2 取付けた部品の板金エッジ部に接続線が当たる箇所があればテープ等適切な方法でエッ
ジ部を覆って配線の保護をしてください。
- 3.3 タイマーの設定時間も必ず確認してください。
- 3.4 タイマーの設定時間は、圧縮機が頻りに発停を繰り返す場合に、焼損するのを防ぐため
に必要な停止時間で、少なくとも3分程度は必要です。工場出荷時は、余裕をみて5分
にセットしています。尚タイマーのセットは最大10分まで可能です。

再起動遅延回路部品取付説明書 P-J400~J630 P-15・20

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	再起動遅延回路部品	1		③	取付ネジPTT4×10	8	予備含む
②	サ サ エ	1	電易取付方と 相合わせ時 使用	④	結束バンド	3	

2. 取付要領

本体正面中央の吸込グリルを外し、右側の前パネル下(取付けネジ2本)を取り外してください。

2.1 本別売品のみ取付ける場合

(1)制御箱の右下の角穴に再起動遅延回路部品①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ③を2個使用して取付けてください。(図1参照)

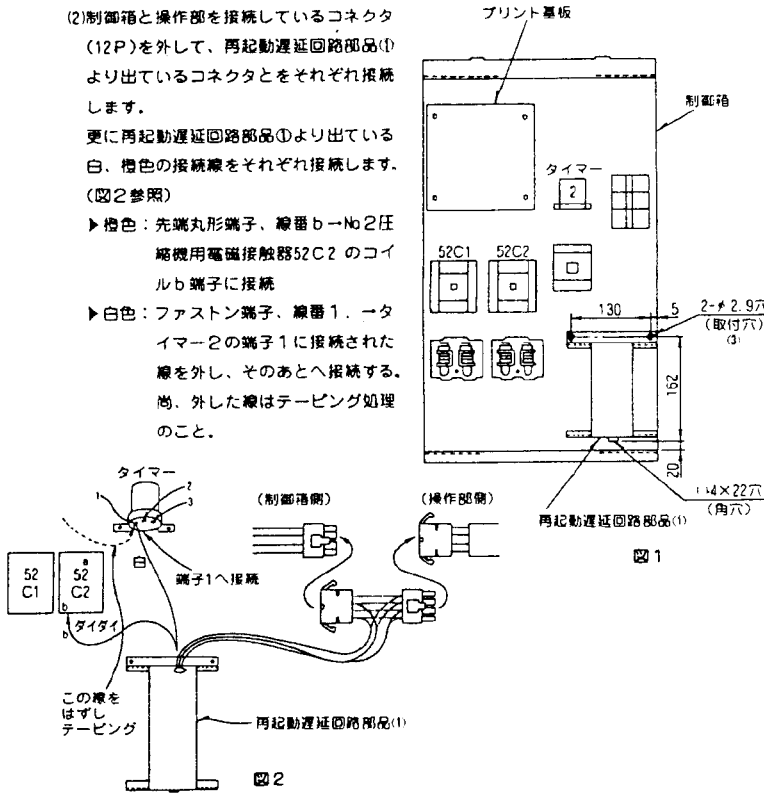
この時、制御箱内の配線を傷つけない、はさみ込まないように注意してください。

(2)制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)を外して、再起動遅延回路部品①より出ているコネクタとをそれぞれ接続します。

更に再起動遅延回路部品①より出ている白、棕色の接続線をそれぞれ接続します。(図2参照)

▶棕色：先端丸形端子、線番b-No2圧縮機用電磁接触器52C2のコイルb端子に接続

▶白色：ファストン端子、線番1、タイマー2の端子1に接続された線を外し、そのあとへ接続する。尚、外した線はテーピング処理のこと。



(3)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

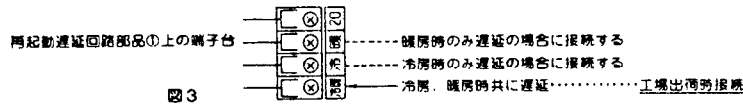
(4)ヒートポンプ用(PAC-CQ07KS)の場合は、再起動遅延をする回路を

- I) 冷房時暖房時共遅延
- II) 冷房時のみ遅延
- III) 暖房時のみ遅延

の3つのパターンに選択することができます。

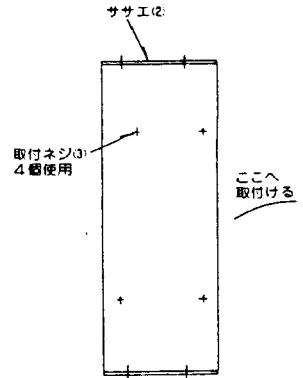
工場出荷時はI)の冷房時暖房時共遅延にセットされています。

変更をする時は図3を参照して配線を差しかえてください。

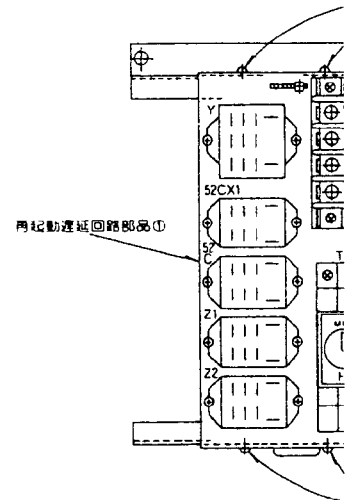


2.2 簡易形遠方操作セット(PAC-CQ41RC)

(1)簡易形遠方操作セットを組込む前に、開きます。(取付ネジ③を4個使用)(図4参照)

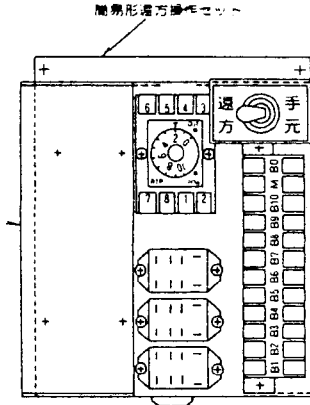


(2)再起動遅延回路部品①の取付足A、Bを外し作セットに取付けたササエ②の上に載せてネジを使用してササエ②に固定し、簡易取付けます。(図5参照)



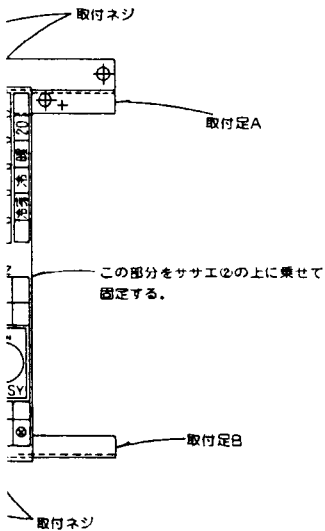
と合わせて取付ける場合

簡易形遠方操作セットの左にササイ②を取付け



4

、(取付ネジ各2個) 2.2項(1)にて簡易形遠方操作取付ネジ④、あるいは、取付足A、Bを外し形遠方操作セットに再起動遅延回路部品①を



5

- (3)簡易形遠方操作セットの取付説明書により、簡易形遠方操作セットを制御箱右下に取付けます。(2.1項(1)とほぼ同じ要領です)
- (4)再起動遅延回路部品①は2.1項(2)の要領で、簡易形遠方操作セットはその取付説明書に示す要領でそれぞれ接続します。
- (5)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

2.3 遠方表示回路部品①(PAC-CQ11DH)と合わせて取付ける場合

- (1)再起動遅延回路部品①の取付足A、B及び遠方表示回路部品の取付足A、B(再起動遅延回路部品①の取付足A、Bと同一)を外し(取付ネジ各2個)遠方表示回路部品を右に、再起動遅延回路部品①は左にくるように並べ取付足A、Bに取付けます。(図6参照)

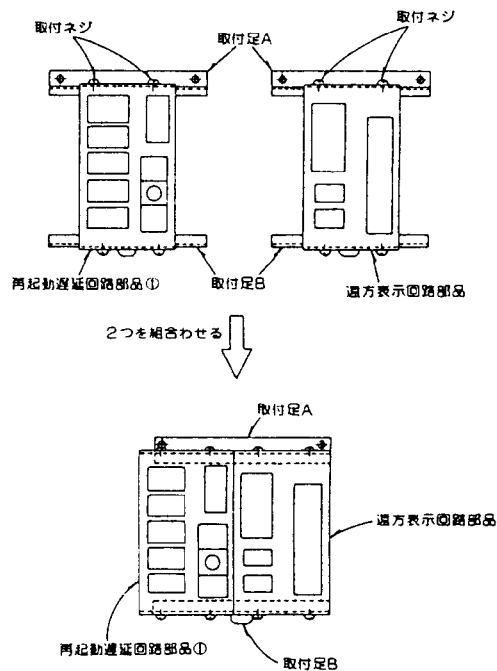


図6

- (2)再起動遅延回路部品①と遠方表示回路部品を合わせたものを2.1項(1)の要領で制御箱右下に取付けます。
- (3)再起動遅延回路部品①は、2.1項(2)、(3)、(4)に示す要領で接続し、遠方表示回路部品は、その取付説明書に示す要領で接続します。
- (4)各々接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

3. 注意事項

- 3.1 作業完了後接続線ネジのユルミ等はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。
- 3.2 取付けた部品の板金エッジ部に接続線が当たる箇所があればテープ等適切な方法でエッジ部を覆って配線の保護をしてください。
- 3.3 タイマーの設定時間も必ず確認してください。
- 3.4 タイマーの設定時間は、圧縮機が頻繁に発停を繰り返す場合に、焼損するのを防ぐために必要な停止時間で少なくとも3分程度は必要です。工場出荷時は、余裕をみて5分にセットしています。尚タイマーのセットは最大10分まで可能です。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CO02RG

冷暖自動切換部品取付説明書

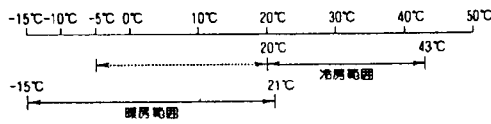
1. 部品

この箱には、説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	形状	備考
①	コネクタクミタテ CWA1	1		※ PAH-5・8・10DC(-H) PWH J140~J315DC(-H) ※ PAH-15・20DC PWH J400~J630DC (容量制御)
②	コネクタクミタテ CWA2	1		※ PAH-15・20DC PWH J400~J630DC
③	注意事項	1		ルームサーモ時に使用

注：※PAH形の場合、別売のファンコントローラの取付が必要です。

▶標準の運転可能な外気温度範囲は下記です。



別売ファンコントローラを取付ける事により上記(.....)の範囲も
冷房運転可能となり実質的な冷暖自動運転が可能になります。

ファンコントローラ：下表により選定

室内機	PAH-5・J140DC(-H)	PAH-8・J200DC(-H)	PAH-10・J280DC(-H)	PAH-15・J400DC	PAH-20・J560DC
標準	PVH-5・J140D X1 PAC-CN28CR X1	PVH-8・J200D X1 PAC-CN29CR X1	PVH-10・J280D X1 PAC-CN30CR X1	PVH-8・J200D X2 PAC-CN29CR X2	PVH-10・J280D X2 PAC-CN30CR X2
低騒音	PVH-5・J140LD X1 PAC-CN31CR X1	PVH-8・J200LD X1 PAC-CN32CR X1	PVH-10・J280LDX1 PAC-CN33CR X1	PVH-8・J200LD X2 PAC-CN32CR X2	PVH-10・J280LDX2 PAC-CN33CR X2

2. 部品の使用区分

上記部品は制御方法、機種により下記のように選定して使用します。

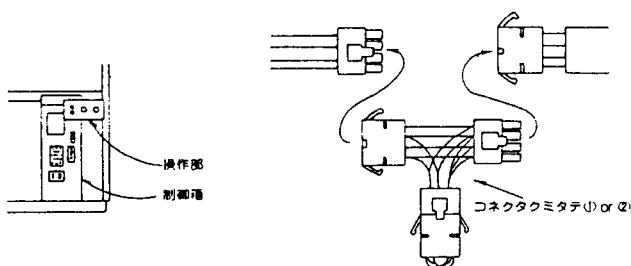
機種	制御方法	ボディサーモ	ルームサーモ	ルームサーモ (容量制御)
PAH-5・8・10DC(-H) PWH J140~J315DC(-H)	①コネクタクミタテ CWA1	①コネクタクミタテ CWA1 ③注 意 書	①コネクタクミタテ CWA1 ③注 意 書	—
PAH-15・20DC PWH J400~J630DC	①コネクタクミタテ CWA2	①コネクタクミタテ CWA2 ③注 意 書	②コネクタクミタテ CWA1 ③注 意 書	※ルームサーモは 現地手配です。

▶15、20HPは2comp方式ですのでルームサーモを2個使用する事により容量制御が可能です。

3. 取付要領

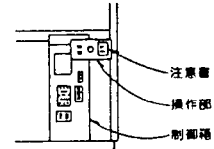
3.1 ボディサーモによる冷暖自動切換の場合

- 本体正面中央の吸込グリルを外し、パネル(下)を取り外します。
- 制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)を外して選定したコネクタクミタテを取り付けます。



3.2 ルームサーモによる冷暖自動切換の場合

- 本体正面中央の吸込グリルを外し、パネル(下)を取り外します。
- 制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)を外して選定したコネクタクミタテを取り付けます。コネクタクミタテの短絡用ソケット(9P or 6I)を外します。
- 現在本体に取り付けているボディサーモは、取付けたままでも取り外してもどちらでも問題ありません。但し、取り外した場合、外した配線の先端を必ずテーピング処理してください。
- 注意事項の貼付
 - ボディサーモをつけたままの場合はそのつ
 - ボディサーモを外した場合は、外した後の

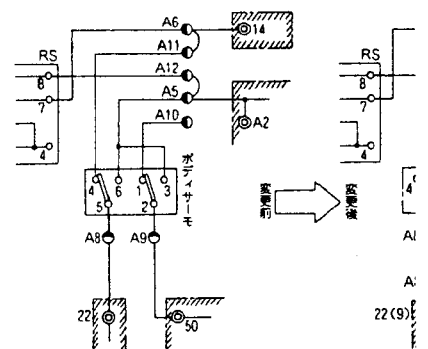


(5) ルームサーモの接続

- 次にルームサーモと本体とを接続します。本体側は制御箱内のプリント基板上の端子。現地配線は、破線で示します。IV1.25mm²
- 基板上的接続端子番号は、機種により異なる

機種	PAH		PWH	
	5,8,10 J140~J280	15,20 J400~J560	5,8,10 J160~J315	15,20 J300~J630
プリント基板 上の 端子台番号	A2	7	3	3
	22	8	9	9
	14	6	8	8

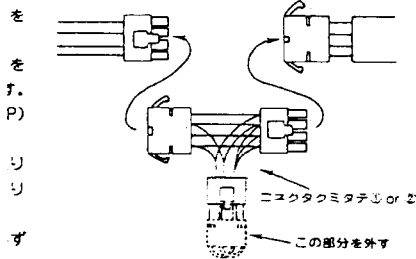
接続例 PAH-5,8,10,J140~J280を示す。



3.3 ルームサーモによる容量制御方式の冷暖自動切換

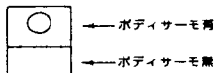
15,20,J400~J630の場合2comp方式の為ルー%・0%による冷暖自動切換ができます。

- 本体正面中央の吸込グリルを外し、パネル(下)を取り外します。
- 制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)コネクタクミタテCWA1の短絡用ソケット(9P)を外します。
- 現在本体に取り付けているボディサーモは、取外します。但し、取り外した場合、外した配線の先端を必ずテーピング処理してください。
- 注意事項の貼付
 - ボディサーモをつけたままの場合はそのつ
 - ボディサーモを外した場合は、外した後の
- ルームサーモの接続
 - サーモは2ステップサーモが2個必要です。
 - 2ステップ式
 - デファレンシャル 1.5deg以上
ステップ 1.5deg以上

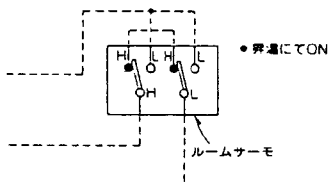


マミを通して貼り付けします。
軸穴部を塞ぐように貼り付けします。

“注意書”は2段になっていますので
ボディサーモ有無によりいずれかを
使用してください。

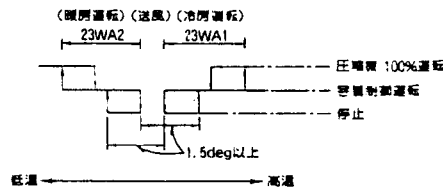


台へ接続します。
同等以上の接続線で配線してください。
りますので下図によりよく確認して接続してください。



パッケージエアコン

3) 23WA1のOFF点と23WA2のON点の間(23WA2のOFF点と23WA1のON点の間も)は1.5deg以上とってください。冷暖切り替わり時送風モードを設け冷暖繰り返し運転を防止する為が必要です。

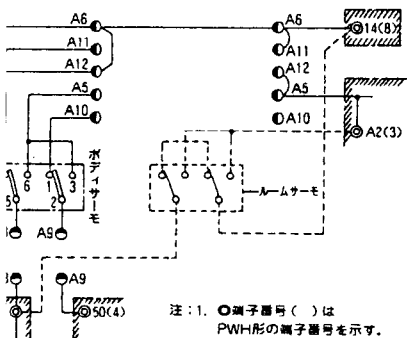


4) 23WA1をHighレンジ側に設定してください。

- b) 次にルームサーモと本体とを接続します。
本体側は制御箱内のプリント基板上の端子台へ接続します。
現地配線は、破線で示します。IV 1.25mm²同等以上の接続線で配線してください。
- c) 基板上の接続端子番号は、PAHとPWHで異なりますので下図によりよく確認して接続してください。

機種	PAH -15,20,J400・J560	PWH -15,20,J500・J630
プリント端子台番号	7	22
端子台番号	A2	3
	8	9
	9	4
	6	8

接続例 PAH-15,20,J400,J560を示す。

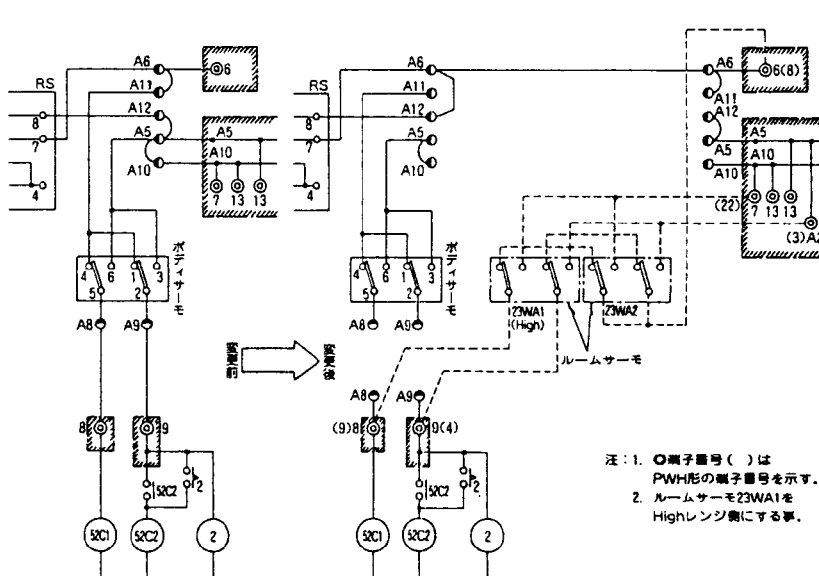


の場合
ムサーモを2個使用することにより容量制御(100%-50

を取り外します。
を外してコネクタタテCWA1を取り付けます。
を外します。(3.2項(2) 参照)
り付けたままでも取り外してもどちらでも問題ありま
ずテーピング処理してください。

マミを通して貼り付けします。
軸穴部を塞ぐように貼り付けします。(3.2項(4) 参照)

2個共下記仕様にて選定してください。



4. 注意事項

- (1) 作業完了後誤配線がないか確認後、試運転をして動作確認をしてください。
- (2) 特に容量制御方式の場合、2つのルームサーモ間の設定温度間隔がそのサーモのステップ間隔より大きく設定しているか、また23WA1がHigh側となっているか確認してください。

圧力計取付説明書 (P-J140~J630) (P-5~20)

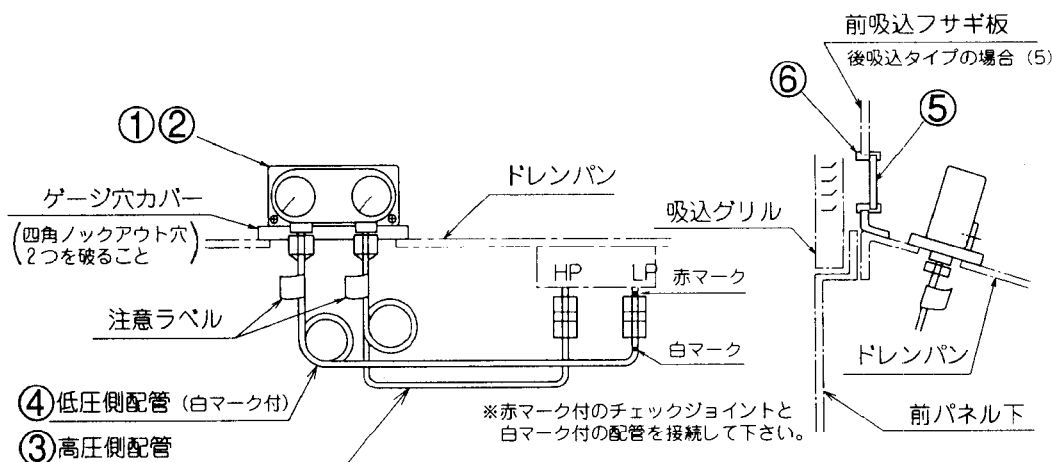
1 部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	圧力計	1	集合形	⑤	ノゾキ窓	1	
②	取付ネジ	4	4×10 (予備2個)	⑥	取付ゴム	1	
③	配管	1	高圧側				
④	配管	1	低圧側 (白マーク付)				

2 取付要領

- 圧縮機の運転を停止した後、吸込グリル・前パネル下を取外してください。
- ドレンパン左手前上のゲージ穴カバーの四角いノックアウト穴2つを押し破り、ドレンパンの切り起こし部分に品①圧力計を品②取付ネジにより取り付けてください。
- 圧力計用配管③④を圧力計①に本締めし、圧縮機高・低圧配管部のチェックジョイントにそれぞれ接続してください。(注意ラベルの付いている側を圧力計に接続してください)
※このとき少し冷媒が漏れます。
- エアパージを行うには圧力計側の配管フレアナットを少し弛め、その接続部よりシューツというエア抜け音を確認したら直ちに本締めしてください。
※ガス漏れのないことを確認してください。
- 前吸込フサギ板(別売部品)のノックアウト穴を打ち抜いて品⑤ノゾキ窓、品⑥取付ゴムによるノゾキ窓を取り付けてください。(後吸込タイプの場合:PAC-CP01~05DF組込時)



ご注意

- フレアナットの締め付け作業は必ずダブルスパナで行ってください。
- 配管部品③④は他の部品に接触しないように又、配管同士が接触しないよう成形してください。

冷媒左側接続配管取付説明書 [PA(H)-J140・J200・J280DC(-H)
PA(H)-5・8・10DC(-H)]

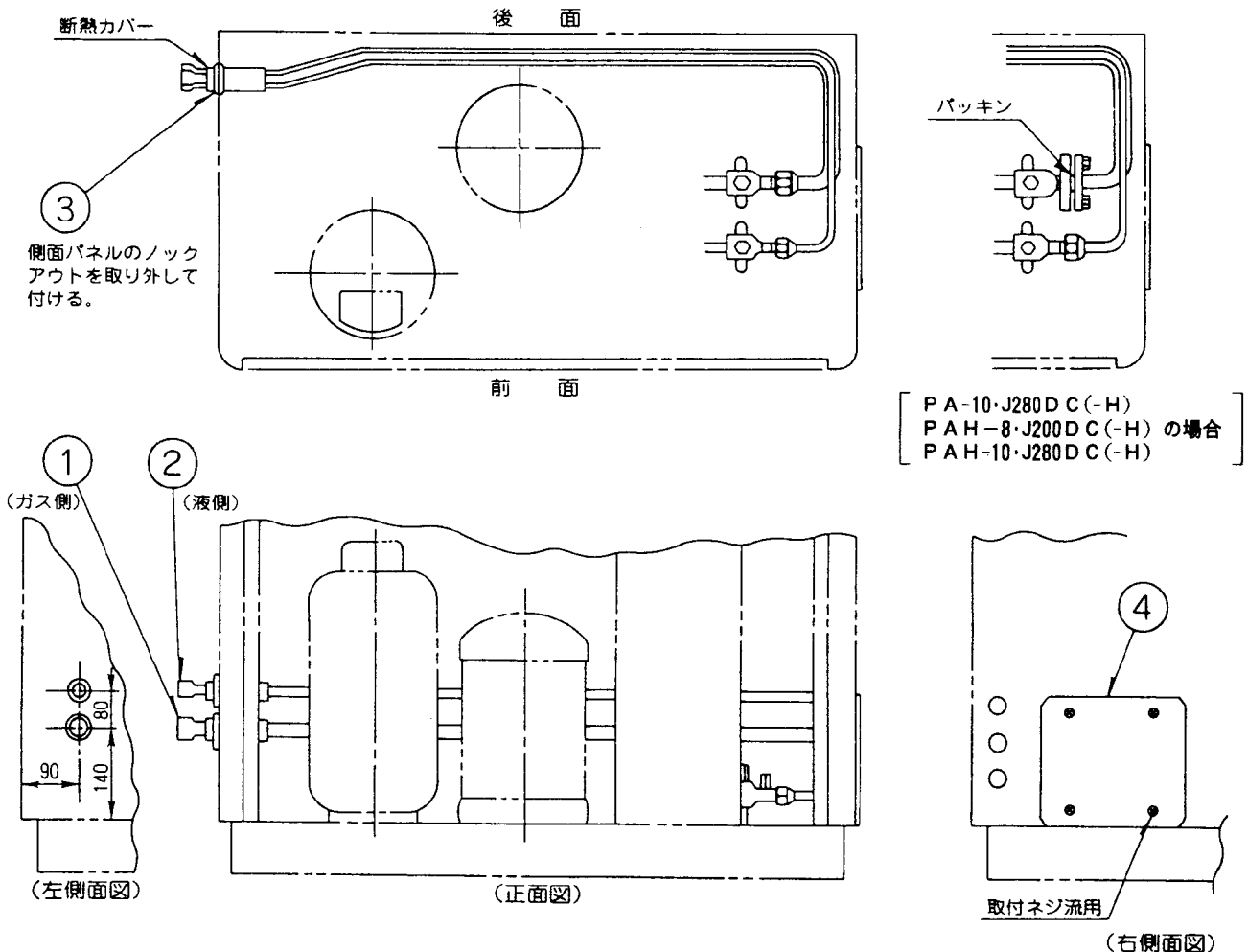
1. 部 品

この箱には、この説明書のほかにも下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	配 管	1	太 い 方	③	プ ッ シ ュ	2	
②	配 管	1	細 い 方	④	カ バ ー	1	

2. 取付要領

- (1) 吸込グリル、前パネル下、後パネル下を取り外してください。
- (2) 図示要領にて、冷媒左側配管①②を接続してください。配管は本体後側から入れてください。
(フランジ部のパッキンは本体付属配管セットのものを使用してください。)
- (3) 右配管接続部カバーを附属部品④と交換してください。



3. 注意事項

- (1) 冷媒左配管の接続は、本体据付前に行ってください。
- (2) フレアナットの締め付け作業は必ずダブルスパナで行ってください。
- (3) 配管部品①②は他の部品に接触しないように、又、配管同士が接触しないように取り付けてください。
- (4) 接続配管の断熱は、外側の露出部分がないよう断熱カバーをサイドパネルの中に入れて行ってください。
- (5) 配管接続完了後、ガス検知器でガス漏れのないことをご確認ください。

冷媒左側接続配管取付説明書

PA-J400・J560DC
PA-15・20DC
PAH-J400・J560DC
PAH-15・20DC

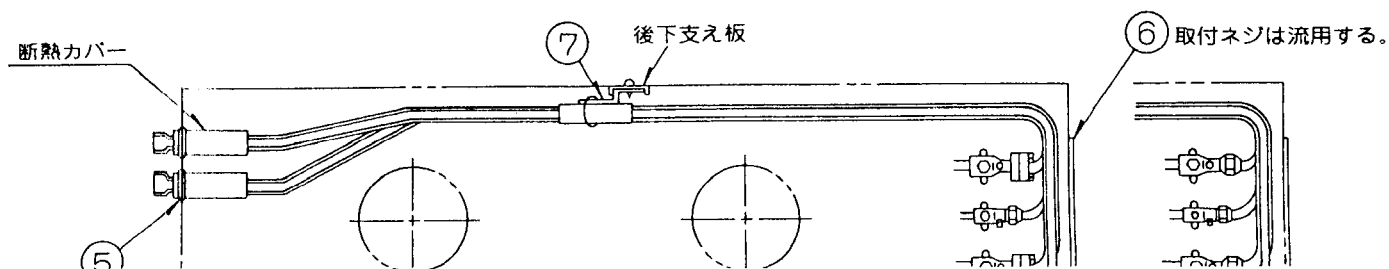
1. 部 品

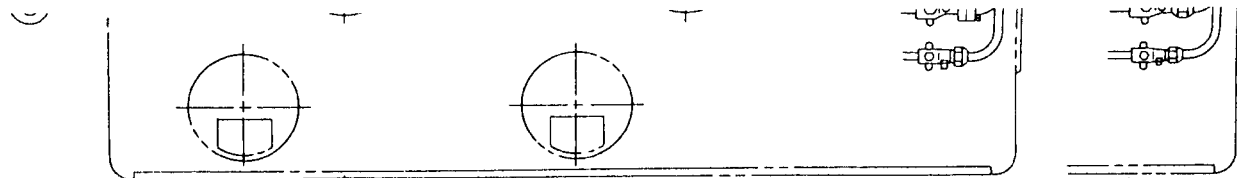
この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	配 管	1	太 い 方	⑥	カ バ ー	1	
②	配 管	1	細 い 方	⑦	支 え 板	1	
③	配 管	1	太 い 方	⑧	押 え 板	2	
④	配 管	1	細 い 方	⑨	取 付 ネ ジ	8	4×10 (予備2個)
⑤	ブ ッ シ ュ	4		⑩	結 束 バ ン ド	6	(予備2個)

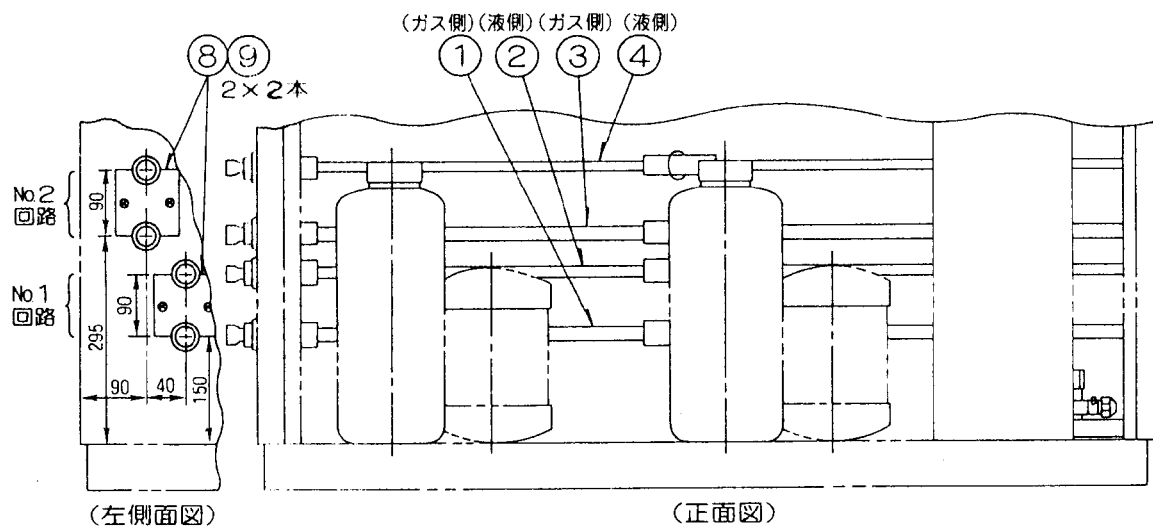
2. 取付要領

- (1) 吸込グリル、前パネル下、後パネル下、後下支え板を取り外してください。
- (2) 図示要領にて、冷媒左側配管①②③④を順番に接続してください。配管は、本体後側から入れてください。
(フランジ部のパッキンは、本体附属配管セットのものを使用してください。)
- (3) 後下支え板に支え板⑦をネジ止め(取付ネジ⑨2本)してください。配管を支え板⑦に結束バンド⑩で確実に固定してください。
- (4) 左側面に押え板⑧をネジ止め(取付ネジ⑨2×2本)してください。
- (5) 右配管接続部カバーを附属部品⑥と交換してください。



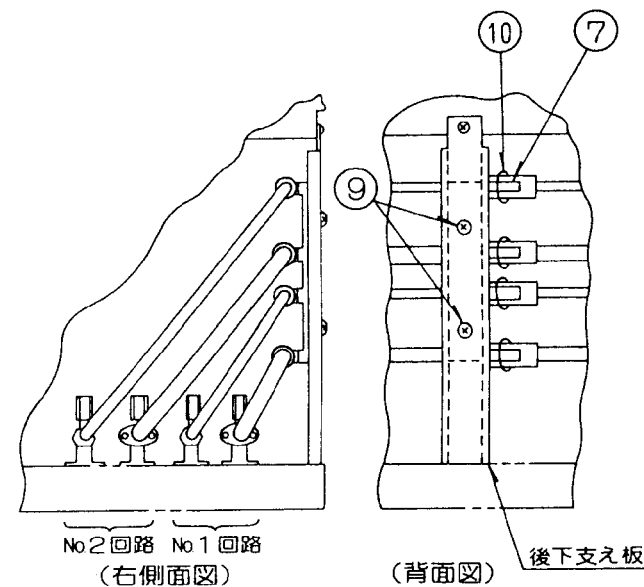


(PA-15・J400DCの場合)



(左側面図)

(正面図)



(右側面図)

(背面図)

3. 注意事項

- (1) 冷媒左側配管の接続は、本体据付前に行ってください。
- (2) フレアナットの締め付け作業は必ずダブルスパナで行ってください。
- (3) 冷媒左側配管(1)(2)(3)(4)は、他の部品に接触しないように、又、配管同士が接触しないように取り付けてください。
- (4) 接続配管の断熱は、外側の露出部分がないよう絶縁カバーをサイドパネルの中に入れてください。
- (5) 配管接続完了後、ガス検知器でガス漏れのないことをご確認ください。

高静圧モータ取付説明書 (P-5・J140・J160DC)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	モータ	1	3φ 200V 0.6KW	④	モータカバー	1	
②	モータ取付板	1		⑤	標準仕様変更銘板	1	
③	タッピンネジ	5	4×10(予備2本)				

2. 取付要領

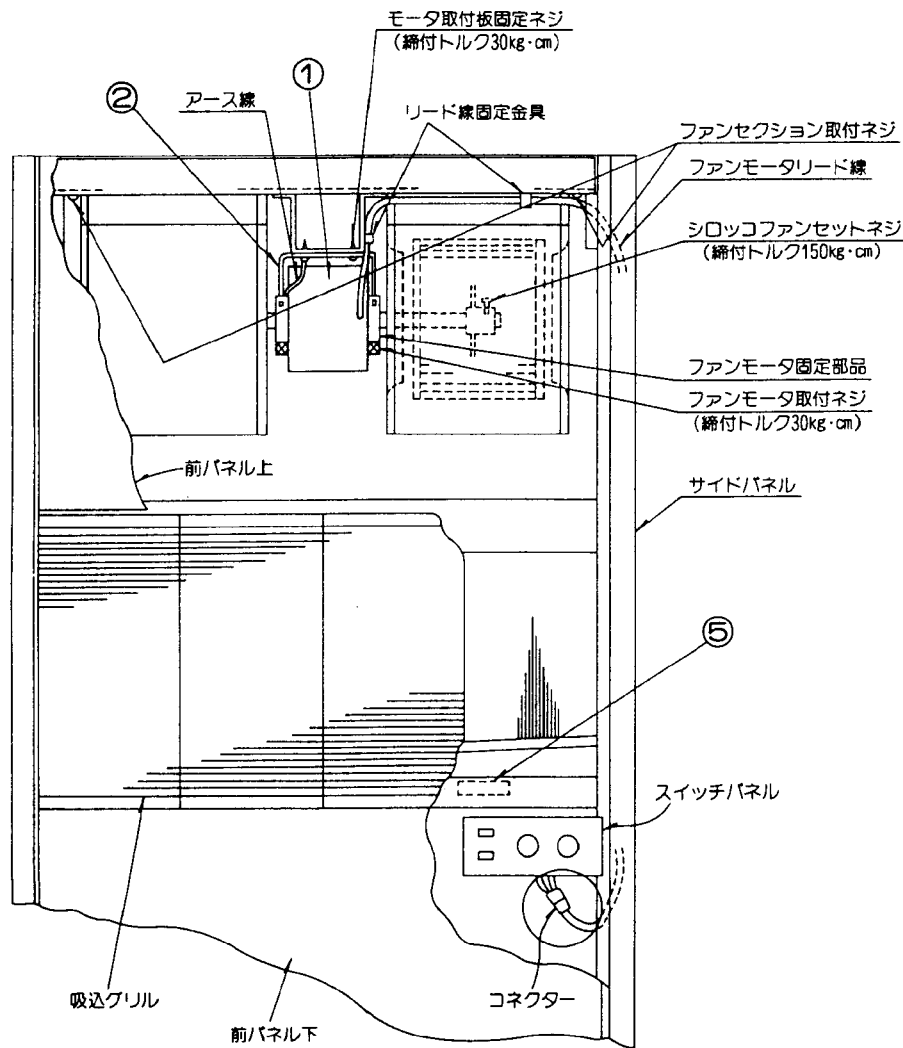


図1

1) 吸込グリル, 前パネル上・下(取付ネジ各2本)を取り外した後, ファンセクションを取り外してください。(ファンセクションは取付ネジ2本を取り外し, ユニット手前から引き出してください。)

2) ファンモータの交換(図1)

- モータ①及びモータ取付板②を交換してください。
- ネジ類及びモータ固定部品等は標準品を流用してください。
- アース線は忘れずに取付けてください。
- シロッコファンはケーシングとの隙間を両側とも均等に開けて固定してください。

3) 標準仕様変更銘板⑤をドレンパン上の, 製品銘板の横に貼ってください。

3. モータカバー取付の注意(本別売部品のみ組込む場合は, モータカバー取付不要です。)

※他の別売部品(超音波式加湿器, 蒸気スプレー式加湿器, 大容量電気ヒータ)と同時組込む場合は, モータカバーを本別売部品付属のモータカバー④に交換してください。

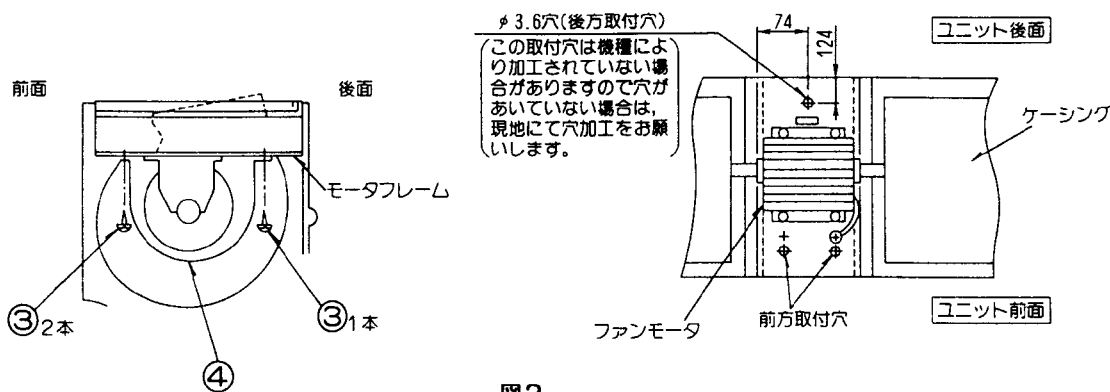


図2

1) 取付要領

- 図2に示す様に取付けてください。(タッピンネジ③ 3本)

4. 注意事項

- 1) 試運転前に取付ネジ・セットネジの締め付けを確認してください。
- 2) ダクト施工後の試運転時に必らず風量測定を行なってダンパにより規定風量に調節してください。
なお, ダクト接続用に, 専用の風量調節ダンパ付吹出ダクト部品(別売部品)を用意してあります。ご利用ください。

高静圧モータ取付説明書 (P-8・J200・J250 D C)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	モータ	1	3φ 200V 0.97kW	④	タッピンネジ	7	4×10(予備2本)
②	モータ取付板	1		⑤	モータカバー	1	
③	パネル押え板	2		⑥	標準仕様変更銘板	1	

2. 取付要領

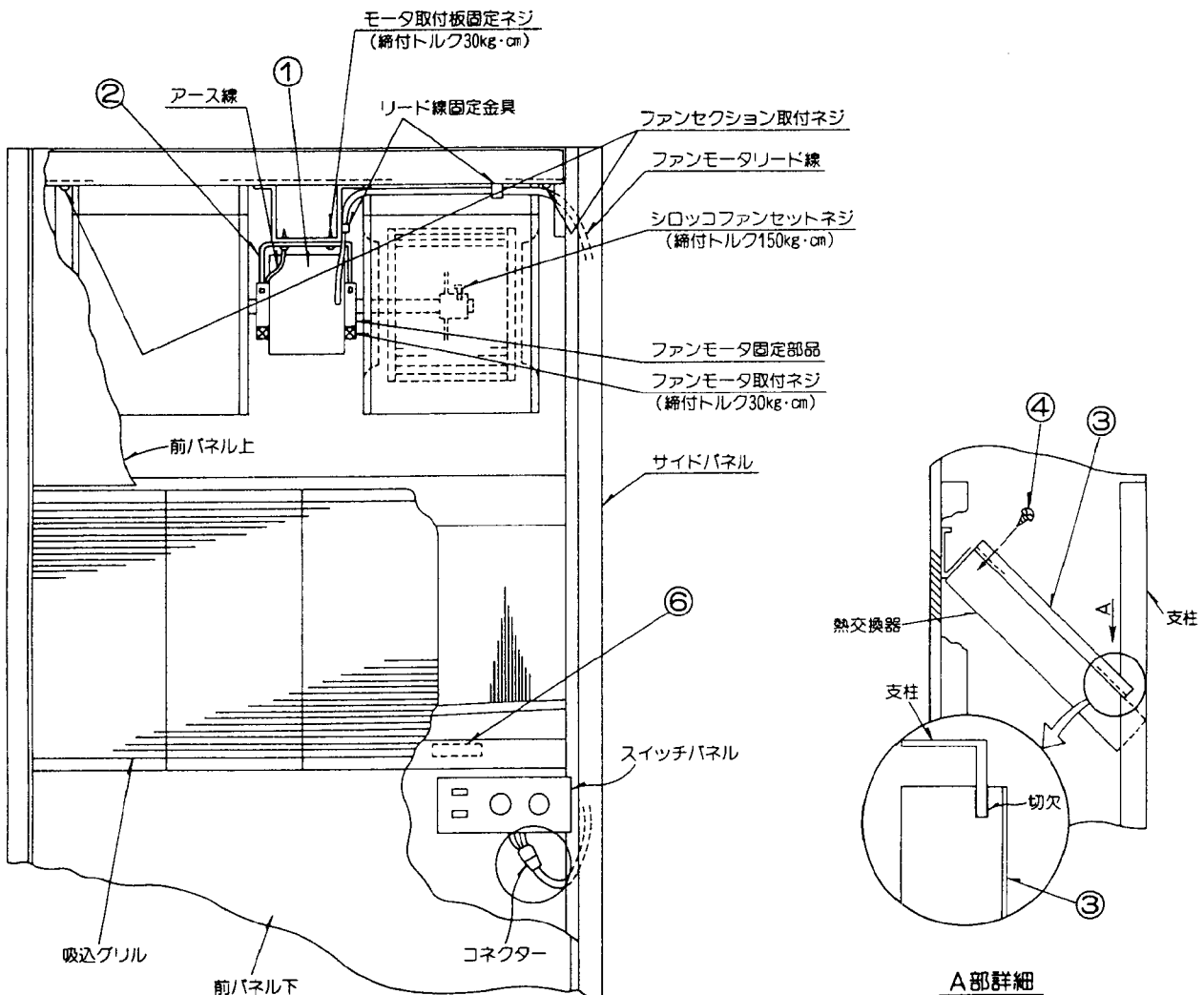


図1

- 1) 吸込グリル、前パネル上・下(取付ネジ各2本)、を取り外した後、ファンセクションを取り外してください。(ファンセクションは取付ネジ2本を取り外し、ユニット手前から引き出してください。)

2) ファンモータの交換(図1)

- モータ①及びモータ取付板②を交換してください。
- ネジ類及びモータ固定部品等は標準品を流用してください。
- アース線は忘れずに取付けてください。
- シロッコファンはケーシングとの隙間を両側とも均等に開けて固定してください。

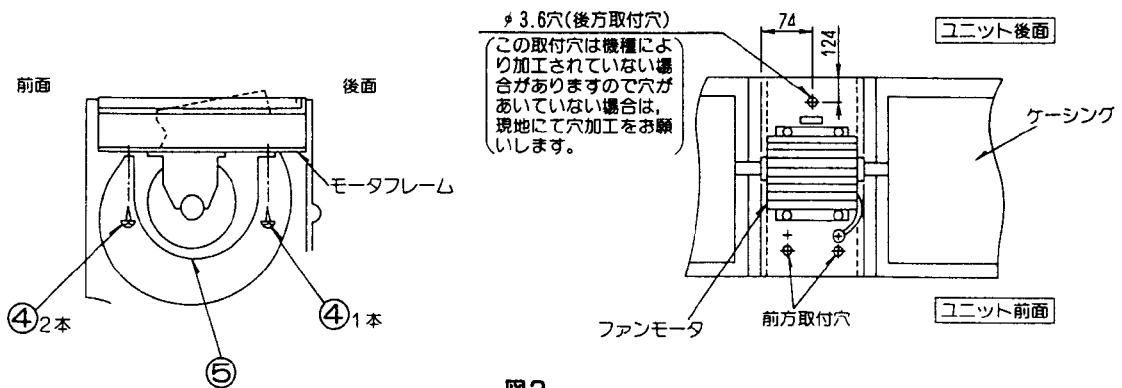
3) サイドパネル補強材の取付け(図1 A部詳細)

- 熱交換器側板の両側に、パネル押え板③を取付けてください。
- パネル押え板③は、熱交換器両側の側板上をすべらせながら後方の切欠き部分を支柱に差し込み、手前をネジ止め(タッピンネジ④ 2本)してください。

4) 標準仕様変更銘板⑥をドレンパン上の、製品銘板の横に貼ってください。

3. モータカバー取付の注意(本別売部品のみ組込む場合は、モータカバー取付不要です。)

※他の別売部品(超音波式加湿器, 蒸気スプレー式加湿器, 大容量電気ヒータ)と同時組込む場合は、モータカバーを本別売部品付属のモータカバー⑤に交換してください。



1) 取付要領

- 図2に示す様に取付けてください。(タッピンネジ④ 3本)

4. 注意事項

- 1) 試運転前に取付ネジ・セットネジの締め付けを確認してください。
- 2) ダクト施工後の試運転時に必ず風量測定を行なってダンパにより規定風量に調節してください。
なお、ダクト接続用に、専用の風量調節ダンパ付吹出ダクト部品(別売部品)を用意してあります。ご利用ください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CR39MR

高静圧モータ取付説明書 (P-10・J280・J315D C)

1. 部品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	モータ	1	3φ 200V 1.9kW	④	タップインネジ	9	4×10(予備2本)
②	パネル押え板	1		⑤	標準仕様変更銘板	1	
③	〃	2					

2. 取付要領

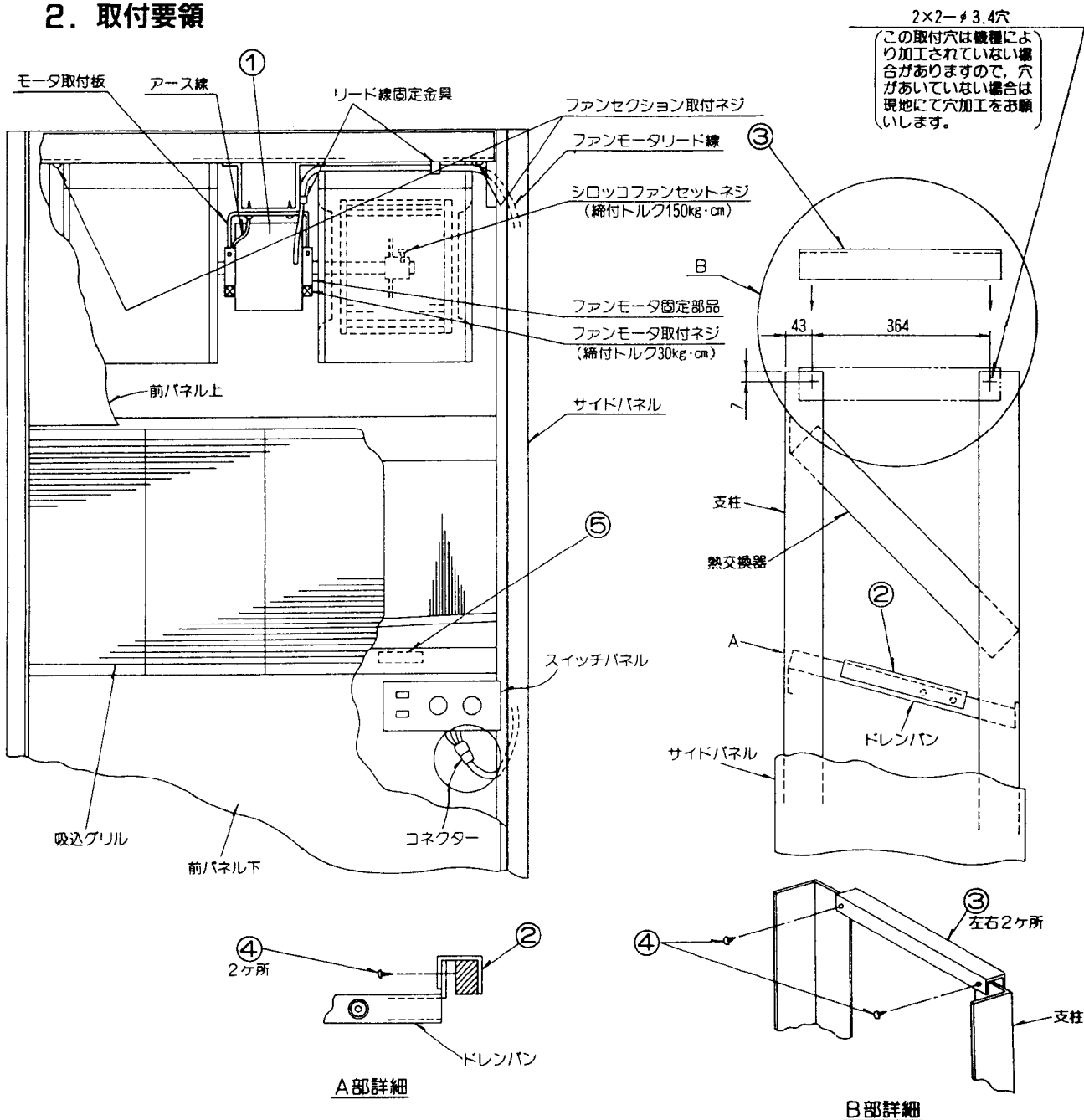


図1

1) 吸込グリル, 前パネル上・下(取付ネジ各2本)を取り外した後, ファンセクションを取り外してください。
(ファンセクションは取付ネジ2本を取り外し, ユニット手前から引き出してください。)

2) ファンモータの交換(図1)

- モータ④を交換してください。
- ネジ類及びモータ取付板等は標準品を流用してください。
- アース線は忘れずに取付けてください。
- シロッコファンはケーシングとの隙間を両側とも均等に開けて固定してください。

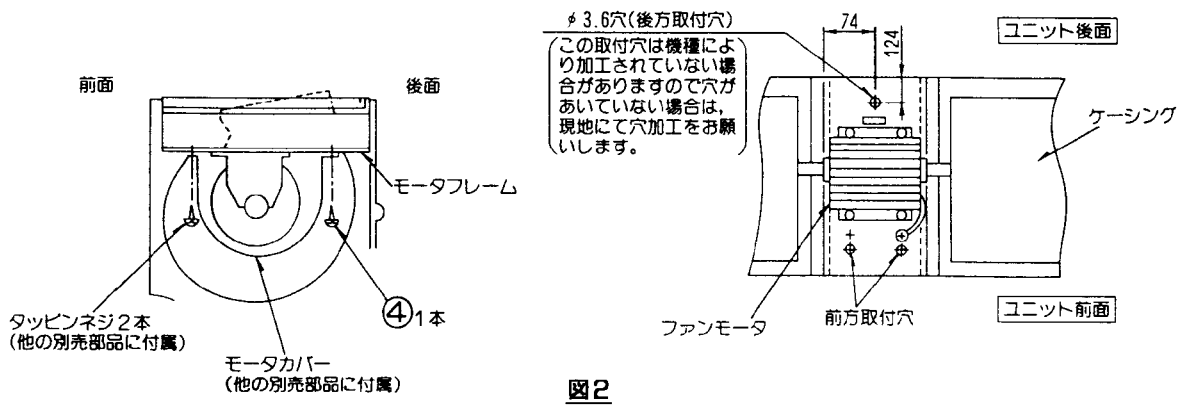
3) サイドパネル補強材の取付け(図1 A・B詳細図)

- ドレンパンの右側面にパネル押え板1②を取付けてください。
- ユニット左右の支柱にパネル押え板2③を取付けてください。

4) 標準仕様変更銘板⑤をドレンパン上の製品銘板の横に貼ってください。

3. モータカバー取付の注意

1) 他の別売部品(超音波式加湿器, 蒸気スプレー式加湿器, 大容量電気ヒータ)と同時組入する場合, それぞれの別売部品に付属されているモータカバーの取付を, 図2に示す様に変更してください。(本別売部品のみ組込む場合はモータカバー取付不要です。)



4. 注意事項

- 1) 試運転前に取付ネジ・セットネジの締め付けを確認してください。
- 2) ダクト施工後の試運転時に必ず風量測定を行なってダンパにより規定風量に調節してください。
なお, ダクト接続用に専用の風量調節ダンパ付吹出ダクト部品(別売部品)を用意してあります。ご利用ください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP79CA

進相コンデンサ取付説明書

P-5・J140・J160DC(-H)
P-8・J200・J250DC(-H)
P-10・J280・J315DC(-H)

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに表1に示す部品が入っていますのでご確認ください。

表1

品番	品名	仕様	個数	備考
1	アタッチメント		2	
2	取付ネジ	4×10	12	アタッチメント用：8本、150μF用：2本、予備2本

■別売進相コンデンサ部品表(別売進相コンデンサには表2に示す部品が入っています。)

表2

品番	品名	仕様	PAC-CP29CA	PAC-CP30CA	PAC-CP31CA	PAC-CP32CA	PAC-CP33CA	PAC-CP34CA	PAC-CP35CA	PAC-CP36CA	PAC-CP37CA
			10μF	15μF	20μF	30μF	40μF	50μF	75μF	100μF	150μF
3	リード線 (赤, 白, 青)	IV2. 0mmφ 両端圧着端子付	1	1	1	1	1	1			
		IV3. 5mmφ 両端圧着端子付							1		
		IV5. 5mmφ 片側圧着端子付(M4)								1	
		IV5. 5mmφ 片側圧着端子付(M6)									1
4	アース線										1
5	圧着端子	JSTV-5. 5-5							3		
		JST 5. 5-5								3	3
6	絶縁キャップ	TC-V-81								3	3
7	閉端接続子	JST 5. 5SD						3			
8	取付金具	締付ネジ・ナット付									1

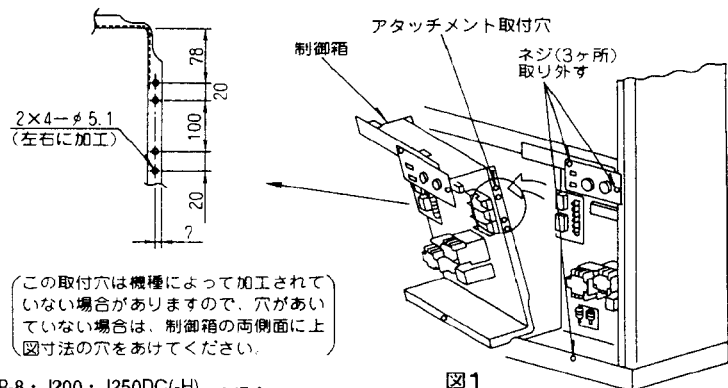
2. 取付要領

2-1 準備

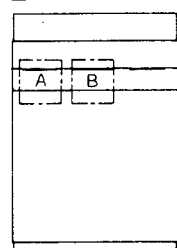
- 本体前パネル下を取り外してください。
- 制御箱を固定しているネジを外し、制御箱を手前に引き出してください。(図1)

2-2 進相コンデンサ取付位置

- 進相コンデンサはアタッチメント①を使用して制御箱の裏面に取付けてください。
- 各容量の進相コンデンサは図2に示す位置に取付けてください。
- 図2に示す位置以外の場所に取付けた場合、進相コンデンサが配管等に接触する恐れがありますので、ご注意ください。



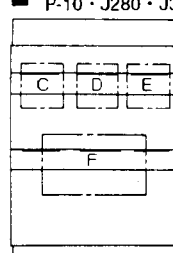
■ P-5・J140・J160DC(-H)の場合



制御箱を裏面から見る

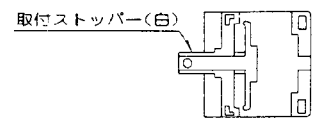
図2

■ P-8・J200・J250DC(-H)の場合



制御箱を裏面から見る

図1



進相コンデンサ底面

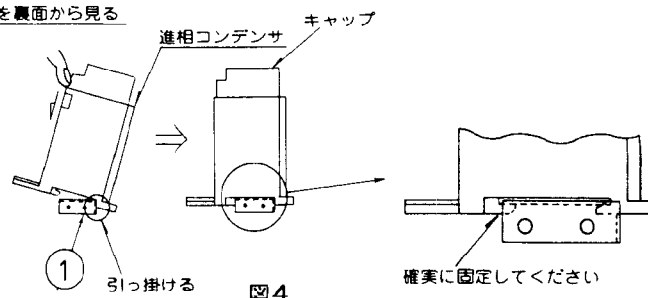
図3

2-3 進相コンデンサ取付

■容量 15~100μFの進相コンデンサの場合

- 進相コンデンサ底面にある白い取付ストッパーをいっぱいまで引き出してください。(図3)
- 進相コンデンサを図4の様に、ストッパー凹部をアタッチメント①の角穴端部に引っ掛けて固定してください。

(取付位置はコンデンサ容量等により異なりますので2-2項を参照してください。)



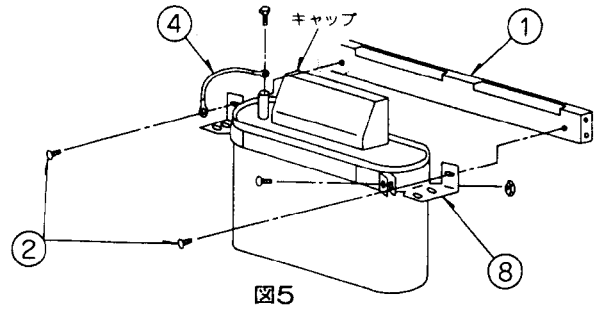
■容量 150 μ Fの進相コンデンサの場合

- (1)進相コンデンサ本体上側に取付金具⑧(PAC-CP37CAIに付属)を取付けてください。
- (2)進相コンデンサを、アタッチメント①にネジ止め(取付ネジ②2本)してください。

▶この際、アース線④の一方をアタッチメント①に共締めしてください。
もう一方は、進相コンデンサ本体に接続してください。
(取付位置はコンデンサ容量等により異なりますので、2-2項を参照してください。)

2-4 アタッチメント取付

- (1)2-2, 3項にてアタッチメント①に進相コンデンサを取付けた後、制御箱側面の図1に示す位置にアタッチメントをネジ止め(取付ネジ②4本)してください。



3. 結線要領(結線要領は用途等により異なりますので表3を参照し、該当する結線要領にて行ってください。)

表3

用途	進相コンデンサ容量	10 μ F	15 μ F	20 μ F	30 μ F	40 μ F	50 μ F	75 μ F	100 μ F	150 μ F
PA・PAH 圧縮機用結線要領		—	—	—	—	—	C	B	B	B
室内ファン用結線要領		A	A	A	A	A	A	—	—	—
室外ファン用結線要領		D	D	D	—	—	—	—	—	—
PW・PWH圧縮機用結線要領		—	—	—	—	—	A	A	A	A
室内ファン用結線要領		A	A	A	A	A	A	—	—	—

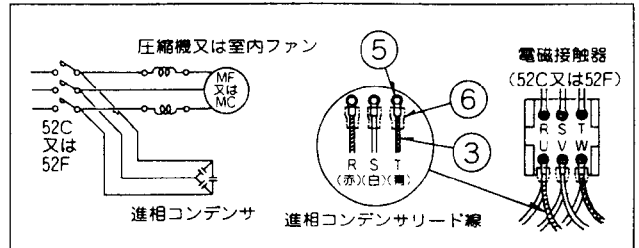
結線要領A (PW・PWHの圧縮機又は室内ファン用の場合、PA・PAHの室内ファン用の場合)

■進相コンデンサリード線の加工(容量 100・150 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の圧着端子が付いていない方を付属の圧着端子⑤を用いてカシメた後、絶縁キャップ⑥を取付けてください。
(10~75 μ F用のリード線の両端には、あらかじめ圧着端子が付いています。)

■接続

- (1)電磁接触器の二次側にリード線の絶縁キャップが付いている方を接続してください。
(10~75 μ F用の場合、絶縁付端子が付いている方を接続します。)
- (2)リード線のもう一方を進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領B (PA・PAHの圧縮機用の場合)

■室外ファンリード線の加工

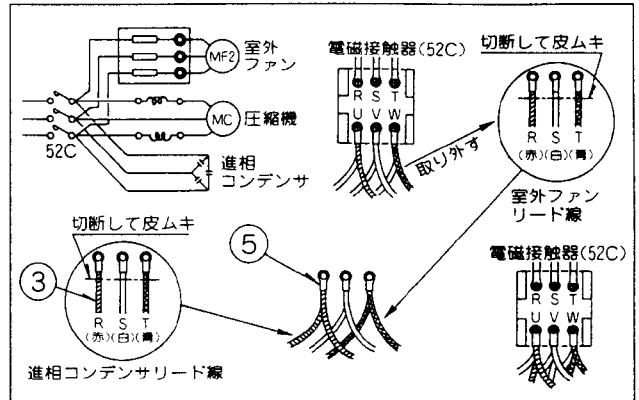
- (1)室外ファンリード線を電磁接触器から取り外し、線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■進相コンデンサリード線の加工(容量 75 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の、絶縁付圧着端子が付いている側の線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)
(100・150 μ F用のリード線の片方には、あらかじめ圧着端子を取付けておりませんので、切断及び皮ムキの必要はありません。)

■接続

- (1)室外ファン及び進相コンデンサの各リード線を各相別に合わせて付属の圧着端子⑤を用いてカシメてください。
- (2)電磁接触器の二次側に、上記端子側を接続してください。
- (3)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領C (PA・PAHの圧縮機用の場合)

■室外ファンリード線の加工

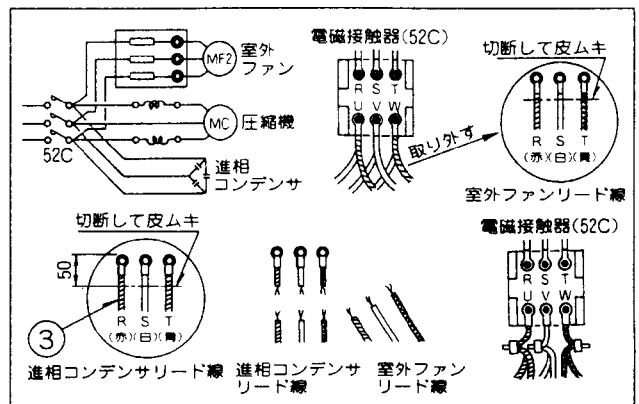
- (1)室外ファンリード線を電磁接触器から取り外し、線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■進相コンデンサリード線の加工

- (1)進相コンデンサリード線の、絶縁付圧着端子が付いている側の線端から約50mmのところを切断してください。
- (2)切断した両側の線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■接続

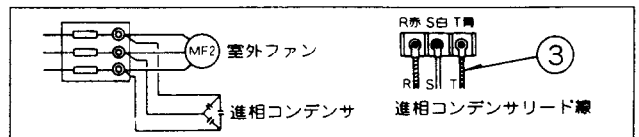
- (1)室外ファン及び進相コンデンサの各リード線を、各相別に合わせて付属の閉端接続子を用いてカシメてください。
- (2)電磁接触器の二次側に、上記端子側を接続してください。
- (3)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領D (PA・PAHの室外ファン用の場合)

■接続

- (1)進相コンデンサリード線の絶縁付圧着端子が付いている方を室外ファン端子台に接続してください。
- (2)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP80CA

進相コンデンサ取付説明書

[P-15・J400・J500DC]
[P-20・J560・J630DC]

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに表1に示す部品が入っていますのでご確認ください。

表1

品番	品 名	仕 様	個 数	備 考
1	アタッチメント		2	
2	取付ネジ	4×10	14	アタッチメント用：8本、150μF用：4本、予備2本

■別売進相コンデンサ部品表(別売進相コンデンサには表2に示す部品が入っています。)

表2

品番	品 名	仕 様	PAC-CP30CA	PAC-CP31CA	PAC-CP33CA	PAC-CP34CA	PAC-CP35CA	PAC-CP36CA	PAC-CP37CA
			15μF	20μF	40μF	50μF	75μF	100μF	150μF
3	リード線 (赤,白,青)	IV2.0mmφ 両端圧着端子付	1	1	1	1			
		IV3.5mmφ 両端圧着端子付					1		
		IV5.5mmφ 片側圧着端子付(M4)						1	
		IV5.5mmφ 片側圧着端子付(M6)							1
4	アース線								1
5	圧着端子	JST V-5.5-5					3		
		JST 5.5-5						3	3
6	絶縁キャップ	TC-V-81						3	3
7	閉端接続子	JST 5.5SD				3			
8	取付金具	締付ネジ・ナット付							1

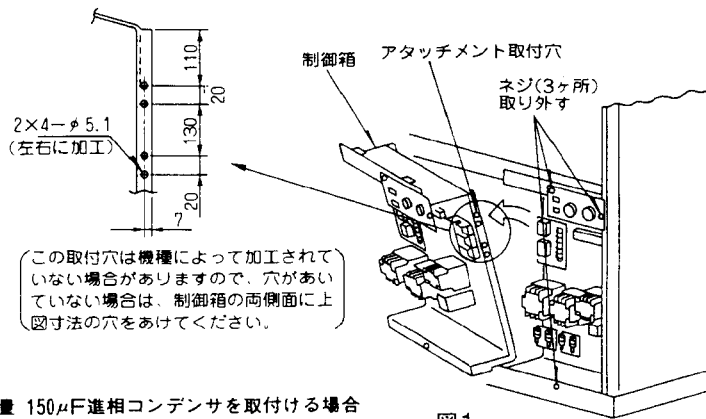
2. 取付要領

2-1 準 備

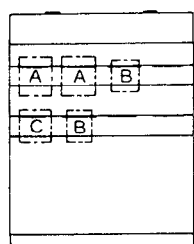
- 本体前パネル下を取り外してください。
- 制御箱を固定しているネジを外し、制御箱を手前に引き出してください。(図1)

2-2 進相コンデンサ取付位置

- 進相コンデンサはアタッチメント①を使用して制御箱の裏面に取付けてください。
- 各容量の進相コンデンサは図2に示す位置に取付けてください。
- 図2に示す位置以外の場所に取付けた場合、進相コンデンサが配管等に接触する恐れがありますので、ご注意ください。



■容量 150μF進相コンデンサを取付けない場合

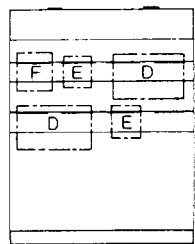


- A : 圧縮機用(75・100μF)
- B : 室外ファン用(15・20μF)
- C : 室内ファン用(40~75μF)

制御箱を裏面から見る

図2

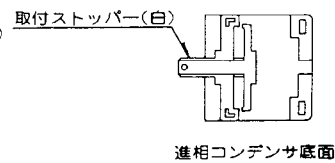
■容量 150μF進相コンデンサを取付ける場合



- D : 圧縮機用(150μF)
- E : 室外ファン用(15・20μF)
- F : 室内ファン用(75・100μF)

制御箱を裏面から見る

図1



進相コンデンサ底面

図3

2-3 進相コンデンサ取付

■容量 15~100μFの進相コンデンサの場合

- 進相コンデンサ底面にある白い取付ストッパーをいっぱいまで引き出してください。(図3)
- 進相コンデンサを図4の様に、ストッパー凹部をアタッチメント①の角穴端部に引っ掛けて固定してください。

(取付位置はコンデンサ容量等により異なりますので2-2項を参照してください。)

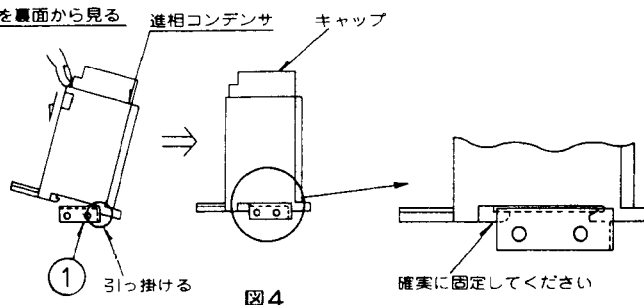
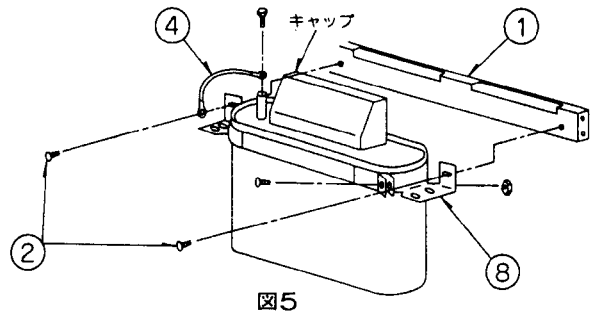


図4

■容量150 μ Fの進相コンデンサの場合

- (1)進相コンデンサ本体上側に取付金具⑧(PAC-CP37CAに付属)を取付けてください。
 - (2)進相コンデンサを、アタッチメント①にネジ止め(取付ネジ②2本)してください。
- ▶この際、アース線④の一方をアタッチメント①に共締めしてください。
- もう一方は、進相コンデンサ本体に接続してください。
(取付位置はコンデンサ容量等により異なりますので、2-2項を参照してください。)



2-4 アタッチメント取付

- (1)2-2, 3項にてアタッチメント①に進相コンデンサを取付けた後、制御箱側面の図1に示す位置にアタッチメントをネジ止め(取付ネジ②4本)してください。

3. 結線要領(結線要領は用途等により異なりますので表3を参照し、該当する結線要領にて行ってください。)

表3

用途	進相コンデンサ容量	15 μ F	20 μ F	40 μ F	50 μ F	75 μ F	100 μ F	150 μ F
PA・PAH 圧縮機用結線要領		—	—	—	—	B	B	B
／ 室内ファン用結線要領		—	—	A	A	A	A	A
／ 室外ファン用結線要領		C	C	—	—	—	—	—
PW・PWH 圧縮機用結線要領		—	—	—	—	A	A	A
／ 室内ファン用結線要領		—	—	A	A	A	A	A

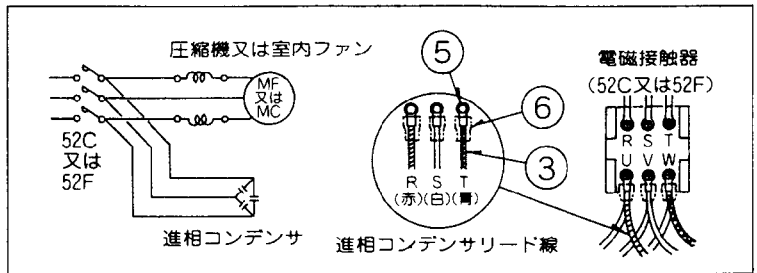
結線要領A { PW・PWHの圧縮機又は室内ファン用の場合 }
 { PA・PAHの室内ファン用の場合 }

■進相コンデンサリード線の加工(容量 100・150 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の圧着端子が付いていない方を付属の圧着端子⑤を用いてカシメた後、絶縁キャップ⑥を取付けてください。
(40・50・75 μ F用のリード線の両端にはあらかじめ圧着端子が付いています。)

■接 続

- (1)電磁接触器の二次側にリード線の絶縁キャップが付いている方を接続してください。
(40・50・75 μ F用の場合、絶縁付端子が付いている方を接続します。)
- (2)リード線のもう一方を進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領B { PA・PAHの圧縮機用の場合 }

■室外ファンリード線の加工

- (1)室外ファンリード線を電磁接触器から取り外し、線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

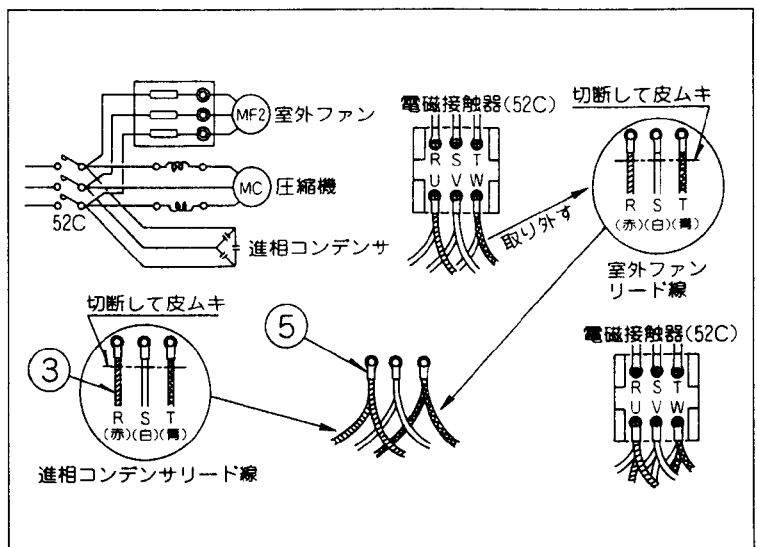
■進相コンデンサリード線の加工

(容量 75 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の絶縁付圧着端子が付いている側の線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)
(100・150 μ F用のリード線の片方には、あらかじめ圧着端子を取付けておきませんので切断及び皮ムキの必要はありません。)

■接 続

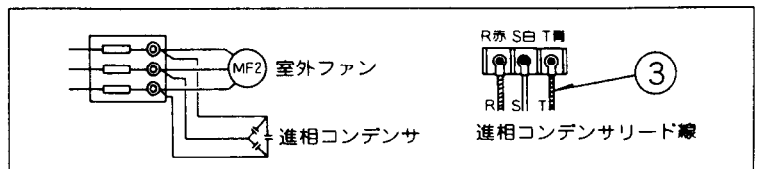
- (1)室外ファン及び進相コンデンサの各リード線を各相別に合わせて付属の圧着端子⑤を用いてカシメてください。
- (2)電磁接触器の二次側に、上記端子側を接続してください。
- (3)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領C { PA・PAHの室外ファン用の場合 }

■接 続

- (1)進相コンデンサリード線の絶縁付圧着端子が付いている方を室外ファン端子台に接続してください。
- (2)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別 ファンコントローラー

1 概要

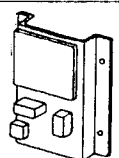

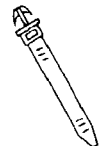


この別売部品は、三菱電機パッケージエアコンで年間冷房運転(外気温-5℃~43℃の範囲)を行なうためのファンコントローラーです。下記の説明をよく読んで組込んでください。

2 ご注意

- ファンコントローラーは、室外ユニットのプロペラファンの回転数を変化させますので、吸込口に向って強い風が当たると、制御特性に悪影響を及ぼします。従って、周囲に建物が無い場合や、屋上などに据付ける場合で、このようなケースが心配される場合には、防風壁もしくは、防風フードを取付けてください。
- ファンコントローラーは、電圧波形の制御によりファンの回転数をコントロールしていますので、条件によってファンモーターから電磁音を発生することがあります。騒音が問題となる場所でのご使用時には防音壁設置等の配慮をお願いします。又、万一ファンモーターから電磁音が発生してもユニット本体に支障をきたす心配はありません。

3 部品

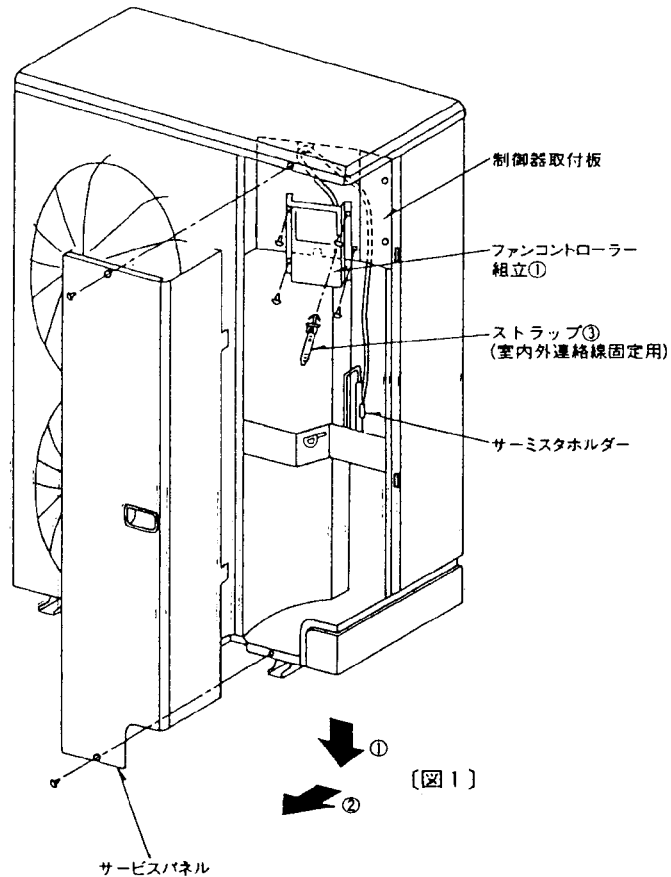
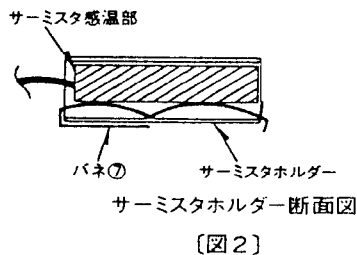
この箱には、この説明書のほかに下記の部品が入っておりますので、ご確認ください。

名称	①ファンコントローラー組立	②配線名板	③ストラップ	④バネ	⑤ネジ
形状					
個数	1個	1枚	1本	1個	5個(1個予備)

4 取付要領

取付

- サービスパネル(止めネジ2本)を取外してください。
- ファンコントローラー組立①(止めネジ4本)と、ストラップ③を、本体制御器取付板に取付けてください。[図1]
- バネ④を熱交換器のサーミスタホルダー(銅パイプ)にセットしてください。[図2]
- ファンコントローラー組込みのサーミスタ(黒色リード線)の感温部をバネ④のセットされたホルダーに差込んでください。



売部品 取付説明書

	適用機種
PAC-CN28CR	PV-5・J140D PVH-5・J140D

配線

(1) 本体制御器取付板上端子台V, Wに接続されている室内外連絡線を取外しファンコントローラー内端子台V, Wに接続してください。

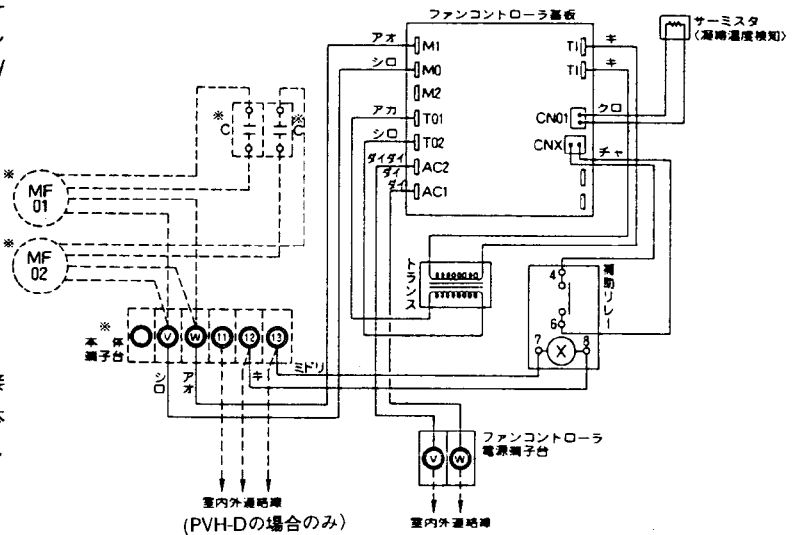
(2) ファンコントローラー内基板M1, * M0に接続されているリード線(青, 白)を本体制御器取付板上端子台V, * Wに接続してください。

(3) **PVH-5D・J140D**の場合
ファンコントローラー内リレーに接続されているリード線(緑, 黄)を本体制御器取付板上端子台12, 13に接続してください。

PV-5D・J140Dの場合

ファンコントローラー内リレーに接続されているリード線(緑, 黄)は不用ですので取外してください。

(4) ファンモータのリード線を束ねてあるクランプに(2), (3)のリード線を共止めしてください。



パネルの取付

サービスパネルの裏面に配線名板②を貼付け、パネルを元通りに取付けてください。

5 試運転

取付工事が確実に行われたことを確認の上、下記要領にて試運転を実施してください。

(1) PV-5D・J140D, PVH-5D・J140D 共

室内ユニットの運転切換スイッチを「冷房」にセットし運転します。

⇒室外送風機の回転方向が正常で室外送風機が起動後約15秒間全速で回転し、その後回転が下り安定することを確認してください。ファンコントロールの状態はファンモーターにかかる電圧(本体端子台V, W)によって判断可能です。全速運転時には約200V、ファンコントロール状態では、それ以下になります。尚、外気温が高い時(約25℃以上)には、ファンコントロールがかかりません。

ご注意 ●このファンコントローラーは、ファンモーターの起動を確実にするために、起動後約15秒間は必ず全速運転をするようになっています。

(2) PVH-5D・J140Dのみ

室内ユニットの運転切換スイッチを「暖房」にセットし運転します。

⇒室外送風機が全速運転することを確認してください。暖房運転時には、ファンコントロールがかかりません。(外気温が高い時での長時間の暖房運転はおやめください。)

WT01316X01

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品 ファンコントローラー取付説明書

	通用機種
PAC-CN31CR	PV(H)-5・J140LD
	PV(H)-8・J200LD
	PV(H)-10・J280LD

1 概要

この別売部品は、三菱電機パッケージエアコンで年間冷房運転(外気温-5℃~43℃の範囲)を行なうためのファンコントローラーです。下記の説明をよく読んで組込んでください。

2 ご注意

- ファンコントローラーは、室外ユニットのプロペラファンの回転を変化させますので、坂道口に向かって強い風が当たると、制御特性に影響を及ぼします。従って、周囲に建物がない場合や、屋上などに据付ける場合で、このようなケースが心配される場合には、防風壁もしくは、防風フードを取付けてください。
- ファンコントローラーは、電圧波形の制動によりファンの回転数をコントロールしていますので、条件によってはファンモーターから電磁音が発生することがあります。騒音が問題となる場所でのご使用時には防音壁設置等の配慮をお願いします。又、万が一ファンモーターから電磁音が発生してもユニット本体に支障をきたす心配はありません。

3 部品

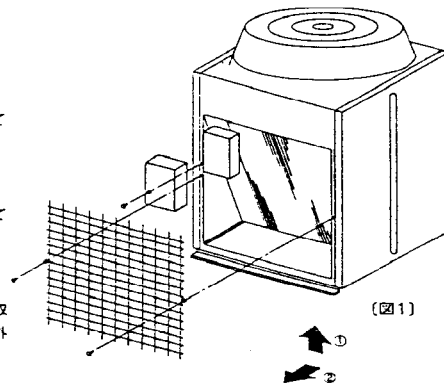
この箱には、この説明書のはかに下記の部品が入っておりますので、ご確認ください。

名 称	①ファンコントローラー組立	②配線名板	③取付板	④補強板	⑤熱交換材	⑥ネジ	⑦カバー	⑧突き合せ押棒
形 状								
PAC-CN31CR	1 個	2 枚	1 個	3 枚	1 枚	16個(2個子集)	1 個	4個(1個子集)

4 取付要領

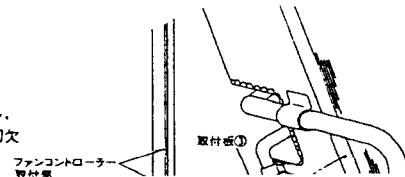
ガードの取外し

- ユニット前面のガード(止めネジ2本)を取外してください。【図1】
- PV-LD** の場合
モーターリード線と室内外連絡線の接続部を外してください。
- PVH-LD** の場合
ユニット本体制御箱のカバー(止めネジ1本)を取外し、端子台に接続されている室内外連絡線を取外してください。【図1】



取付

- 熱交換器の止めネジを外し、取付板③を共締めし、ファンコントローラー組立①を、サイドパネル切欠に引っかけてください。【図2】



ディップスイッチのセット

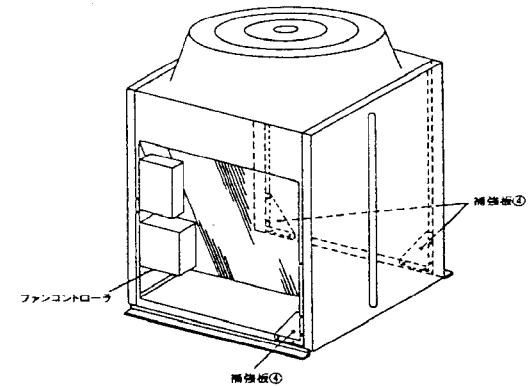
このファンコントローラーは組合せる室内ユニットの機種及び電源周波数によって、基板上的ディップスイッチのセットを変更する必要があります。下記の表にしたがって確実なセットをしてください。

(※SW3の取付方向に注意してください。)

電源周波数	ディップスイッチのセット			
	SW0	SW1	SW2	SW3*
出荷時	(3ON)	(全てOFF)	(1.2ON)	(1.6ON)
60Hz	(出荷時セットと同じ)			
50Hz	(3ON)	(2.3.4ON)	(1.2ON)	(1.6ON)

補強板の取付

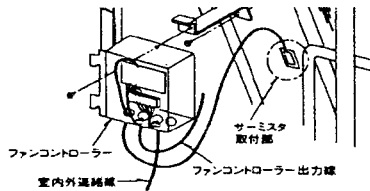
- 補強板④を取付けてください。【図5】
(3カ所、止めネジ各4本)



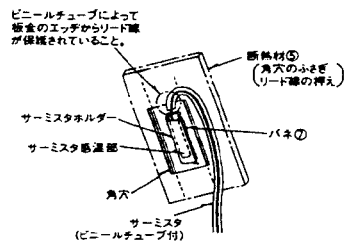
ガードの取付

- ファンコントローラーのカバーの内側に配線名板②を選んで貼付けてください。
- 本体制御箱カバー(PVH-LDの場合)、及びファンコントローラーのカバーを取付けてください。
- ガードを元通りに取付けてください。

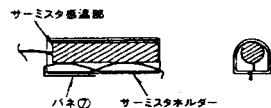
- (2) パネ⑦を熱交換器のサーミスタホルダー(銅パイプ)にセットしてください。(図4)
- (3) ファンコントローラーに組込みのサーミスタ(黒色リード線)の感温部をパネ⑦のセットされたホルダーに差込み、断熱材⑤でリード線を固定してください。(図3)



〔図2〕



〔図3〕
サーミスタ取付部詳細

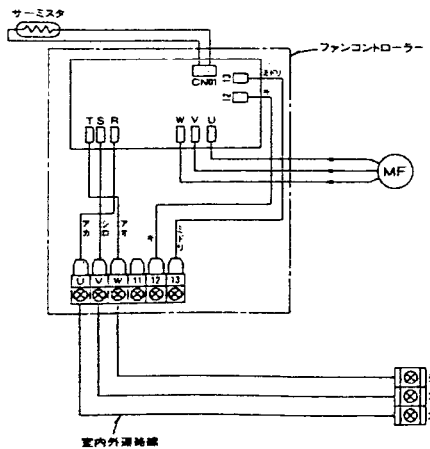


〔図4〕
サーミスタホルダー断面図

配線

PV-LDの場合

- (1) ファンコントローラー内基板のU, V, Wに接続されているリード線(赤・白・黒)の先端を切断し、突合せ接続子⑥にてモーターリード線に接続し、テープ等で絶縁処理を行ってください。
- (2) ファンコントローラー内端子台のU, V, Wに室内外運絡線を接続してください。
- (3) ファンコントローラー内端子台の11, 12, 13に接続されているリード線(橙・黄・緑)3本は不用ですので、取外してください。(チューブで束ねているリード線のみ)



5 試運転

取付工事が確実に行なわれた事を確認の上、下記要領にて試運転を実施してください。

(1) PV-LD, PVH-LD共

室内ユニットの運転切換スイッチを「冷房」にセットし、運転します。

⇒室外送風機の回転方向が正常で、室外送風機が起動後約15秒間全速で回転し、その後回転が下り安定することを確認してください。ファンコントロールの状態はファンモーターにかかる電圧(ファンコントローラー基板のU, V, W端子)によって判断可能です。全速運転時には約200V、ファンコントロール状態ではそれ以下になります。尚、外気温が高い時(約25℃以上)には、ファンコントロールがかかりません。

【注意】 • このファンコントローラーは、ファンモーターの起動を確実にするために、起動後約15秒間は必ず全速運転をするようになっています。

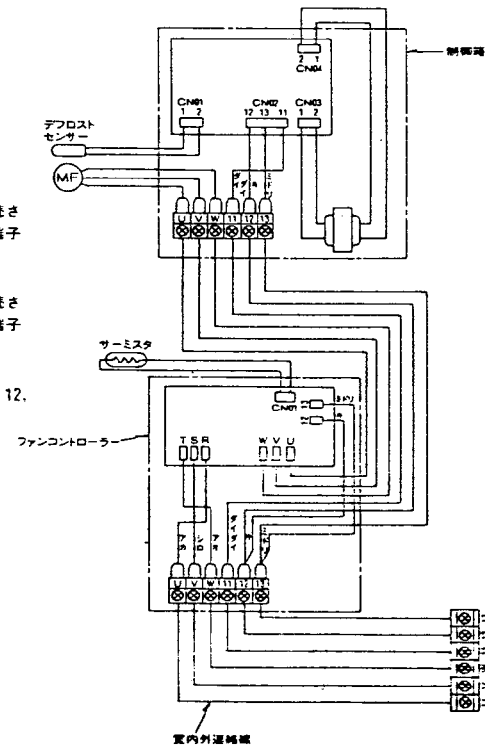
(2) PVH-LDのみ

室内ユニットの運転切換スイッチを「暖房」にセットし、運転します。

⇒室外送風機が全速運転することを確認してください。暖房運転時にはファンコントロールがかかりません。(外気温が高い時での長時間の暖房運転はおやめください。)

PVH-LDの場合

- (1) ファンコントローラー内基板のU, V, Wに接続されているリード線(赤・白・黒)を本体制御箱内端子台のU, V, Wに接続してください。
- (2) ファンコントローラー内端子台の11, 12, 13に接続されているリード線(橙・黄・緑)を本体制御箱内端子台の11, 12, 13に接続してください。
- (3) ファンコントローラー内端子台U, V, W, 11, 12, 13に室内外運絡線を接続してください。



MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品 ファンコントローラー取付説明書

適用機種	
PAC-CN29CR	PV(H)-8・J200D PV(H)-10・J280D

1 概要

この別売部品は、三菱電機パッケージエアコンで年間冷房運転(外気温-5℃~43℃の範囲)を行なうためのファンコントローラーです。下記の説明をよく読んでお読みください。

2 ご注意

- ファンコントローラーは、室外ユニットのプロペラファンの回転を変化させますので、吸込口に向かって強い風が当たると、制御特性に影響を及ぼします。従って、周囲に建物がない場合や、屋上などに露付ける場合で、このようなケースが心配される場合には、防風壁もしくは、防風フードを取付けてください。
- ファンコントローラーは、電圧波形の制御によりファンの回転数をコントロールしていますので、条件によってファンモータから電磁音が発生することがあります。騒音が問題となる場所でのご使用時には防音壁設置等の配慮をお願いします。又、万が一ファンモータから電磁音が発生してもユニット本体に支障をきたす心配はありません。

3 部品

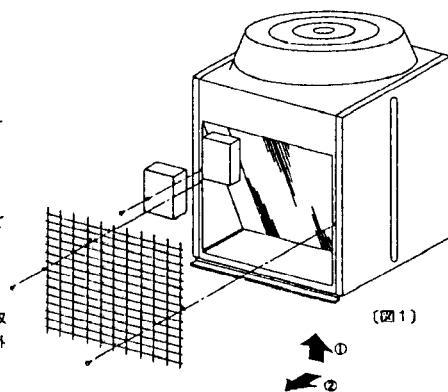
この箱には、この説明書のほかに下記の部品が入っておりますので、ご確認ください。

名称	①ファンコントローラー取付リード線付	②配線名板	③取付板	④補強板	⑤断熱材	⑥ネジ	⑦パネ	⑧突合せ接続子
形状								
PAC-CN29CR	1 個	2 枚	1 個	3 枚	1 枚	16個(2個予備)	1 個	4個(1個予備)

4 取付要領

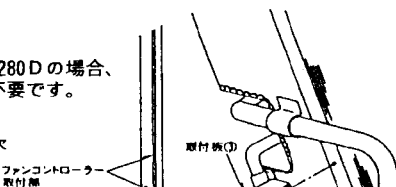
ガードの取外し

- ユニット前面のガード(止めネジ2本)を取外してください。(図1)
- PV-D**の場合
モーターリード線と室内外導線接続部を外してください。
- PVH-D**の場合
ユニット本体制御箱のカバー(止めネジ1本)を取外し、端子台に接続されている室内外導線を取外してください。(図1)



取付

- 熱交換器の止めネジを外し、取付板③を共締めし、ファンコントローラー組立①を、サイドパネル切欠に引っかけてください。(図2)



注. PV(H)-J200・J280Dの場合、取付板③は取付け不要です。

ディップスイッチのセット

このファンコントローラーは組合せる室内ユニットの機種及び電源周波数によって、基板上的ディップスイッチのセットを変更する必要があります。

下記の表にしたがって確実なセットをしてください。

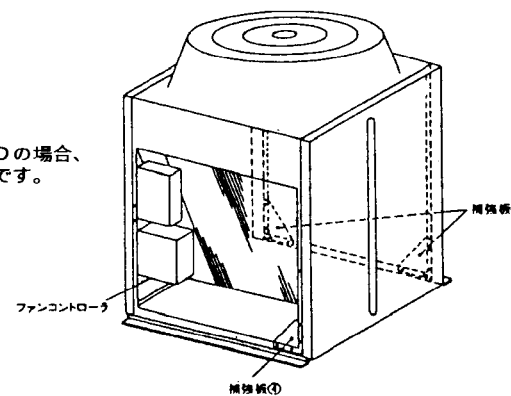
(※SW3の取付方向に注意してください。)

室内機形名	電源周波数	ディップスイッチのセット			
		SW0	SW1	SW2	SW3*
(出前時セット)	—	(3ON)	(全てOFF)	(1.2ON)	(1.5ON)
	(出前時セットと同じ)				
PA(H)-8・10 J200・J280	60Hz	(3ON)	(2.3.4ON)	(1.2ON)	(1.5ON)
	50Hz	(3ON)	(2.3.4ON)	(1.2ON)	(1.5ON)
PA(H)-15・20 J400・J560	60Hz	(3ON)	(全てOFF)	(3ON)	(1.5ON)
	50Hz	(3ON)	(2.3.4ON)	(3ON)	(1.5ON)

補強板の取付

補強板④を取付けてください。(図5)
(3カ所、止めネジ各4本)

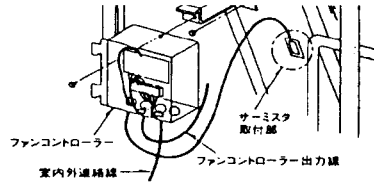
注. PV(H)-J200・J280Dの場合、補強板④は取付け不要です。



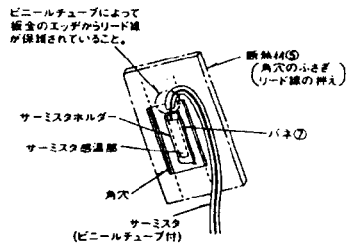
ガードの取付

- ファンコントローラーのカバーの内側に配線名板②を選んで貼付けてください。
- 本体制御箱カバー(PVH-Dの場合)、及びファンコントローラーのカバーを取付けてください。
- ガードを元通りに取付けてください。

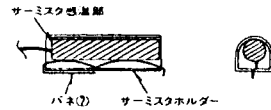
- (2) パネ⑦を熱交換器のサーミスタホルダー(銅パイプ)にセットしてください。(図4)
- (3) ファンコントローラーに組み込みのサーミスタ(黒色リード線)の感温部をパネ⑦のセットされたホルダーに差込み、断熱材④でリード線を固定してください。(図3)



(図2)



(図3) サーマスタ取付部詳細

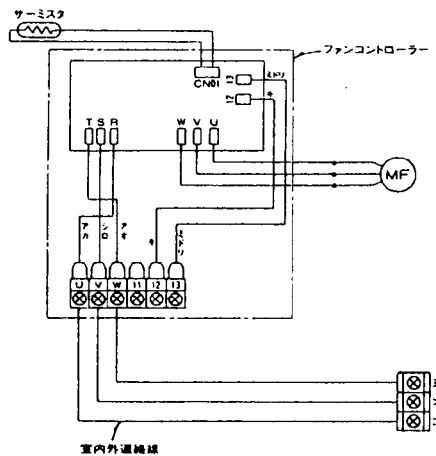


(図4) サーマスタホルダー断面図

配線

PV-Dの場合

- (1) ファンコントローラー内基板のU, V, Wに接続されているリード線(赤・白・黒)の先端を切断し、突合せ接続子⑧にてモーターリード線に接続し、テープ等で絶縁処理を行ってください。
- (2) ファンコントローラー内端子台のU, V, Wに室内外連絡線を接続してください。
- (3) ファンコントローラー内端子台の11, 12, 13に接続されているリード線(橙・黄・緑)3本は不用ですので、取外してください。(チューブで束ねているリード線のみ)



5 試運転

取付工事が確実に行なわれた事を確認の上、下記要領にて試運転を実施してください。

(1) PV-D, PVH-D共

室内ユニットの運転切換スイッチを「冷房」にセットし、運転します。

⇒室外送風機の回転方向が正常で、室外送風機が起動後約15秒間全速で回転し、その後回転が下り安定することを確認してください。ファンコントロールの状態はファンモーターにかかる電圧(ファンコントローラー基板のU, V, W端子)によって判断可能です。全速運転時には約200V、ファンコントロール状態ではそれ以下になります。尚、外気温が高い時(約25℃以上)には、ファンコントロールがかりません。

【注意】

●このファンコントローラーは、ファンモーターの起動を確実にするために、起動後約15秒間は必ず全速運転をするようになっています。

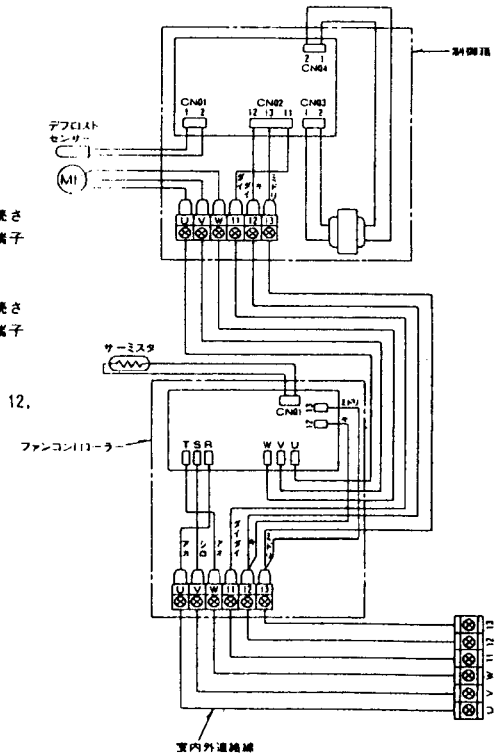
(2) PVH-Dのみ

室内ユニットの運転切換スイッチを「暖房」にセットし、運転します。

⇒室外送風機が全速運転することを確認してください。暖房運転時にはファンコントロールがかりません。(外気温が高い時での長時間の暖房運転はおやめください。)

PVH-Dの場合

- (1) ファンコントローラー内基板のU, V, Wに接続されているリード線(赤・白・黒)を本体制御箱内端子台のU, V, Wに接続してください。
- (2) ファンコントローラー内端子台の11, 12, 13に接続されているリード線(橙・黄・緑)を本体制御箱内端子台の11, 12, 13に接続してください。
- (3) ファンコントローラー内端子台U, V, W, 11, 12, 13に室内外連絡線を接続してください。



MITSUBISHI 三菱スリムエアコン別売部品

防雪ダクト取付説明書

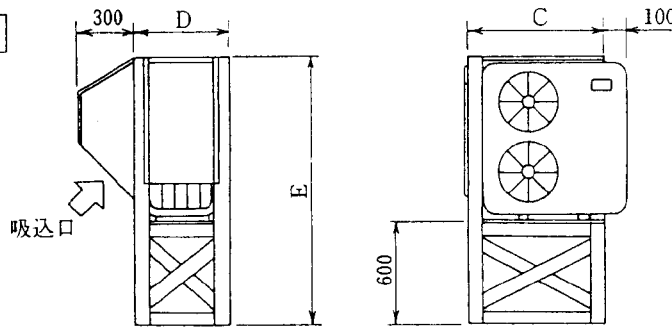
PAC-319BD(PUH-35~50(S)EK)
 PAC-326BD(PUH-56~71EK/PUT-3B・J75A)
 PAC-329BD(PUH(X)-80~100EK)
 PAC-336BD(PUH(X)-112~140EK/PV(H)-5D・J140D)

1. 部品

この箱の中には、この説明書の他に、下記部品が入っていますので、ご確認ください。(ネジ類は、予備のため若干多く入っています。)

① 縦 枠 (大)	3 本	② 縦 枠 (小)	1 本	③ ベース	2 個	④ 上部横板	1 個
⑤ 補 強 (大)	2 本	⑥ 補 強 (小)	2 本	⑦ フード側板(右)	1 枚	⑧ フード側板(左)	1 枚
⑨ 横フード板	1 枚	⑩ 後フード板	1 枚	⑪ 後フード板	1 枚	⑫ ボルト(M10)	35 本
⑬ パナネジ	15コ	⑭ ナット(M10)	15コ	⑮ アパネジ	17 本	⑯ パナネジ	17コ
⑰ STネジ	8 本	⑱ 平 環 金	1コ				

2. 完成図

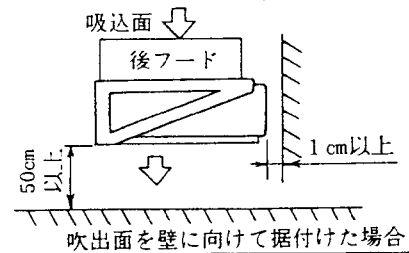
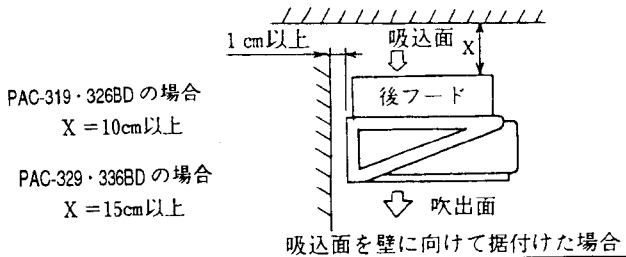


寸法表 (mm)

機種	C	D	E
PAC-319BD	800	387	1262
PAC-326BD	800	387	1465
PAC-329BD	800	387	1871
PAC-336BD	900	437	1871

3. 据付場所の選定

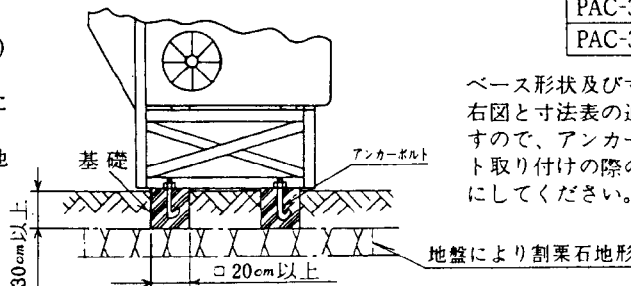
- ① 直射日光や他の熱源から、直接熱を受けない所。
- ② 室外ユニットから発生する騒音が隣家の迷惑にならない所。
- ③ 電源及び室内側ユニットとの配線、配管に便利な所。
- ④ 雪の吹きだまりになる所は避けてください。
- ⑤ 据付上・機能上・サービス上必要なスペースを確保してください。
- ⑥ ショートサイクルを起こさないよう周囲の障害物を除いてください。



4. 防雪ダクト固定方法

強風・地震等で転倒する恐れがありますので、必ずアンカーボルトで固定してください。

アンカーボルト(φ10)とベースの穴(φ12長穴)を利用して基礎に固定してください。(アンカーボルトは現地で手配願います。)

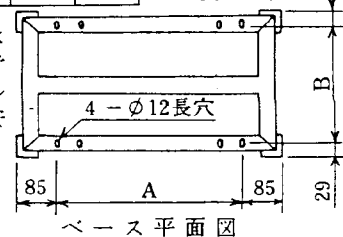


寸法表 (mm)

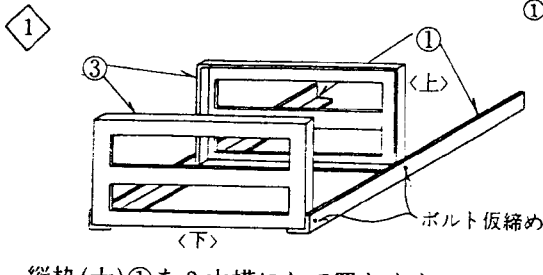
機種	A	B
PAC-319BD		
PAC-326BD	630	329
PAC-329BD		
PAC-336BD	730	379



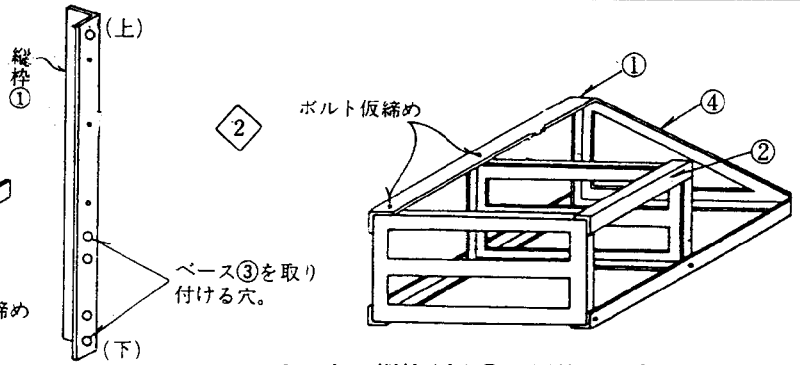
ベース形状及び寸法は右図と寸法表の通りですので、アンカーボルト取り付けの際の目安にしてください。



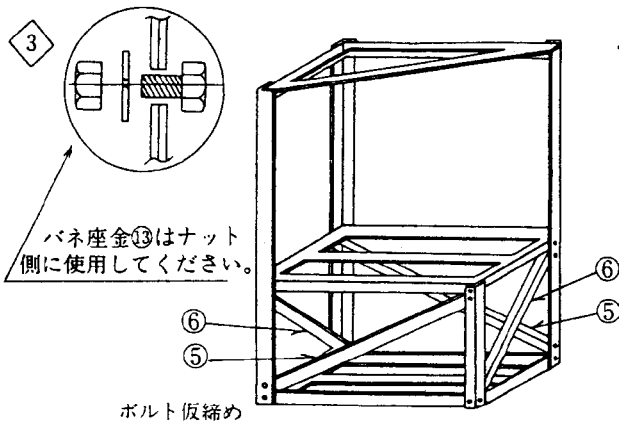
5. 防雪ダクト組立方法



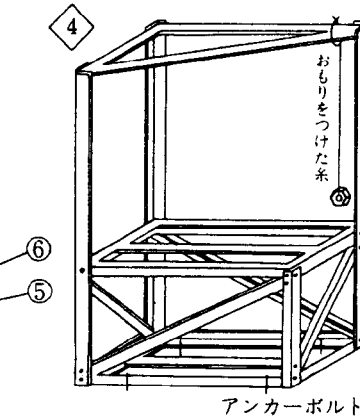
縦枠(大)①を2本横にして置きます。
ベース③2個をボルト②にて取り付けます。
この時ボルトは「仮締め」にしておきます。
注：ベース2個は互いに向かい合せて取り付けます。縦枠の上下に注意してください。



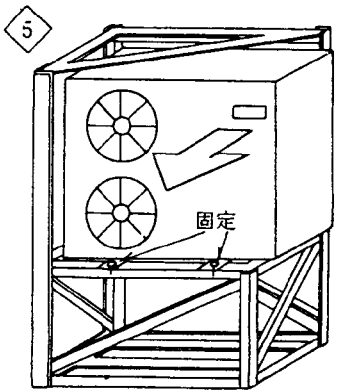
その上に縦枠(大)①と縦枠(小)②及び上部横枠④をボルト②にて取り付けてください。
この時ボルトは「仮締め」にしておきます。



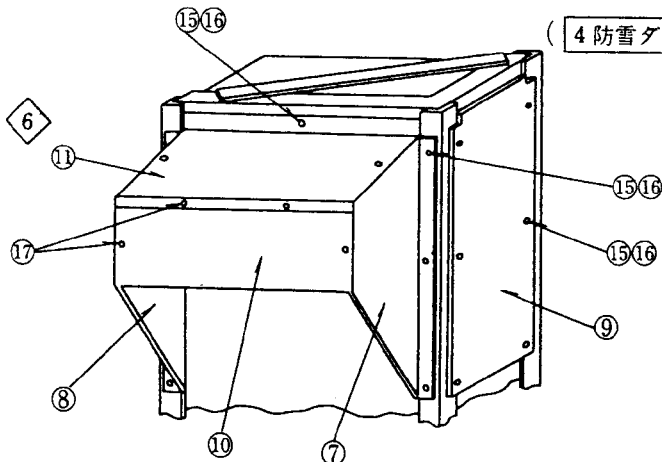
②を立てて補強(大)⑤補強(小)⑥をボルト②とバネ座金⑬とナット⑭で取り付けてください。この時ボルトは「仮締め」にしておきます。



おもりを付けた糸を垂らすなどして架台が垂直に立っているか調べた上で「本締め」にしてください。アンカーボルトでベースを地面に固定してください。



室外ユニットを載せてください。そして室外ユニットの固定足をこの架台にボルト⑫とバネ座金⑬とナット⑭と平座金⑯で確実に固定してください。



フード側板⑦⑧を後面にナベネジ⑮とバネ座金⑯で固定し、フード側板の上に、後フード板⑩⑪をSTネジ⑰で取り付けてください。

- 側面に横フード板⑨をナベネジ⑮とバネ座金⑯で固定してください。

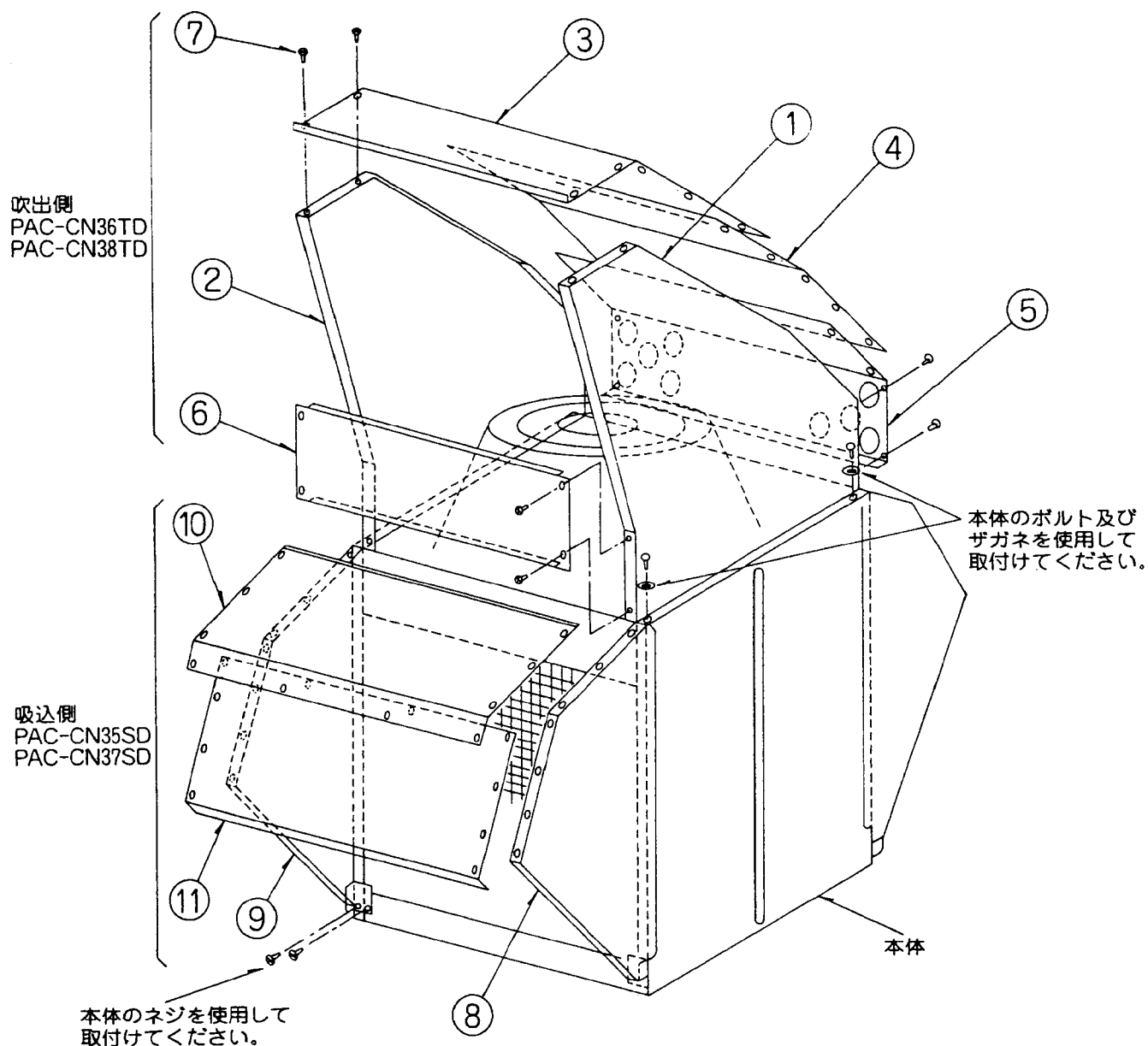
(4 防雪ダクト固定方法 参照)

注：ベースの固定穴は長穴になっていますので、ユニットを前方(矢印の方向)に寄せて据付けてください。

- ⑦ 組み立て設置完了後に配線・配管工事を行なってください。
・配線・配管工事の方法は据付説明書を参照してください。

防雪フード取付工事要領書 (PAC-CN35SD, PAC-CN36TD) (PAC-CN37SD, PAC-CN38TD)

下図に従って本体に防雪フードを取付けてください。



PAC-CN36TD, PAC-CN38TD

品番	品名	個数
1	サイドフードR	1
2	サイドフードL	1
3	トップフード1	1
4	トップフード2	1
5	トップフード3	1
6	トップフード4	1
7	タッピンネジ	32

PAC-CN35SD, PAC-CN37SD

品番	品名	個数
8	サイドフードR	2
9	サイドフードL	2
10	トップフード1	2
11	トップフード2	2
7	タッピンネジ	32

W390792H01

吹出ガイド (PU(H)形用)

形名 PAC-291・393・294・292SG

1 適用機種

形名	PAC-291SG	PAC-393SG	PAC-294SG	PAC-292SG
適用機種	PU(H)-35~63G6・GF	PUHM-71EK PUHMZ-80AK	PUHM-100~140EK PUHMZ-105AK	PU(H)(Z)-35~140(S)EK(D)・EGD PV(H)-5・J140D PUT-2・3B/J50・J75A

2 使用方法

室外ユニットの吹出空気の風向を、上・下・左・右(PAC-291・292・294SG)上・下(PAC-393SG)いずれかに変更する部品です。室外ユニットの周囲にスペースがあまりない場合にお使いください。

3 付属部品

品番	品名	個数			
		PAC-291SG	PAC-393SG	PAC-294SG	PAC-292SG
①	吹出ガイド	1	1	2	1
②	取付用ネジ ST4×10	4	4	8	4
③	絶縁テープ	2	2	4	0

注) PAC-292SGを使用する場合、PU(H)-35~71タイプは1個使い、80~140形は2個使い、PUHZ-50・66形は1個使い、71~140形は2個使いとなります。

4 取付要領

室外ユニット前パネルに設けてあります。吹出ガイド取付穴(1図参照)に吹出方向上向きの際は2図のように、吹出方向下向きの際は3図のように、吹出方向横向き(右側吹出し、または左側吹出し)の際は4図のように取りつけてください。

●お願い
吹出ガイド取付前に、前パネルの傷付防止のために吹出ガイドの取付面(5図参照)に絶縁テープ(品番3)を貼ってください。

PAC-291・294・292SGの場合

室外ユニット前パネルに設けてあります。吹出ガイド取付穴(1図参照)に吹出方向上向きの際は2図のように、吹出方向下向きの際は3図のように取りつけてください。お願い。吹出ガイド取付前に、パネルの傷付防止のために吹出ガイドの取付面(4図参照)に絶縁テープを貼ってください。

PAC-393SGの場合

設置スペース
室外ユニットの標準的設置スペースを6図に示します。

●お願い

- ショートサイクルをおこさないよう可能な限り障害物のない場所をお選びください。
例、左側吹出しの際はA面、右側吹出しの際はB面、上向き吹出しの際は上部の障害物が無いこと。
- 積雪のある場所でのご使用は絶対やめてください。ガイド内に雪が溜まりファンが凍りつく恐れがあります。

MITSUBISHI

三菱スリムエアコン別売部品 集中排水ドレンパン取付説明書

適用機種：PAC-928DP PU(H)-35~100(S)EK
PUHX-100EK
PAC-929DP PU(H)-112~140EK
PUHX-125・140EK
PV(H)5D・J140D
PVT-5E・J125E

このドレンパンは、上記室外ユニットを通路の上などの、架台に据付けた場合のドレン処理を行なうものです。

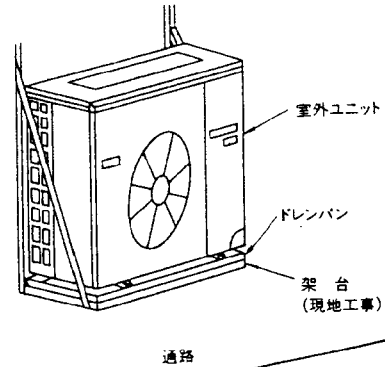
1. 据付上の注意

- 本品は、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
- 本品を取付けた場合は、冷媒配管の下向き接続はできませんので、これ以外の方向で冷媒配管を接続してください。
- 一般的な室外ユニット据付に関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが30mm高くなります。
- 本品は、ドレンソケット側が室外ユニットの後側となるようにしてください。

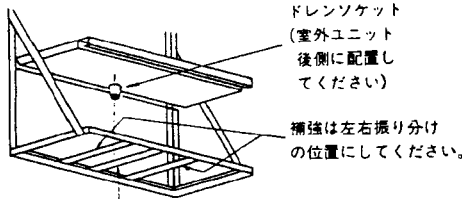
2. ドレンパンの設置

本品は、室外ユニット据付用架台と室外ユニット本体の間に設置して使用します。現地側で手配する据付用架台は以下の注意事項を守ってください。

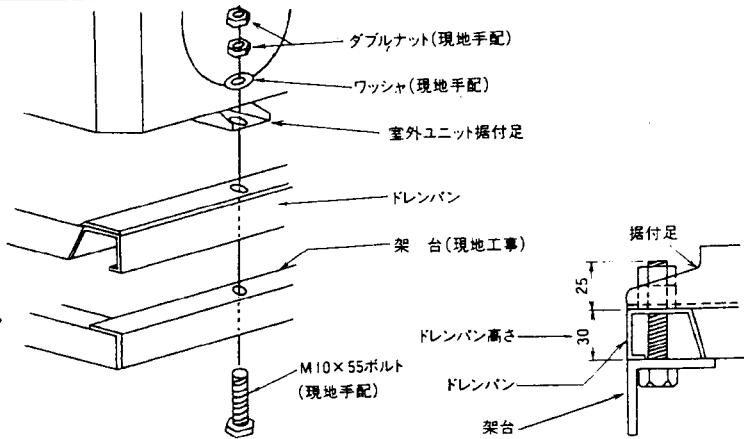
1. 据付用架台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に充分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2. ドレンパンの据付は、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用架台には室外ユニット本体据付用ピッチにてφ13程度の穴あけ加工を施してください。
3. 架台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。ボルトの長さは下図のように55mm以下としてください。



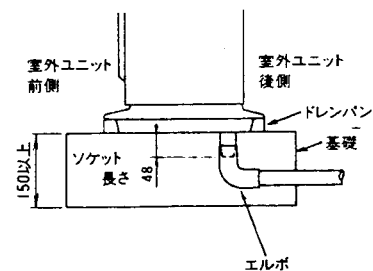
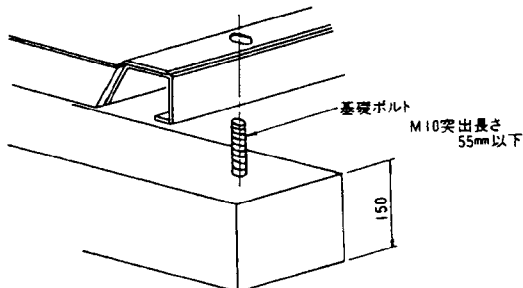
注) ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にありますので、架台の製作時にはソケットと架台部材が干渉しないよう注意してください。



中央部はドレンソケットがあたるので補強は不可。

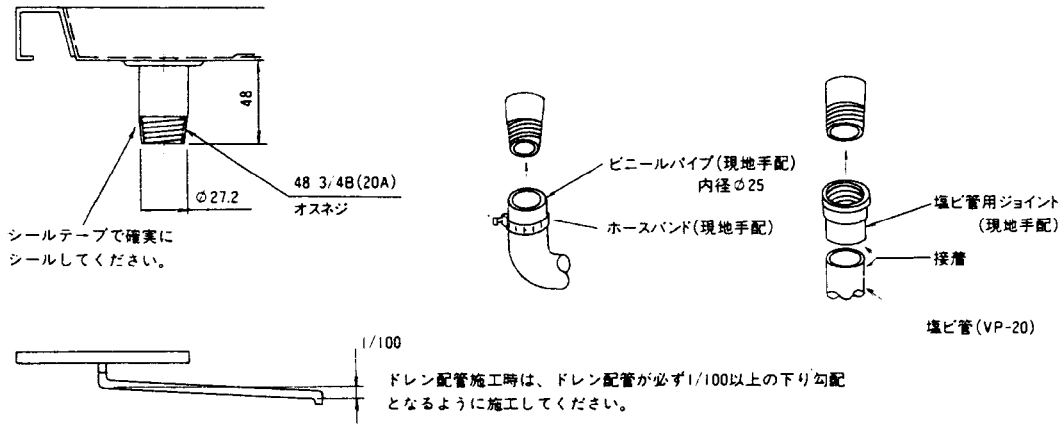


4. ドレン集中処理が必要で、基礎に据付ける場合、基礎の地上部高さは左図のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。



3. ドレン配管工事

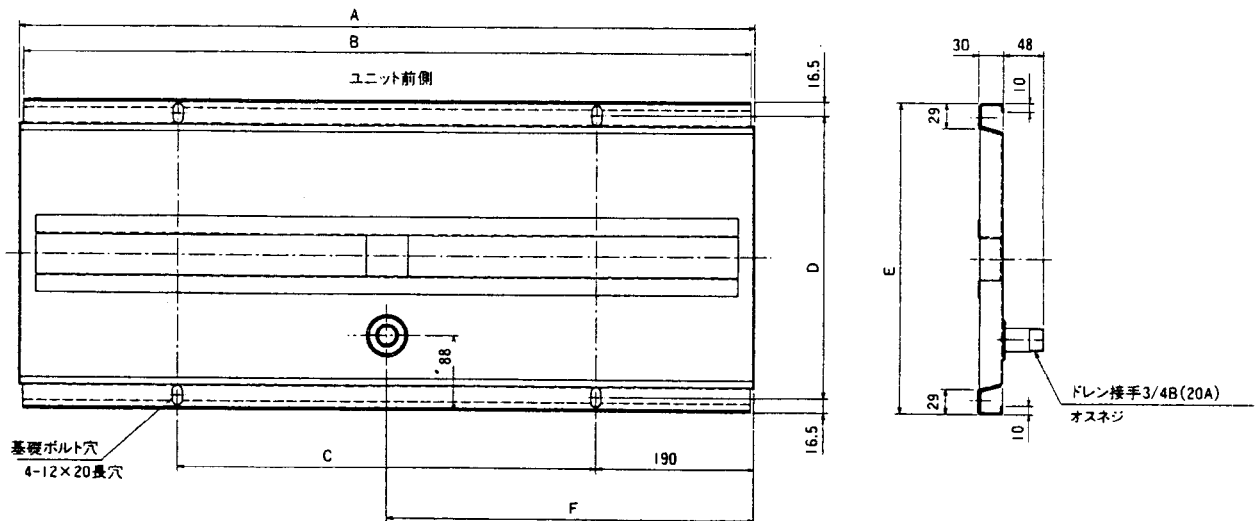
ドレンパンのドレンソケットは、3/4B(20A)オスネジとなっています。配管は鉄管の場合は3/4Bメネジ加工にて接続してください。また、ビニールパイプの場合は、内径25mmを使用し、接続部は、ホースバンド等でパイプを確実に固定してください。塩ビ管(VP20)を使用する場合は、塩ビ管用ジョイントにて接続が可能です。いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールテープ等で確実にシールを施してください。



4. 製品外形図

本品の外形図を示します。図中、取付穴のピッチ(C,D)は室外ユニットの据付足と同じです。

形名	A	B	C	D	E	F
PAC-928DP	880	870	500	329	362	440
PAC-929DP	980	970	600	379	412	490



MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別 ドレンパン取付説明

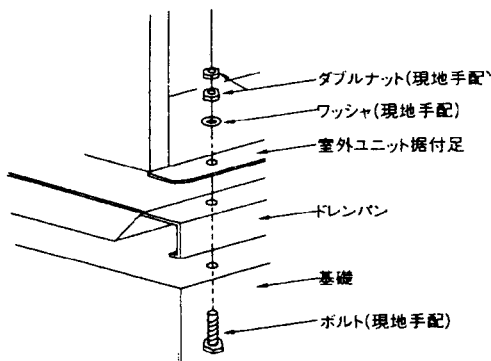
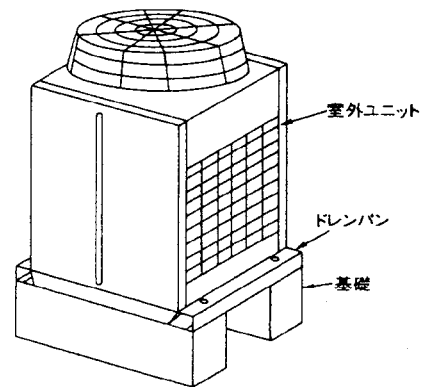
1 注意

1. 本品は、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
2. 本品を取付けた場合は、冷媒配管の下向き接続はできませんので、これ以外の方向で、冷媒配管を接続してください。
3. 一般的な室外ユニット据付に関する内容は、室内ユニットに添付の据付説明書に従ってください。
4. 本品は基礎と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが40mm高くなります。
5. 本品は必ず水平に据付けてください。

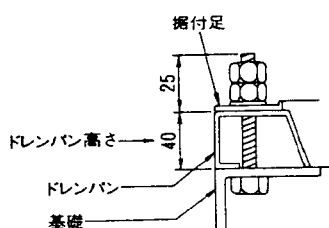
2 ドレンパンの設置

本品は、基礎と室外ユニット本体の間に設置して使用します。
現地側で手配する基礎は以下の注意事項を守ってください。

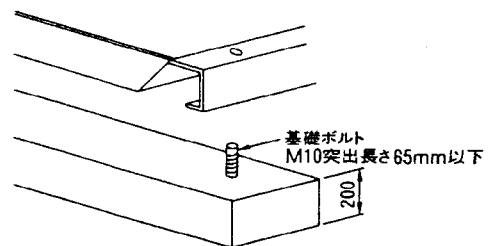
1. 基礎は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に充分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり落下しないよう強固に据付けてください。
2. 基礎とドレンパン、室外ユニット本体を共締めにて強固に締結してください。(4ヶ所)[図1]、ボルトの長さは65mm以下としてください。[図2]
3. 基礎の地上高さは、200mm以上としてください。[図3]これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが50mmですのでドレン配管施工ができなくなります。[図4]



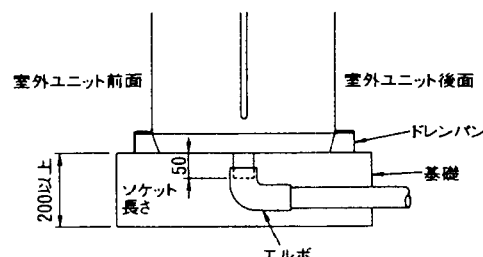
【図1】



【図2】



【図3】



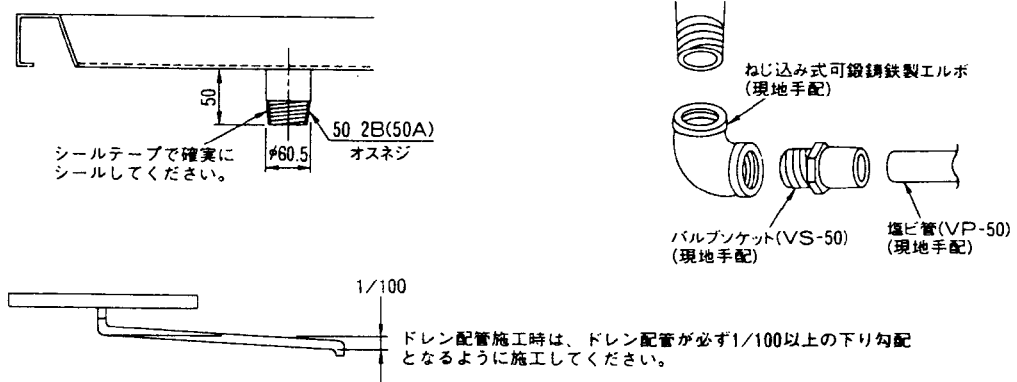
【図4】

売部品 書

形名	PAC-CN39DP	PAC-CN40DP
適	PV(H)-J200D	
用	PV(H)-J280D	
機	PV(H)-J140LD	PV(H)-J280LD
種	PV(H)-J200LD	PV(H)-10LD
	PV(H)-8D	
	PV(H)-10D	
	PV(H)-5LD	
	PV(H)-8LD	

3 ドレン配管工事

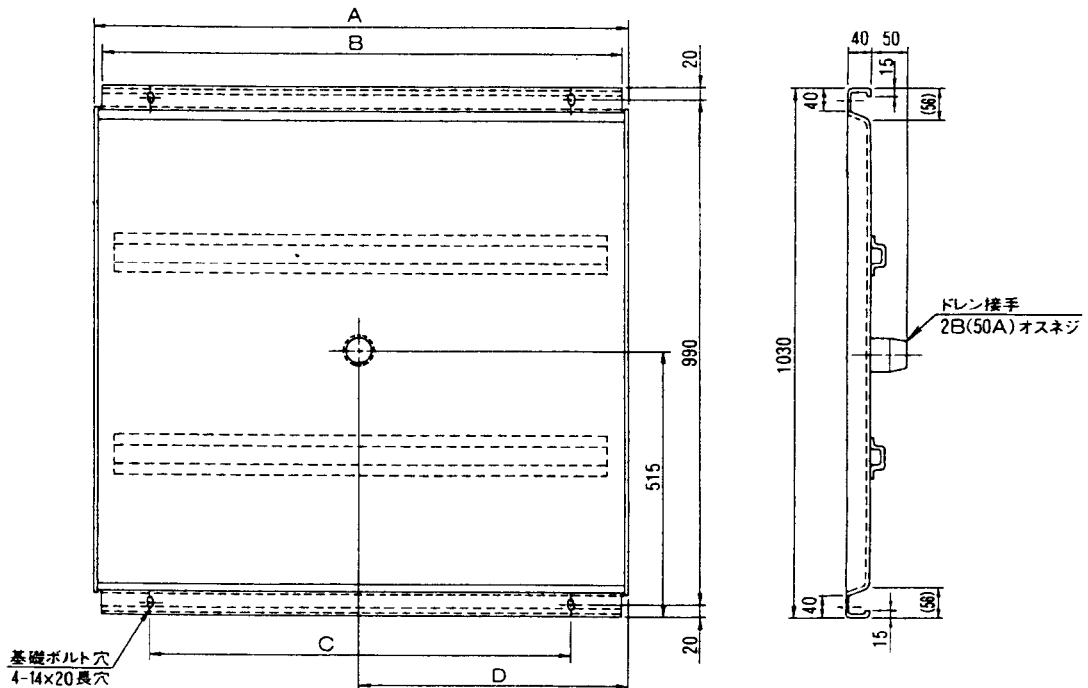
ドレンパンのドレンソケットは、2B(50A)オスネジとなっています。配管は鉄管の場合は2Bメネジ加工にて接続してください。塩ビ管(VP50)を使用する場合は、塩ビ管用バルブソケットにて接続が可能です。いずれの場合でも、ソケットのネジ部はシールテープ等で確実にシールしてください。



4 製品外形図

本品の外形図を示します。図中取付穴のピッチ(C)は、室外ユニットの据付足と同じです。

形名	A	B	C	D
PAC-CN39DP	980	970	790	490
PAC-CN40DP	1,280	1,270	1,090	640



WT01325X01

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK01EH

電気ヒータ取付説明書 PA(H)-J140PC PW(H)-J160PC P-5PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 3kW	⑥	リード線	1	VSF 1.25 赤
②	電磁接触器	1	LY-3F	⑦	〃	1	〃 白
③	ヒータ取付板(右)	1		⑧	〃	1	〃 青
④	〃 (左)	1		⑨	〃	1	VSF 0.75 青
⑤	タップピンネジ	6	4×10 (予備2本)	⑩	タップピンネジ	4	3.5×10 (予備2本)

2. 取付要領

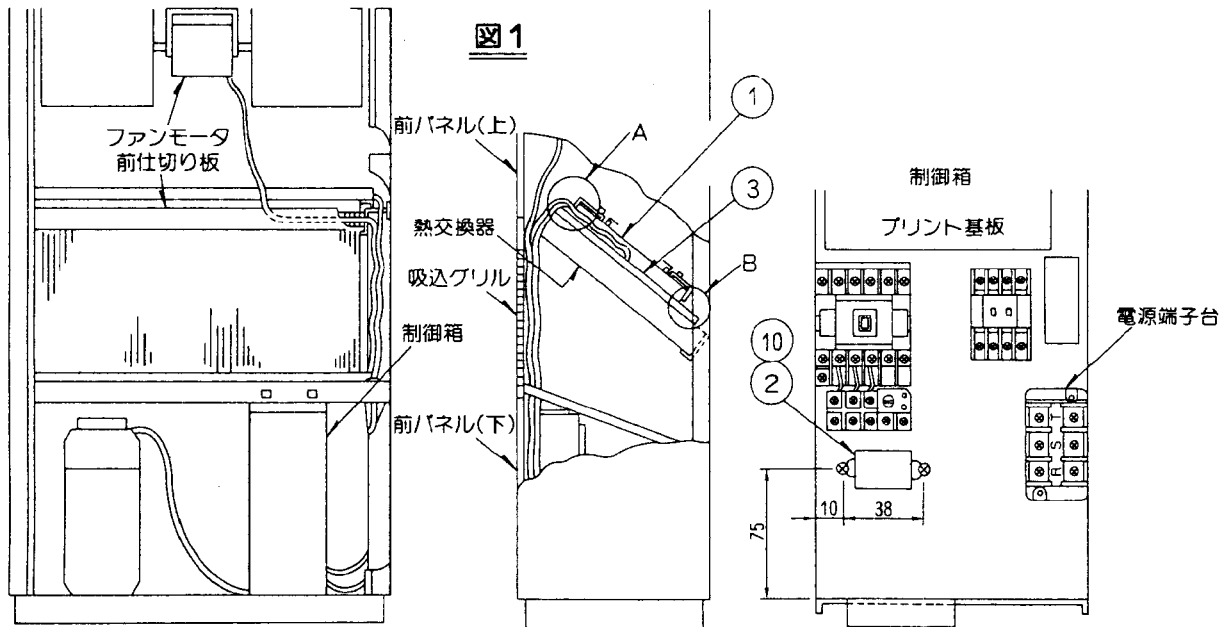
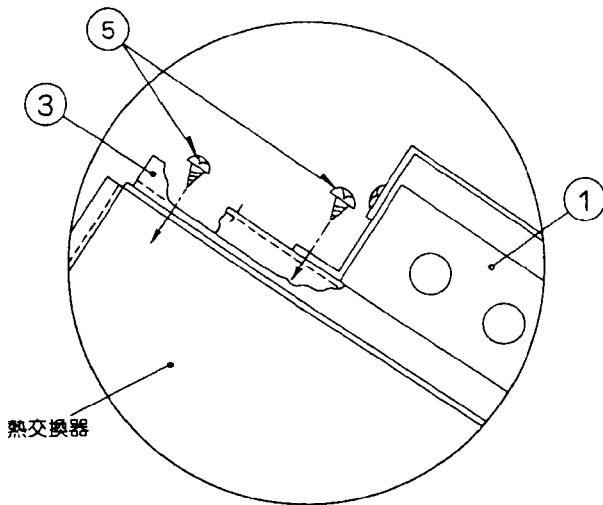
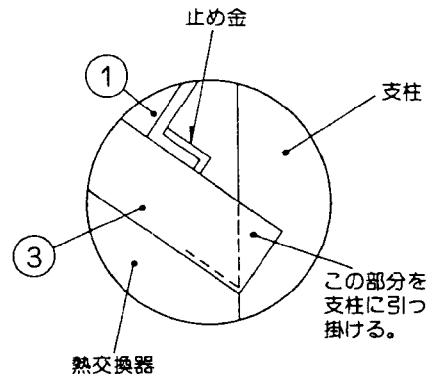


図2



A部詳細図

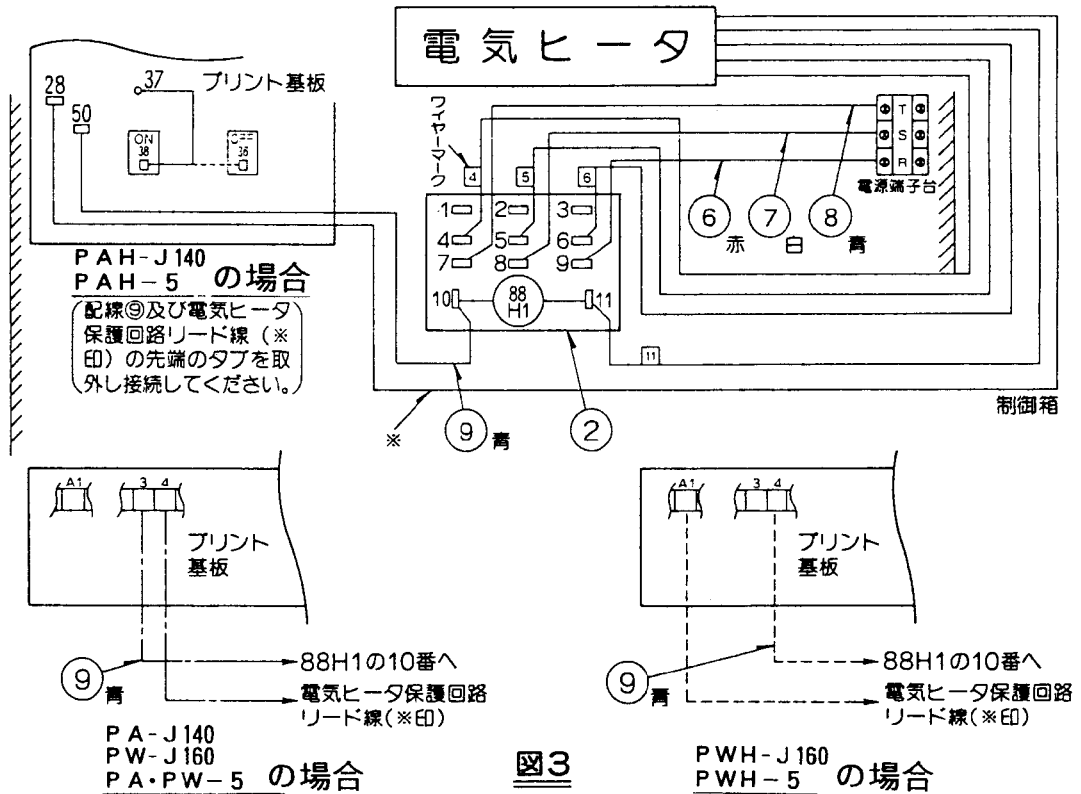


B部詳細図

- (1) 吸込グリル, 前パネル上下(取付ネジ各2本)及び前仕切り板(取付ネジ2本)を取外し, ヒータ取付板③, ④を止め金付の方を先にし, 熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め(タッピンネジ⑤2本)してください。(図1 A, B部詳細図)
- (2) 電気ヒータ①を配線が右側から出るようにヒータ取付板③, ④の上にネジ止め(タッピンネジ⑤2本)してください。(図1 A部詳細図)
- (3) リード線は, 前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通してください。(図1)
- (4) 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め(タッピンネジ⑩2本)してください。(図2)

3. 配線要領 (組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。)

- (1) 電気ヒータからのリード線は電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑨⑦⑧は, 制御箱内電源端子台と電磁接触器間に, リード線⑨はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。(図3)
- (2) PAHの場合のみプリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて, 38番ファストンタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1) 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン)と同時組込む場合は, 加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2) 取付完了後, 再度取付状況, 配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4) エアーフィルターは常にきれいにして使用してください。
洗浄は週一回, 特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK02EH

電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J200PC
PW(H)-J250PC
P-8PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 5.1kW	⑥	リード線	1	VSF 2.0 赤
②	電磁接触器	1	S-K10	⑦	〃	1	〃 白
③	ヒータ取付板(右)	1		⑧	〃	1	〃 青
④	〃 (左)	1		⑨	〃	1	VSF 0.75 青
⑤	タッピンネジ	6	4×10 (予備2本)	⑩	タッピンネジ	4	4×20 (予備2本)

2. 取付要領

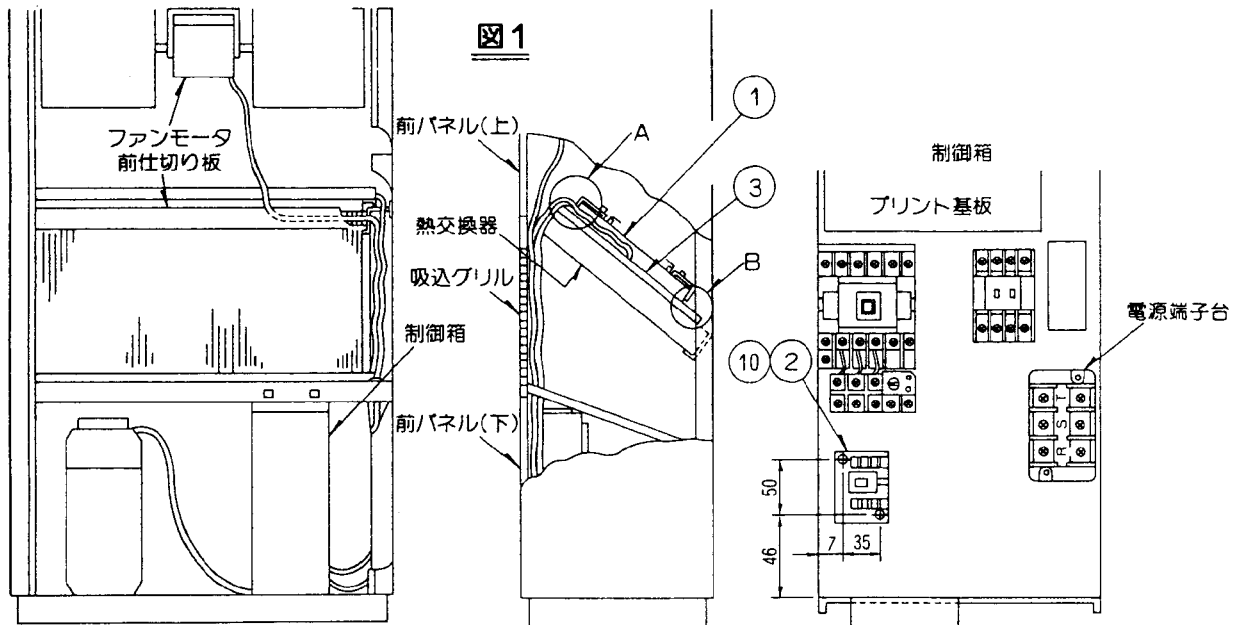
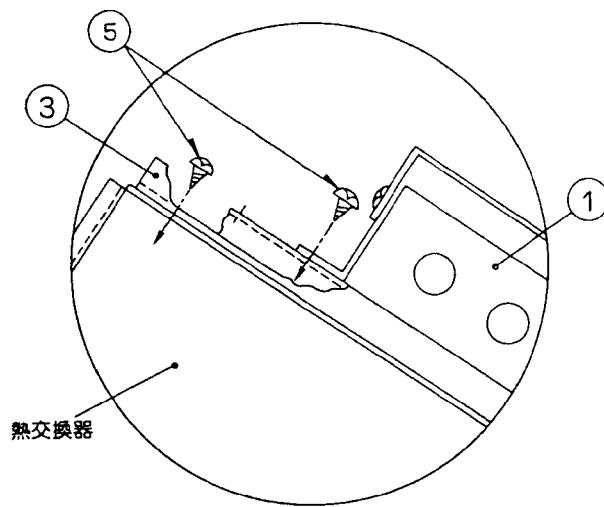
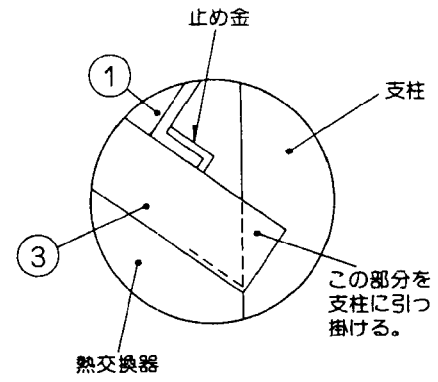


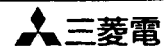
図2



A部詳細図



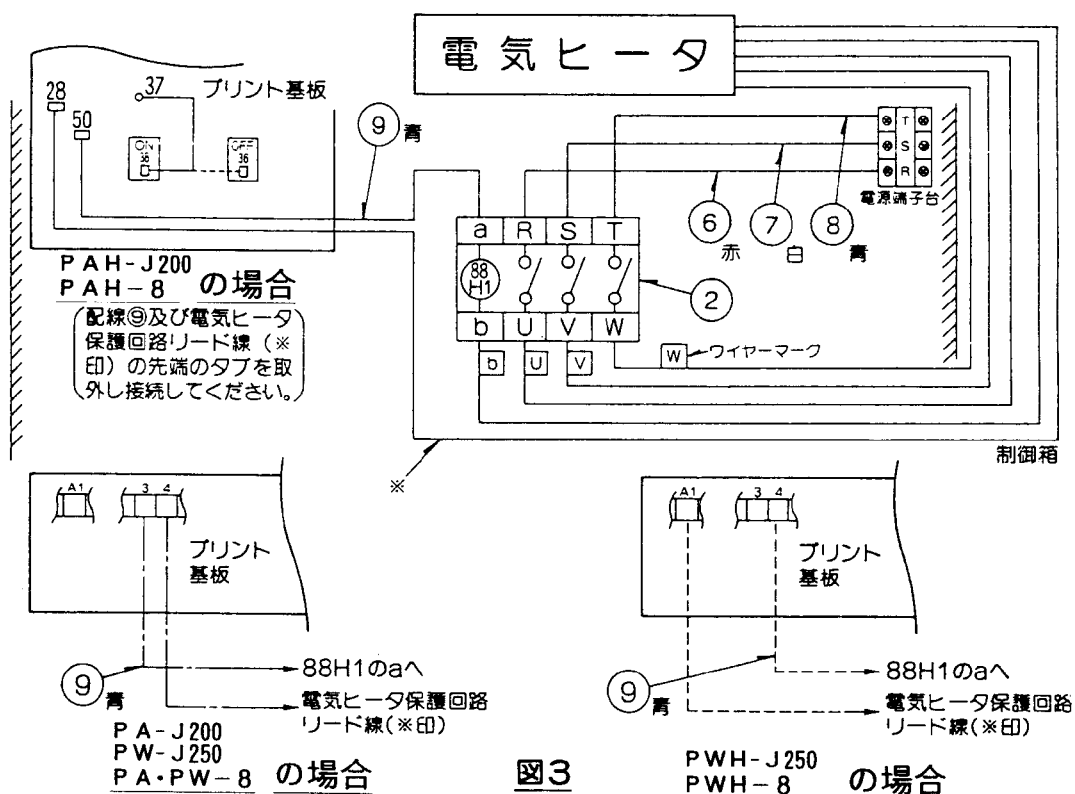
B部詳細図



- (1) 吸込グリル、前パネル上下(取付ネジ各2本)及び前仕切り板(取付ネジ2本)を取外し、ヒータ取付板③、④を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め(タッピンネジ⑤2本)してください。(図1 A、B部詳細図)
- (2) 電気ヒータ①を配線が右側から出るようにヒータ取付板③、④の上にネジ止め(タッピンネジ⑤2本)してください。(図1 A部詳細図)
- (3) リード線は、前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通してください。(図1)
- (4) 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め(タッピンネジ⑩2本)してください。(図2)

3. 配線要領 (組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください)

- (1) 電気ヒータからのリード線は電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑥⑦⑧は、制御箱内電源端子台と電磁接触器間に、リード線⑨はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。(図3)
- (2) PAHの場合のみプリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて、38番ファストンタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1) 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー、超音波式、ペーパーパン)と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2) 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4) エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK03EH

電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J280PC
PW(H)-J315PC
P-10PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ	1	3φ200V 7.5kW	⑥	リード線	1	IV 2.0 赤
②	電磁接触器	1	S-K20	⑦	〃	1	〃 白
③	ヒータ取付板(右)	1		⑧	〃	1	〃 青
④	〃 (左)	1		⑨	〃	1	VSF 0.75 青
⑤	タッピンネジ	6	4×10 (予備2本)	⑩	タッピンネジ	4	4×20 (予備2本)

2. 取付要領

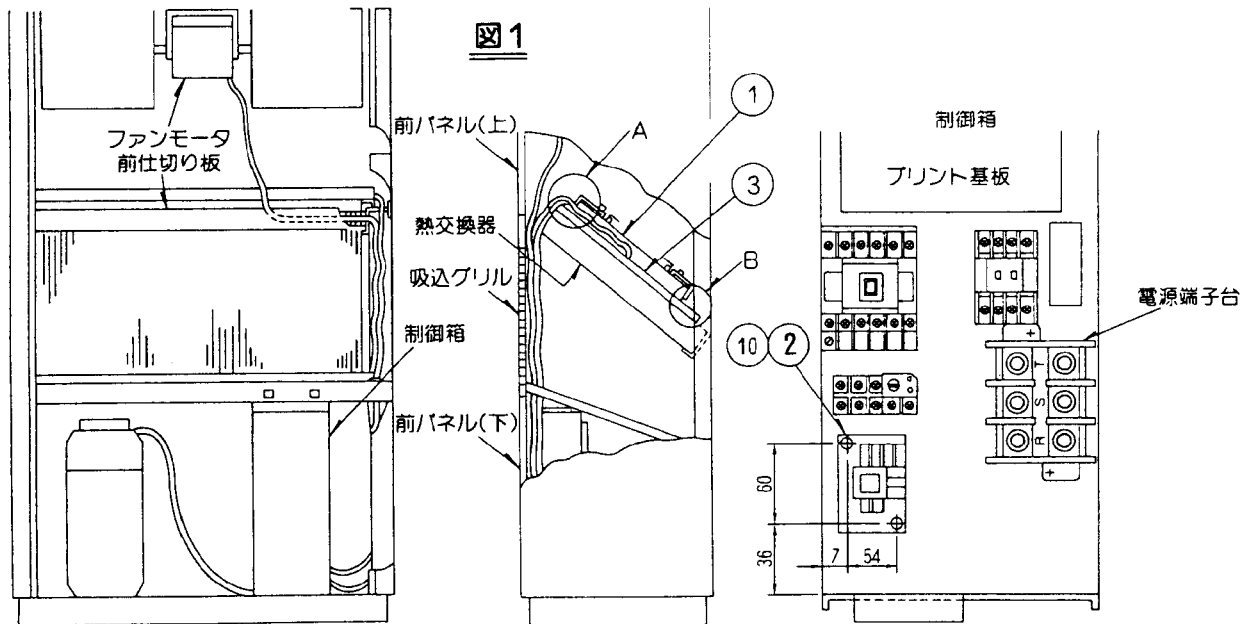
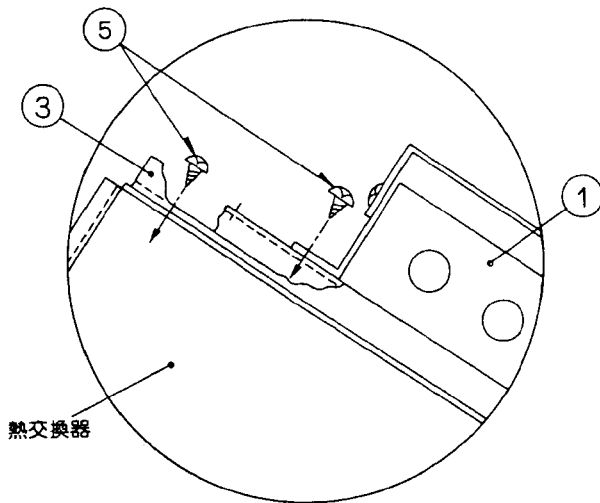
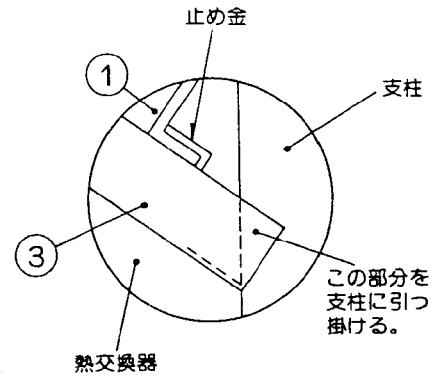


図2



A部詳細図

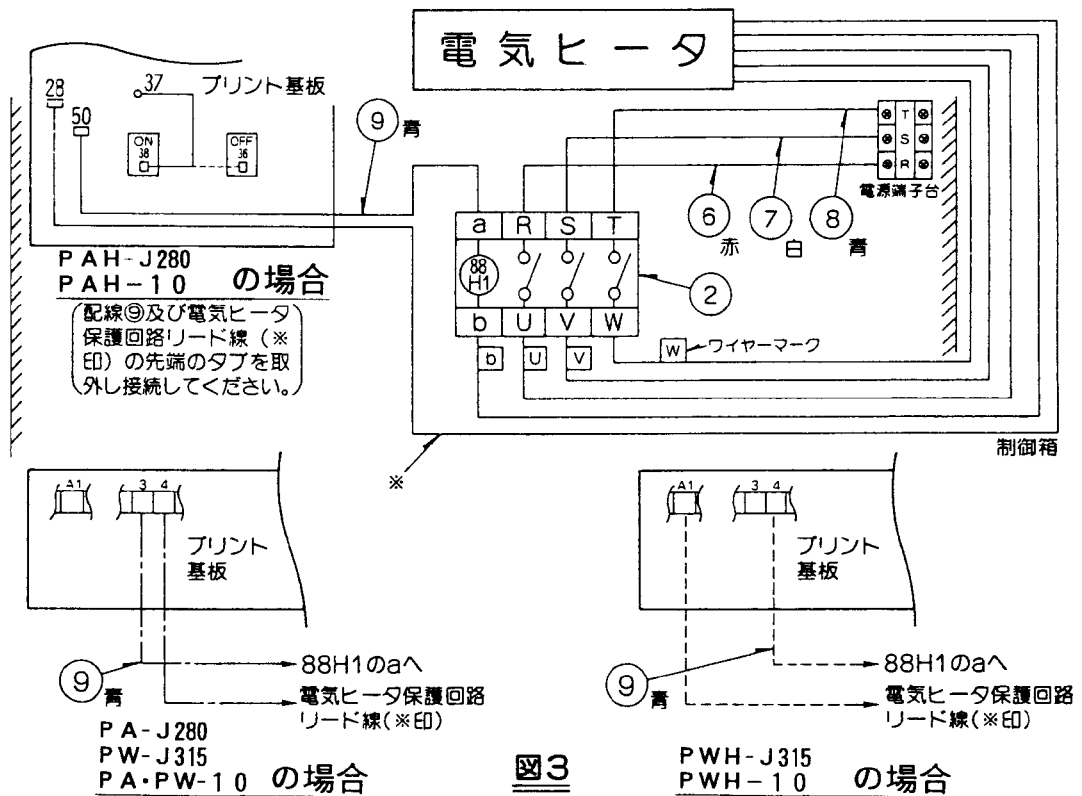


B部詳細図

- (1) 吸込グリル, 前パネル上下(取付ネジ各2本)及び前仕切り板(取付ネジ2本)を取外し, ヒータ取付板③, ④を止め金付の方を先にし, 熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め(タッピンネジ⑤2本)してください。(図1 A, B部詳細図)
- (2) 電気ヒータ①を配線が右側から出るようにヒータ取付板③, ④の上にネジ止め(タッピンネジ⑤2本)してください。(図1 A部詳細図)
- (3) リード線は, 前仕切り板の右側からファンモーターリード線と同じ様に通してください。(図1)
- (4) 電磁接触器②を制御箱内の所定位置にネジ止め(タッピンネジ⑩2本)してください。(図2)

3. 配線要領 (組込む機種によりプリント基板への配線が異なりますのでご注意ください。)

- (1) 電気ヒータからのリード線は電磁接触器②及びプリント基板に接続してください。
またリード線⑦⑧は, 制御箱内電源端子台と電磁接触器間に, リード線⑨はプリント基板と電磁接触器間に接続してください。(図3)
- (2) PAHの場合のみプリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて, 38番ファストンタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1) 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ベーパーパン)と同時組込む場合は, 加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2) 取付完了後, 再度取付状況, 配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- (4) エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週一回, 特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK21EH

電気ヒータ取付説明書

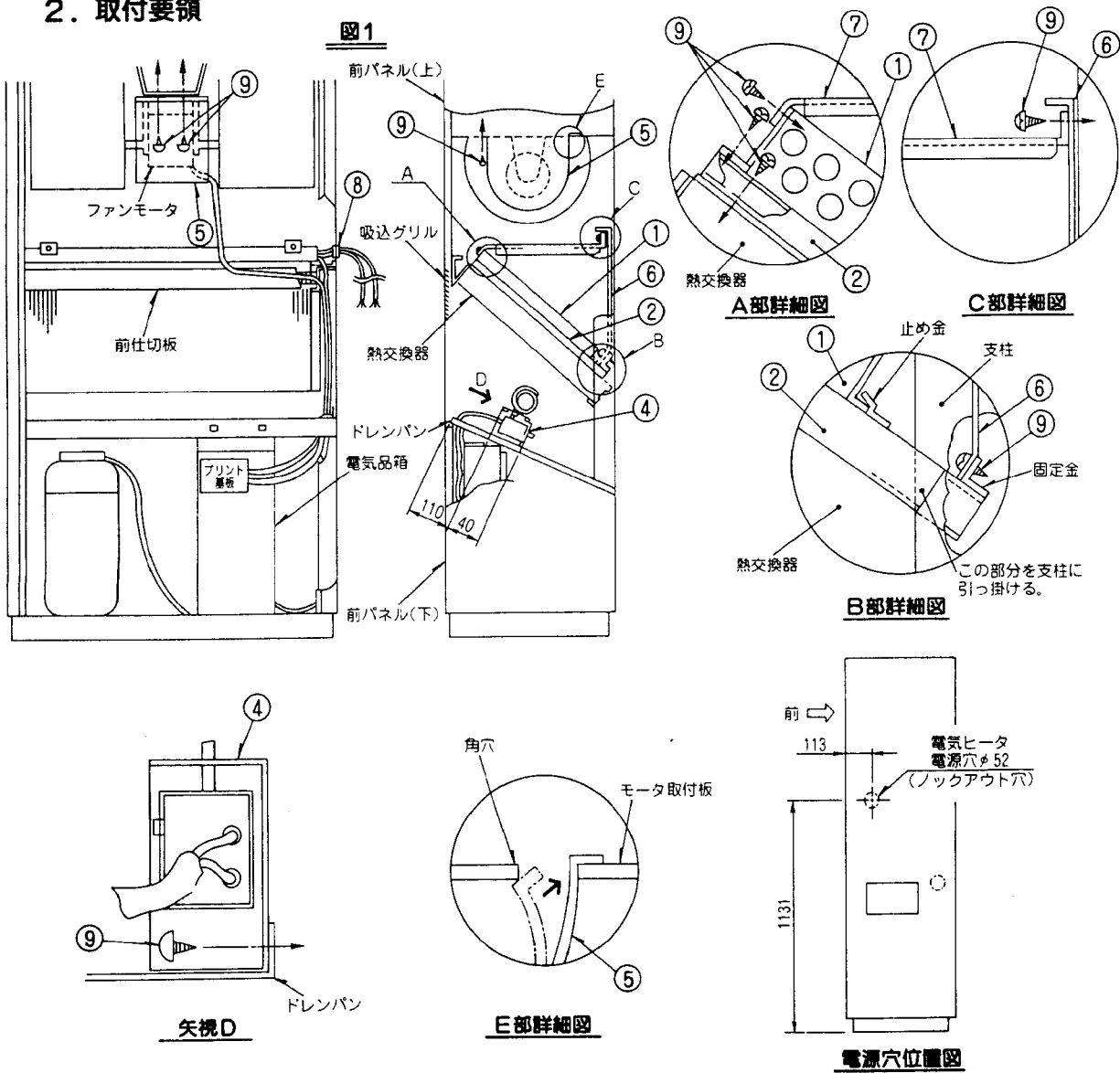
PA(H)-J140PC
PW(H)-J160PC
P-5PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 15(7.5+7.5)kw	⑩	Pトラスネジ	2	M4×12
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑪	ナット	2	M4
③	ヒータ取付板 (左)	1		⑫	バネ座金	2	M4
④	温度調節器	1	19°C OFF, 17°C ON	⑬	座金	2	M4
⑤	モータカバー (防熱板)	1	アルミ	⑭	Pトラスネジ	6	M5×12
⑥	後防熱板	1	469×625 0.6T	⑮	ナット	6	M5
⑦	押え板	2	後防熱板用	⑯	バネ座金	6	M5
⑧	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑰	座金	6	M5
⑨	タッピンネジ	16	4×10 (予備2本)	⑱	予備温度ヒューズ	2	130°C 25A

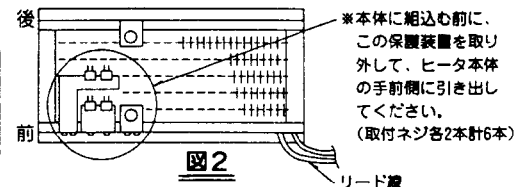
2. 取付要領

図1



- (1). 吸込グリル、前パネル上下(取付ネジ各2本)を取外し、図1の電源穴位置図に示します電源穴(φ52ノックアウト穴)を打ち抜き、ゴムブッシュ⑧にてプッシングしてください。
- (2). モータカバー⑤を図1のように取付けて、ネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
- (3). ヒータ取付板②、③を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて、手前をネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。(図1.A, B部詳細図)
- (4). 後防熱板⑥を次の要領で取付けてください。
 ■後防熱板⑥の下側をヒータ取付板②、③の固定金に図1 B部詳細図に示す様にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
 ■後防熱板用押え板⑦2本を防熱板の上側(図1 C部詳細図)及び、電気ヒータ①上側(図1 A部詳細図)の両サイドにネジ止め(タッピンネジ⑨4本)し、後防熱板⑥を固定してください。
- (5). 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組込み、ヒータ取付板②、③にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
 [逆向きには組込まないでください。](図1.A, B部詳細図)

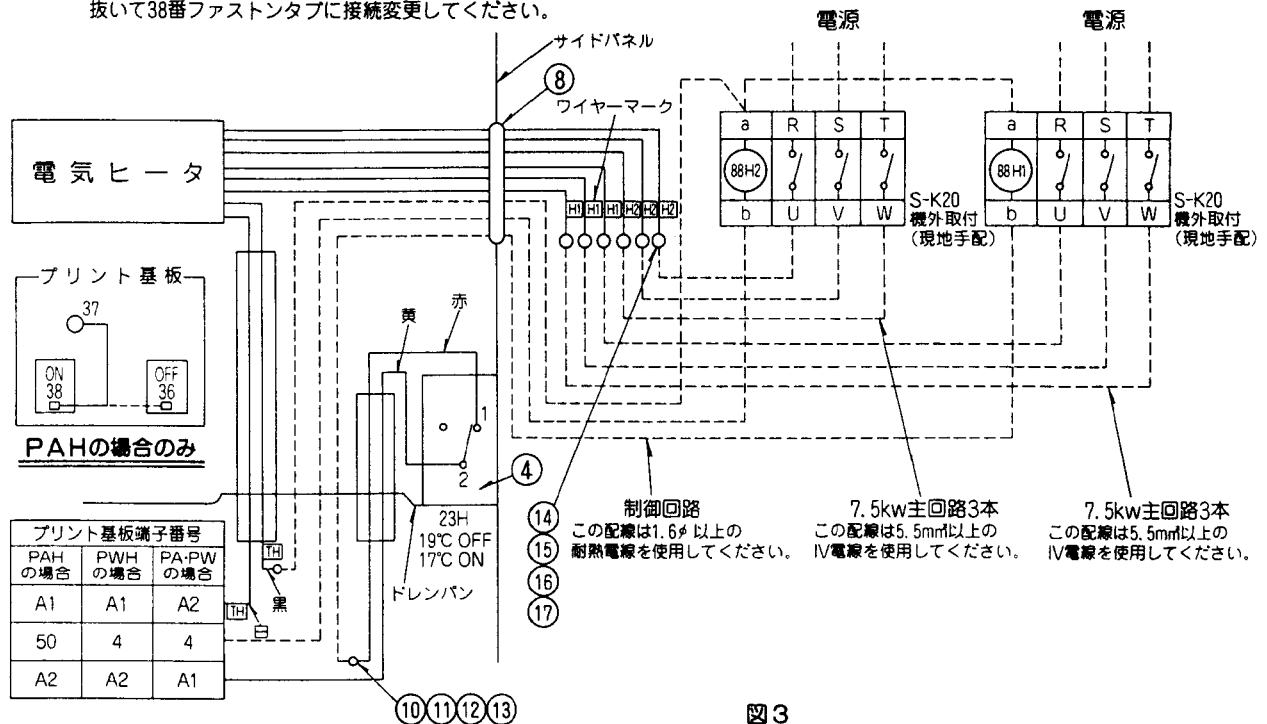
(本ヒータは保護装置の取付位置が高い為、取付時FANケーシングに保護装置部が当たるおそれがありますので、予め図2に示す保護装置取付板を取外してから組込んでください。組込完了後、保護装置取付板を元の状態に戻してください。
 この時、取付ネジにゆるみがないかお確かめください。



- (6). 図1は右配線の場合を示しますが、左配線の場合は、配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- (7). 温度調節器④を、ドレンパン上右側の図1に示す位置にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。(図1.矢視図D)

3. 配線要領

- (1). 図3のように配線してください。(破線は現地配線を示します。)
- (2). 現地配線との接続は、ネジ及びナット類(主回路：品番⑭⑮⑯⑰、制御回路：品番⑩⑪⑫⑬)で行ない、テープにて絶縁してください。
- (3). PAHの場合のみ、デフロスト運転中に電気ヒータによる暖房を行なう為、プリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて38番ファストタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- (1). 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー、超音波式、ペーパーパン)と同時組込む場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
 (所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- (2). 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- (3). 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基づく「簡易試験の実施及びラベルの貼付け」を忘れずに実施してください。
- (4). エアフィルターは常にきれいに使用してください。
 洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- (5). 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
 (別売の予熱排除回路部品 PAC-CQ03YHを御利用ください。)
- (6). 品番⑩温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK22EH

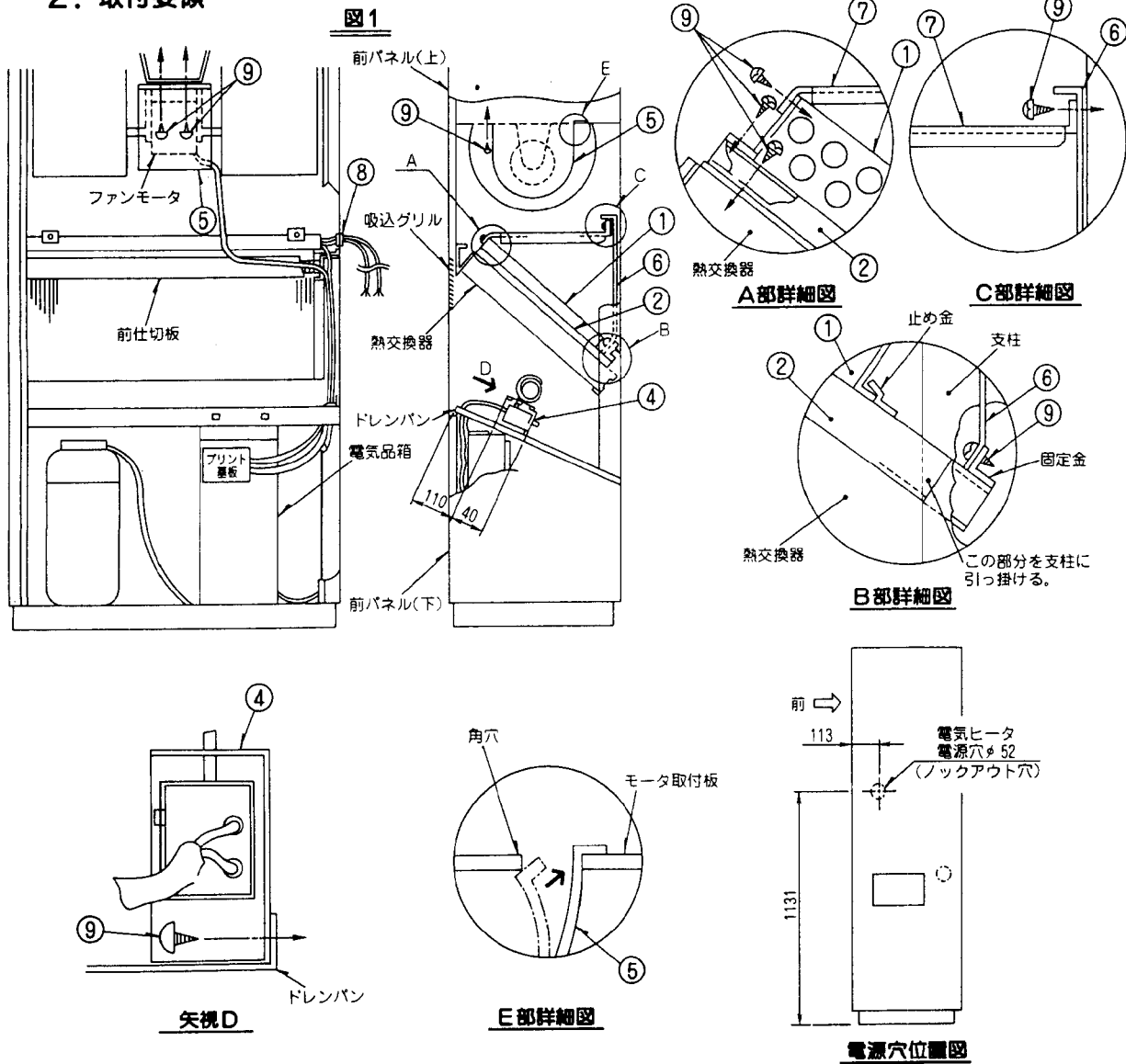
電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J200PC
PW(H)-J250PC
P-8PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

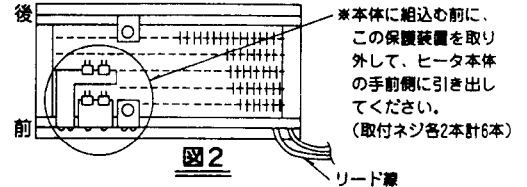
品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 24(12+12)kw	⑩	Pトラスネジ	2	M4×12
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑪	ナット	2	M4
③	〃 (左)	1		⑫	パネ座金	2	M4
④	温度調節器	1	19°C OFF, 17°C ON	⑬	座金	2	M4
⑤	モータカバー (防熱板)	1	アルミ	⑭	Pトラスネジ	6	M6×12
⑥	後防熱板	1	469×845 0.6TF	⑮	ナット	6	M6
⑦	押え板	2	後防熱板用	⑯	パネ座金	6	M6
⑧	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑰	座金	6	M6
⑨	タッピンネジ	16	4×10 (予備2本)	⑱	予備温度ヒューズ	2	130°C 25A

2. 取付要領



- 吸込グリル、前パネル上下(取付ネジ各2本)を取外し、図1の電源穴位置図に示します電源穴(φ52ノックアウト穴)を打ち抜き、ゴムブッシュ⑥にてプッシングしてください。
- モータカバー⑤を図1のように取付けて、ネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
- ヒータ取付板②、③を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて、手前をネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。(図1.A, B部詳細図)
- 後防熱板⑥を次の要領で取付けてください。
 ■後防熱板⑥の下側をヒータ取付板②、③の固定金に図1 B部詳細図に示す様にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
 ■後防熱板用押え板⑦の2本を防熱板の上側(図1 C部詳細図)及び、電気ヒータ①上側(図1 A部詳細図)の両サイドにネジ止め(タッピンネジ⑨4本)し、後防熱板⑥を固定してください。
- 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に組み込み、ヒータ取付板②、③にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
 (逆向きには組込まないでください。)(図1.A, B部詳細図)

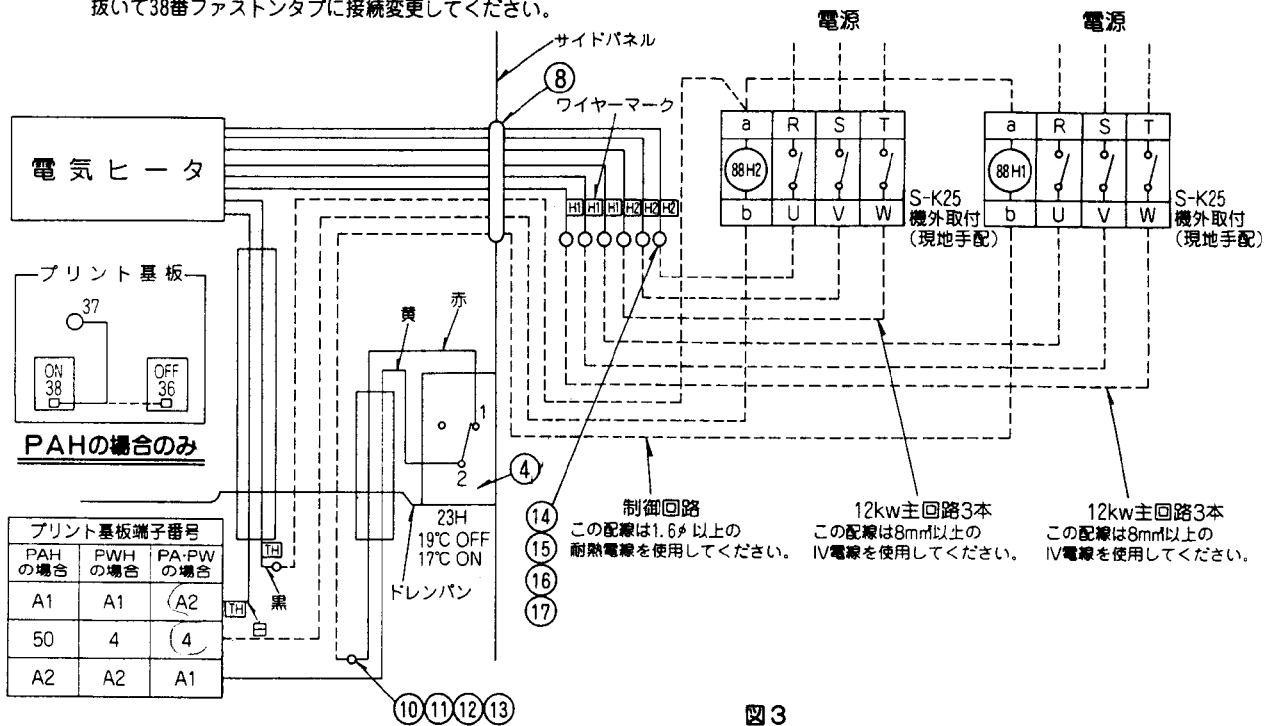
(本ヒータは保護装置の取付位置が高い為、取付時FANケーシングに保護装置部が当たるおそれがありますので、予め図2に示す保護装置取付板を取外してから組込んでください。組込完了後、保護装置取付板を元の状態に戻してください。
 この時、取付ネジにゆるみがないか確かめてください。



- 図1は右配線の場合を示しますが、左配線の場合は、配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- 温度調節器④を、ドレンパン上右側の図1に示す位置にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。(図1.矢視図D)

3. 配線要領

- 図3のように配線してください。(破線は現地配線を示します。)
- 現地配線との接続は、ネジ及びナット類(主回路：品番⑭⑮⑯⑰、制御回路：品番⑩⑪⑫⑬)で行ない、テープにて絶縁してください。
- PAHの場合のみ、デフロスト運転中に電気ヒータによる暖房を行なう為、プリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて38番ファストンタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー、超音波式、ペーパーパン)と同時組込める場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
 (所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 別示する注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- エアフィルターは常にきれいに使用してください。
 洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
 (別売の予熱排除回路部品 PAC-CQ03YHを御利用ください。)
- 品番⑱温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK23EH

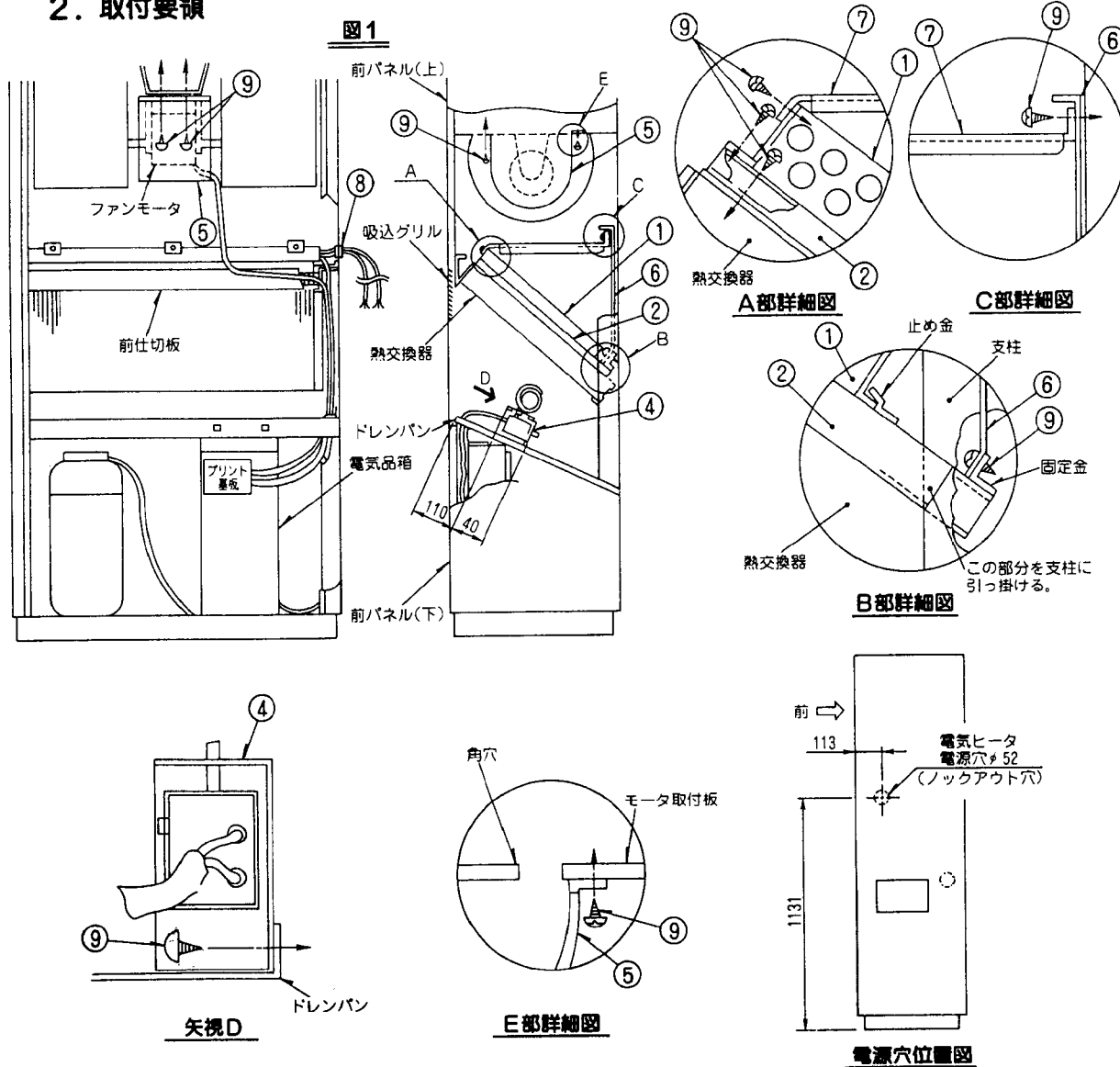
電気ヒータ取付説明書

PA(H)-J280PC
PW(H)-J315PC
P-10PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

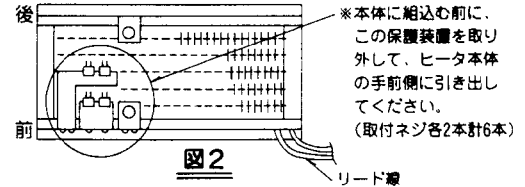
品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	電気ヒータ	1	3φ 200V 30(15+15)kw	⑩	Pトラスネジ	2	M4×12
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑪	ナット	2	M4
③	ヒータ取付板 (左)	1		⑫	バネ座金	2	M4
④	温度調節器	1	19°C OFF, 17°C ON	⑬	座金	2	M4
⑤	モータカバー (防熱板)	1	アルミ	⑭	Pトラスネジ	6	M6×12
⑥	後防熱板	1	469×1065 0.6T	⑮	ナット	6	M6
⑦	押え板	3	後防熱板用	⑯	バネ座金	6	M6
⑧	ゴムブッシュ	1	電源配線穴用	⑰	座金	6	M6
⑨	タッピンネジ	18	4×10 (予備2本)	⑱	予備温度ヒューズ	2	130°C 25A

2. 取付要領



- 吸込グリル、前パネル上下(取付ネジ各2本)を取外し、図1の電源穴位置図に示します電源穴(φ52ノックアウト穴)を打ち抜き、ゴムプッシュ⑩にてプッシングしてください。
- モータカバー⑤を図1のように取付けて、ネジ止め(タッピンネジ⑨3本)してください。
- ヒータ取付板②、③を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて、手前をネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。(図1.A, B部詳細図)
- 後防熱板⑥を次の要領で取付けてください。
 ■後防熱板⑥の下側をヒータ取付板②、③の固定金に図1 B部詳細図に示す様にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
 ■後防熱板用押え板⑦3本を防熱板の上側(図1 C部詳細図)及び、電気ヒータ①上側(図1 A部詳細図)の両サイドと中央にネジ止め(タッピンネジ⑨6本)し、後防熱板⑥を固定してください。
- 電気ヒータ①を配線が右側を向く様に相込み、ヒータ取付板②、③にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。
 [逆向きには相込まないでください。](図1.A, B部詳細図)

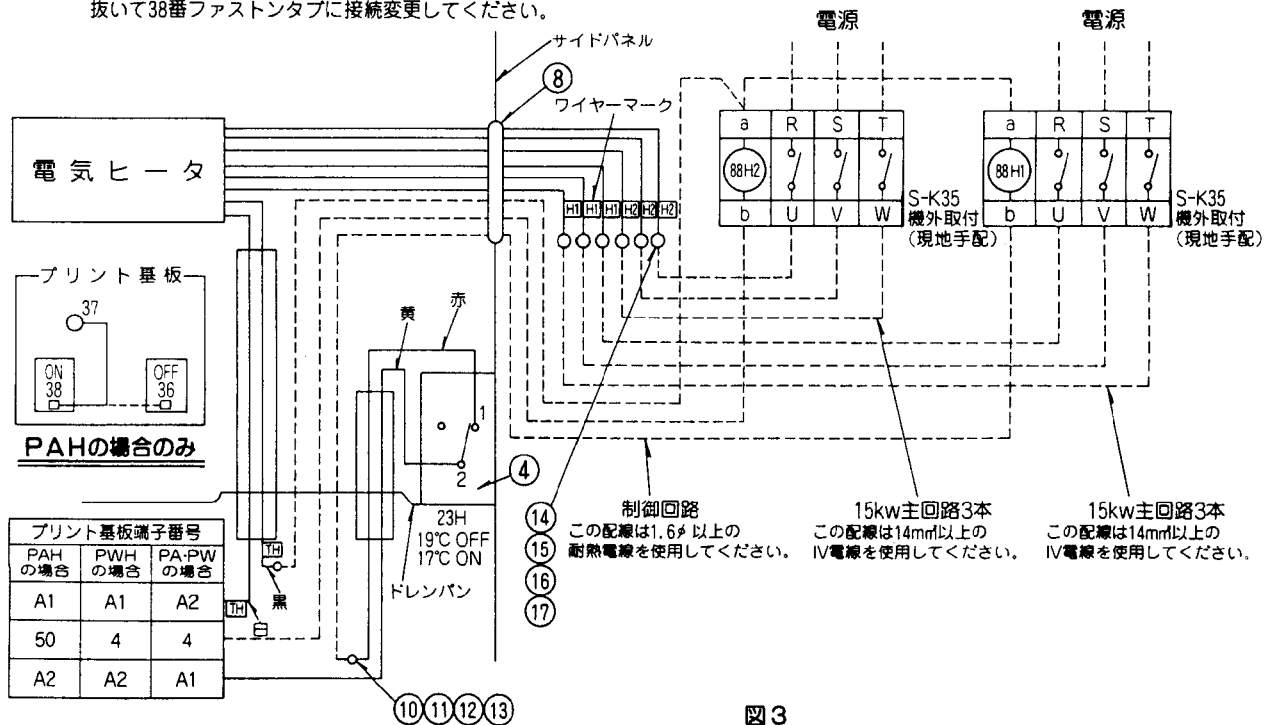
(本ヒータは保護装置の取付位置が高い為、取付時FANケーシングに保護装置部が当たるおそれがありますので、予め図2に示す保護装置取付板を取外してから相込んでください。相込完了後、保護装置取付板を元の状態に戻してください。
 (この時、取付ネジにゆるみがないかお確かめください。)



- 図1は右配線の場合を示しますが、左配線の場合は、配線を右側から前仕切板上を通し、左側に取出してください。
- 温度調節器④を、ドレンパン上右側の図1に示す位置にネジ止め(タッピンネジ⑨2本)してください。(図1.矢視図D)

3. 配線要領

- 図3のように配線してください。(破線は現地配線を示します。)
- 現地配線との接続は、ネジ及びナット類(主回路:品番⑭⑮⑯⑰, 制御回路:品番⑩⑪⑫⑬)で行ない、テープにて絶縁してください。
- PAHの場合のみ、デフロスト運転中に電気ヒータによる暖房を行なう為、プリント基板上の36番に差し込んであるリード線を抜いて38番ファストタブに接続変更してください。



4. 注意事項

- 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー, 超音波式, ペーパーパン)と同時相込する場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
 (所定以外の位置に設置しますと電気ヒータの充電部が絶縁不良を起す危険があります。)
- 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」JRA 4001 に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れずに実施してください。
- エアフィルターは常にきれいにして使用してください。
 洗浄は週一回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- 運転を停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
 (別売の予熱排除回路部品 PAC-CQ03YHを御利用ください。)
- 品番⑱温度ヒューズは、電気ヒータの温度ヒューズが切れた場合に使用してください。

MITSUBISHI

超音波式加湿器取付説明書

三菱パッケージエアコン別売部品

PAC-CM14CH

…P-5・J140・J160PC

P-8・J200・J250PC

P-10・J280・J315PC

PAC-CM15・16CH

…P-8・J200・J250PC

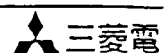
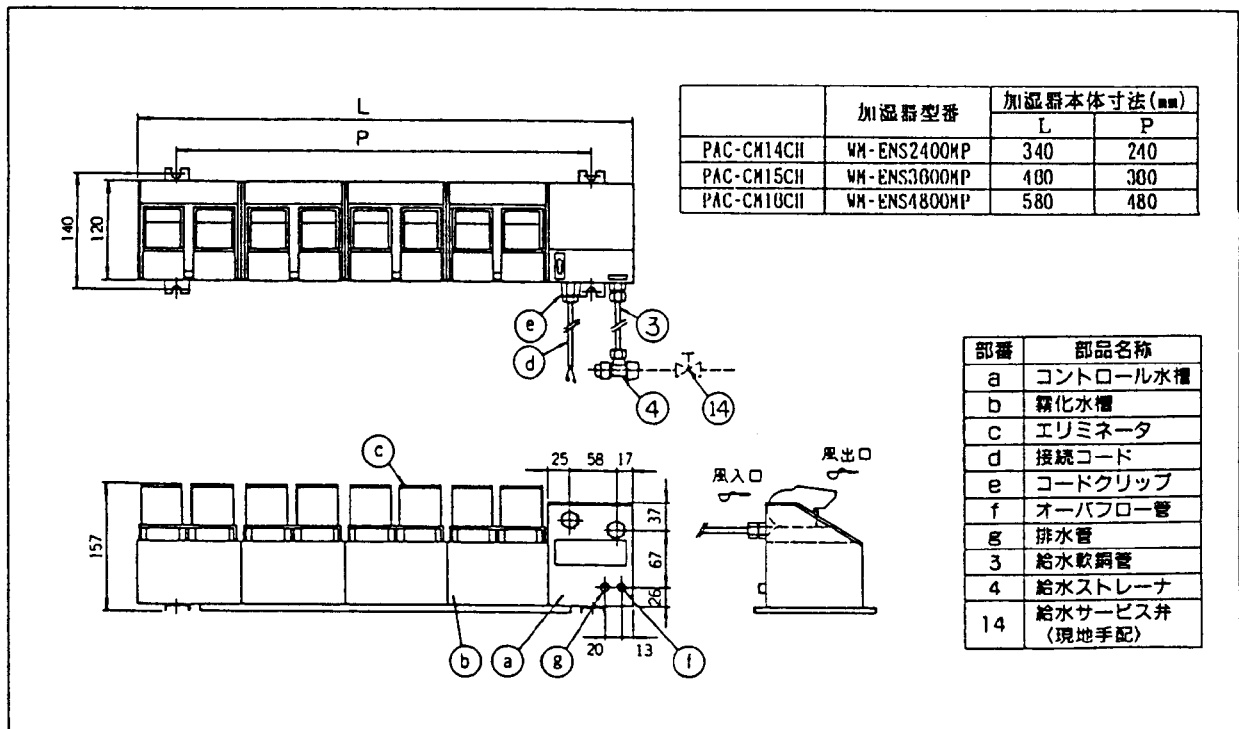
P-10・J280・J315PC

1. 部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

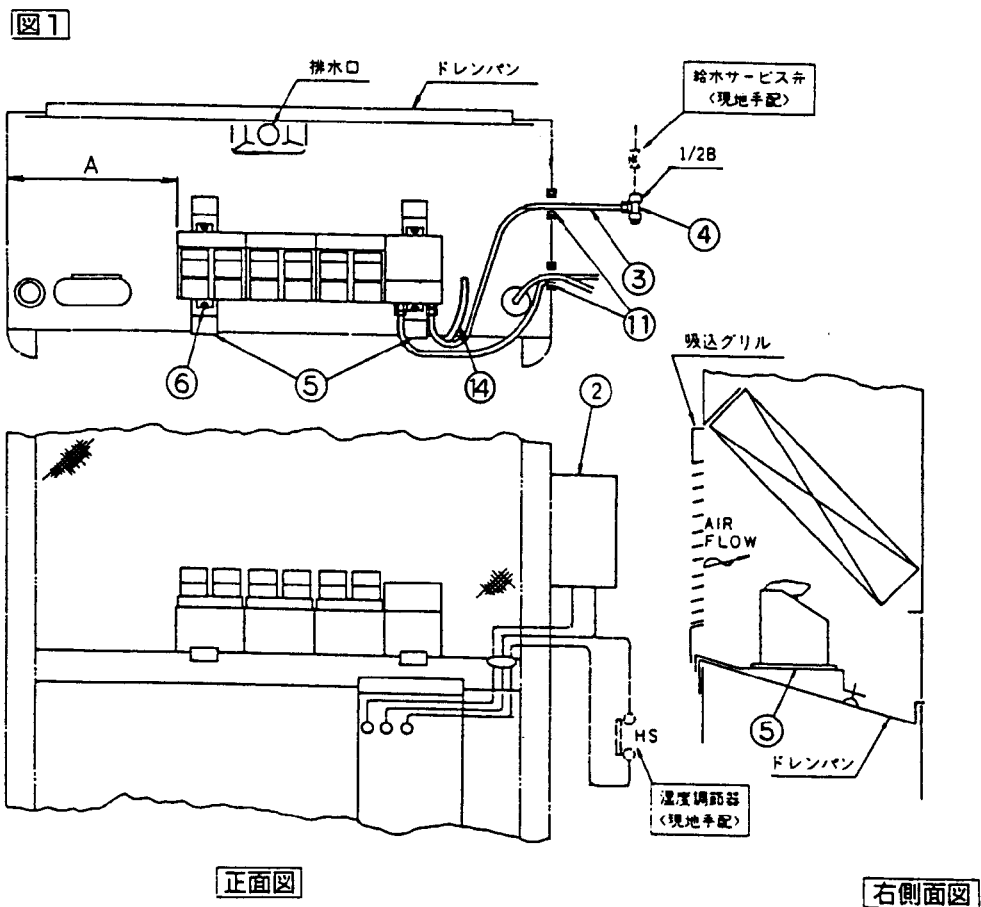
品番	品名	備考	個数		
			PAC-CM14CH	PAC-CM15CH	PAC-CM16CH
1	加湿器本体	接続コード付き	1	1	1
2	トランス箱		1	1	1
3	給水軟銅管	外径φ6(リングナット、真鍮リング各2ヶ付き)	1	1	1
4	給水ストレーナ	T型・給水接続継手兼用 1/2B	1	1	1
5	加湿器取付板	ゴム吸盤足付き	2	2	2
6	加湿器取付ネジ	M6×12φ (予備1)	5	5	5
7	トランス箱取付ネジ	M5×20φ ナット・座金付き(予備1)	5	5	5
8	モータカバー	P-5・8PC用	1	1	1
9	モータカバー	P-10PC用	1	1	1
10	モータカバー取付ネジ	φ4×10φ (P-5・8PC予備2、P-10PC予備1)	4	4	4
11	グロメット		2	2	2
12	予備ヒューズ	トランス箱内	2	2	2
13	取扱説明書		1	1	1
14	オーバーフローホース		1	1	1

●加湿器本体



2. 取付要領

- 1) エアコンの吸込グリル、前パネル上下を取り外してください。
- 2) 加湿器取付
 1. 加湿器①に加湿器取付板⑤を固定します。(M6ネジ4本⑥)
 2. 加湿器を図1のようにドレンパンの図1に示す位置に設置してください。
(機種により設置寸法が異なりますのでご注意ください。
所定以外の位置に設置しますと、送風機用電動機の巻線部、別売電気ヒータの充電部が絶縁不良を起こす危険があります。))
- 3) オーバフローホース④を加湿器①に取り付けてください。



変化寸法	A		
別売形名	P-5・J140・J160PC	P-8・J200・J250PC	P-10・J280・J315PC
PAC-CM14CH	280	320	430
PAC-CM15CH	—	280	370
PAC-CM16CH	—	280	310

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CL27SS

蒸気スプレー取付説明書

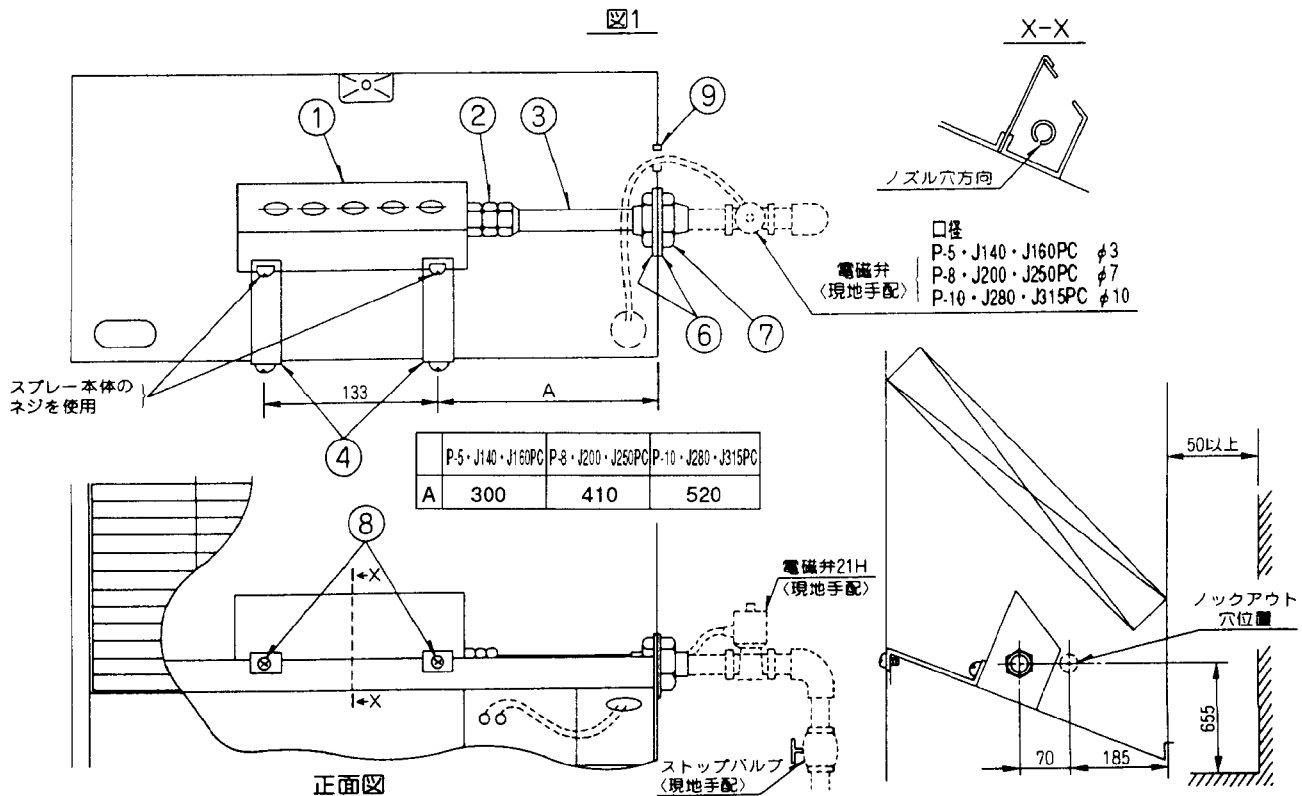
P-5・J140・J160 P C
P-8・J200・J250 P C
P-10・J280・J315 P C

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	スプレー本体	1		⑥	パッキン	2	
②	ツギテ	1		⑦	ナット	1	
③	ツナギ管	3	長P-10PC, 中P-8PC, 短P-5PC	⑧	取付ネジ	6	支持板2・モータカバー2または3(予備1)
④	支持板	2		⑨	グロメット	1	
⑤	モータカバー	2	形名印字				

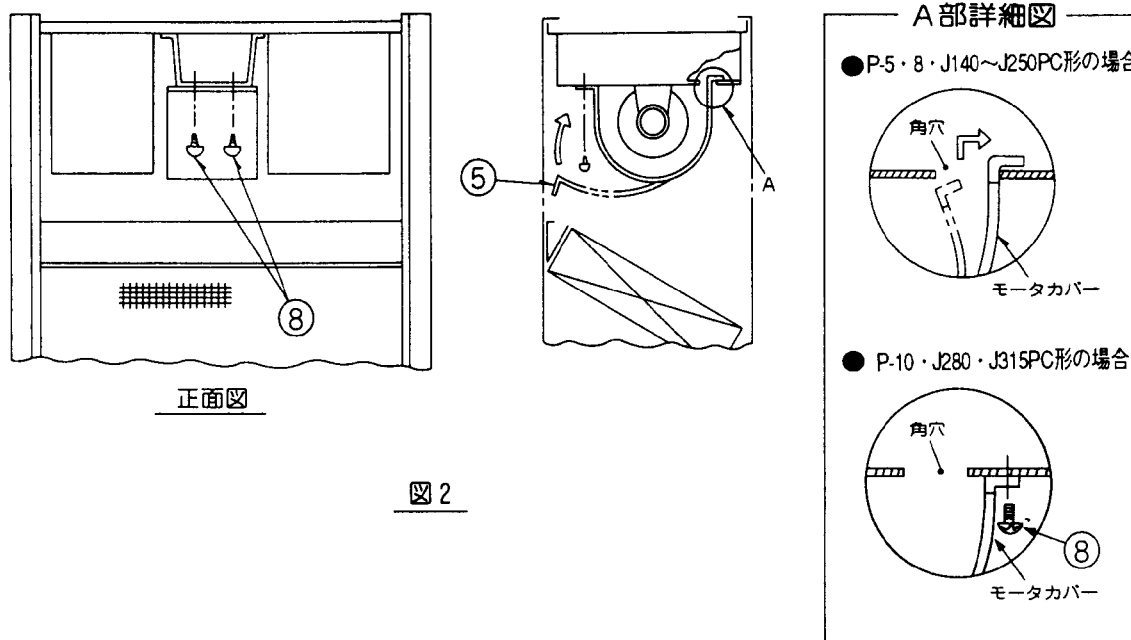
2. 取付要領

- 1) エアコンの吸込グリル、前パネル上下をとりはずしてください。
 - 2) スプレー本体の取付け
 1. スプレー本体①のノズル穴が下向きになっていることを確認してください。
 2. スプレー本体①に、ツギテ②、ツナギ管③を取付けてください。
(ツナギ管③は、形名に合わせて選んでください。〈長P-10・J280・J315PC, 中P-8・J200・J250PC, 短P-5・J140・J160PC〉)
 3. 側面パネルのノックアウト穴を打ち抜き、図示要領(図1)で蒸気スプレーを取り付けてください。
- 注1. 各部の締めつけは必ずダブルスパナで行ってください。
1. ナットの締め付け部にはパネルへの伝熱防止のため必ずパッキン⑥をはさんでください。
 2. PTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。



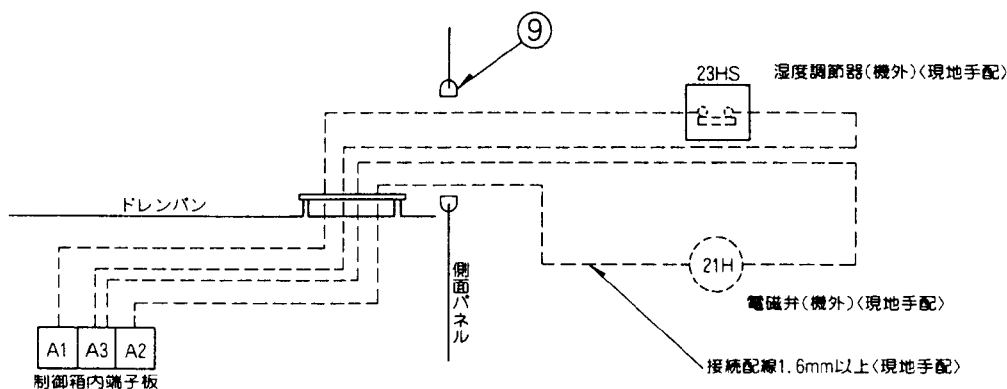
3) モータカバーの取付け

1. モータカバー⑤をエアコンの形名に合わせて選んでください。
2. 1.のモータカバーを図2のように取り付けてネジ⑧止めしてください。(P-5・8・J140~J250PC形の場合：取付ネジ⑧ 2本)
3. エアコンの形名により取付方が異なりますのでご注意ください。(P-10・J280・J315PC形の場合：取付ネジ⑧ 3本)



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



お願い

1. ストップバルブ、電磁弁21H(または塞止弁)は必ず設けてください。
電磁弁21Hの口径は下表より選定してください。

	電磁弁口径
P-5・J140・J160PC	φ3
P-8・J200・J250PC	φ7
P-10・J280・J315PC	φ10

使用範囲 蒸気圧力 0.02~0.12MPa
(0.2~1.2kg/cm²)

2. 長期休止時には、蒸気スプレー内を点検し、汚れがひどい場合には分解し、掃除してください。
3. エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 水スプレー式加湿器取付説明書

PAC-CL13・73WS
 ...P-5・J140・J160PC
 P-8・J200・J250PC
 PAC-CL15・75WS
 P-10・J280・J315PC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	備考	個数			
			PAC-CL13WS	PAC-CL73WS	PAC-CL15WS	PAC-CL75WS
1	ヘッダー	ノズル×3コ	1	2	-	-
		ノズル×4コ	-	-	1	2
2	軟銅管	外径φ6×1000φ	1	-	1	-
		外径φ6 T字型	-	1	-	1
3	給水ストレーナ	T型100メッシュ1/2B	1	1	1	1
4	真鍮リング		3(予備1コ)	5(予備1コ)	3(予備1コ)	5(予備1コ)
5	リングナット		2	3	2	3
6	ブッシュ		2	2	2	2
7	トリツケアシ R	キューバンアシ付	1	1	1	1
8	トリツケアシ L	キューバンアシ付	1	1	1	1
9	コテイイタ A		2	4	2	4
10	コテイイタ B		2	4	2	4
11	取付ネジ	M4×10 (SUS)	6(予備2本)	10(予備2本)	6(予備2本)	10(予備2本)

- 注1. ヘッダー①は、軟銅管②を取付けてからトリツケアシR・L⑦⑧に取付けてください。
 (軟銅管の接続は、後記「軟銅管の接続」を参照してください。)
2. 図1は右配管を示しますが、左配管の場合はヘッダー①をトリツケアシR・L⑦⑧に反対勝手方向に取付けてください。
3. ノズルの角度は全て両端のノズルに合わせてください。
4. 図1はPAC-CL13・73WSを示します。PAC-CL15・75WSの場合は、ノズルの数が異なります。

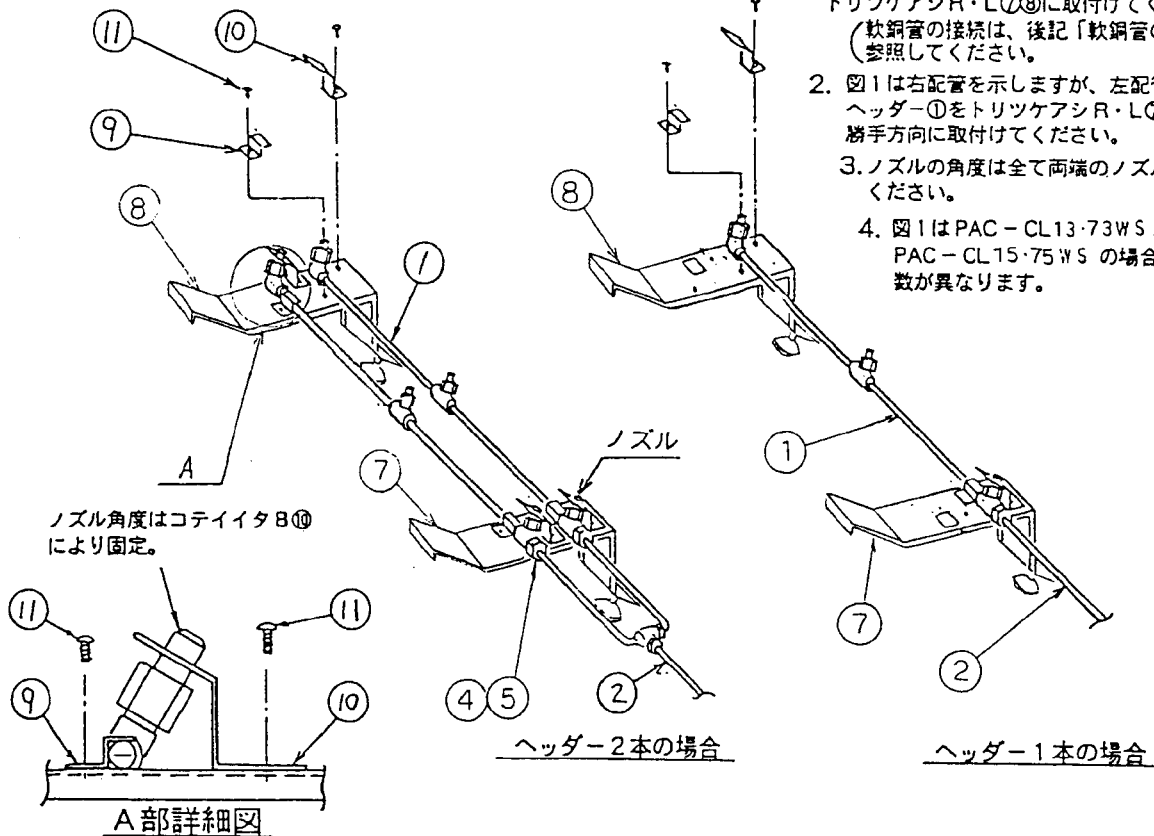
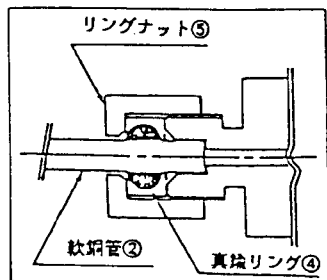


図1

軟銅管の接続

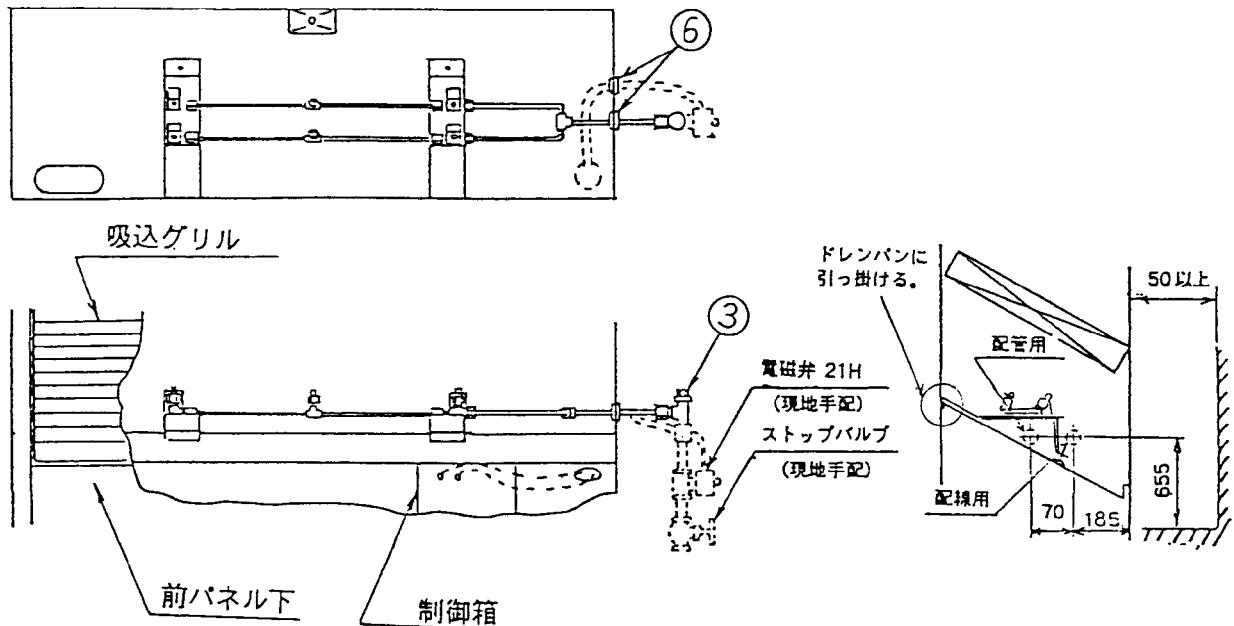
- 1). 軟銅管②の一方の端に、リングナット⑤および真鍮リング④をいれます。
- 2). 凹部に軟銅管②を奥まで挿入し、リングナット⑤をスパナで締めつけ、真鍮リング④を軟銅管②にくい込ませます。
- 3). 給水ストレーナ③についても同様に取付けます。



2. 取付要領

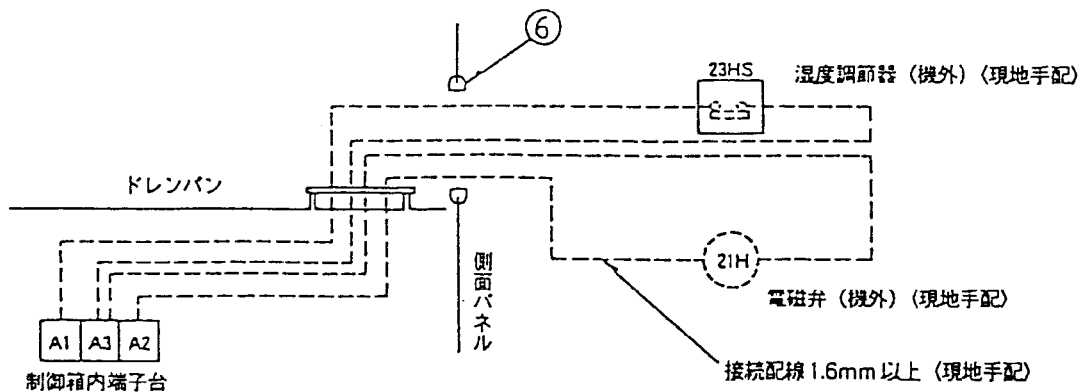
- 1). 本体吸込グリル及び前パネル下（取付ネジ2本）を取りはずしてください。
- 2). 水スプレーを本体ユニットに組込む前に図1の様に部品を組立ててください。
- 3). 2) 項にて部品を組立てた後、側面パネルのロックアウト穴を打ち抜きブッシュ⑥にてブッシングし、水スプレーを図2の様に左右ほぼ中央の位置に設置して、給水ストレーナ③を接続してください。

- 注
1. 図2は右配管の場合を示しますが、左配管の場合も同様の位置に置き、左側面パネルより配管をしてください。（但し、ヘッダーは反対勝手に取付けて組立てる。）
 2. 給水ストレーナ③のPTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 3. 図2はPAC-CL73WSを示しますが、その他の機種の場合、ヘッダーの本数及びノズルの個数が異なります。



3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



4. お願い

- 1). ストップバルブ、電磁弁21H（または塞止弁）は必ず設けてください。
- 2). 給水圧力は、0.1~0.4MPa（1~4kg/cm²）としてください。
- 3). 給水は、健康衛生上できるだけきれいな水（市水・上水）をお使いください。
- 4). 運転中は定期的にノズルからの噴霧状態、配管各部からの漏水の有無などを点検してください。
- 5). 長期にわたり使用しない場合は、休止前にきれいな水を通してノズルを洗い、残っている水を抜いて給水ストレーナを掃除しておいてください。
- 6). 年一回（シーズンインの時）及び噴霧状態不良のときは、ノズル先端のセラミックチップを取外し、チップの先端子・側面の過流孔を細い針で掃除してください。
- 7). エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。

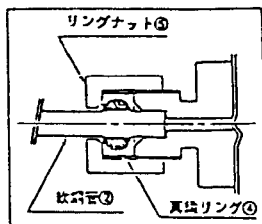
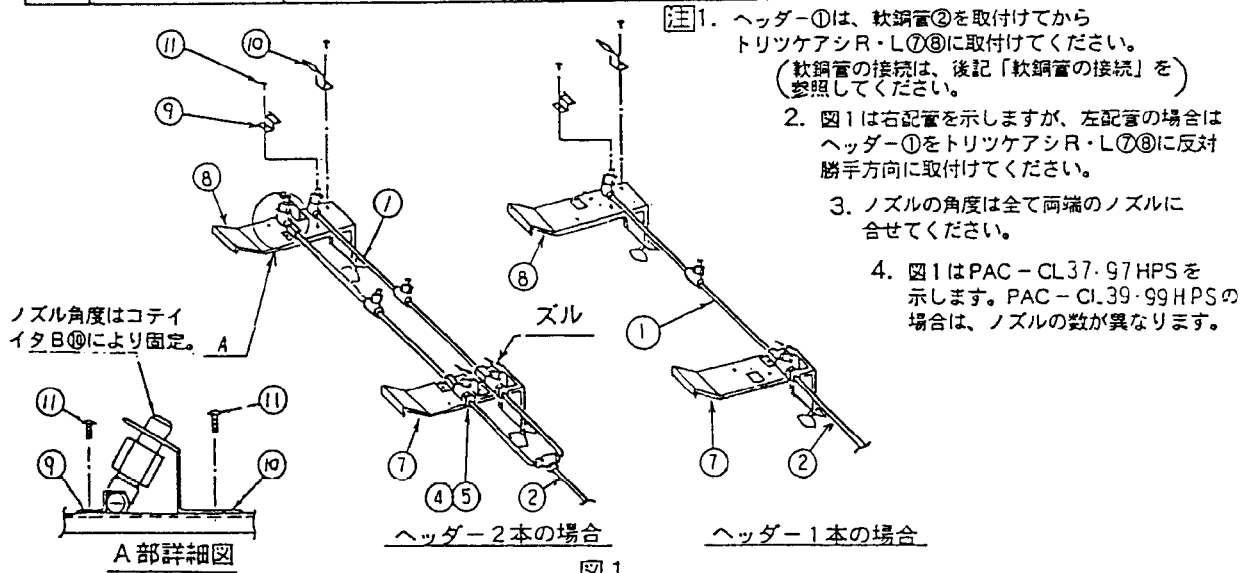
MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 高圧スプレー式加湿器取付説明書

PAC-CL37-97HPS
 ...P-5・J140・J160PC
 P-8・J200・J250PC
 PAC-CL39-99HPS
 ...P-10・J280・J315PC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	備考	個数			
			PAC-CL37HPS	PAC-CL97HPS	PAC-CL39HPS	PAC-CL99HPS
1	ヘッダー	ノズル×3コ	1	2	—	—
		ノズル×4コ	—	—	1	2
2	軟銅管	外径φ6×1500㎟	1	—	1	—
		外径φ6 T字型	—	1	—	1
3	給水ストレーナ	T型100メッシュ1/2B	1	1	1	1
4	真鍮リング		5(予備1コ)	7(予備2コ)	5(予備1コ)	7(予備2コ)
5	リングナット		4	5	4	5
6	プッシュ		2	2	2	2
7	トリツケアシ R	キュウバンアシ付	1	1	1	1
8	トリツケアシ L	キュウバンアシ付	1	1	1	1
9	コテイイタ A		2	4	2	4
10	コテイイタ B		2	4	2	4
11	取付ネジ	M4×10 (SUS)	6(予備2本)	10(予備2本)	6(予備2本)	10(予備2本)
12	加湿器本体	噴霧量 10Kg/h	1	—	—	—
		" 20Kg/h	—	1	—	—
		" 12Kg/h	—	—	1	—
		" 24Kg/h	—	—	—	1
13	本体取付用L型ベース		1	1	1	1
14	電源コード	加湿器本体に取付	1	1	1	1
15	給水軟銅管	外径φ6×400㎟	1	1	1	1
16	ドレンホース		1	1	1	1
17	L型ベース取付ネジ	ザブキタッピンネジSφ5×20㎟ M5ナット、プッシュφ6.6×φ12.5	各5(予備1)	各5(予備1)	各5(予備1)	各5(予備1)
18	本体固定ネジ	M4	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)	5(予備1)
19	取扱説明書		1	1	1	1



軟銅管の接続

- 1). 軟銅管②の一方の端に、リングナット⑤および真鍮リング④を入れます。
- 2). ノズル部に軟銅管②を奥まで挿入し、リングナット⑤をスパナで締めつけ、真鍮リング④を軟銅管②にくい込ませます。
- 3). 加湿器本体⑫側及び給水ストレーナ③についても同様に取付けます。

2. 取付要領

- 1). 本体吸込グリル及び前パネル下（取付ネジ2本）を取りはずしてください。
- 2). 高圧スプレーを本体ユニットに組込む前に、図1の様に部品を組立ててください。
- 3). 側面パネルにドレンパンよりも高い位置で、保守点検のための充分なスペースのある位置を選定し、図2に示す寸法の穴をあけてください。
- 4). 本体取付用L型ベース⑬を、3) 項であけた穴にL型ベース取付ネジ⑭にて固定した後、L型ベースの上に加湿器本体⑫をのせて、L型ベースの下側から本体固定ネジ⑮にて固定します。
- 5). 側面パネルのロックアウト穴を打ち抜きブッシュ⑥にてブッシングし、2) 項にて組立てた高圧スプレーを図2の様に左右ほぼ中央の位置に設置してください。
- 6). 図2に示す様に、加湿器本体⑫・軟銅管②・給水軟銅管⑩・給水ストレーナ③の配管を接続してください。接続方法は前記「軟銅管の接続」を参照してください。

- ④1. 図2は右配管の場合を示します。左配管の場合は、高圧スプレーを同様の位置に設置（但し、ヘッダーは反対勝手に取付けて組立て）し、加湿器本体⑫を左側面パネルに取付けて配管を行ってください。
2. PTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。
 3. 図2はPAC-CL97HPSを示しますが、その他の機種の場合、ヘッダーの本数及びノズルの個数が異なります。

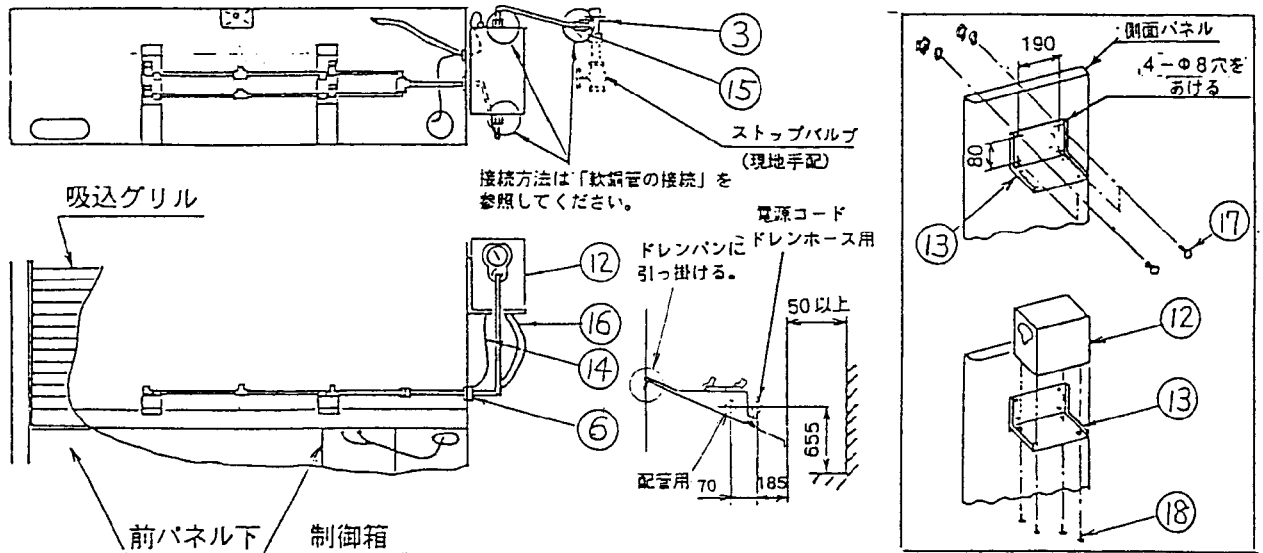
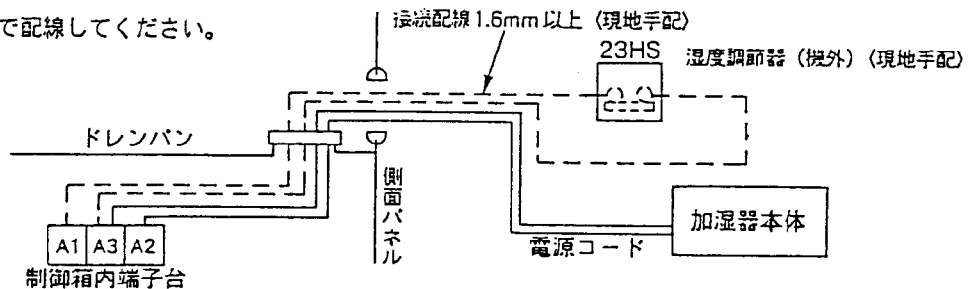


図2

3. 配線要領

下図の要領で配線してください。



4. お願い

- 1). ストップバルブは必ず設けてください。
- 2). 給水圧力は、0.1~0.5MPa (1~5kg/cm²)としてください。
- 3). 長期にわたり使用しない場合は水を抜いてください。
- 4). エアコン後面側のサービススペースは必ず50mm以上確保してください。
- 5). 取付終了後、この取付説明書は取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。
- 6). 保守点検は、付属の取扱説明書に従い実施してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品

透湿膜加湿器取付説明書

PAC-CL56・57・58TF
 ...PAH-J140・J200・J280PC
 PWH-J200・J250・J315PC
 PAH・PWH-5・8・10PC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	加湿エレメント	2		⑦	鋼管(6φ×1m)	1	フレアーナット、ブッシュ付
②	給水タンクユニット	1	電磁弁付	⑧	タッピンネジ	17	4×10(予備3本)
③	接続板	2	加湿エレメント用	⑨	板	1	給水タンクユニット用
④	取付板(右)	1	加湿エレメント用	⑩	コネクター	1	
⑤	取付板(左)	1		⑪	注意銘板	1	
⑥	給水バルブセット	1	(ストレーナ付)				

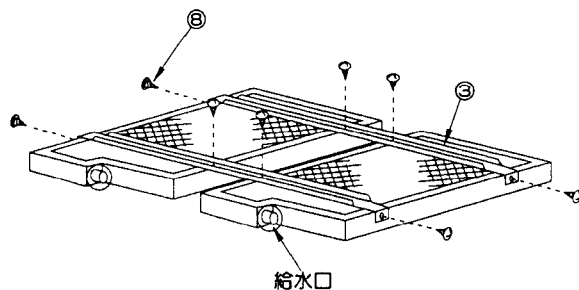
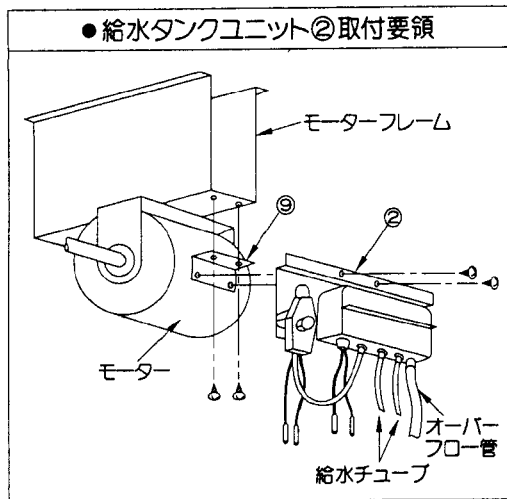


図1

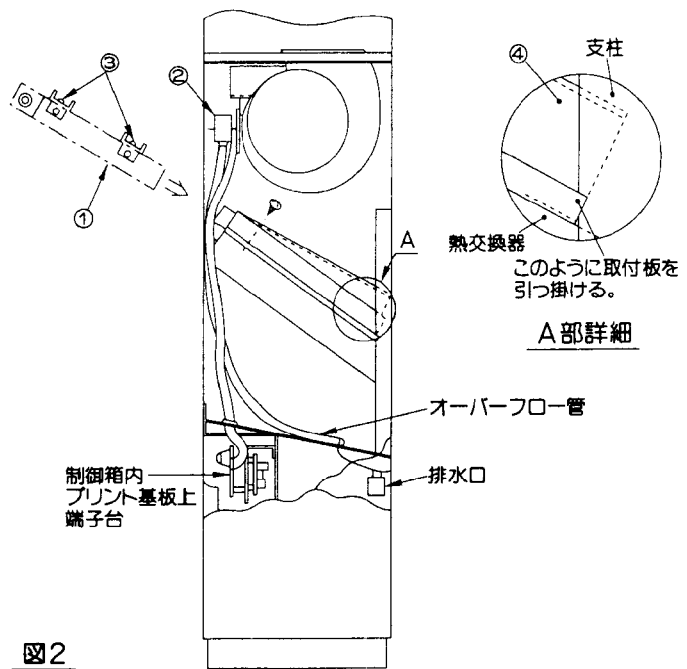
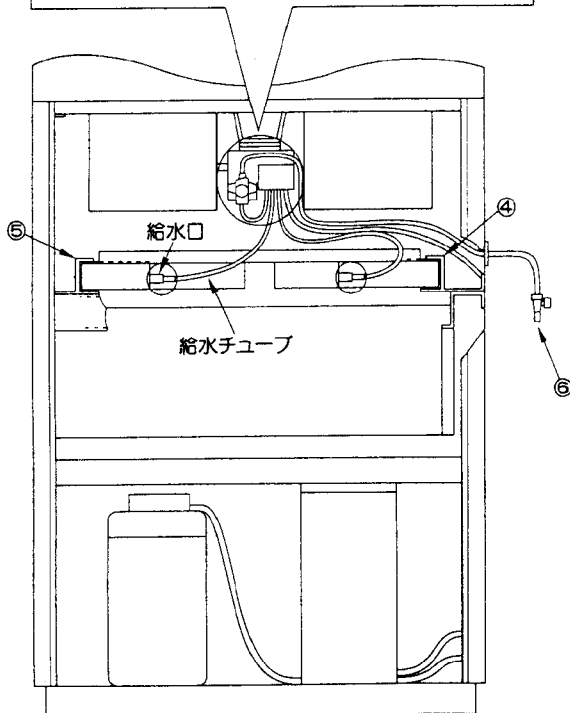


図2

2. 取付要領

(1) 吸込グリル、前パネル上、下(取付ネジ2本)を取外してください。

(2) 給水タンクユニット②の取付

板⑨をモータフレームにネジ止めてから板⑩に給水タンクユニットを取付けてください。(図2参照)

(3) 加湿エLEMENTの取付

■取付板(右)、(左)④⑤を熱交換器両側の仕切り板上をずべらせながら、支柱に押し当てて、後方を支柱に引っ掛けた後、手前をネジ止め(タッピンネジ⑧2本)してください。(図2、A部詳細図)

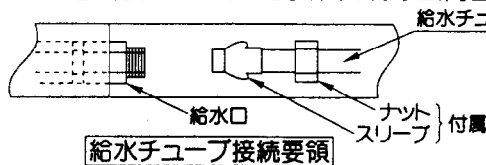
■加湿エLEMENT①をユニットに組込む前に、接続板③により図1の様に継ぎ合せてください。(タッピンネジ⑧8本)

■加湿エLEMENT①を継ぎ合せた後、取付板(右)、(左)④⑤にて形成された枠内に、加湿エLEMENTの給水口を手前にして、組込んでください。

3. 配管要領 [給水チューブ：オーバーフロー管等の配管は折曲がらない様に次の要領で作業を行ってください。]

(1) 加湿エLEMENTへの接続

給水タンクユニット②から出ている給水チューブ(半透明)2本を各加湿エLEMENT給水口に付属のナット、スリーブにて接続してください。尚、チューブは充分に差し込み給水口はナットを手締めしたあと、両口スパンにて増締めしてください。

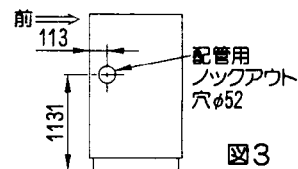


(2) オーバーフロー管の設置

給水タンクユニット②から出ているオーバーフロー管を、熱交換器上側のファンモータリード線を通していている穴を通してドレンパンの排水口の近くに導いてください。

(3) 電磁弁と給水バルブセット⑥間の接続(電磁弁は給水タンクユニット②に付属)

右側面/パネルのフックアウト穴(図3)を打ちぬき、給水タンクユニット②の電磁弁と給水バルブセット⑥間を銅管⑦にて接続した後、銅管⑦の付属ブッシュにて右側面/パネル(左側面も可能)に固定してください。(締付トルク30~50kg・cm)



4. 配線要領

(1) 給水タンクユニット②から出ているリード線を図4の要領で配線してください。

(配線はファンモータリード線と同じ順路で制御箱内まで導いてください。)

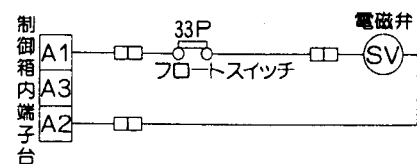
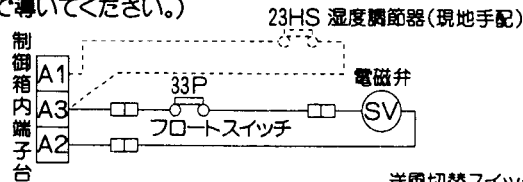


図4



5. ご注意(コネクタ⑩の組込)

本加湿器をユニットに組込み送風切替スイッチを“LO”で運転すると風量不足となる為、コネクタ⑩により、“Hi”のみで運転できるようにしてください。(コネクタ⑩を取付けると送風切替スイッチは使用できません)

(1) 取付要領

■送風切替スイッチと制御箱間とのコネクタを外してください。(図5)

■制御箱側のコネクタに付属のコネクタ⑩を取付けてください。(図5)

(2) 注意銘板⑪の貼り付け位置

注意銘板⑪は、図5に示す位置に貼り付けてください。

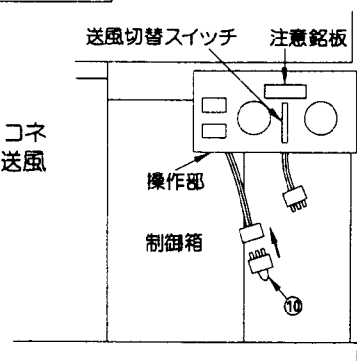


図5

※現地側給水配管工事

(1) 給水配管は、付属の給水バルブに接続してください。(給水バルブはPT $\frac{1}{2}$ オネジです。)

(2) 給水は、市水又は上水を使用してください。但し、公共の水道管に直接接続することはできません。このような場合には、シスターンタンクをご使用ください。

※メンテナンス

(1) 加湿エLEMENTの交換

■加湿エLEMENTは5年ごとに交換してください。

尚、軟水装置を設置された場合は10年ごとに交換してください。

(2) 加湿エLEMENTの乾燥についてお願い。

■暖房シーズン終了後そのまま放置しますと、場所によってはカビが発生することがあります。カビの発生を防止するため、暖房シーズン終了後加湿エLEMENTの強制乾燥を行なってください。(強制乾燥は、約20時間「送風」運転してください。)

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品

エリミネータ取付説明書

PAC - CM27EN
 PAC - CM28EN
 PAC - CM29EN

P-5・J140・J160 P C
 P-8・J200・J250 P C
 P-10・J280・J315 P C

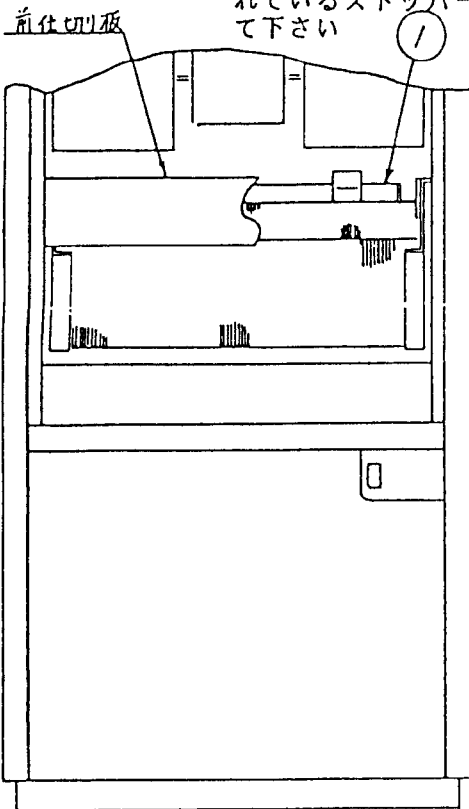
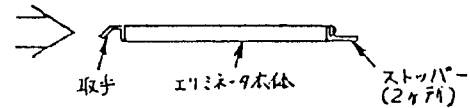
1. 部品
 この箱には本説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認下さい。

品番	品名	個数	備考
①	エリミネーター	1	

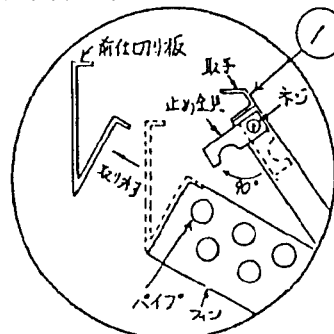
2. 装着要領

- (1) 吸込グリル、前パネル上（取付ネジ2本）及び前仕切り板（取付ネジ2本）を取り外して下さい。
- (2) 本体に組込む前にエリミネーター①の止め金具（左、右）のネジをゆるめA部詳細図（1）に示す位置で固定して下さい。
- (3) エリミネーター①を熱交換器上面に抱き合わせるように装着します。この時A部詳細図（2）に示すように止め金具はフィンとフィンの中に差し込み、パイプに引っ掛ける様にして下さい。
- (4) エリミネーター装着後前仕切り板及び前パネル上、吸込グリルを元通り取り付けて下さい。

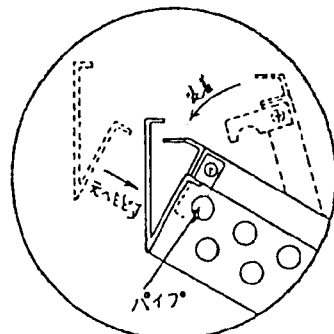
※ PAC - CM29ENにおいて、
 P-10・J280・J315PC 形パッケージエアコンに装着する場合、エリミネーター本体にネジ止めされているストッパーは取り外し、して下さい



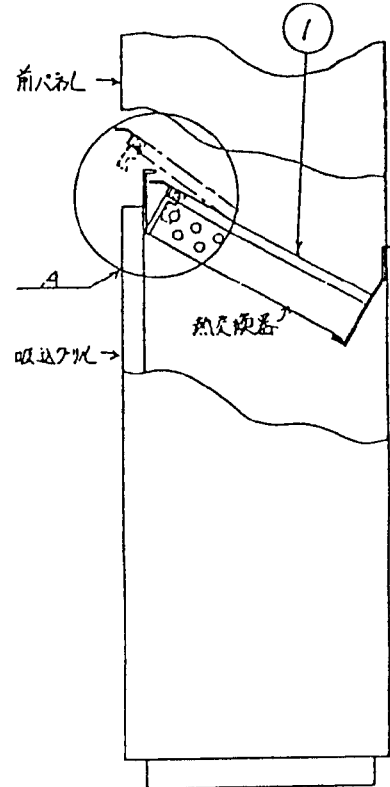
正面



A部詳細図(1)



A部詳細図(2)



右側面

図 1

冷媒左側接続配管取付説明書

[P-5・J140・J160 P C
P-8・J200・J250 P C
P-10・J280・J315 P C]

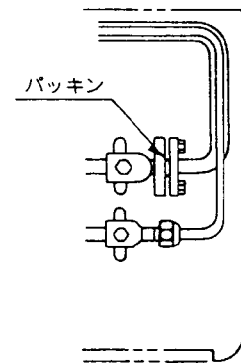
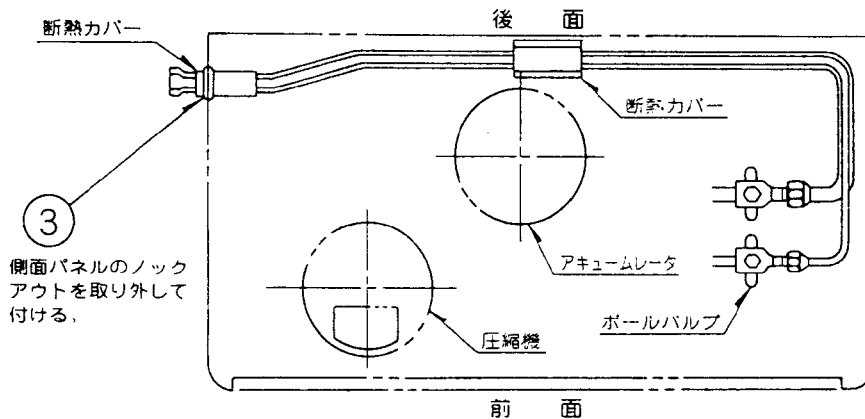
1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

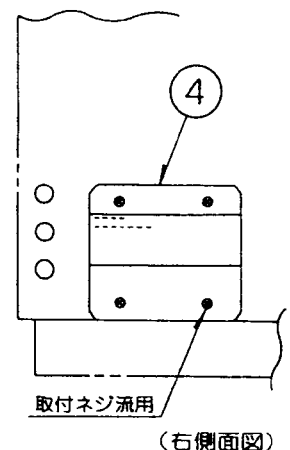
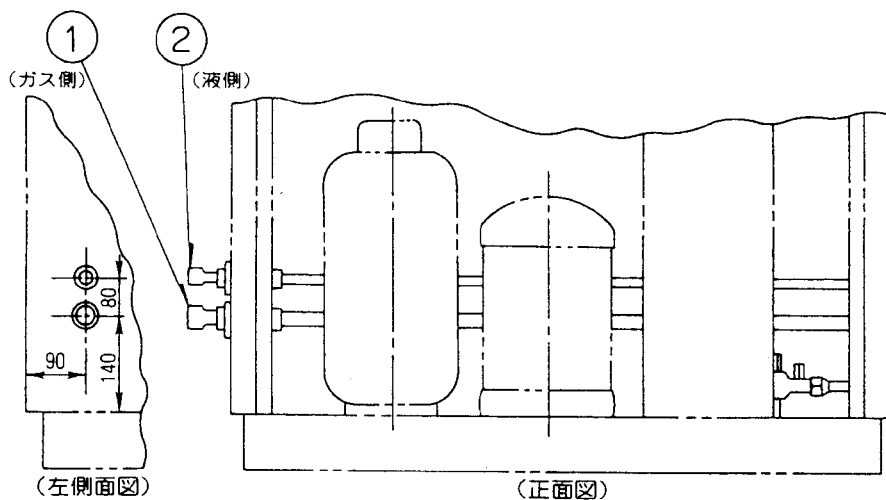
品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	配 管	1	太 い 方	3	プ ッ シ ュ	2	
②	配 管	1	細 い 方	4	カ バ ー	1	

2. 取付要領

- 1 吸込グリル、前パネル下、後パネル下を取り外してください。
- 2 図示要領にて、冷媒左側配管 1・2 を接続してください。配管は本体後側から入れてください。
(フランジ部のパッキンは本体付属配管セットのものを使用してください。)
- 3 右配管接続部カバーを附属部品 4 と交換してください。



(PA-10・J280PC
PAH-8・10・J200・J280PC の場合)



3. 注意事項

- (1) 冷媒左配管の接続は、本体据付前に行ってください。
- (2) フレアナットの締め付け作業は必ずダブルスパナで行ってください。
- (3) 配管部品①②は他の部品に接触しないように、又、配管同士が接触しないように取り付けてください。
(ドレンホースが接触する部分は、断熱カバーの位置を調節して保護するようにしてください。)
- (4) 接続配管の断熱は、外側の露出部分がないよう絶縁カバーをサイドパネルの中に入らまで行ってください。
- (5) 配管接続完了後、ガス検知器でガス漏れのないことをご確認ください。

蒸気
温水

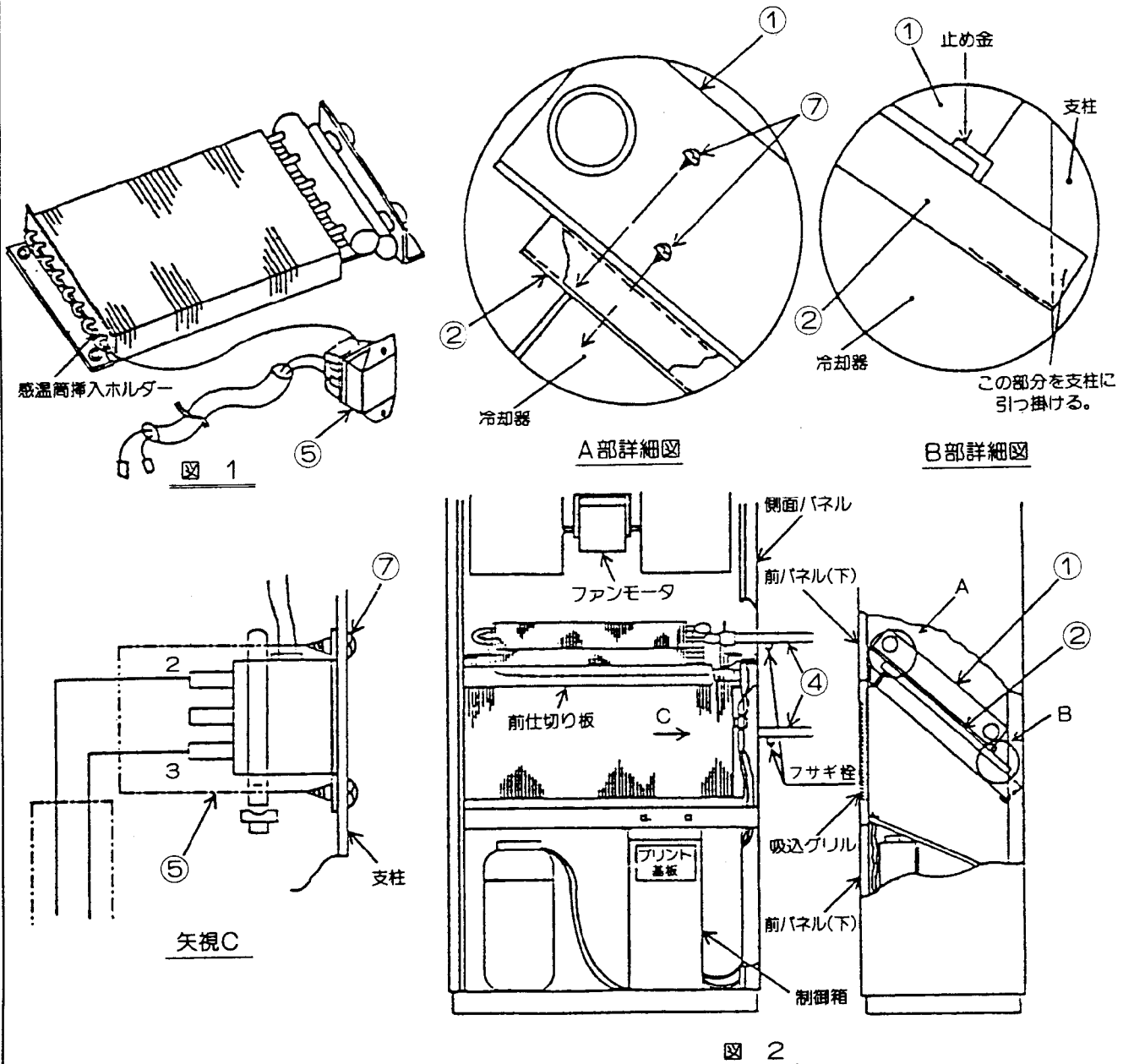
ヒータ取付説明書

PA-J140・J200・J280DC(-H)・PC
PW-J160・J250・J315DC(-H)・PC
PA・PW-5・8・10DC(-H)・PC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	ヒータ	1		⑤	凍結防止用サーモスタット	1	リード線、保護カバー付
②	ヒータ取付板(右)	1		⑥	ゴム栓	1	電磁弁配線用
③	〃(左)	1		⑦	タップピンネジ	8	4×10(予備2本)
④	接続パイプ	2		⑧	注意名板	1	水抜き保守のお願い

2. 取付要領 (高静圧(H)タイプの場合は本体の形状が下図と一部異なりますのでご了承ください。)



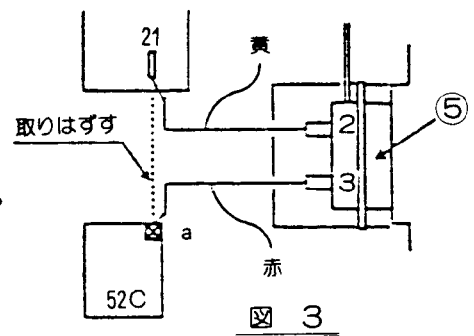
- (1) 吸込グリル、前パネル上下（取付ネジ各2本）及び前仕切り板（取付ネジ2本）を取外し、側面パネルの配管用ノックアウト穴を打ち抜いてください。次に、ヒータ取付板②、③を止め金付の方を先にし、熱交換器両側の仕切り板上をすべらせながら支柱に押し当てて手前をネジ止め（タッピンネジ⑦2本）してください。（図2 A、B部詳細図）
- (2) ヒータのヘアピン側の凍結防止用サーモスタット感温筒挿入ホルダー（ $\phi 6$ 銅管）に凍結防止用サーモスタット⑤の感温筒を最深部まで差し込んでください。（図1）
- (3) ヒータ④を（1）項で取付けた取付板②③上に設置し、ネジ止め（タッピンネジ⑦2本）してください。（図2 A、B部詳細図）
- (4) 凍結防止用サーモスタット⑤を支柱にネジ止め（タッピンネジ⑦2本）してください。（図2 矢視C）
 ※図2は右配管の場合を示しますが、左配管の場合はヒータを反対勝手に取付けてください。

3. 配管要領

- (1) 接続パイプ④をフサギ栓が真下を向く様配管してください。（図2）
- (2) 蒸気ヒータの場合、蒸気の入口が上側、出口が下側となるように配管してください。
 温水ヒータの場合、温水の入口が下側、出口が上側となるように配管してください。
- (3) 温度調節器により電磁弁にて調節する場合は、電磁弁は入口配管に取付けてください。
- (4) 入口、出口共本体の近くに必ずストップバルブを取付けてください。

4. 配線要領（本体側）

1. 圧縮機用接触器52Cのaとプリント基板の21間のリード線を取りはずしてください。
2. 凍結防止用サーモスタット⑤の赤色リード線（端子番号3）と圧縮機用接触器52Cのa間及び凍結防止用サーモスタット⑤の黄色リード線（端子番号2）とプリント基板の21間を接続してください。



5. 配線要領（電磁弁を使用する場合）

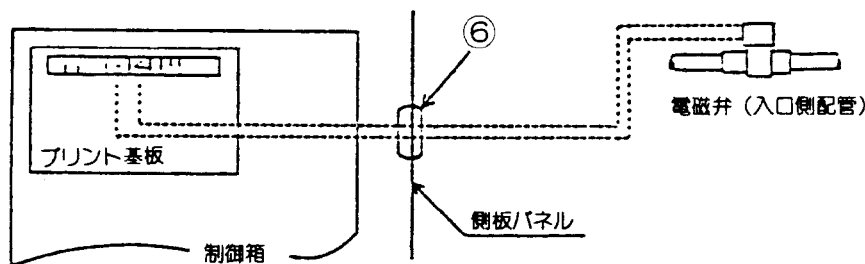


図 4

6. 注意事項

1. ヒータ本体の管内に水が入ったままで冷房運転を行いますと凍結バンクを起こすことがありますので、冷房時には必ず接続パイプに付属するフサギ栓を開いて管内の水を排出してください。
2. フサギ栓部に図5のように手動弁を取り付けますと、水抜き及び空気抜き作業が容易に行えます。
3. 品⑤注意名板は側板パネル（ヒータ接続パイプ付近）または見やすい位置に貼ってください。
4. 水抜きについてはお客さまに十分な説明を行ってください。

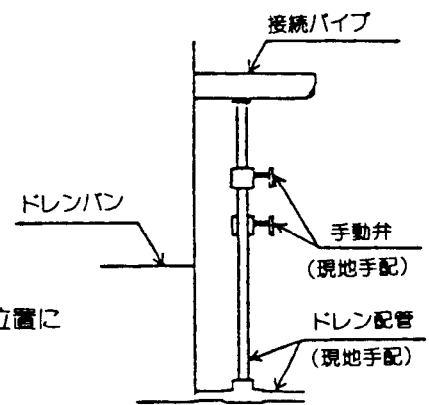


図 5

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK44SH PAC-CL09WH
PAC-CK45SH PAC-CL10WH

蒸気水 ヒータ取付説明書

[PA-J400・J560DC
PW-J500・J630DC
PA・PW-15・20DC]

1. 部 品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	ヒータ	1		⑥	ゴム栓	1	電磁弁配線用
②	ヒータ取付板 (右)	1		⑦	タッピンネジ	5	4×10 (予備2本)
③	" (左)	1		⑧	注意名板	1	水抜き保守のお願い
④	" (中)	1		⑨	タッピンネジ	3	5×10 (予備1本)
⑤	接続パイプ	2					

2. 取付要領

- 吸込グリル、前パネル上下 (取付ネジ各2本) 及びプレート (取付ネジ4本) を取外し、図4に示します側面パネルの配管用ロックアウト穴を打ち抜いてください。
- ヒータ取付板②③④を取付けてください。
 - 取付板②, ③は後方を支持板上の止め金の位置 (図1, B部詳細図) まで差し込み、手前をネジ止め (タッピンネジ⑨2本) してください。
 - 取付板④は後方を熱交後仕切板に押し当て (図1, C部詳細図)、手前をネジ止め (タッピンネジ⑦1本) してください。
- ヒータ①を (2) 項で取付けたヒータ取付板②, ③, ④上に設置 (後方は止め金により固定) し、手前をヒータ取付板②, ③にネジ止め (タッピンネジ⑦2本) してください。 (図1)

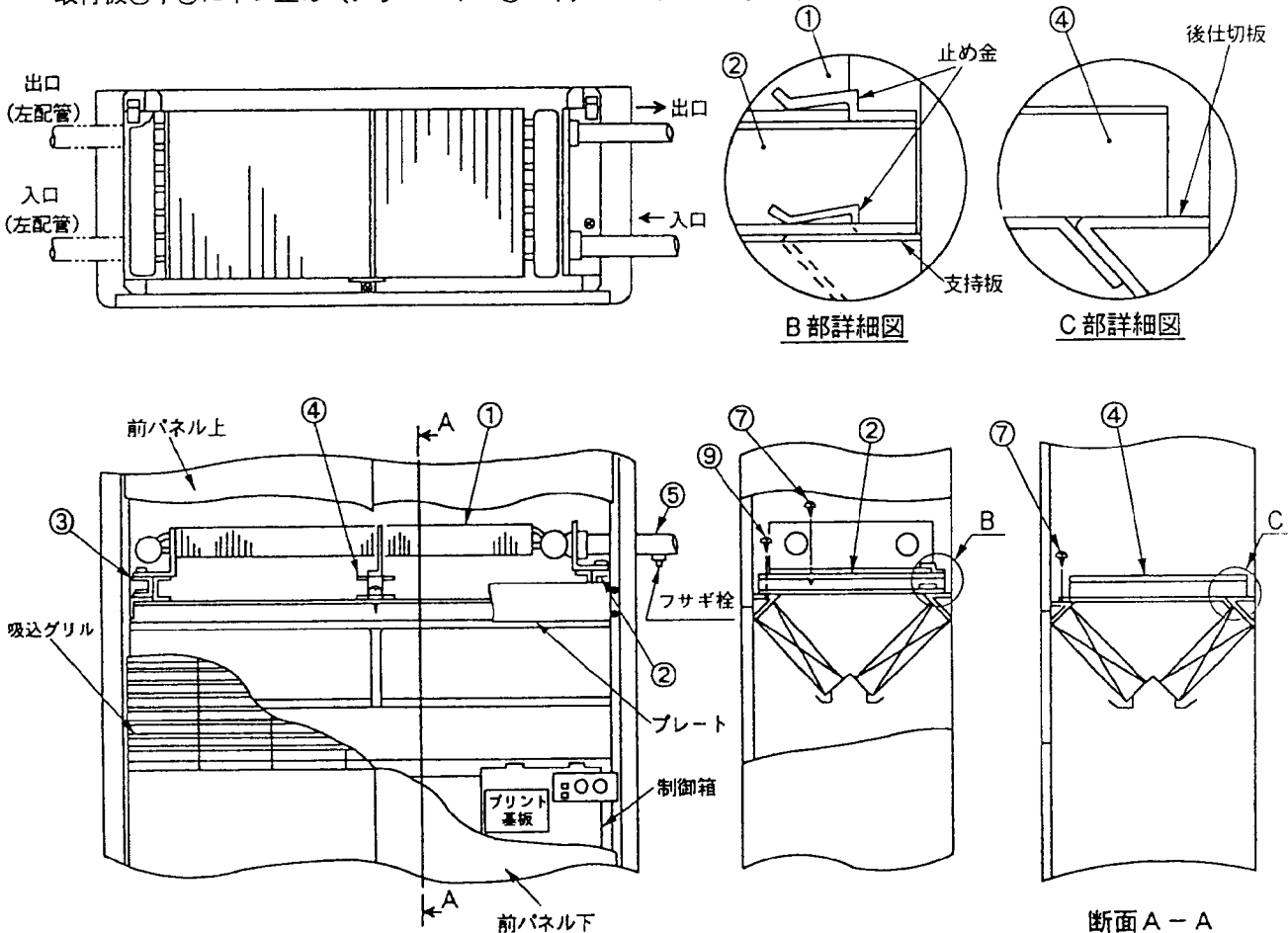


図 1

3. 配管要領

- (1). 接続パイプ⑤をフサギ栓が真下を向く様配管してください。(図 1)
- (2). 温度調節器により電磁弁にて調節する場合は、電磁弁は入口配管に取付けてください。
- (3). 入口、出口共本体の近くに必ずストップバルブを取付けてください。

4. 配線要領 (電磁弁を使用する場合)

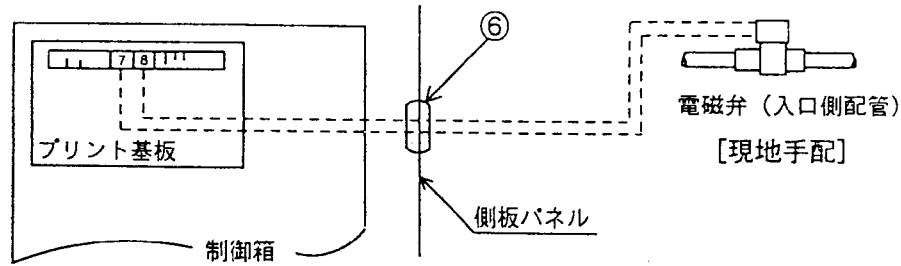


図 2

5. 注意事項

- (1). ヒータ本体の管内に水が入ったままで冷房運転を行いますと凍結バンクを起こすことがありますので、冷房時には必ず接続パイプに付属するフサギ栓を開いて管内の水を排出してください。
- (2). フサギ栓部に図3のように手動弁を取り付けますと、水抜き及び空気抜き作業が容易に行えます。
- (3). 品③注意名板は側板パネル(ヒータ接続パイプ付近)または見やすい位置に貼ってください。
- (4). 水抜きについてはお客さまに十分な説明を行ってください。

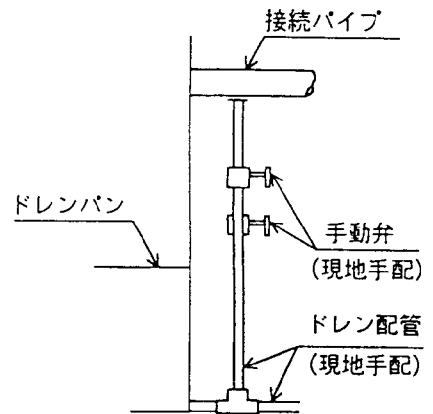


図 3

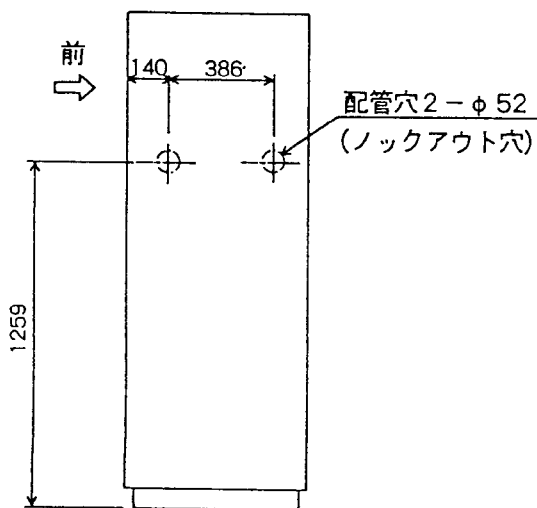


図 4

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP78CA

進相コンデンサ取付説明書

P-5・J140・J160 P C
P-8・J200・J250 P C
P-10・J280・J315 P C

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに表1に示す部品が入っていますのでご確認ください。

表1

品番	品 名	仕 様	個 数	備 考
1	アタッチメント1		2	
2	アタッチメント2		1	150 μ F用
3	取付ネジ	4×10	14	アタッチメント用:8本 取付金具用:2本 150 μ F用:2本 予備:2本

別売進相コンデンサ部品表(別売進相コンデンサには表2に示す部品が入っています。)

表2

品番	品 名	仕 様	PAC-CP29CA	PAC-CP30CA	PAC-CP31CA	PAC-CP34CA	PAC-CP35CA	PAC-CP36CA	PAC-CP37CA
			10 μ F	15 μ F	20 μ F	50 μ F	75 μ F	100 μ F	150 μ F
4	リード線 (赤、白、青)	IV2.0mm 両端圧着端子付	1	1	1	1			
		IV3.5mm 両端圧着端子付					1		
		IV5.5mm 片側圧着端子付(M4)						1	
		IV5.5mm 片側圧着端子付(M6)							1
5	アース線							1	
6	圧着端子	JSTV-5.5-5					3		
		JST-5.5-5						3	3
7	絶縁キャップ	TC-V-81						3	3
8	閉端接続子	JST 5.5SD				3			
9	取付金具	締付ネジ・ナット付							1

2. 取付要領

2-1 準 備

- (1)本体前パネル下を取り外してください。
- (2)制御箱を固定しているネジを外し制御箱を手前に引き出してください。(図1)

2-2 進相コンデンサ取付位置

- (1)進相コンデンサはアタッチメント1を使用して制御箱の裏面に取付けてください。(150 μ Fの場合は、アタッチメント1及び2を使用)
- (2)各容量の進相コンデンサは図2の位置に取付けてください。
- (3)図2の位置以外に取付けた場合、進相コンデンサが配管等に接触する恐れがありますのでご注意ください。

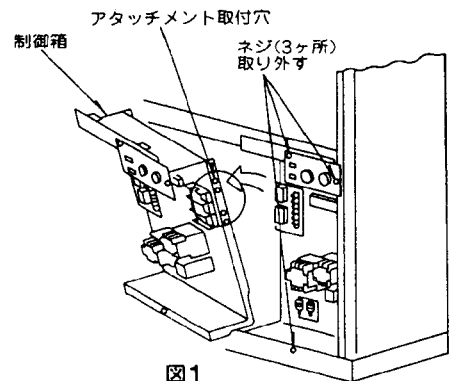
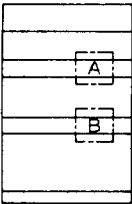


図1

P-5・J140・J160PC
P-8・J200・J250PC

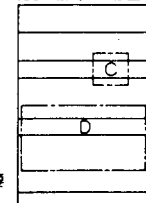


A: 室外ファン用
(15・20 μ F)
B: 圧縮機用
(50~100 μ F)

※P-5の場合
室外ファン用は不要

制御箱を裏から見る

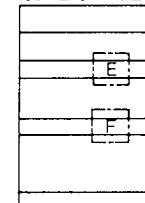
P-10・J280・J315PC
(50Hz用の場合)



C: 室外ファン用
(20 μ F)
D: 圧縮機用
(150 μ F)

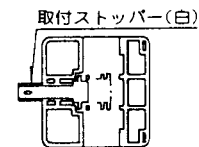
制御箱を裏から見る

P-10・J280・J315PC
(60Hz用の場合)



E: 室外ファン用
(15 μ F)
F: 圧縮機用
(100 μ F)

制御箱を裏から見る



進相コンデンサ底面

図3

図2

2-3 進相コンデンサ取付

容量 15~100 μ Fの進相コンデンサの場合

- (1)進相コンデンサ底面にある白い取付ストッパーをいっぱいまで引き出してください。(図3)
- (2)進相コンデンサを図4の様に、ストッパー凹部をアタッチメント①の角穴端部に引っ掛けて固定してください。

(取付位置はコンデンサ容量等により異なりますので2-2項を参照してください。)

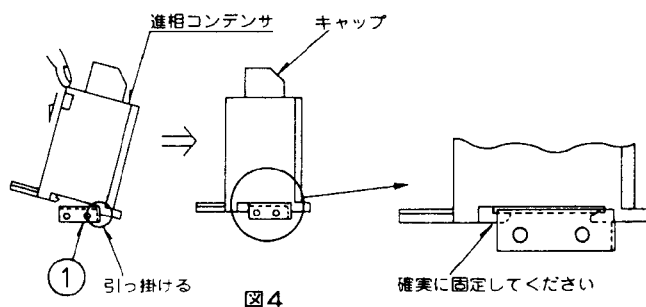


図4

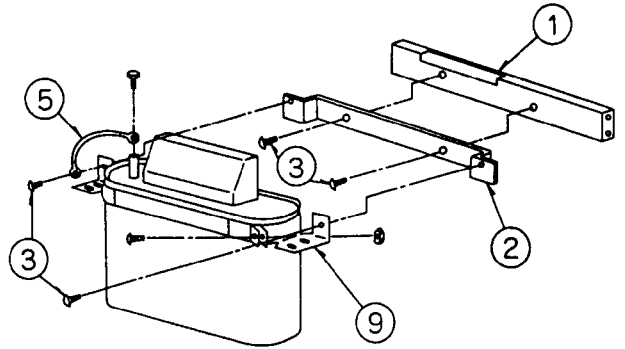
■容量 150 μ Fの進相コンデンサの場合

- (1)進相コンデンサ本体上側に取付金具⑨(PAC-CP37CAに付属)を取付けてください。
- (2)アタッチメント22をアタッチメント11にネジ止め(取付ネジ32本)してください。
- (3)進相コンデンサをアタッチメント22にネジ止め(取付ネジ32本)してください。

▶この際、アース線5の一方を取付金具⑨に共締めしてください。もう一方は、進相コンデンサ本体に接続してください。
(取付位置はコンデンサ容量等により異なりますので、2-2項を参照してください。)

2-4 アタッチメント取付

- (1)2-2, 3項にてアタッチメント①に進相コンデンサを取付けた後、制御箱側面の図1に示す位置にアタッチメントをネジ止め(取付ネジ⑧8本)してください。



3. 結線要領(結線要領は用途等により異なりますので表3を参照し、該当する結線要領にて行ってください。)

表3

用途	進相コンデンサ容量	10 μ F	15 μ F	20 μ F	50 μ F	75 μ F	100 μ F	150 μ F
PA・PAH 圧縮機用結線要領		-	-	-	C	B	B	B
室外ファン用結線要領		D	D	D	-	-	-	-
PW・PWH圧縮機用結線要領		-	-	-	A	A	A	A

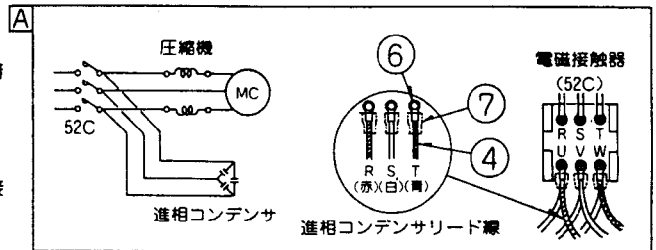
結線要領A (PW・PWHの圧縮機用(50~150 μ F)の場合)

■進相コンデンサリード線の加工(容量 100・150 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の圧着端子が付いていない方を付属の圧着端子⑥を用いてカシメた後、絶縁キャップ④を取付けてください。
(50・75 μ F用のリード線の両端には、あらかじめ圧着端子が付いています。)

■接続

- (1)電磁接触器の二次側にリード線の絶縁キャップが付いている方を接続してください。
(50・75 μ Fの場合、絶縁付端子が付いている方を接続します。)
- (2)リード線のもう一方を進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領B (PA・PAHの圧縮機用(75・100・150 μ F)の場合)

■室外ファンリード線の加工

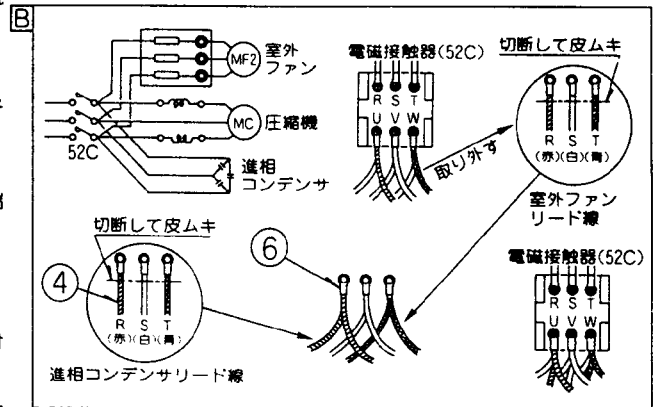
- (1)室外ファンリード線を電磁接触器から取り外し、線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■進相コンデンサリード線の加工(容量 75 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の、絶縁付圧着端子が付いている側の線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)
(100・150 μ F用のリード線の片方には、あらかじめ圧着端子を取付けておりませんので、切断及び皮ムキの必要はありません。)

■接続

- (1)室外ファン及び進相コンデンサの各リード線を各相別に合わせて付属の圧着端子⑥を用いてカシメてください。
- (2)電磁接触器の二次側に、上記端子側を接続してください。
- (3)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領C (PA・PAHの圧縮機用(50 μ F)の場合)

■室外ファンリード線の加工

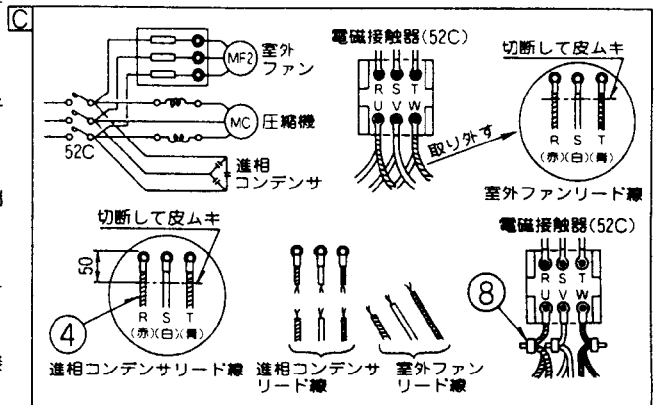
- (1)室外ファンリード線を電磁接触器から取り外し、線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■進相コンデンサリード線の加工

- (1)進相コンデンサリード線の、絶縁付圧着端子が付いている側の線端から約50mmのところを切断してください。
- (2)切断した両側の線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■接続

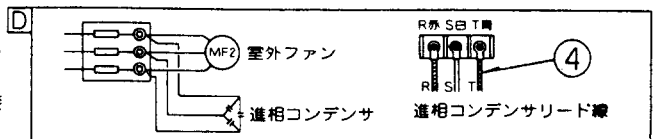
- (1)室外ファン及び進相コンデンサの各リード線を、各相別に合わせて付属の閉端接続端子⑧を用いてカシメてください。
- (2)電磁接触器の二次側に、上記端子側を接続してください。
- (3)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



結線要領D (PA・PAHの室外ファン用(10・15・20 μ F)の場合)

■接続

- (1)進相コンデンサリード線の絶縁付圧着端子が付いている方を室外ファン端子台に接続してください。
- (2)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



4. ご注意

P-PCの室内ファン用電動機は単相誘導電動機ですので進相コンデンサは取付けません。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP45WP

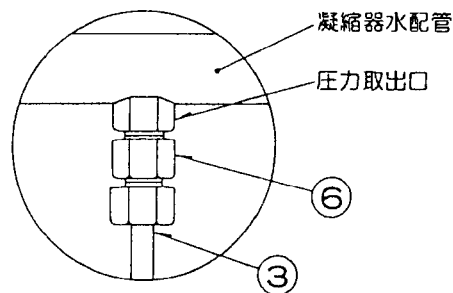
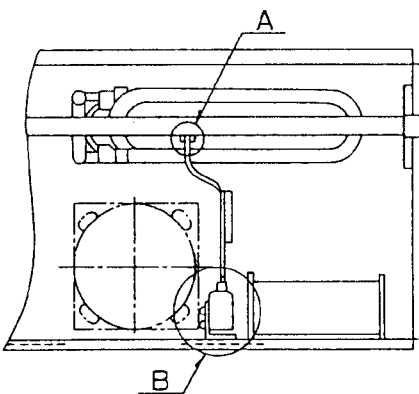
水圧保護開閉器取付説明書

PW(H)-J160・J250・J315DC(-H)
 PW(H)-J500・J630DC
 PW(H)-5・8・10DC(-H)
 PW(H)-15・20DC

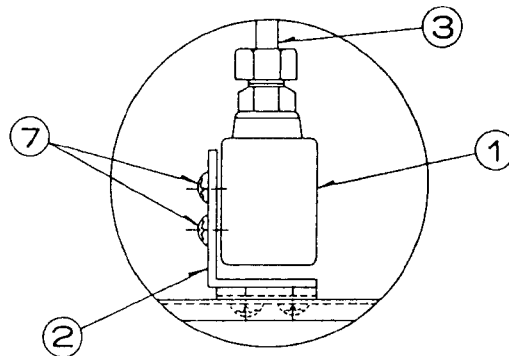
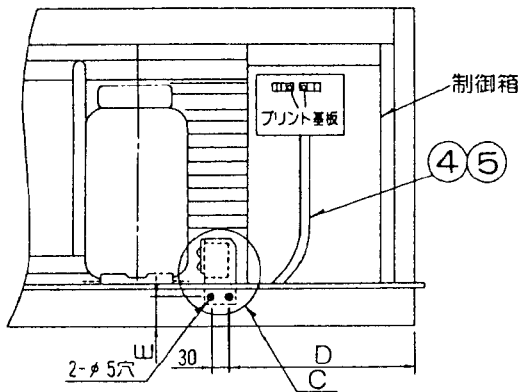
1. 部品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	水圧保護開閉器	1		⑤	結束バンド	3	配線用
②	取付板	1		⑥	テーパ管継手	1	1/4PT×1/4
③	銅管 6φ×650	1	フレアナット付	⑦	トラスネジ	3	4×6(予備1本)
④	リード線	2	VSF 0.5キ	⑧	タッピンネジ	3	4×10(予備1本)

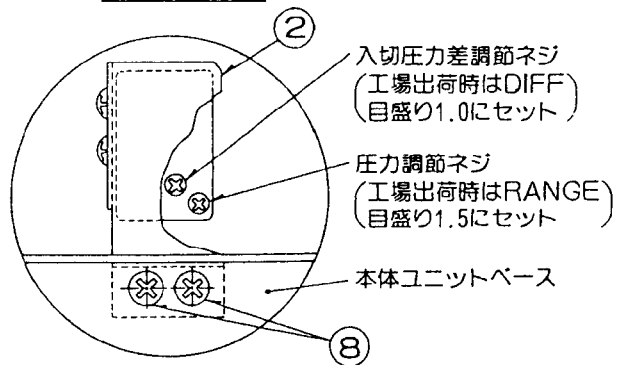
2. 取付要領 (組込む機種により取付位置が異なりますのでご注意ください。)



A部詳細図



B部詳細図



C部詳細図

(この取付穴は、機種によって加工されていない場合がありますので、穴があいていない場合は、現地にて穴加工をお願いします。)

機種	変化寸法	D	E
PW(H)-5・J160DC		507	60
PW(H)-8・J250DC		580	60
PW(H)-10・J315DC		682	60
PW(H)-15・J500DC		560	70
PW(H)-20・J630DC		670	70

図 1



- 1). 吸込グリル, 前パネル下(取付ネジ2本)を取外してください。
- 2). 銅管③を、水圧保護開閉器①と凝縮器水配管圧力取出口の間に接続してください。
 - 水圧保護開閉器①への接続は、接続口のフレアナットを取外した後銅管③付属のフレアナット(締付トルク30~50kg・cm)にて接続してください。(図1, B部詳細図)
 - 凝縮器水配管圧力取出口への接続は、取出口のプラグを取外した後テーパ管継手⑥を取付けて、銅管③付属のフレアナットにて接続してください。(図1, A部詳細図)
(テーパ管継手⑥及び銅管③フレアナットの締付トルクは30~50kg・cm)
- 3). 水圧保護開閉器①を取付板②にネジ止め(トラスネジ⑦2本)した後、図1に示す位置に取付けてください。(タッピンネジ⑧2本)

3. 配線要領

- 1). 本体制御箱内のプリント基板上端子台の5番, 9番間の短絡線を取外し、図2の様に配線してください。
- 2). 配線接続完了後、適当な位置に結束バンド⑩にて配線を固定してください。

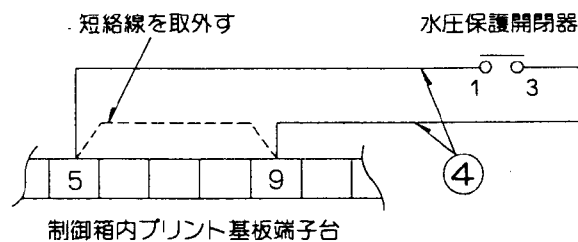


図 2

4. 設定圧力の調節

- 1). 設定圧力の調節は、図1, C部詳細図に示す調節ネジにて行なってください。
工場出荷時の目盛りのセット値と接点の動作は次の通りです。
 - 圧力調節・RANGE目盛り 1.5にセット 圧力上昇時1.5kg/cmにて接点①-③ON
 - 入切圧力差・DIFF目盛り 1.0にセット 圧力下降時0.5kg/cmにて接点①-③OFF
 - 2). 水圧保護開閉器の設定値(圧力下降時における接点①-③OFFの設定)は、通常の場合停止時の水圧より0.5kg/cm高めに調節してください。
- 例. 停止時の水圧が0.3kg/cmの場合 通常0.8kg/cmに設定
- 圧力調節・RANGE目盛り 1.8にセット 圧力上昇時1.8kg/cmにて接点①-③ON
 - 入切圧力差・DIFF目盛り 1.0にセット 圧力下降時0.8kg/cmにて接点①-③OFF

5. 注意事項

- 1). 別売節水弁ポート取出し(PAC-CP48RV)と併用組込する場合は、取付板②を節水弁ポート取出しに付属の配管固定板にネジ止めした後、図1に示す位置に取付けてください。(詳細は、節水弁ポート取出しの取付説明書を参照してください。)

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP48RV

節水弁ポート取出し取付説明書

PW(H)-J160・J250・J315DC(-H)
 PW(H)-J500・J630DC
 PW(H)-5・8・10DC(-H)
 PW(H)-15・20DC

1. 部 品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	チャージプラグ	1		⑤	配 管	1	ビニールチューブ・ゴムブッシュ フリアナット付
②	固定板A	1	PW(H)-5~10・J160DC~J315DC(-H)用	⑥	ケーブルストラップ	3	予備1
③	〃 B	1	PW(H)-15・20・J500・J630DC用	⑦	取付ネジ	5	4×10
④	〃 C	1	PW(H)-5~20・J160DC~J630DC用				

2. 取付要領 (本図は、節水弁ポート取出しを2セット組込んだ場合を示します。)

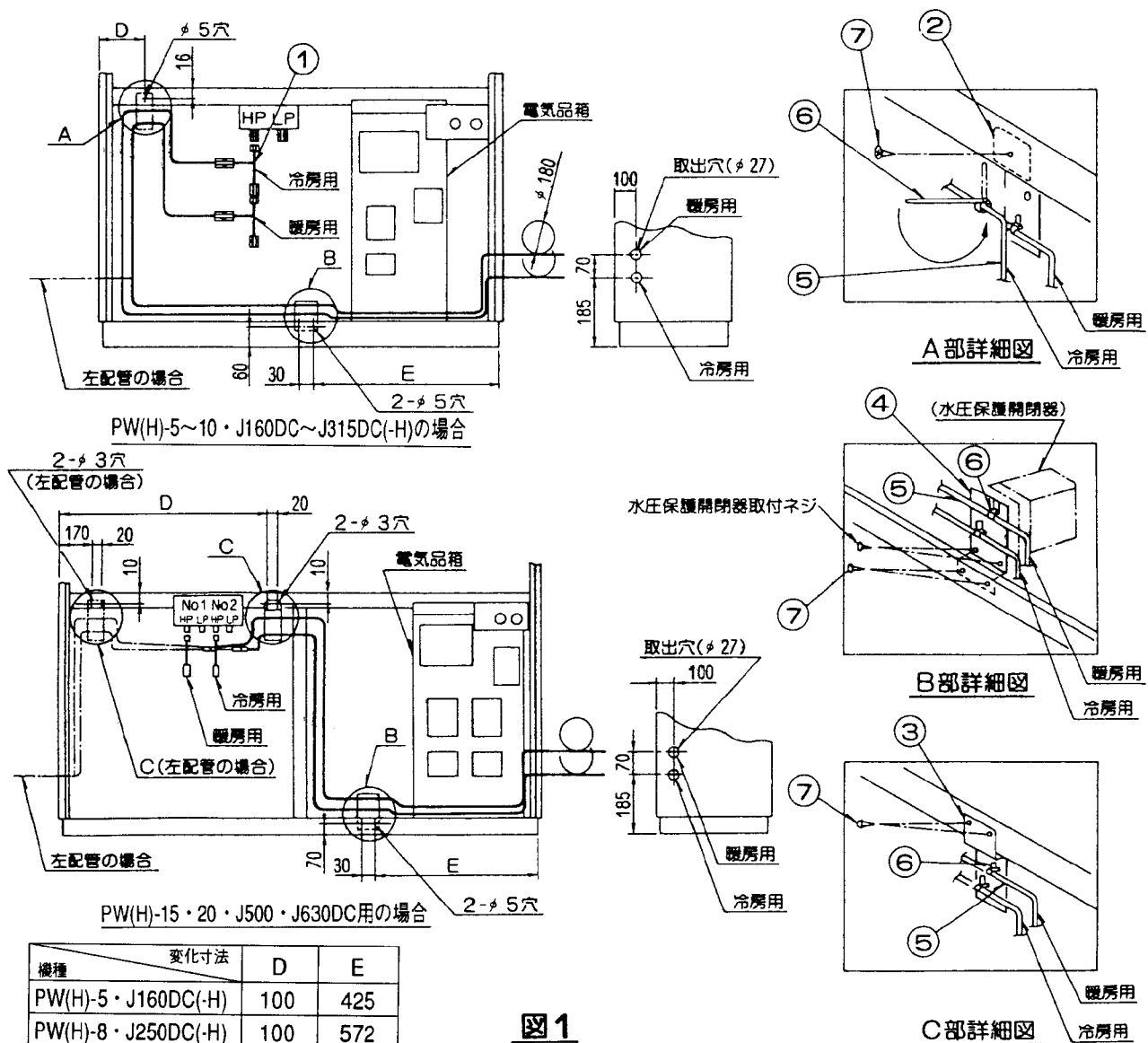


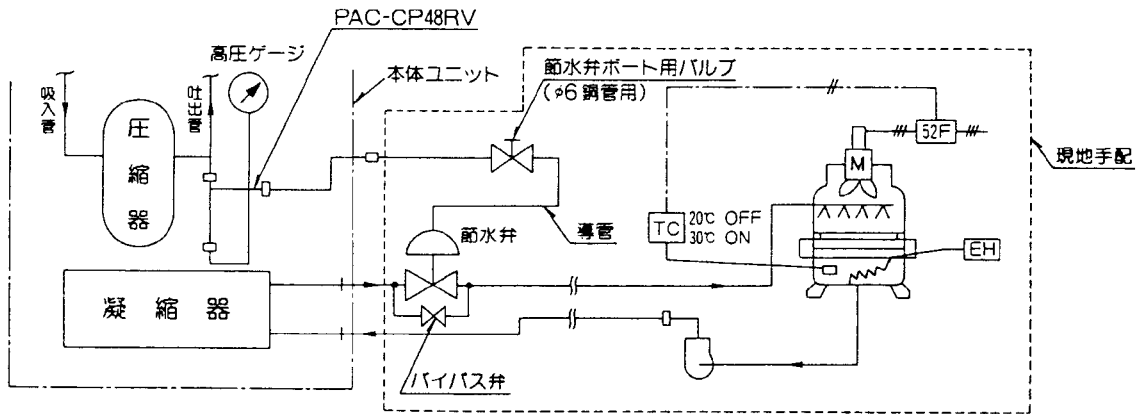
図1

- (1). 吸込グリル, 前パネル下を取外してください。
- (2). 固定板A・B・C②③④を図1に示す位置に取付けてください。(組込む機種により取付板が異なります)
 - ・固定板の取付穴は機種によって加工されていない場合がありますので、穴があいていない場合は現地にて穴加工をお願いします。
 - ・15・20・J500・J630DC 型ユニットで左配管にする場合は、図1に示す左配管の場合の取付位置に取付けてください。
- (3). チャージプラグ①を付属のフレアナットにて高圧側圧力取出口(HP)に接続してください。
(締付トルク30~50kg/cm)
 - ・チャージプラグ①の接続位置は用途(冷房用・暖房用)及び機種により異なりますので図1を参照してください。
 - (冷房用と暖房用の節水弁ポート取出しを同時に取付ける場合は本別売部品を2セット用意してください。)
- (4). 配管⑤を図1の様に接続してください。
 - ・配管⑤の赤マークが付いている側をチャージプラグ①に接続してください。(締付トルク30~50kg/cm)
 - ・本体側面パネルのロックアウト穴を打ち抜き配管⑤に付属のプッシュにてプッシングし図1の取付穴に通してください。
 - ・配管⑤はケーブルストラップ⑥にて固定板A・B・C②③④にしっかり固定してください。
(固定位置は冷房用と暖房用で異なりますので図1のA・B・C部詳細図を参照してください。)
 - ・左配管の場合は図1の一点鎖線で示す位置に通してください。
 - ・電気品箱付近を通る配管⑤は付属のビニールチューブにて保護してください。
 - ・配管⑤が長い場合はユニット外でループ巻(φ180程度)してください。

3. ご注意

- (1). 別売水圧保護開閉器(PAC-CP45WP)と併用組込む場合は、図1のB部詳細図に示す様に水圧保護開閉器は固定板C④にネジ止めしてください。(取付ネジは水圧保護開閉器のものを流用してください。)
- (2). フレアナットの締め付け作業は必ずダブルスパンで行ってください。
- (3). 配管⑤は他の部品に接触しない様に又配管同士が接触しない様に成形してください。

4. 節水弁取付けの具体例



- (1). ユニット外の配管及び部品は全て現地手配となります。
- (2). 節水弁は冷却水出口配管途中に取付けてください。
- (3). 節水弁はメーカー(サギノミヤ等)と打合わせの上仕様を決定してください。
- (4). ポンプ運転中に節水弁が完全に閉じる(温度調節器作動によりユニットが停止した等の場合)と、ポンプが故障する恐れがあります。これを防ぐためにポンプ容量の1/10位の水量を流すバイパス弁を節水弁と並列に設けてください。
- (5). 冬期運転する場合は、クーリングタワーのファン発停サーモを取付け冷却水温度を調整してください。
- (6). 冬期外気温度が0℃以下になる地区で運転する場合はクーリングタワーの凍結防止ヒータを取付けてください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CK51XH

蒸気水 ヒータ取付説明書

PA-J630・J800DC
PW-J800・J1000DC
PA・PW-25・30DC

1. 部品 このセットにはこの説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	ヒータ	1		⑤	バネ座金	5	(予備1個)
②	ササエ板	2		⑥	ボルト	5	6×16(予備1本)
③	タツピンネジ	7	5×16(予備2本)	⑦	注意銘板	1	水抜き保守のお願い
④	座金	5	(予備1個)	⑧	固定板	2	
				⑨	接続線	1	凍結防止サーモとの接続

2. 取付要項

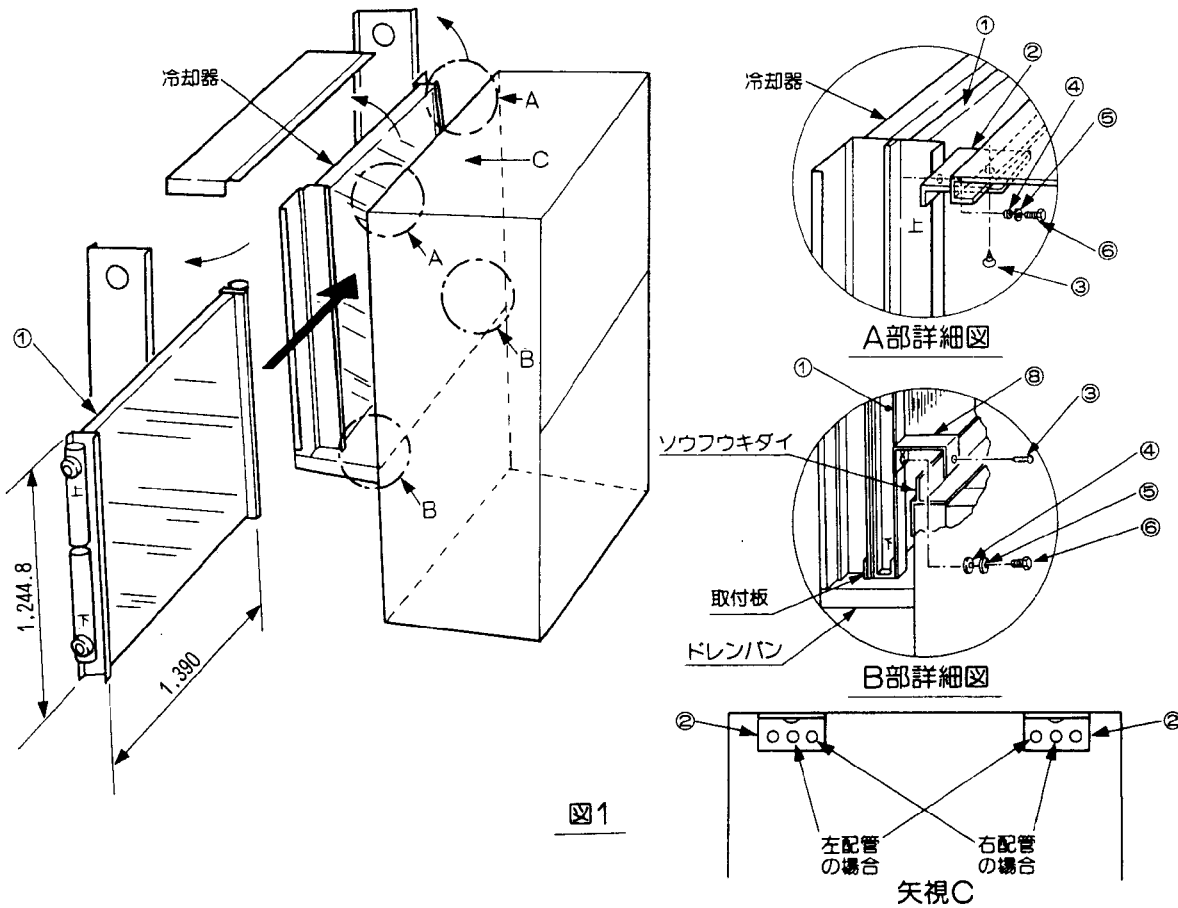
(1)ユニットの冷却器部分のパネルを取外し、図1で示すようにヒータ①を冷却器とユニット本体の間に差し込んで下さい。

- ドレンパン上でヒータ①をスライドさせる場合はドレンパンの塗装面に傷をつけないよう注意して下さい。
- ヒータ①の上下方向(ヘッダー部に表示)が逆にならないように取付けて下さい。
- 図1は左配管の場合を示します。右配管が必要な場合はヒータ①の左右を振り変えて差し込んで下さい。

(2)ヒータ①を取付板に合せ、A部詳細図及びB部詳細図に示す通り付属のササエ板②及び固定板⑧をタツピンネジ③・座金④・バネ座金⑤・ボルト⑥で固定して下さい。

- ヒータ①には排水性をよくする為、1°の傾斜を設けており、ヒータ①上部ではササエ板②とのズレがありますが、矢視Cに示す通りササエ板④の穴を選んで取付けて下さい。

(3)取外したパネルは、配管貫通側のノックアウト穴を打ち抜いた後、元通りに取付けて下さい。



3. 配管要領

(1)配管は、図2のように実施して下さい。

●ヒータ①には1°の傾斜を設けている為、フレキシブル配管での接続が必要となります。

(2)温度調節器により電磁弁で調節する場合、電磁弁は入口配管に取り付けて下さい。

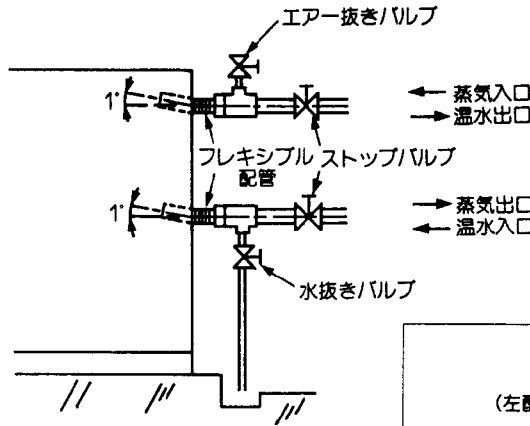


図2

(凍結防止サーモ固定要領)

- まずヒーター本体に固定されているサーモスタットを板ごと取り外します。
- 次に板のついたままのサーモスタットを図3、図4の様にヒーターササ工板②に取付けてください。

(右配管の場合)

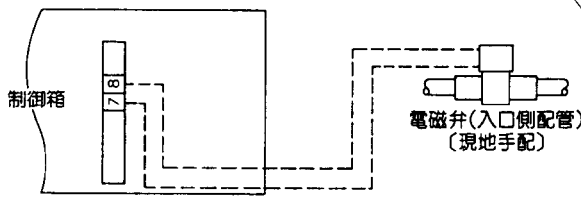
(左配管の場合)

図3

図4

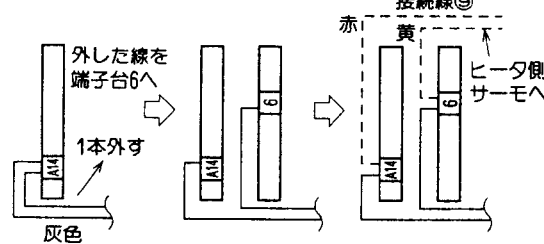
4. 配線要領

(電磁弁を使用する場合)

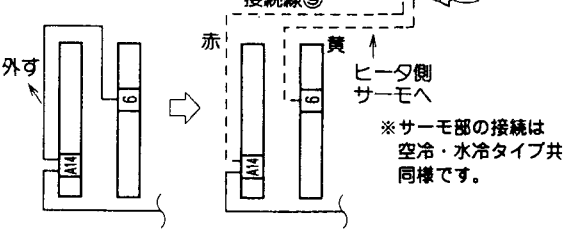


(凍結防止サーモの配線要領と固定要領)

▶空冷タイプの場合



▶水冷タイプの場合



※サーモ部の接続は空冷・水冷タイプ共通です。

※サーモとの接続線③は左配管の場合制御BOXの右側、右配管の場合制御BOXの左側を通して接続してください。

このとき板金のエッチ等の接触に気をつけてください。

5. 注意事項

(1)ヒータ本体の管内に水が入ったままで冷房運転を行いますと凍結バンクを起こすことがありますので冷房時には必ず管内の水を排水してください。(エア抜き・水抜きバルブを開いて24時間ファン運転してください。)

(2)付属の注意名板⑦は切り取り線から上を切り取ってエアコンの側面(ヒータ接続パネル付近)または見やすい位置に貼ってください。

(3)水抜きについては、お客様に十分な説明を行って下さい。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品

電気ヒータ取付説明書

PAC-CK11EH・・・PA(H)-25・J630DC
 PW-25・J800DC
 PAC-CK12EH・・・PA(H)-30・J800DC
 PW(H)-30・J1000DC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

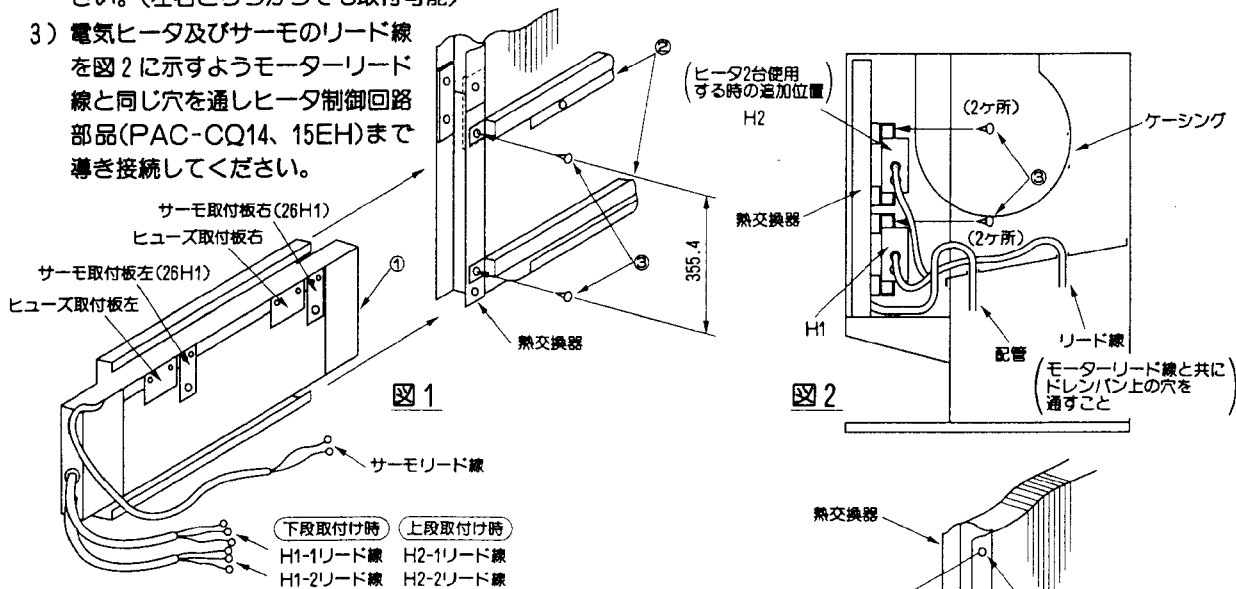
品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ ^{3φ 200V} _{25(12.5+12.5)kW}	1	PAC-CK11EH(P-25DC)	③	タップピンネジM5×10	6	予備 2本
	電気ヒータ ^{3φ 200V} _{30(15+15)kW}	1	PAC-CK12EH(P-30DC)	④	予備温度ヒューズ	4	130°C 25A
②	取付レール	2	電気ヒータ 取付用				

2. 取付要領

(ヒータを1台使用する場合)

PAC-CK11、12EH

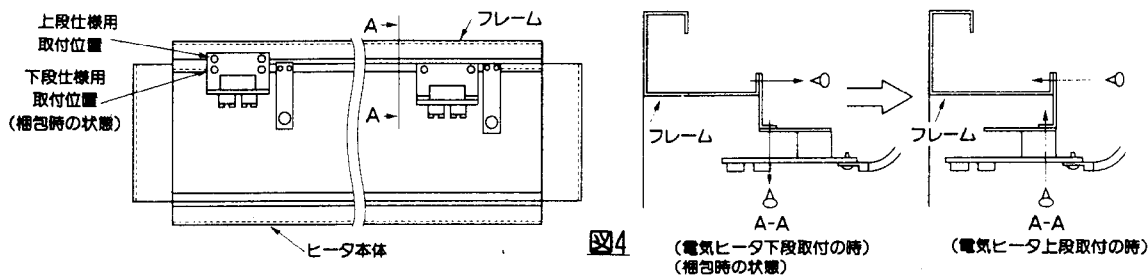
- 1) ユニットのウシロサイドパネル(左右)を取外し図1に示すよう熱交換器下部に取付レール②を2本取付けます。
- 2) 取付レールを取付けて出来た枠内に配管を傷つけないようヒータ①を差し込み、上2ヶ所をビス止めしてください。(左右どちらからでも取付可能)
- 3) 電気ヒータ及びサーモのリード線を図2に示すようモーターリード線と同じ穴を通してヒータ制御回路部品(PAC-CQ14、15EH)まで導き接続してください。



(ヒータを2台使用する場合)

PAC-CK12EH

- 4) 図3に示す穴に1台目と同様に取付レール②を2本取付けます。
- 5) 図4に示すように上段に取付ける電気ヒータは、ヒューズ取付板の位置を変更してください。(標準は下段取付用になっています)。
- 6) 電気ヒータ①を取付レール枠に差し込む時は、ケーシングにヒューズ、サーモ取付板が接触するので、左から差し込む時は右の取付板を、右から差し込む時は左の取付板を電気ヒータより取外してから差し込み、ヒューズ、サーモ取付板を元通りに取付けて電気ヒータの上部2ヶ所をビス止めしてください。
- 7) 上記 2.3)と同様にリード線を導いてください。



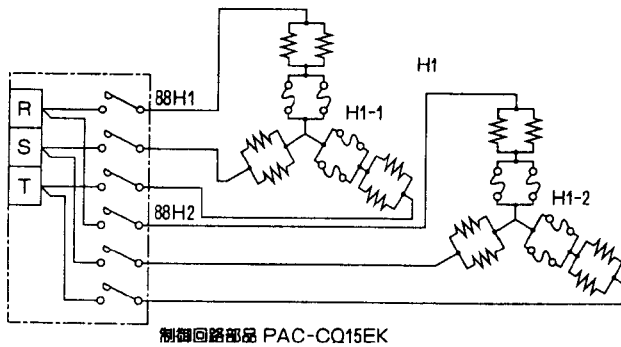
PAC-CK11EH

- 8) 図3に示す穴に1台目と同様に取付レール②を2本取付ます。
- 9) 取付レールを取付けて出来た枠内に電気ヒータを差し込みます。この時ヒューズ、サーモ取付板がケーシングに接触するので、左から差し込む時は右の取付板を、右から差し込む時は左の取付板を電気ヒータより取外してから差し込みヒューズ、サーモ取付板を元通りに取付けて電気ヒータ上部2ヶ所をビス止めしてください。
- 注) P-25用電気ヒータ(PAC-CK11EH)を上段に取付ける場合は、ヒューズ取付板の変更は不要。
- 10) 2.3)と同様にリード線を導いてください。

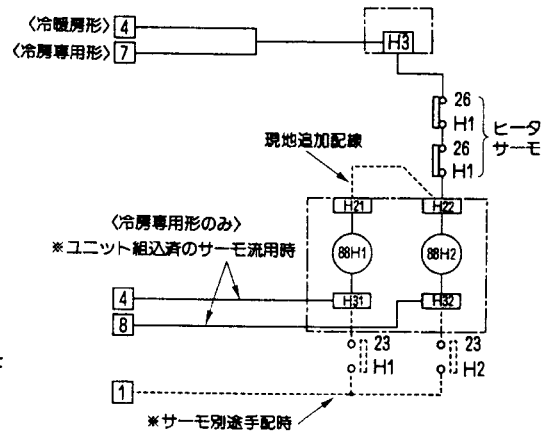
3. 配線要領

- 1) 電気ヒータ制御回路部品(PAC-CQ14、15EK)と電気ヒータとの間を下記の要領で配線してください。
- 2) 破線で示す現地配線は、IV1.25mm²同等以上にて配線してください。

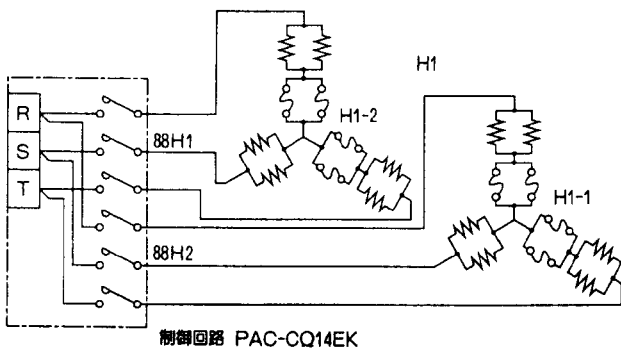
ヒータ1個、サーモ無回路時



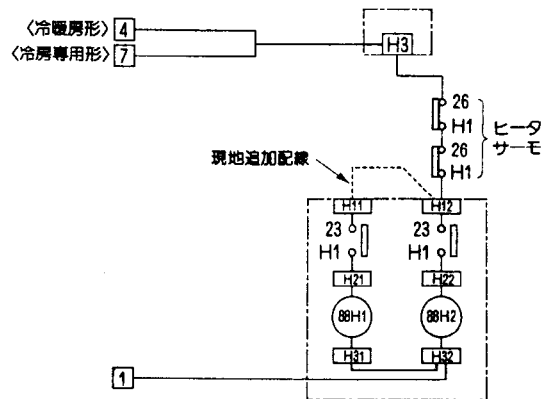
- 制御回路部品 PAC-CQ15EK
- ※サーモ設定 温度上昇 H1-2 → H1-1 の順でOFF (88H2) (88H1)
 - 温度下降 H1-1 → H1-2 の順でON (88H1) (88H2)



ヒータ1個、サーモ付回路時



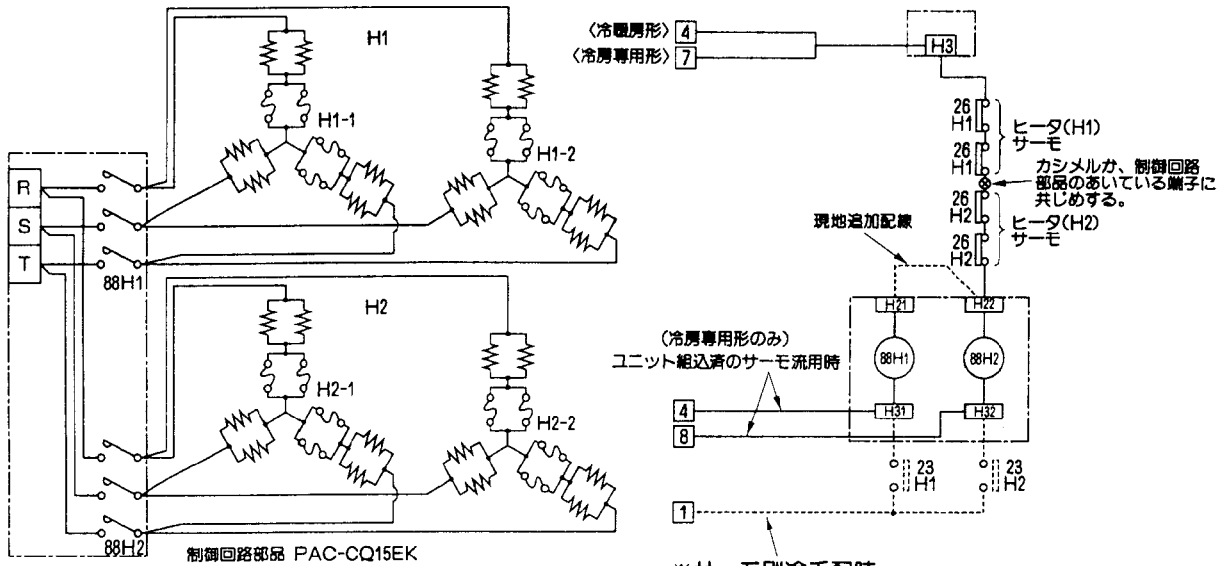
制御回路 PAC-CQ14EK



- 注. 1) [] 内の部分は、別売制御回路部品を示します。
2) 図中R[S]T、1~8 H11~H32は、別売制御回路部品もしくは、ユニット制御箱内の端子台です。

裏面につづく

ヒータ2個、サーモ無回路時

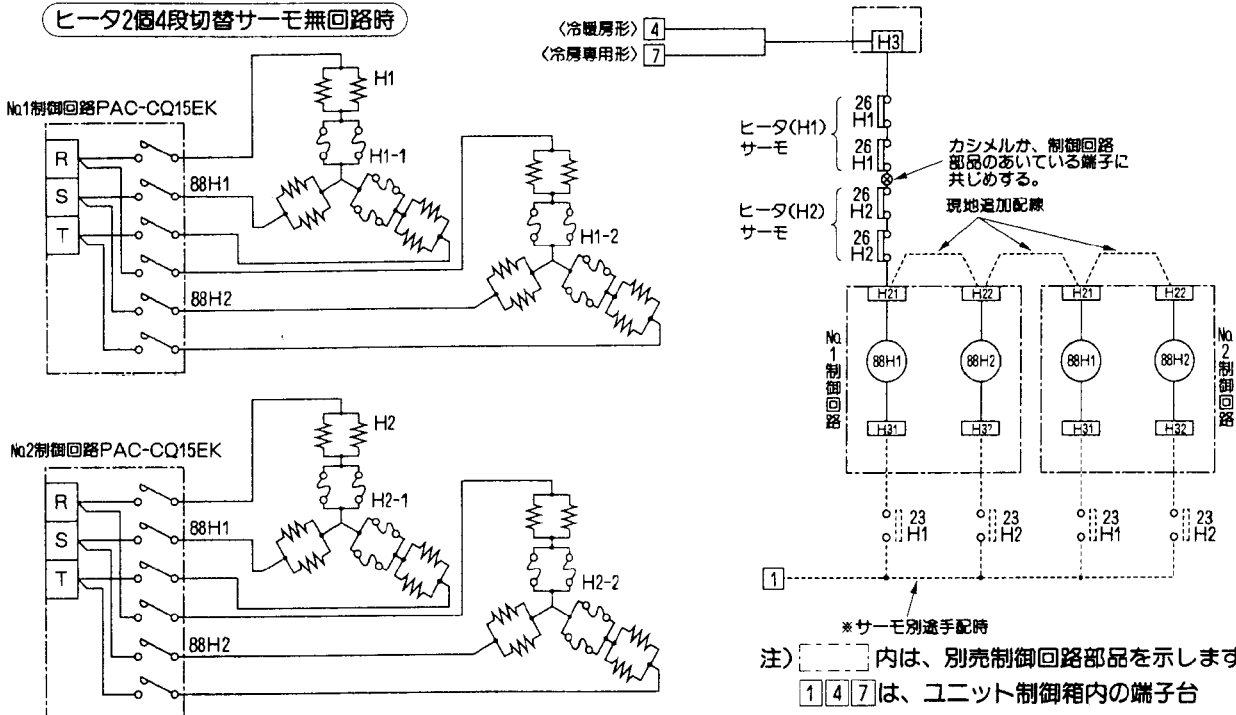


※サーモ設定：温度上昇 H2 → H1 の順でOFF (88H2) (88H1)
 温度下降 H1 → H2 の順でON (88H1) (88H2)

※サーモ別途手配時

注) [] 内は、別売制御回路部品を示します。
 [1][4][7][8]は、ユニット制御箱内の端子台

ヒータ2個4段切替サーモ無回路時

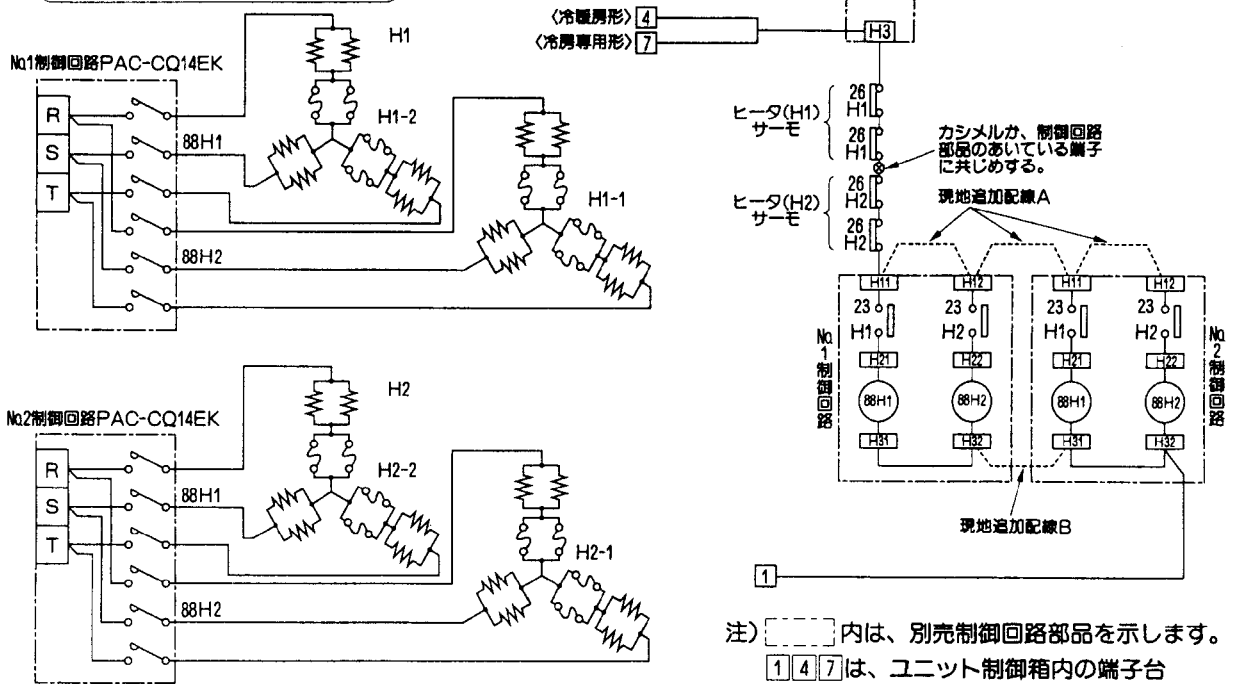


ヒータ2個4段切替は、別売制御回路PAC-CQ15EK(サーモ無)を2個使用することで4個のヒータのON、OFF制御が出来ます。

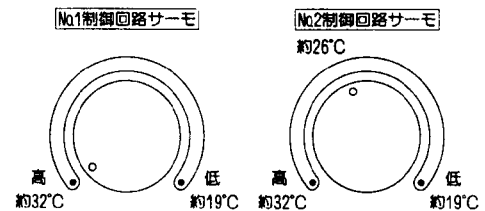
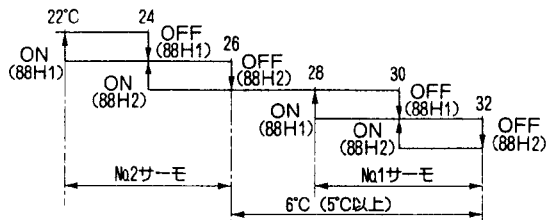
サーモは、別途現地で手配してください。サーモの設定は、次の通りです。

サーモ設定 温度上昇 | No2制御回路 | | No1制御回路 |
 H2-2 → H2-1 → H1-2 → H1-1 の順でOFF
 (88H2) (88H1) (88H2) (88H1)
 温度下降 | No1制御回路 | | No2制御回路 |
 H1-1 → H1-2 → H2-1 → H2-2 の順でON
 (88H1) (88H2) (88H1) (88H2)

ヒータ2個4段切替サーモ付回路時



- 1) PAC-CQ14EK(サーモ付)を2台使用することで4台の電気ヒータのON、OFF制御が出来ます。冷房専用形の場合は1台をPAC-CQ14EK(サーモ付)の代わりにPAC-CQ15EK(サーモ無)を使用しルームサーモ(ユニット組込済)を流用することが出来ます。この時、現地追加配線Bは、不要です。配線方法は(ヒータ1個サーモ無回路時)のユニット組込済サーモ流用時と同等。
- 2) サーモの設定は、No.1制御回路のサーモを必ずHighレンジにしNo.2制御回路のサーモとの間隔は5°C以上とってください。
サーモ設定(例) サーモ設定値…No.1制御回路 32°C No.2制御回路 26°C



※本制御回路のサーモは、高で約32°C、低で約19°Cの設定になっています。(真中は約25.5°C)

4. 注意事項

- 1) 別売加湿器(水・高圧・蒸気スプレー・超音波式・ペーパーパン)と同時組込する場合は、加湿器をそれぞれの取付説明書に示す所定位置に設置してください。
(所定以外の場所に設置すると風路を塞ぎ電気ヒータのサーモが誤作動する場合があります。)
- 2) 別売エリミネータと同時組込する時は、PAC-CM37EN(SUS)を使用し、PAC-CM36EN(ビニロック)は使用しないでください。
- 3) 取付完了後、再度取付状況、配線チェックを実施してから試運転をして異常がないか確かめてください。
- 4) 別に示す注意書「日本冷凍空調工業会標準規格」 JRA 4001に基くお願い」による簡易試験の実施及びラベルの貼付けを忘れず実施してください。
- 5) エアフィルターは常にきれいに使用してください。
洗浄は週1回、特にほこりの多いところでは数回洗浄してください。
- 6) 運転停止するときは、電気ヒータを切ってから約5分間送風運転を行い電気ヒータを冷却してください。
- 7) 品番④温度ヒューズは、電気ヒータ①の温度ヒューズが切れた時に使用します。

蒸気スプレー取付説明書

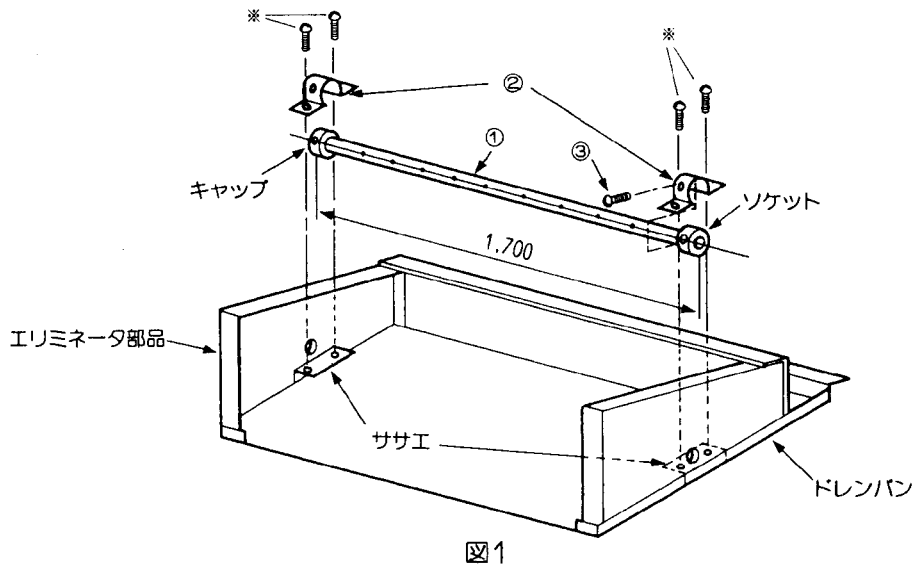
[P-J630~J1000DC
P-25・30DC]

1. 部品 この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	スプレー本体	1	ソケット 1B	③	ネジ	2	M6 SUS(予備1個)
②	サドル	2					

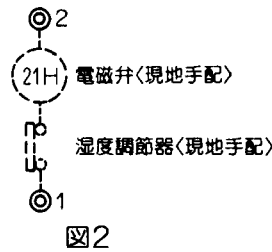
2. 取付要領 ●蒸気スプレーは別売エリミネータ部品(PAC-CM36・37EN)に取付け、本体内に組み込みます。

- 1) 図1に示すようにスプレー①をサドル②でササエに取付け、ネジ③でソケット部を固定して下さい。
(図中、ササエ及び※印ネジは、エリミネータ部品に含まれます。)
- 3) 噴霧方向は、冷却器に向かって吹き出すようにして下さい。
- 4) 配管方向は、右配管・左配管いずれも可能です。



3. 配線要領 ●電磁弁を取付ける場合。

図2の要領で配線してください。



お願い

1. ストップバルブ、電磁弁21H(または、塞止弁)は必ず設けて下さい。
最高使用蒸気圧力 0.04MPa(0.4kg/cm²)
2. 長期休止時には、蒸気スプレー内を点検し、汚れがひどい場合には分解し、掃除して下さい。

独立保護回路部品

[P - J 630 ~ J 1000 D C]
[P - 2 5 ・ 3 0 D C]

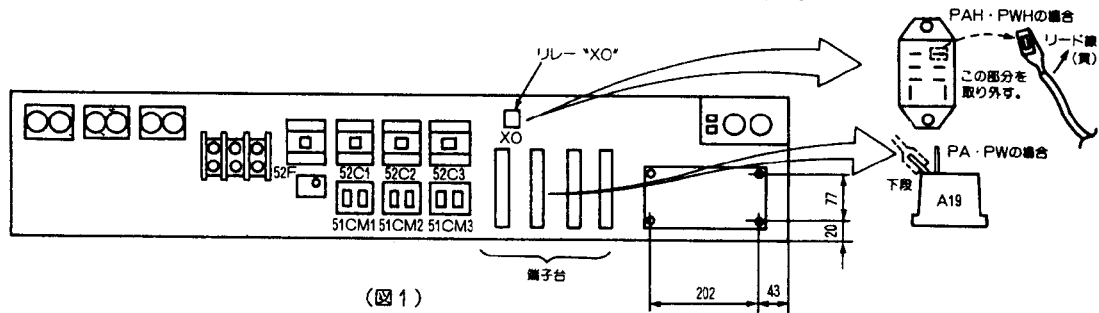
1. 部 品

この箱には、説明書のほか下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考
①	独立保護回路部品	1	
②	取付ネジPTT4X10	6	予備品2個含む
③	結 束 バ ン ド	3	

2. 取付要領

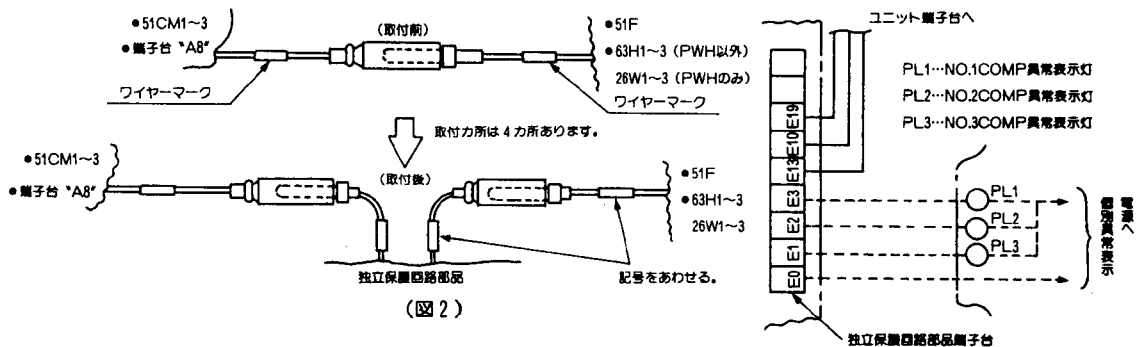
- 2.1 本体正面下の前パネル下（取付ネジ3本）を取り外してください。
- 2.2 制御箱右下の取付穴に取付ネジ4本を使用して取付けてください。（図1参照）
この時、制御箱内の配線を傷つけたり、はさみこまないように注意してください。



(図1)

3. 配線要領

- 3.1 本体内部端子台のA12-A13, A16-A10, A26-A19間の配線と、PAH・PWHの場合はリレー（XO）の端子番号2からリード線（黄色）を、PA, PWの場合は端子台A19の下段からリード線（白色）を取外して下さい。
- 3.2 独立保護回路部品①を接続する配線（20本）の内、ワイヤーマークA10～A16, A19, A26.1(A1)は本体内部端子台の記号に合わせて接続してください。次にPAH,PWHの場合は3-1項によりリード線を外したリレーXOの端子番号2にPA, PWの場合は本体内部端子台A26にワイヤーマークXO, A26のワイヤーマークが両方刻印しているリード線を接続し、外したリード線（黄色または白色）にワイヤーマークA17のリード線を接続してください。
※端子台の位置は機種により異なりますので注意してください。
- 3.3 次に残りの8本の配線をワイヤーマークの記号に合わせて（図2）の要領で取付けてください。
- 3.4 独立保護回路部品①の端子台E0, E1, E2, E3は異常表示灯の接続用端子台です。（図3参照）



(図3)

- 3.2 接続後結束バンド③にて適切な箇所を結束してください。

4. 注意事項

- 4.1 作業完了後、誤配線、ネジのユルミ等はないか再度確認の上、動作チェックを行ってください。
- 4.2 取付けた部品の板金エッジ部に配線が当たる箇所があればテープ等適切な方法でエッジ部分を覆って配線の保護をしてください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CM08VP

ベーパーパン取付説明書 [P-J630~J1000DC]

[P-25・30DC]

1. 部 品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	ベーパーパン	1	3φ200V8kW	⑤	グロメット	2	
②	コントロールボックス	1		⑥	ベーパーパン取付台	1	
③	給水チューブ	1	ポリウレタンチューブ 2m	⑦	コントロールボックス取付ネジ	4	4X10トラスタックピンネジ
④	給水継手	1	簡易ストレーナ付 PT1/2	⑧	仕様変更名板	1	

2. 取付要領

- 1) ベーパーパン取付台を図2のようにドレンパンのセットネジを利用して取付けてください。
- 2) ベーパーパンは前側のゴム足は直接ユニットのドレンパンに、また後側のゴム足はベーパーパン取付台に乗るように置き、オーバーブローホースを後部のドレンパンに導いてください。
- 3) コントロールボックスはユニットの側面パネルに図2のように穴をあけて取付けてください。
- 4) 仕様変更名板は製品名板の横に貼ってください。
- 5) 次に配線・配管の順で作業を行ない、最後に試運転をします。

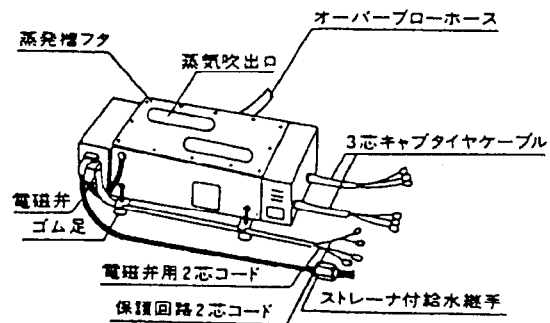
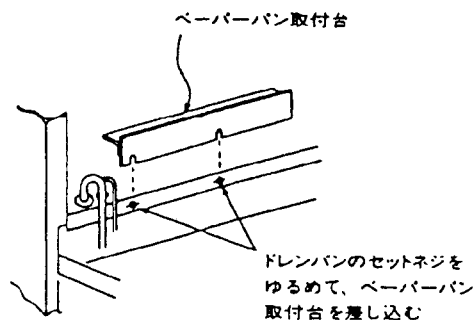
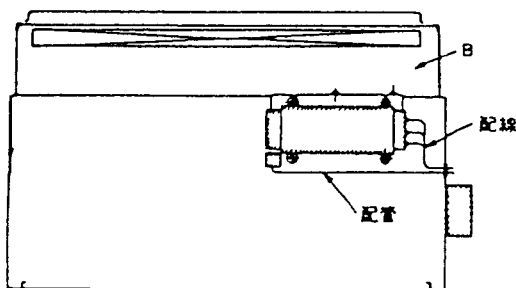
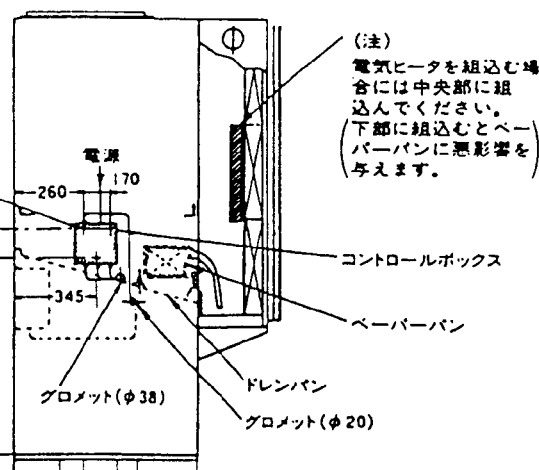
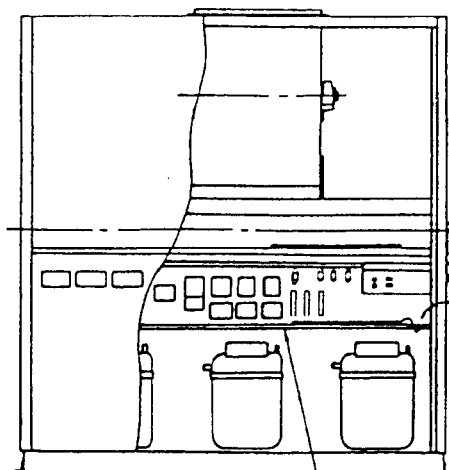


図1



断面 A-A

Bから見る



制御盤

図2

3. 配線要領

このペーパーパンはマグネットスイッチ等を納めたコントロールボックスがペーパーパンと分離していますので図3の要領で配線してください。

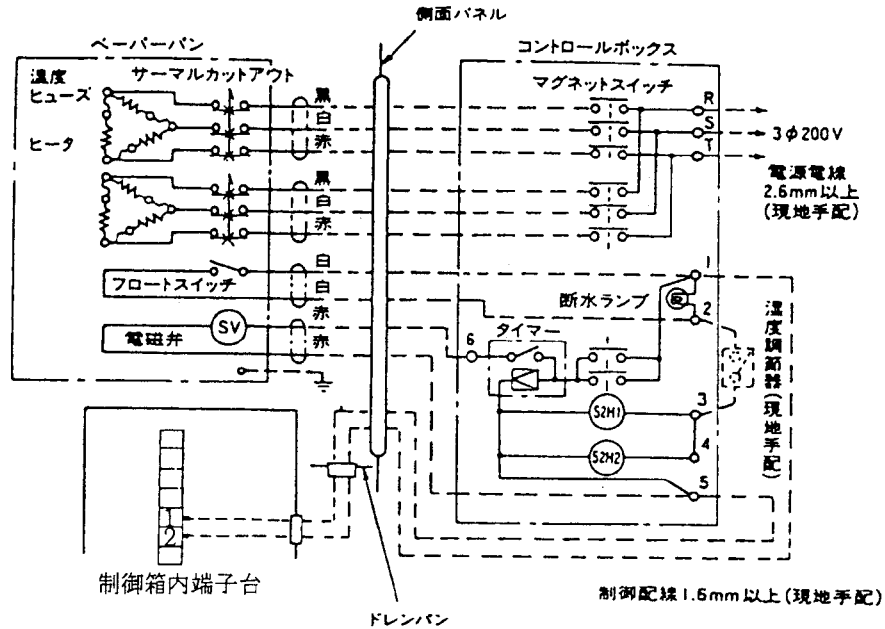


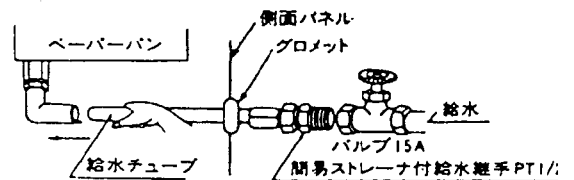
図3

4. 配管要領

- 1) 付属ストレーナ付ハーフユニオンを使用して図4のように配管してください。
- 2) 給水槽内のフロート押えスチロールをとりさってください。
- 3) 吸着ゴム足を浮かし、調整ネジをまわしてゴム足の高さを調整し図2のようにペーパーパンを水平になるようにしてください。

使用範囲 補給水温 0℃～80℃
水圧 0.03～0.5MPa
(0.3～5.0kg/cm²)

※水質が悪い(硬度100ppm以上)ところは軟水器を御使用下さい。



水道法で上水道との連結は禁止、受水槽など介して接続のこと。

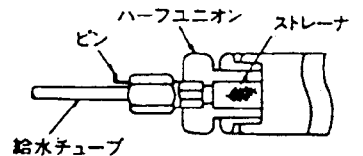
図4

5. 試運転要領

- 1) エアコンの操作スイッチを暖房にセットすると運転を開始します。
- 2) ペーパーパンの蒸気吹出口から蒸気が出るか確認してください。(5～10分くらいかかります)

6. 掃除・点検

- 1) このペーパーパンは加温運転が合計5時間に達すると、自動的にオーバーフローし、濃縮された水を排出させスケールの発生を抑制させております。しかしスケールの付着は完全にはありません。この為、1シーズン(1400時間位)に1回は蒸発槽のフタをあけてスケールを排出してください。
- 2) 長期にわたり使用しない場合は水を抜いてください。
- 3) 給水パイプから水が出なくなったり、水の出が悪くなった場合は図5の要領でストレーナを清掃してください。
- 4) ペーパーパンが作動しなくなった場合は、電装箱をあけて温度過昇防止装置(サーマルカットアウト)を調べてください。働いているとリセットボタン(青色)が少し飛び出しています。(2～3mm)、異常を確認し正常にした後にドライバーの先でリセットボタンを強く押し込みリセットしてください。(図6)



ピンを押しながら給水チューブをはずし、ハーフユニオンにはめ込まれているストレーナを取り出して水洗いします。

図5

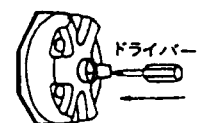


図6

KP-708APC, PS33367, W249386X01

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CM45PL

プレナム取付説明書

[P-J630~J1000DC
P-25・30DC]

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	ヨコイタL	1		⑩	サイドパネルR	1	
②	ヨコイタR	1		⑪	コテイイタL	1	
③	ダイ	1		⑫	コテイイタR	1	
④	ドウフウバン	1		⑬	ウシロパネル	1	
⑤	吹出グリル	2		⑭	ウエパネル	1	
⑥	テンイタF	1		⑮	タッピンネジ	70	5×10 (予備2)
⑦	テンイタB	1		⑯	タッピンネジ	25	4×10 (予備2)
⑧	ウシロイタ	1		⑰	天井パネル加工要領書	1	
⑨	サイドパネルL	1					

2. パネル加工要領

本体ユニットの天井パネルに取付穴がない場合がありますので、その場合は天井パネル加工要領書⑰に従って追加工してください。

3. 組立要領

- (1) 本体ユニットの天井パネルにヨコイタL①、R② (タッピンネジ⑮各3本) を断熱材貼付面を外側にして取付け、さらにダイ③ (タッピンネジ⑮6本、⑯2本) を取付けてください。それに吹出グリル [下側] ⑤ (タッピンネジ⑮4本) とドウフウバン④ (タッピンネジ⑮8本) をネジ止めしてください。(図1)
- (2) 吹出グリル [上側] ⑤ (タッピンネジ⑮4本) を取り付けてください。(図2)
- (3) テンイタF⑥ (タッピンネジ⑮2本、⑯3本) とウシロイタ⑧ (タッピンネジ⑮7本) を取り付けたあと、テンイタB⑦ (タッピンネジ⑮16本) をネジ止めしてください。(図2)
- (4) サイドパネルL⑨とコテイイタL⑪、サイドパネルR⑩とコテイイタR⑫をネジ止めしてください。(タッピンネジ⑮各3本) (図3)
- (5) (4) で組み立てたサイドパネルおよびウシロパネル⑬を本体ユニットにネジ止めしてください。(ネジは本体のものを流用し、天井パネルと共締めする。)(図3)
このとき、サイドパネル⑨⑩とウシロパネル⑬ (タッピンネジ⑮6本) およびコテイイタ⑪⑫と吹出グリル⑤、ダイ③ (タッピンネジ⑮10本) もネジ止めしてください。(図4)
- (6) ウエパネル⑭をネジ止め (タッピンネジ⑮11本) してください。(図3)

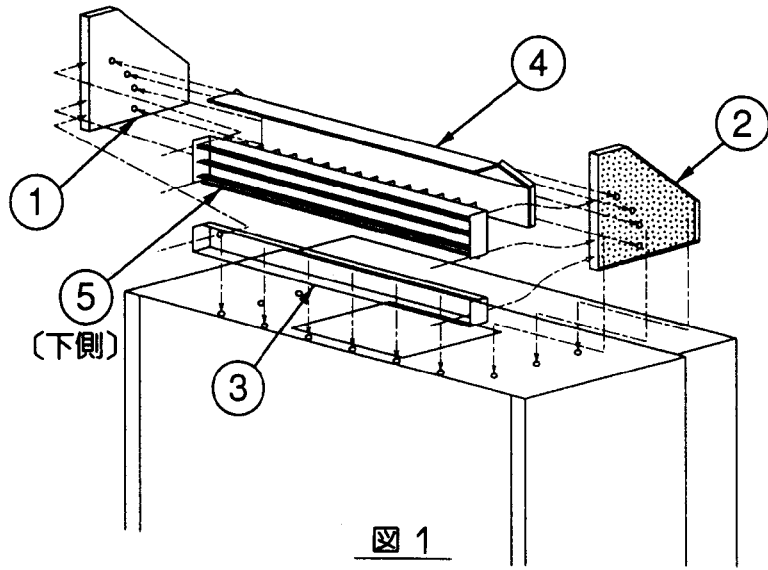


図 1

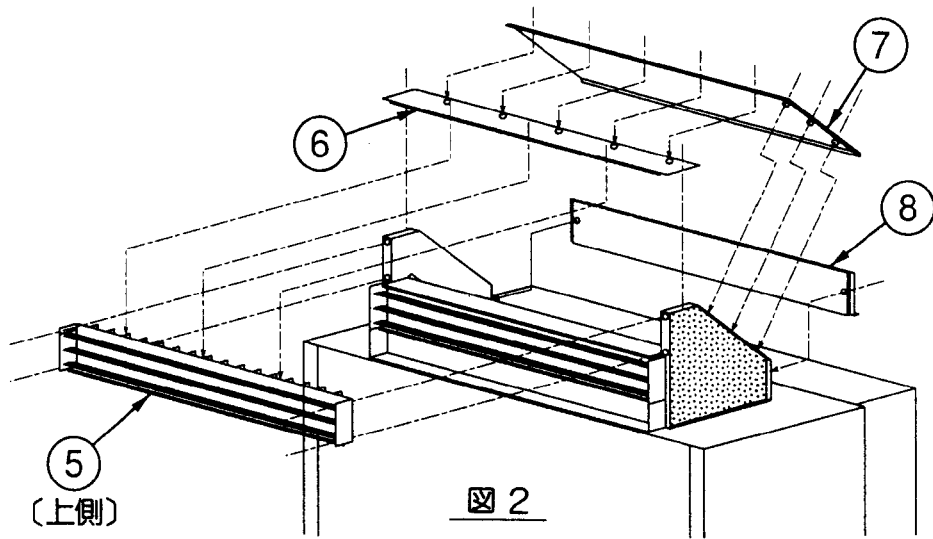


図 2

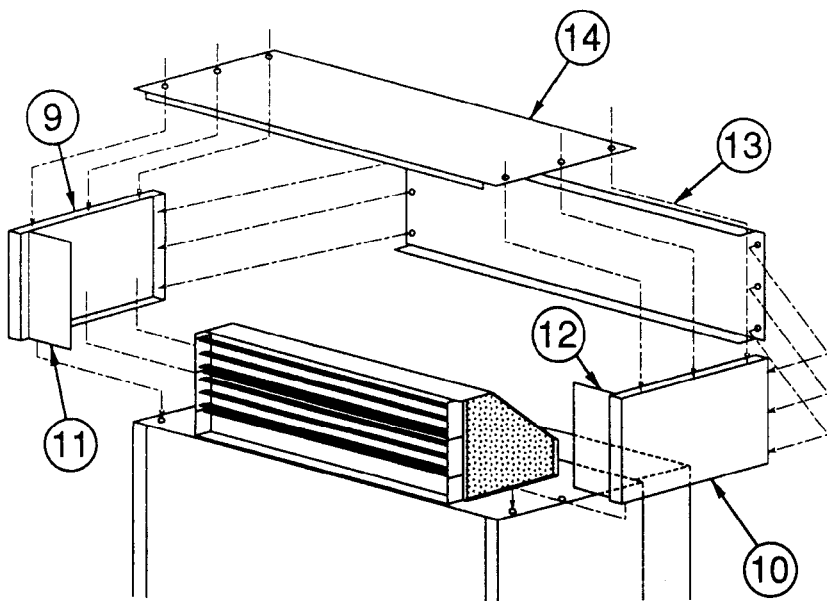


図 3

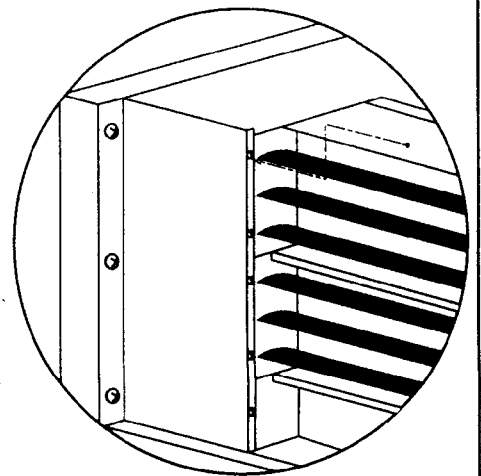


図 4

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CM36EN(ピニロック)

エリミネータ部品 取付説明書

P-J630~J1000DC
P-2530DC

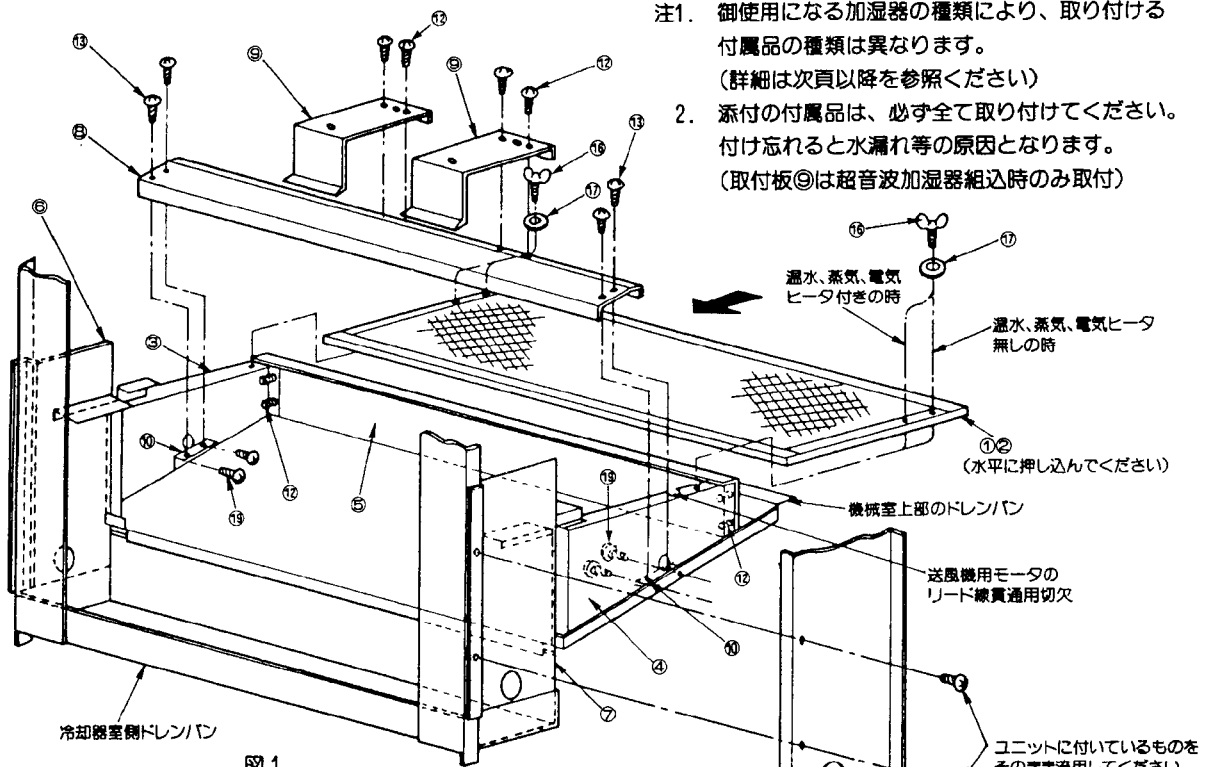
1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	エリミネータ(ピニロック)	1	PAC-CM36EN	⑪	取付ネジ(M6×35)	2	高圧スプレー加湿器用
②	エリミネータ(ステンレス)	1	PAC-CM37EN	⑫	取付ネジ(M4×10)	14	予備2本
③	シャハイ板(右)	1		⑬	取付ネジ(M5×10)	4	
④	シャハイ板(左)	1		⑭	ゴムブッシュ(大)	1	
⑤	シャハイ板(前)	1		⑮	ゴムブッシュ(小)	1	
⑥	フサギ板(右)	1		⑯	チョウボルト	2	
⑦	フサギ板(左)	1		⑰	座金	2	
⑧	取付板	1	スプレー加湿器用	⑱	スペーサ M16ナット	2	
⑨	取付板	2	超音波加湿器用				
⑩	支金具	2					

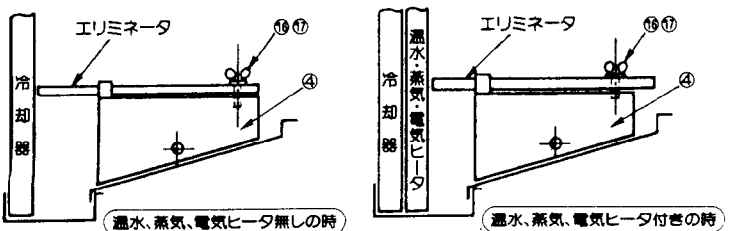
2. エリミネータ及び付属品取付要領 (本図は、PAC-CM37ENを示します。

PAC-CM36ENには、取付板⑧は付属してありません。)

- 注1. 御使用になる加湿器の種類により、取り付ける付属品の種類は異なります。
(詳細は次頁以降を参照ください)
2. 添付の付属品は、必ず全て取り付けてください。
付け忘れると水漏れ等の原因となります。
(取付板⑧は超音波加湿器組込時のみ取付)



エリミネータ取付位置(側面図)

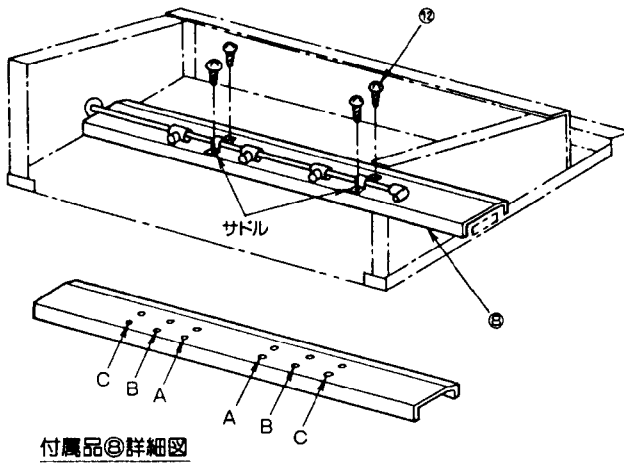


冷却器室側サイドパネル
(一旦、両側のこのサイドパネルを外し、左右の)
(蓋ぎ板⑤のと同様の様に共締めしてください。)
*送風サイドパネルは図示を省略してあります。

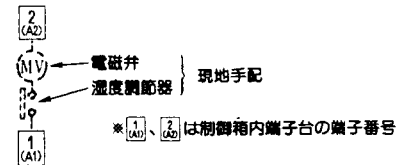


3. 各種加湿器取付要領

3-1) 水スプレー(別売形名 PAC-CL25WS)

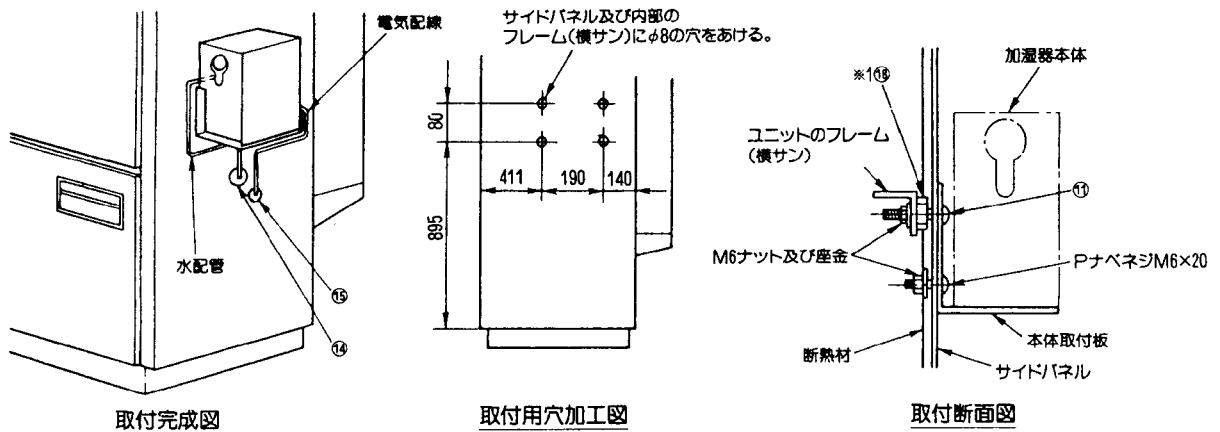


- 左図に示す様に、付属品⑥にスプレーセットを、サドル(水スプレーセットの付属品)とネジ⑫にて取り付けます。
- その他の付属品の取り付けは、図1に示す取付要領と同じです。
- スプレーのノズルは、その噴霧方向が必ず水平となる様に、またユニットのほぼ中央に位置する様に調節してください。
- サドルの固定位置は、ノズル3つの時はAの穴、ノズル4つの時はBの穴、ノズル5つの時はCの穴を利用してください。(付属品⑥詳細図参照)
- 配管方向は右配管、左配管いずれも可能です。
- 電気配線は下図参照ください。



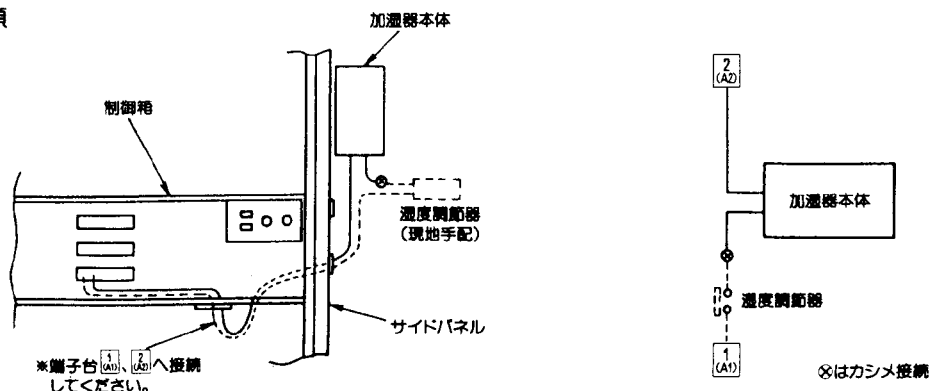
3-2) 高圧スプレー(ウェットマスター製 WM-25~75SVN、SVK)

I) 加湿器本体取付要領(*スプレーノズル部は上記「水スプレー」と同様に取り付けてください。)



- 配管方向(本体取付方向)は左、右いずれにも可能です。本図は、右配管時を示しますが左配管時はこれと左右対称になる様に取り付けてください。
- 加湿器本体の取り付けは、スプレーノズル及びエリミネータ関連部品を取り付ける前に行なってください。
- 「取付断面図」の※1スパーサが無いとパネルがへこみます。必ず、フレームとパネルの間に挿入しておいてください。

II) 電気配線要領



3-3)超音波加湿器(ユーキャン製 FT-P240/300)

I)加湿器本体取付要領(取り付けは下記の要領で行ってください。)

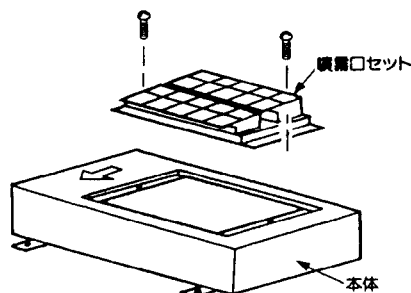


図 2

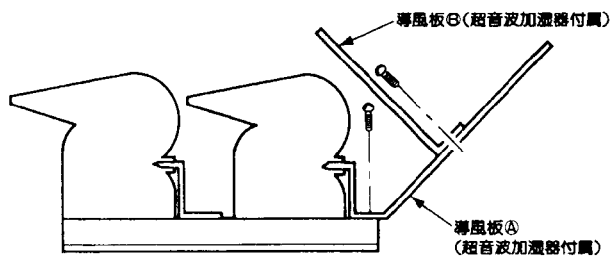
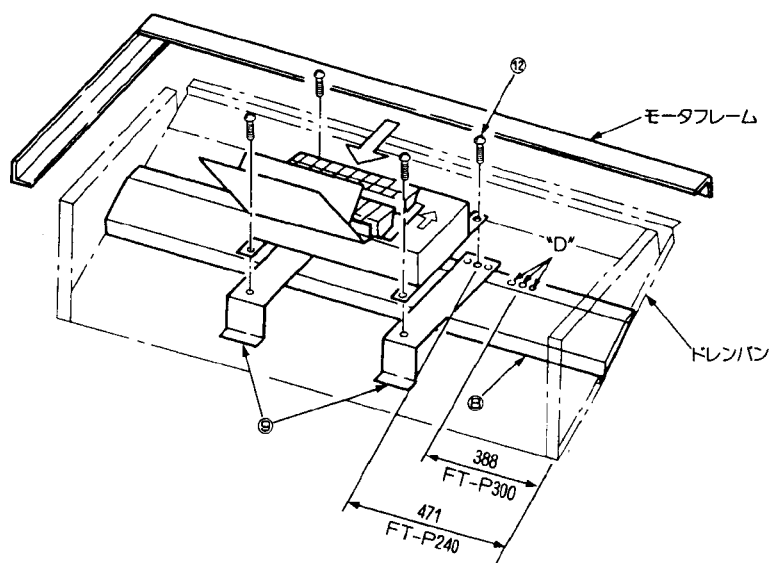


図 3

- 超音波加湿器を本体に取り付ける前に、まず加湿器本体から噴霧口セットを取り外してください。(図 2)
- 取り外した噴霧口セットに導風板Aを取り付け、その後導風板Bを取り付けてください。(図 3)
- ユニットに組み込む際はドレンパン上に固定した付属品③、④にネジ⑤にて本体を先に取り付け、その後導風板を追加した噴霧口セットを元通りに取り付けてください。

下図はFT-P240の取り付けを示します。FT-P300の取り付け時は外側の穴(左右)“D”に付属品③を取り付け加湿器本体を取り付けてください。



II)トランス箱取付要領

- トランス箱は、左右どちらでも取付可能です。図 4 は、左取付時を示していますが、右取付時は左と左右対称になるよう取り付けてください。
- トランス箱取付要領は、上部 2ヶ所は表面の高圧スプレーと同様、サイドパネルとフレーム(横サン)へ取り付けてください。サイドパネル間にスペーサ(M16ナット)を忘れないよう注意願います。
- 下部 3ヶ所は、超音波加湿器付属の(5×10)タッピンネジにて取り付けてください。

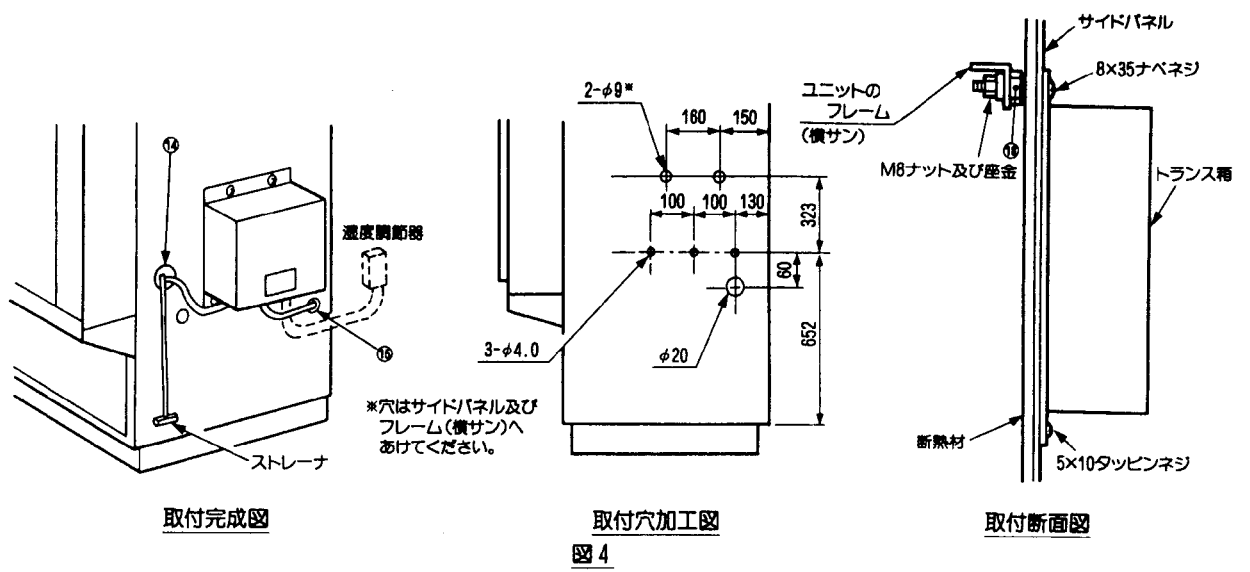
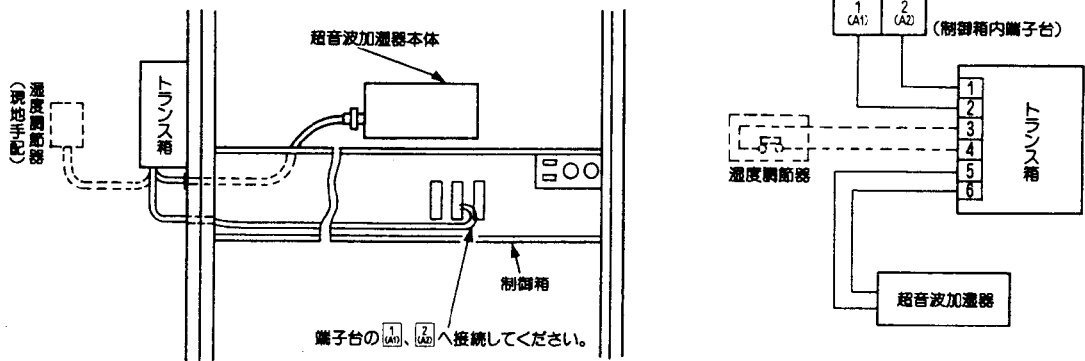
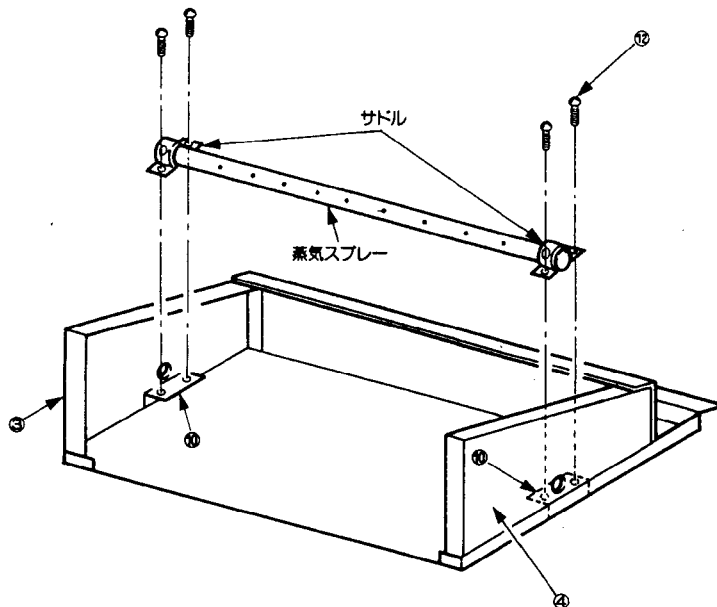


図 4

III) 電気配線要領



3-4) 蒸気スプレー (別売形名 PAC-CL35SS)



- 左図に示す様に、スプレーをサドル (蒸気スプレーセットに付属) とネジ②にて付属品③、④へ固定してください。
- 噴霧方向は、水スプレーおよび高圧スプレー時と同じく、冷却器に向かって吹き出すようにしてください。
- その他の付属品の取り付けは、表面の図1に示す取付要領と同じです。
- 配管方向は右配管、左配管いずれも可能です。
- 電気配線は、表面の(3-1)「水スプレー」と同様です。

K制御キット取付説明書

[P - J 630 ~ J 1000 D C
P - 2 5 ・ 3 0 D C]

P-5~20については別の説明書をご覧ください。

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	K 制 御 本 体	1		⑤	コネクタミタテ(3Pシロ)	1	P - P C 用
②	コネクタミタテ (シロ)	1		⑥	室温検知サーモ	1	シールド線仕様
③	コネクタミタテ (アカ)	1		⑦	ゴムフッシュ	2	大, 小 各 1 個
④	コネクタミタテ (アオ)	1		⑧	結束バンド	4	
				⑨	取付ネジPTT4×10	4	予 備 2
				⑩	接続要領書	1	
				⑪	リモコン操作説明書	1	

手元リモコンが必要な場合は、下記の区分にて手配してください。

尚、手配数については組むシステムによりますので接続要領書⑩を参照して決めてください。

ダクトタイプ(P-DC) : CMR-503K-B

2. 部品の使用区分

別売部品を共用化しており、上記部品のうちコネクタミタテ②, ③, ④, ⑤は機種により下記のように選択して使用します。(指定部品以外は不要部品となります。)

使用部品番号

機 種 名	PAH-25・30・J630・J800 PWH-30・J1000	PA-25・30・J630・J800 PW-25・30・J800・J1000
品 番	③	④

3. 取付要領

3.1 前パネル下(取付ネジ3個)を取外してください。

3.2 制御箱の右下の角穴にK制御キット①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ⑨を2個使用して取付けてください。(図1参照)

この時、制御箱内の配線を傷つけたり、はさみ込まないように注意してください。

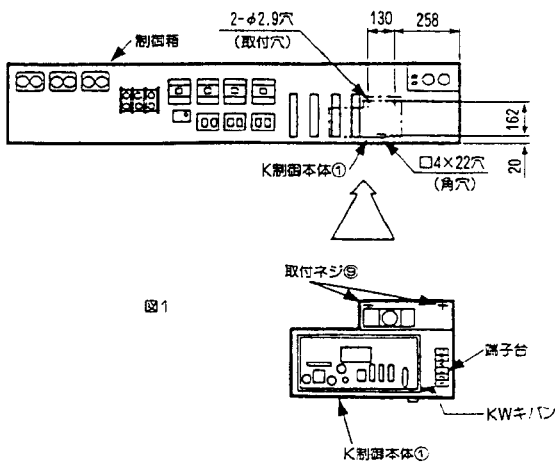


図1

3.3 次に室温検知サーモ⑥を取付けます。(K制御キットのコネクタ端子CN20へ室温検知サーモの端子台「E」に接続し、端子台「E」に接続した端子はK制御キットの端子台「E」に接続し、台機のスナップバンドにて、後述のリモサーモ部分はドレンパンの配線穴より上にて固定します。(図示の位置3箇所にて)

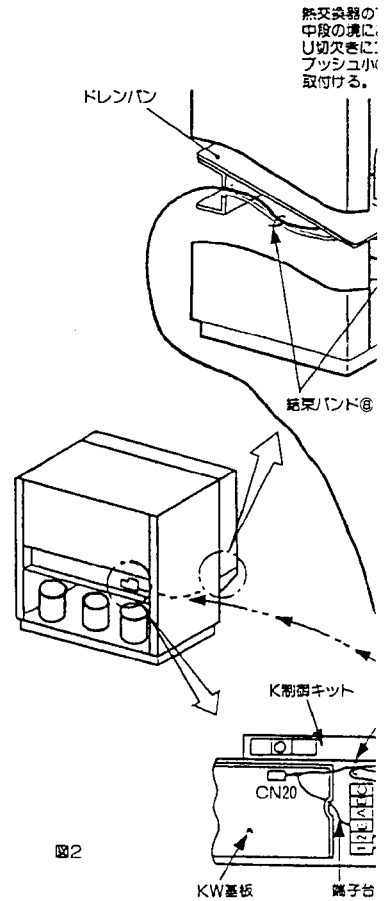
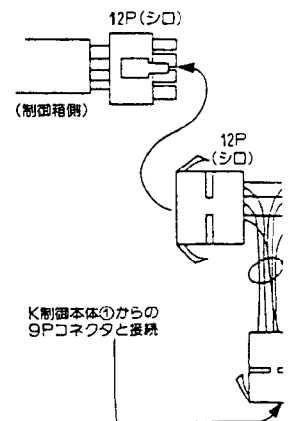


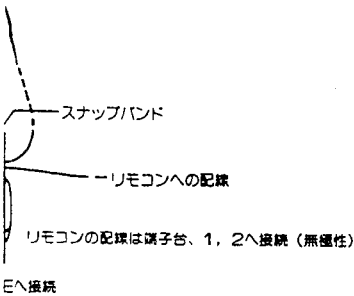
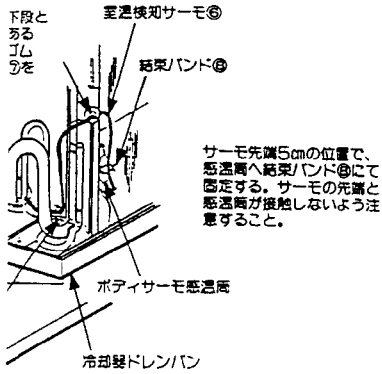
図2

3.4 制御箱と操作部を接続しているコネクタミタテ③, ④を挿入接続し、次に接続後適切な箇所を結束バンド⑧にて結



②参照)

室温検知サーモ⑥のコネクタを差し込みアース端
ます。コネクタ一部に力が加わらないよう端子
コンの配線と共にしっかりと固定します。
部に通しポティサーモの感温筒に結束バンド④
が固定してください。



(12P)を外し、この間に2項により選定したコ
ンK制御本体①からの9Pコネクタとも接続しま
束してください。

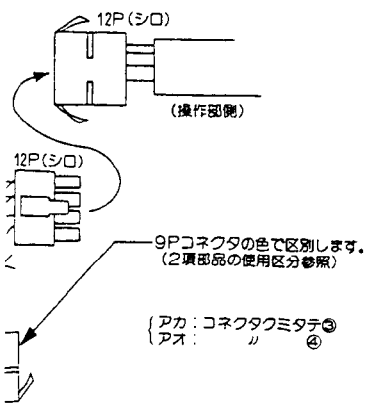
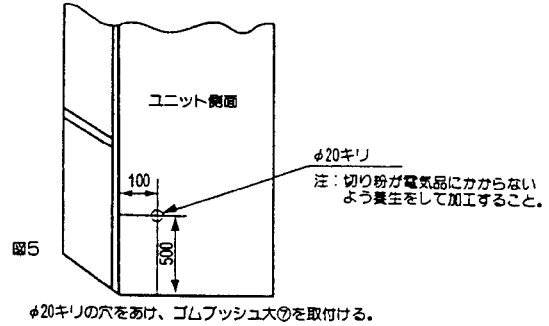


図3

3.6 リモコンとの接続

- (1) K制御本体①の取付後リモコンへの配線を接続します。
- (2) 使用電線の種類やシステム配線等詳細は別添付の接続要領書を参照してください。
- (3) K制御本体①の端子台1、2へ接続し、3.3項の室温検知サーモ⑥の配線と共に端子台横のスナップバンドにてしっかりと固定します。(図2参照)
- (4) 電気ノイズを受けないようできるだけ電源配線から離して配線します。本体からの取出し場所によりどうしても電源線と接触するような場合は、図5に示すようにリモコン配線取出穴をあけ付属のゴムブッシュ⑦を取付けて配線します。

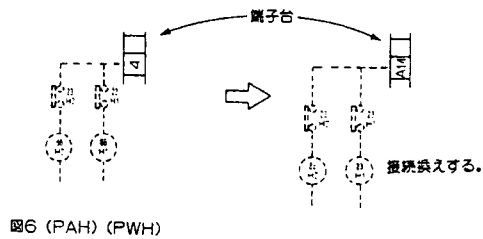


- (5) ユニット外部でも、リモコン配線が電源配線の電気ノイズを受けないよう5mm以上離してください。
- (6) リモコン配線は2芯線を使用してください。系統の異なるリモコン配線を多芯の同一ケーブル内で配線しますと伝送信号の送受信が正常にできなくなり誤動作の原因になりますので、絶対に行わないでください。

4. 別売ヒータを組み込んでいる場合の処置

ヒートポンプ方式(PAH, PWH)で別売の電気ヒータを組み込む場合、機種により次のような処理をしてください。

- ①別売電気ヒータ制御回路部品に付属の温度調節器によりヒータのON-OFFを行う場合は別売電気ヒータ制御回路部品の取付説明書通りに組み込んでください。
- ②K制御によるヒータの制御(設定温度-2°CにてOFF、-3°CにてON)を併用して行う場合は図6(PAH)、(PWH)により接続変更をしてください。



5. 注意事項

- 5.1 作業完了後ネジのユルミ、コネクタの差込み不良等ないか再度確認してください。
- 5.2 別添付の接続要領書、リモコン操作説明書を参照の上試運転を行い、充分動作確認をしてください。

簡易形遠方操作セット取付説明書 [P-J630~J1000DC P-2530DC]

P-5~20について
は別の説明書
をご覧ください。

1. 部 品

この箱には説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	簡易形遠方操作セット	1		③	結 束 バ ン ド	2	
②	取付ネジPTT4×10	4	予備2				

2. 取付要領

2.1 前パネル下(取付ネジ3本)を取外してください。

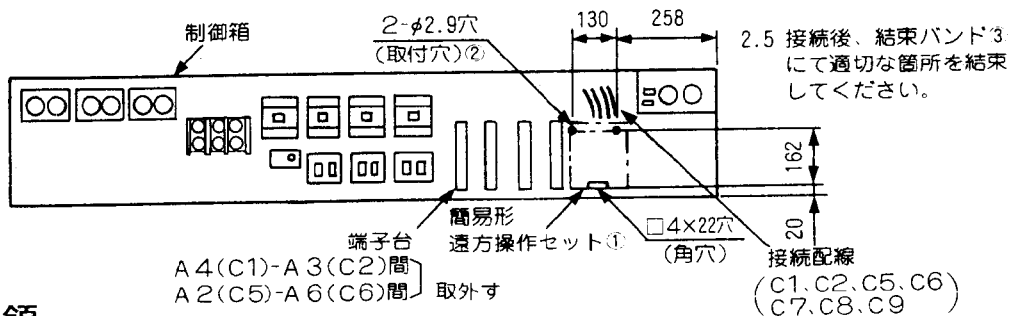
2.2 制御箱の右下の角穴に簡易形遠方操作セット①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ②により取付けてください。(下図参照)

この時、制御箱内の配線を傷つけたりはさみこまないよう注意してください。

※2.3 制御箱内の端子台の接続線のうちA4(C1)-A3(C2)間、A2(C5)-A6(C6)間の短絡線を外してください。

※2.4 簡易形遠方操作セット①を接続する配線(7本)の線番C1、C2、C5、C6、C7、C8、C9と端子台の()内の記号を合わせて接続(差し込む)してください。

※2.3、2.4項の端子台の位置は機種により異なりますので注意してください。

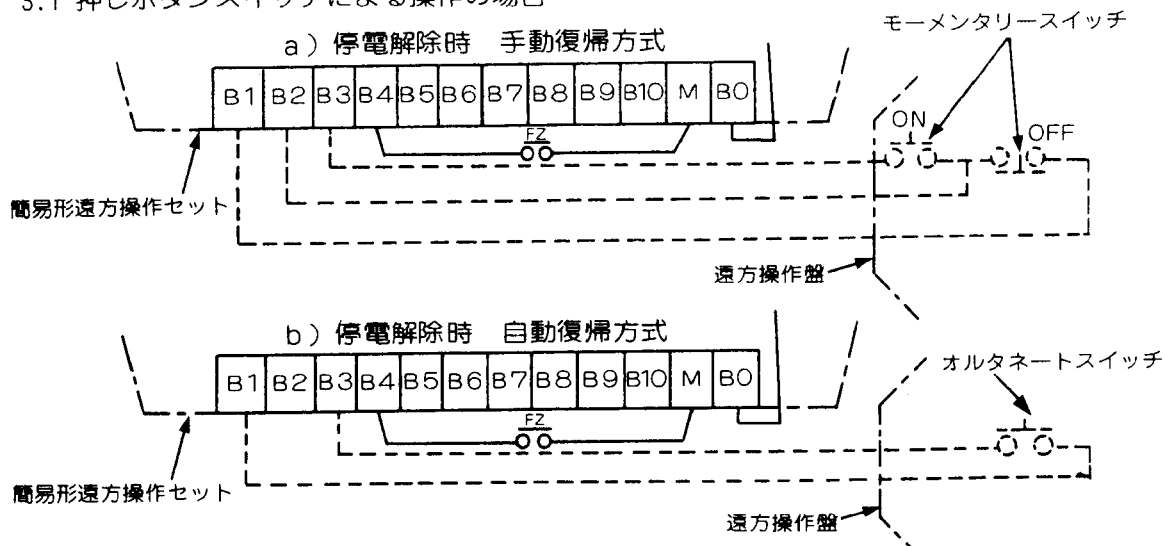


3. 配線要領

簡易形遠方操作セットと遠方操作盤との間を下記要領にて配線してください。

現地配線は破線で示します。IVφ1.6(最大こう長100m)以上にて配線してください。

3.1 押しボタンスイッチによる操作の場合

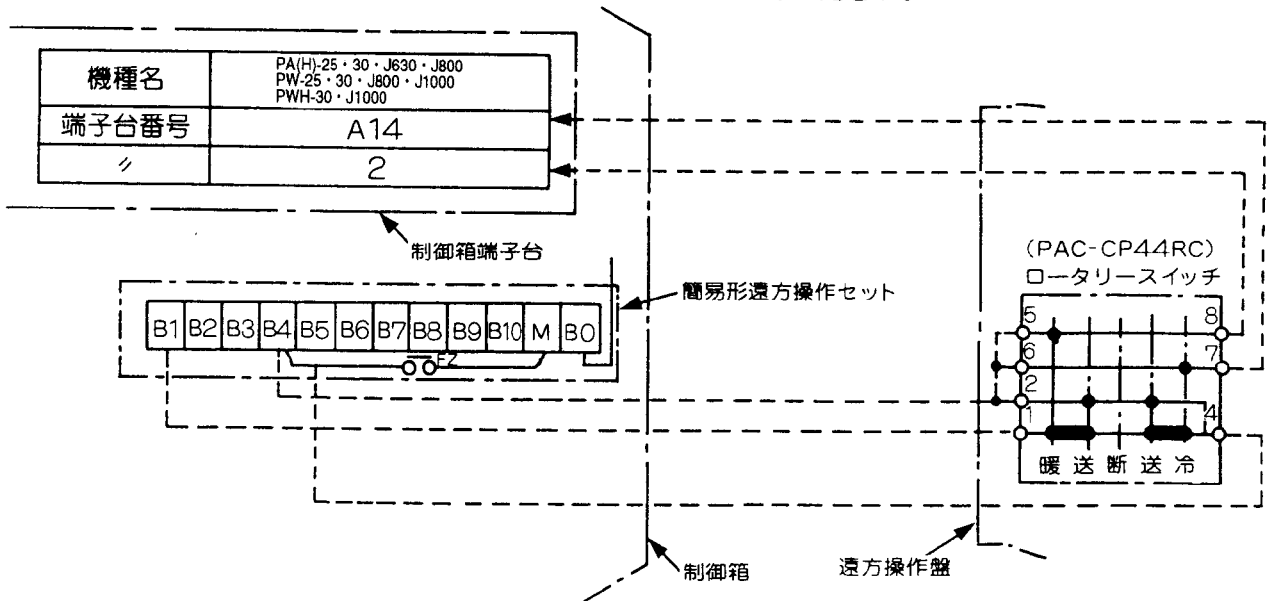


2.4
内、
タブ
シテ

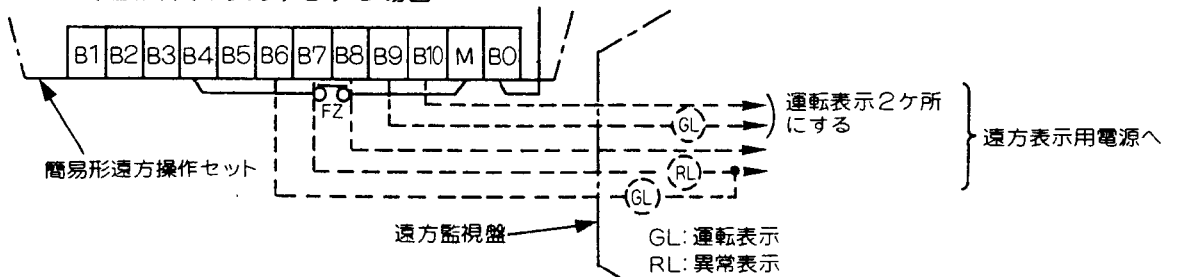
3.2 ロータリースイッチによる操作の場合

下図に示すように接続してください。

ロータリースイッチは別売部品PAC-CP44RCを利用してください。

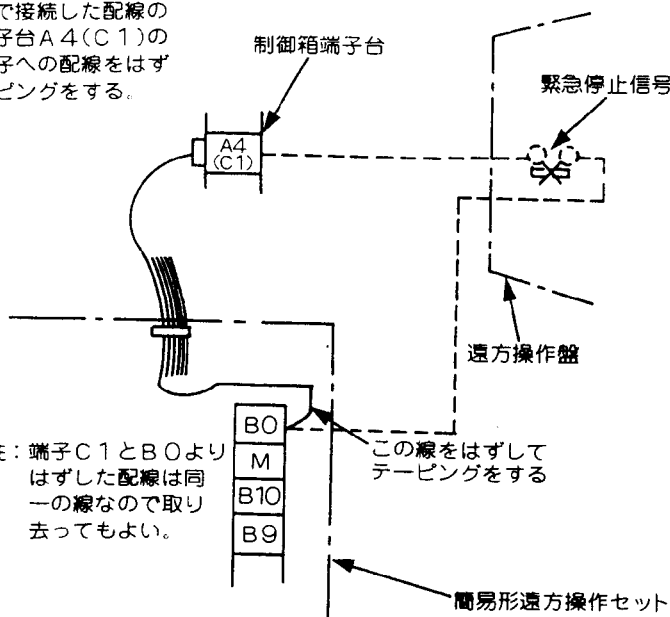


3.3 遠方表示(運転, 異常表示)をする場合

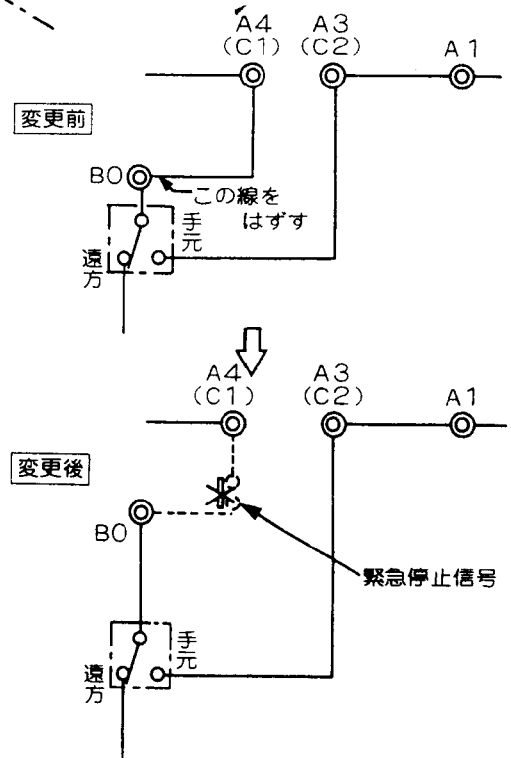


3.4 緊急停止回路を設ける場合

頂で接続した配線の端子台A4(C1)の端子への配線ははず一ピングをする。



注: 端子C1とB0よりはずした配線は同一の線なので取り去ってもよい。



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP44RC

リモートコントローラ取付説明書

[P-J630~J1000DC
P-25・30DC]

P-5~20については別の説明書をご覧ください。

1. 部 品

この箱には、説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数
①	リモートコントローラ	1
②	閉端接続子	5

このリモートコントローラは、簡易形遠方操作セット(PAC-CQ41RC)と組み合わせて使用します。

2. 取付要領

2.1 取付にあたっては1個用スイッチボックス(カバー付 JISC8336)が必要です。(図1参照)

2.2 リモートコントローラは、日常の操作がしやすい所に、取付けてください。

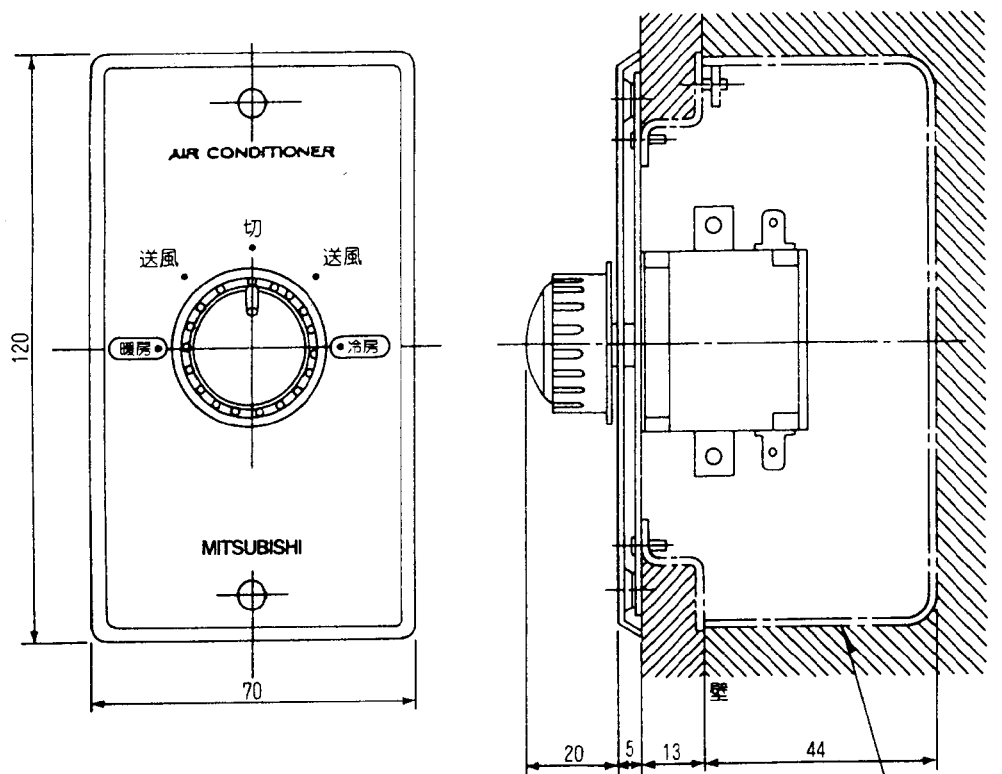


図1

1コ用 スイッチボックス
(カバー付)
JIS C 8336
(現地手配)

簡易形
(PAC-

3. 配線要領

3.1 簡易遠方操作セットを組み込んだパッケージエアコン本体とリモートコントローラの間を図2のように接続してください。

破線は現地配線を示します。IV ϕ 1.6(最大こう長 100m) 以上の接続線にて配線してください。

リモートコントローラ側は、付属の閉端接続子により接続してください。

注：①機種により接続する端子番号が異なるので注意してください。

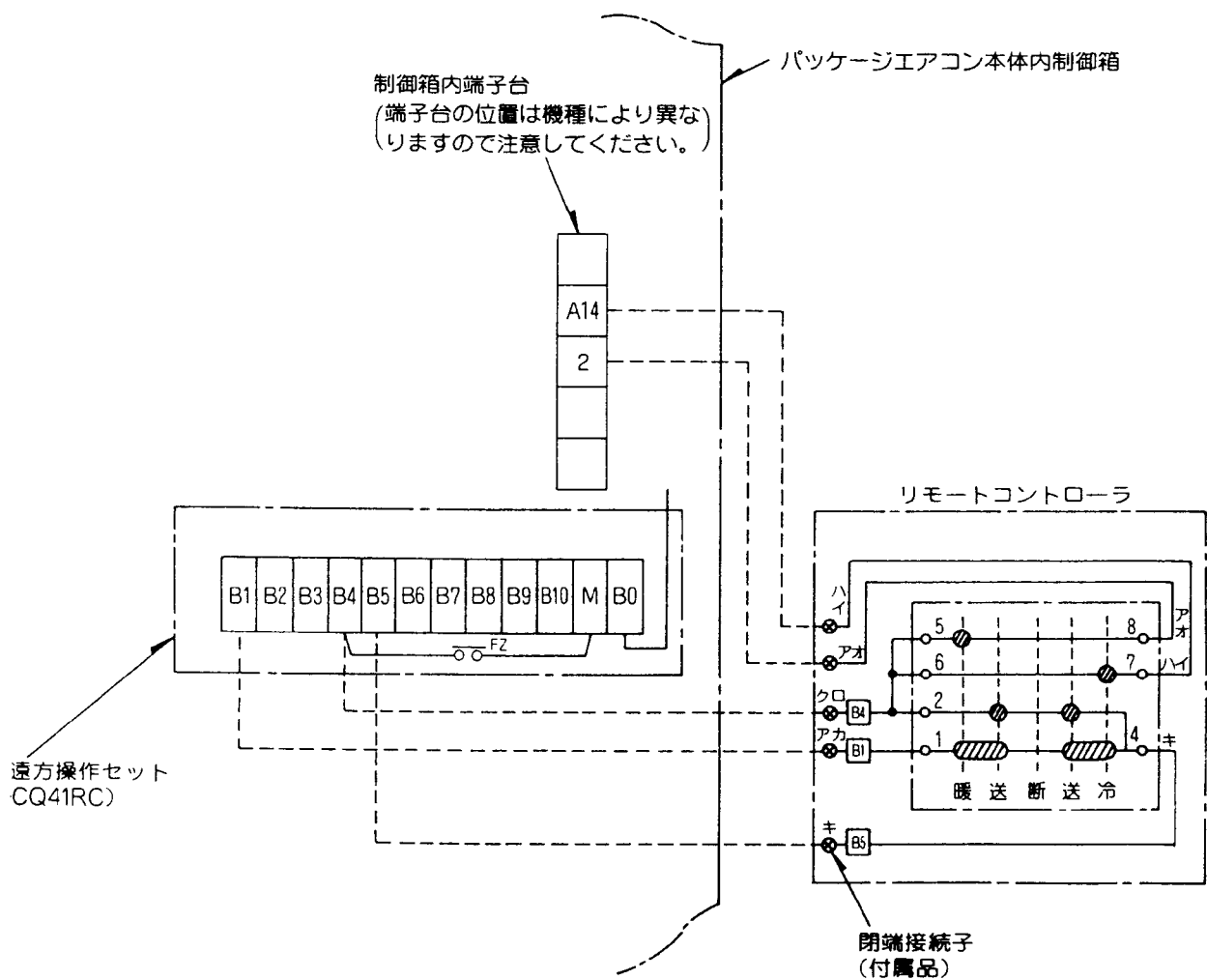


図2

4. 作業完了後誤配線はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。

特に機種により基板上的接続端子番号が異なりますので機種名と端子番号を必ず点検してください。

遠方操作箱取付説明書 [P-J630~J1000DC]

P-25・30DC
P-5~20については別の説明書をご覧ください。

3. 配線要領

現地配線は破線で示
同等以上にて配線して

3.1 緊急時空調機停止回

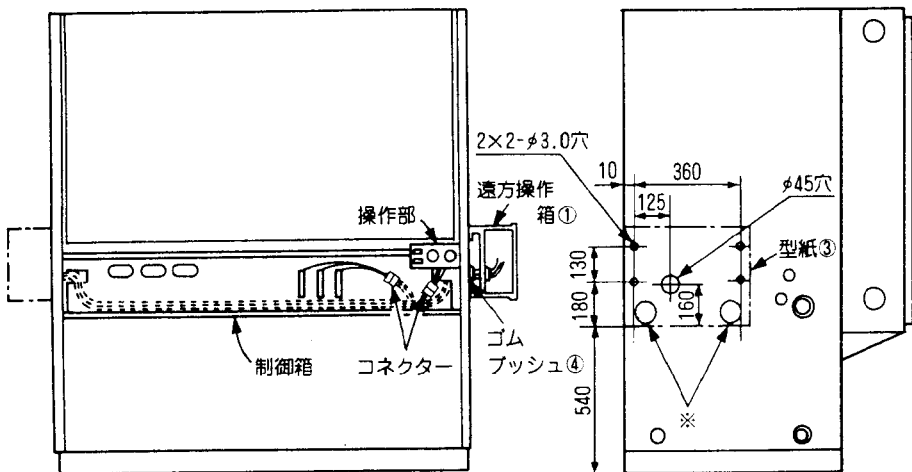
1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	遠方操作箱	1		④	ゴムブッシュ	1	
②	取付ネジPTT4×10	6	予備2個	⑤	つなぎ線	2	P-5~20用
③	型 紙	1					

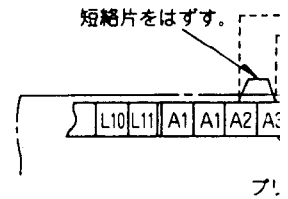
2. 取付要領

- 2.1 空調機側面パネルに配管穴電源穴等をさけて、遠方操作箱取付用穴をあけてください。(図1参照、型紙をご利用ください。)
- 2.2 側面パネルにあけたφ45の穴にゴムブッシュ④をつけ、取付ネジ②4本で遠方操作箱を取付けてください。(左右どちらかあいている方)
- 2.3 遠方操作箱の線を側面パネルにあけた穴から制御箱に通し、操作部と制御箱との接続コネクタを外し遠方操作箱からのコネクタにそれぞれ接続してください。(左右同様)
尚右側に取付けた場合線がたまってくるので、制御箱内で束ねておいてください。
- 2.4 遠方操作箱への配線をしてください。

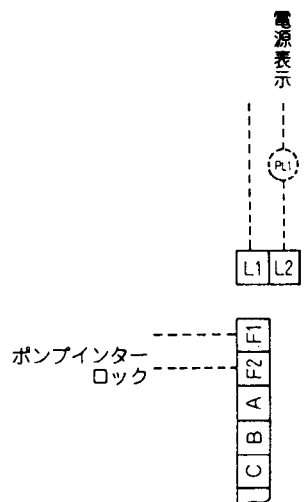


※この穴(φ52)はP-5~20に取付ける場合の目安にする穴なので、P-25・30に取付ける場合は関係ありません。

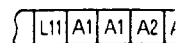
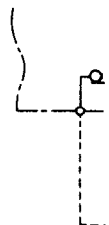
図1



3.2 遠方表示回路 (無電圧接点)



3.3 遠方操作回路 (押釘)



※他の遠方操
技術情報を

します。IVφ1.6(最大こう長 100m) ください。

路

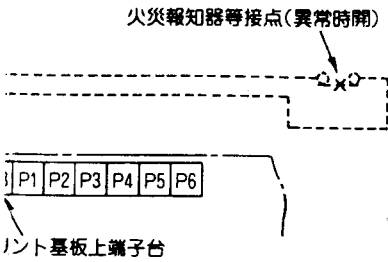
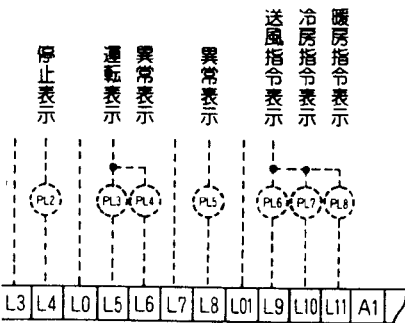


図2



PL1~PL8: 表示灯

図3

スイッチ5点方式の場合を示す。)

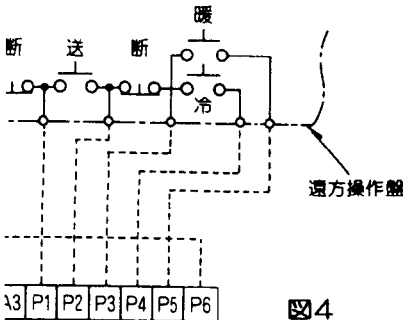


図4

作方式については参照してください。

4. 遠方一手元切換スイッチを遠方操作箱外より操作できるようにする場合

4.1 遠方操作箱内プリント基板上の短絡線S2、S5を外します。

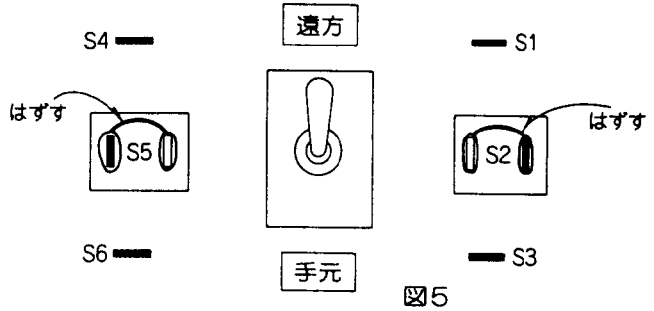


図5

4.2 別の遠方一手元切換スイッチを準備します。(2極双投)

4.3 遠方操作箱の側面にあるφ12.5ノックアウト穴を利用するか又は取り付けたい場所にスイッチを取り付けます。

4.4 下図のように接続します。

図7は、遠方の場合を示します。

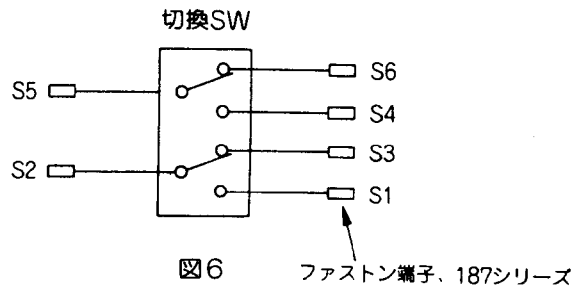


図6

S1~S6のファストン端子は、4.1項
 ■で示すファストンタブへ挿入します。
 S2、S5端子は2つずつあるので、図
 6により必ず■側へ接続します。

5. 注意事項

5.1 作業完了後誤配線がないか確認後、試運転をして動作確認をしてください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP82CA

進相コンデンサ取付説明書

[P-J630~J100DC]
[P-25・30DC]

1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに表1に示す部品が入っていますのでご確認ください。

表1

品番	品 名	仕 様	個 数	品番	品 名	仕 様	個 数
1	アタッチメント		1	7	取付ネジ	M4×10	8(予備2個)
2	リードセン	IV5.5mm(M5・M4)	4	8	取付ネジ	M4×8	10(予備2個)
3	リードセン	IV5.5mm(M5・M6)	4	9	取付ネジ	M4×16	4(予備2個)
4	リードセン	IV5.5mm(M4・M4)	1	10	取付ネジ	PTTネジ 4×10	10(予備2個)
5	圧着端子	JST14-5	4(予備1個)	11	取付ネジ	PTTネジ 5×10	5(予備2個)
6	絶縁キャップ	TC-V-141	3	12	スペーサ		2

■別売進相コンデンサ部品表(別売進相コンデンサには表2に示す部品が入っています。)

表2

品番	品 名	仕 様	PAC-CP28CA	PAC-CP30CA	PAC-CP31CA	PAC-CP34CA	PAC-CA35CA	PAC-CP36CA	PAC-CP37CA
			10μF	15μF	20μF	50μF	75μF	100μF	150μF
13	リード線 (赤、白、青)	IV2.0mm 両端圧着端子付	1	1	1	1			
		IV3.5mm 両端圧着端子付					1		
		IV5.5mm 片側圧着端子付(M4)						1	
		IV5.5mm 片側圧着端子付(M6)							1
14	アース線							1	
15	圧着端子	JSTV-5.5-5					3		
		JST 5.5-5						3	3
16	絶縁キャップ	TC-V-81						3	3
17	閉端接続子	JST 5.5SD				3			
18	取付金具	締付ネジ・ナット付							1

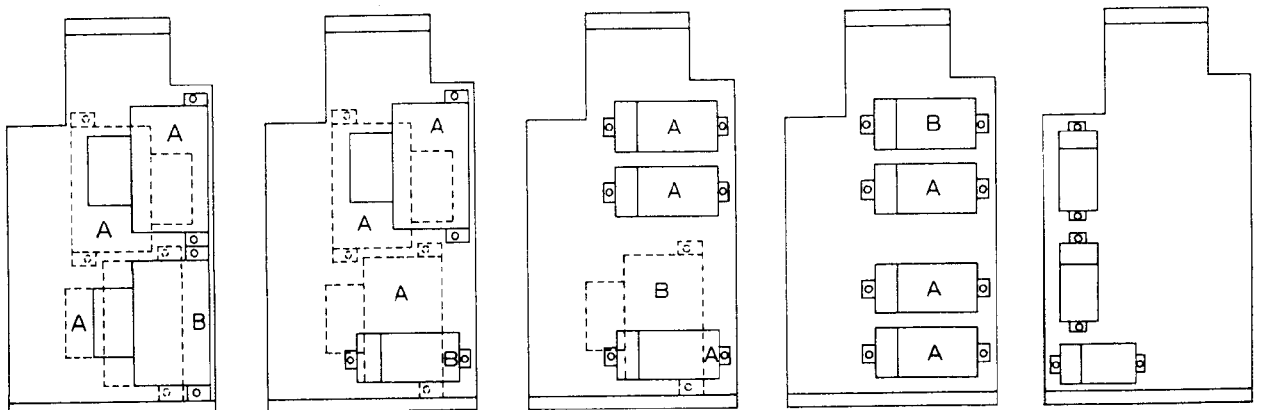
注：PAC-CP34CA・CP35CA・CP36CA・CP37CAの場合 リード線⑬・圧着端子⑮・絶縁キャップ⑯閉端接続子⑰は不要となります。

2. 取付要領

2-1 進相コンデンサ取付

(1)各容量の進相コンデンサはアタッチメント①の図1に示す位置に取付けてください。

(2)図1に示す位置以外の場所に取り付けた場合、進相コンデンサが配管等に接触する恐れがありますのでご注意ください。



A : 圧縮機用(150μF) A : 圧縮機用(150μF) A : 圧縮機用(75・100μF) A : 圧縮機用(75・100μF) 室外ファン用(10~20μF)
B : 室内ファン用(150μF) B : 室内ファン用(75・100μF) B : 室内ファン用(150μF) B : 室内ファン用(50~100μF)

図1

●図中 □ は表面 □ は裏面取付けを示します。

●取付けネジは、10~20μF用...⑦・50~100μF用...⑩・150μF用...⑪を使用してください。

●150μFの進相コンデンサを取付ける場合取付金具⑱を取付け、アース線⑭を進相コンデンサアース端子と取付ネジ間に接続してください。(図3参照)

- PWH-30の場合 圧縮機用進相コンデンサの取付け位置が異なります(裏面上部の150 μ Fのみ)ので図2に示す位置に図3の要領で取付けてください。

2-2 アタッチメント取付

- (1)本体前パネル下(取付ネジ3本)を取外してください。
- (2)2-1項によりアタッチメント①に進相コンデンサを取付けた後図4に示す位置にネジ止め(取付ネジ③3本)してください。

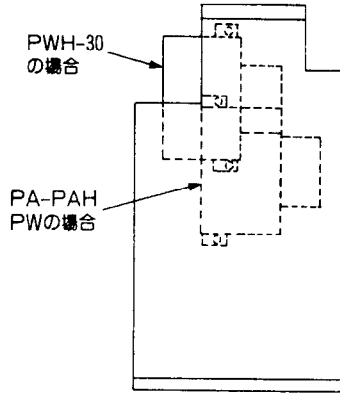


図2

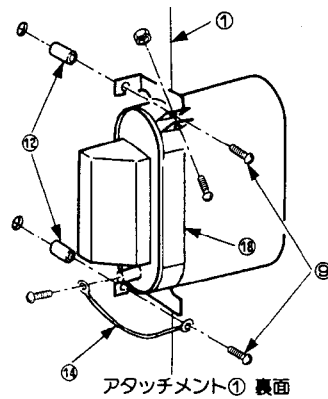


図3

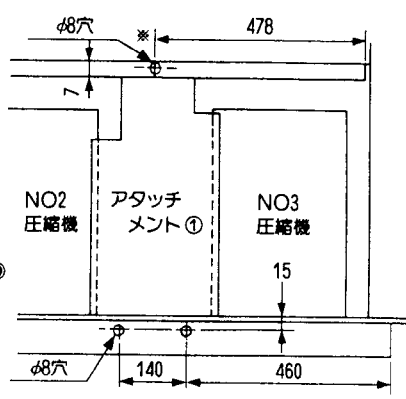


図4

*印取付穴は機種により加工されていない場合があります。穴が開いていない場合は現地にて穴加工願います。

3. 結線要領 (結線要領は用途等により異なりますので表3を参照し、該当する結線要領・リード線にて行ってください。)

表3

用途	進相コンデンサ容量						
	10 μ F	15 μ F	20 μ F	50 μ F	75 μ F	100 μ F	150 μ F
PA・PAH圧縮機用結線要領	-	-	-	-	B②	B②	B③
PA・PAH室内ファン用結線要領	-	-	-	A④	A②・④	A②	A③
PA・PAH室外ファン用結線要領	C⑬	C⑬	C⑬	-	-	-	-
PW・PWH圧縮機用結線要領	-	-	-	-	A②	A②	A③
PW・PWH室内ファン用結線要領	-	-	-	A④	A②・④	A②	A③

表中A-B-Cは、下記の結線要領、又○数字は、使用リード線の品番を示します。

結線要領A (PW・PWHの圧縮機又は室内ファン用のPA・PAHの室内ファン用の場合)

■接続

- (1)電磁接触器の二次側にリード線の絶縁キャップが付いている方を接続してください。
- (2)リード線のもう一方を進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。
(室内ファン用としてPAC-CP35CA(75 μ F)を取付ける場合ファンモータの容量によりリード線が異なります。3.7kWの場合は④、5.5kWの場合は②のリード線を使用してください。)

結線要領B (PA・PAHの圧縮機用の場合)

■室外ファンリード線の加工

- (1)室外ファンリード線を電磁接触器から取り外し、線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

■進相コンデンサリード線の加工(容量75 μ Fの場合のみ)

- (1)進相コンデンサリード線の絶縁付圧着端子が付いている側の線端を切断(端子を取去る)してください。
- (2)線端を皮ムキしてください。(皮ムキ長さ8mm)

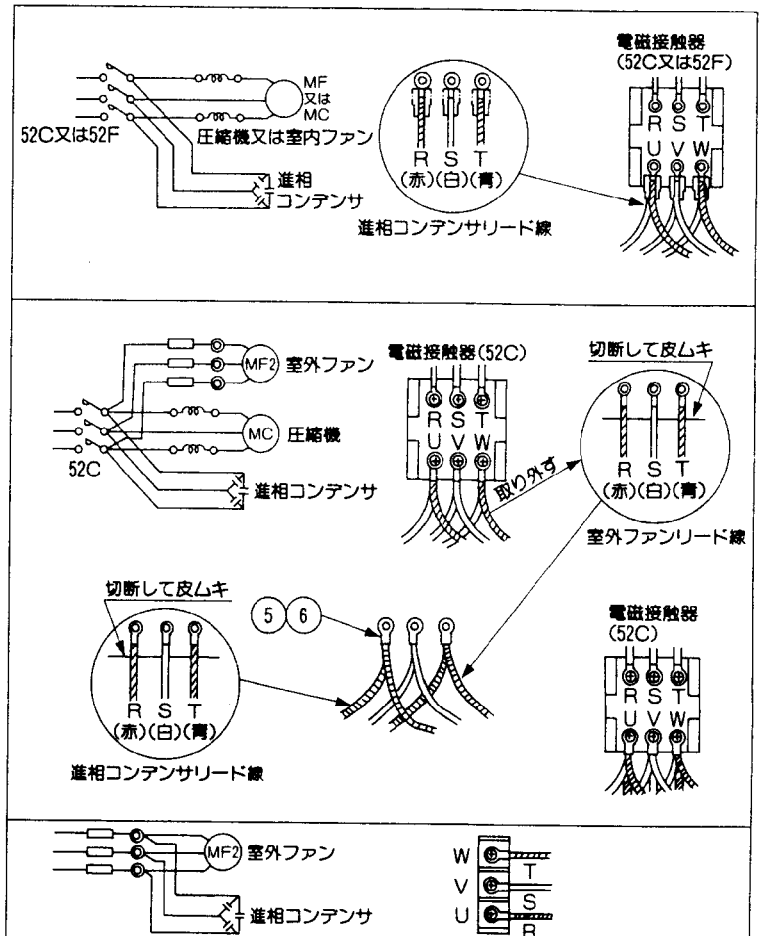
■接続

- (1)室外ファン及び進相コンデンサの各リード線を各相別に合わせて付属の圧着端子⑤を用いてかしめ絶縁キャップ⑥を取付けてください。
- (2)電磁接触器の二次側に、上記端子側を接続してください。
- (3)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。

結線要領C (PA・PAHの室外ファン用の場合)

■接続

- (1)進相コンデンサリード線の絶縁付圧着端子が付いている方を室外ファン端子台に接続してください。
- (2)リード線のもう一方を、進相コンデンサ上部のキャップを外して接続してください。



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ03YH

余熱排除回路部品取付説明書

[P-J630~J1000DC
P-25・30DC]

P-5~20については別の説明書をご覧ください。

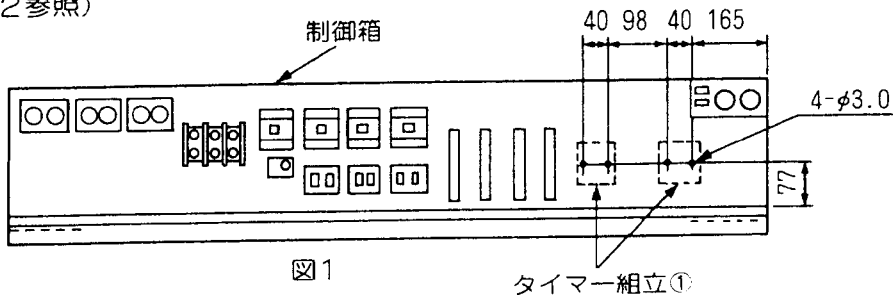
1. 部 品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	タイマー組立	1		③	結束バンド	3	
②	取付ネジPPT4×25	4	予備2個				

2. 取付要領

- 2.1 前パネル下(取付けネジ3本)を取外してください。
- 2.2 制御箱の右下にタイマー組立①を取付けネジ②2本にて取付けてください。
取付け用穴は2カ所ありますので、あいている方に取付けてください。(図1参照)
- 2.3 別売簡易形遠方操作セット(PAC-CQ41RC)を組んでいる場合にはこの簡易形遠方操作セットの上に、タイマー組立①を取付けネジ②2本にて取付けてください。
(図2参照)

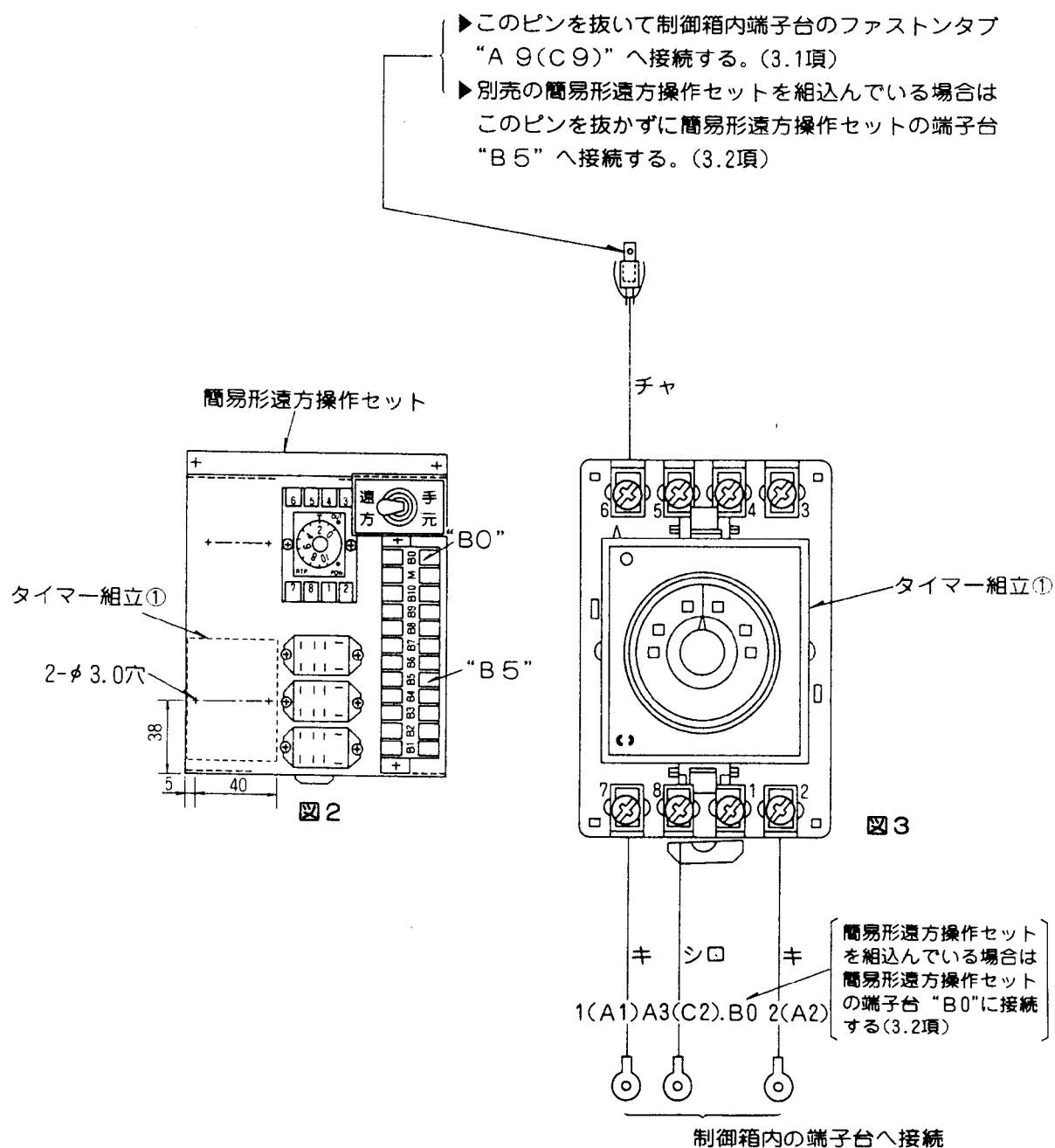


3. 配線要領

- 3.1 2項により取付けたタイマー組立①より出ている接続線を制御箱内の端子台1(A1)、2(A2)、A3(C2)およびファストンタブA9(C9)へ接続します。(図3参照)
この場合、ファストン端子に挿入されているピンを抜いてから“A9(C9)”へ接続します。(図3参照)
- 3.2 別売簡易形遠方操作セット(PAC-CQ41RC)を組んでいる場合はA9(C9)へ接続するリード線は、簡易形遠方操作セットの端子台“B5”へ接続します。
A3(C2)に接続するリード線は、簡易形遠方操作セットの端子台“B0”へ接続します。(図3参照)
- 3.3 接続後、結束バンド③にて適切な箇所を結束してください。

4. 注意事項

- 4.1 作業完了後誤配線がないか確認後試運転をして動作確認をしてください。
タイマーのセット時間の確認もあわせて行ってください。
- 4.2 タイマー設定時間は、ヒータ停止後ヒータの周囲温度が下がるのに要する時間とし、通常1～2分です。工場出荷時余裕をみて3分にセットしています。尚タイマーは最大10分までセット可能です。



MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ11DH

遠方表示回路部品取付説明書 [P-J630~J1000DC] [P-2530DC]

P-5~20については別の説明書をご覧ください。

1. 部品

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	遠方表示回路部品	1		③	取付ネジPTT4×10	8	予備含む
②	ササイ	1	簡易遠方と 組合わせ時 使用	④	結束バンド	3	

2. 取付要領

前パネル下（取付けネジ3本）を取外してください。

2.1 本別売品のみ取付ける場合

(1) 制御箱の右下の角穴に遠方表示回路部品①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ③を2個使用して取付けてください。（図1参照）

この時、制御箱内の配線を傷つけたり、はさみ込まないように注意してください。

(2) 遠方表示回路部品①を接続する配線（4本）の線番C1, C7, C8, C9と端子台の（ ）内の記号を合わせて接続してください。

C1 - A4 (C1)	} 接続する
C7 - A8 (C7)	
C8 - A15 (C8)	
C9 - A9 (C9)	

線番 端子台記号

*A4 (C1), A8 (C7), A15 (C8), A9 (C9) の端子名の位置は機種により異なりますので注意してください。

(3) 接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

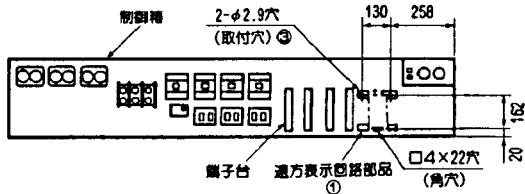


図1

2.2 簡易形遠方操作セット(PAC-CQ41RC)と組合わせて取付ける場合

(1) 簡易形遠方操作セットを組み込む前に、簡易形遠方操作セットの左にササイ②を取付けます。（取付ネジ③を4個使用）（図2参照）

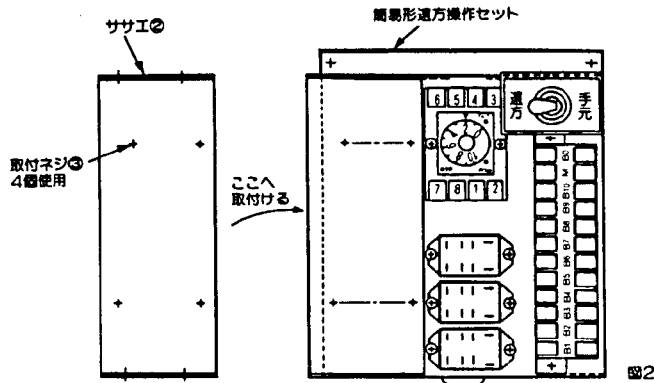
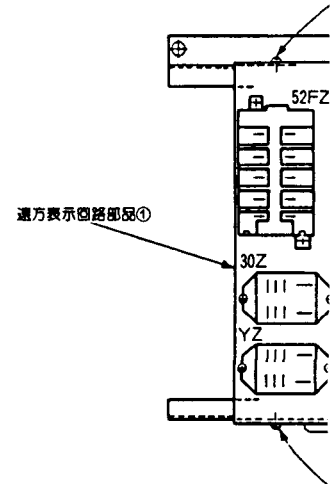


図2

(2) 遠方表示回路部品の取付足A, Bを外し（セットに取付けたササイ②の上に乗せてネジを使用してササイ②に固定し、簡易形操作セットを固定し、簡易形操作セットの端子台のファストンタブに差し込みます。（図3参照）



(3) 簡易形遠方操作セットの取付説明書によります。（2.1項(1)とほぼ同じ要領です）

(4) 遠方表示回路部品①を接続する配線4本は、簡易形遠方操作セットはその取付説明書に示す要領に従って接続します。この時、制御箱の端子台のファストンタブに接続線と、簡易形遠方操作セットからの配線の端子台のファストンタブに差し込むか、次にこの接続線の先端にあるファストンタブを差し込みます。（図4参照）

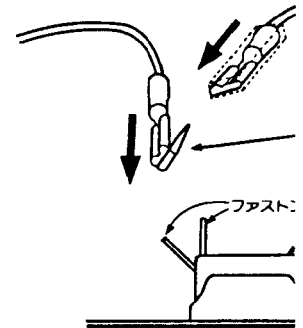
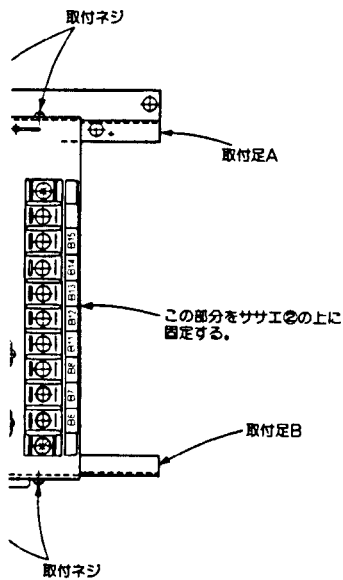


図4

(5) 接続後結束バンド④にて適切な箇所を結

取付ネジ各2個) 2.2項(1)にて簡易形遠方操作取付ネジ⑨、あるいは、取付足A、Bを外した形遠方操作セットに遠方表示回路部品を取付

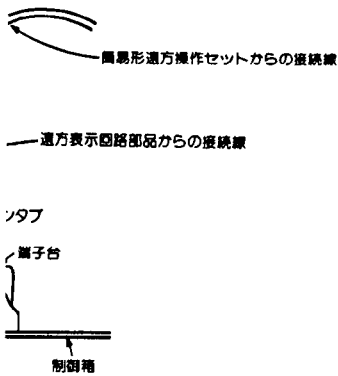


33

り、簡易形遠方操作セットを制御箱右下に取

2.1項(2)、(3)に示す要領で接続し、簡易形遠方で接続します。

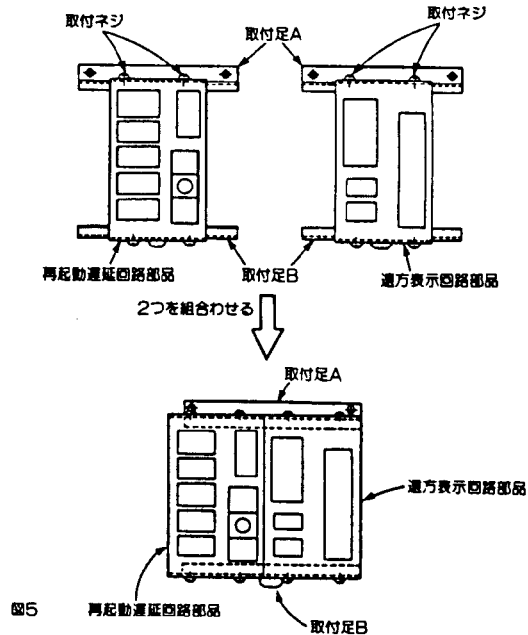
C7、C8、C9への遠方表示回路部品からの取付と両方の接続線がきますので、それぞれ制御箱右下に遠方表示回路部品からの接続線を先に取付トントップに簡易形遠方操作セットからの接続



ましてくだい。

2.3 再起動遅延回路部品(PAC-CQ06KS、07KS、08KS、09KS)と組合わせて取付ける場合

(1)遠方表示回路部品の取付足A、B、及び再起動遅延回路部品の取付足A、B(遠方表示回路部品の取付足A、Bと同一)を外し(取付ネジ各2個)遠方表示回路部品を右に、再起動遅延回路部品は左にくるように並べ取付足A、Bに取付けます。(図5参照)



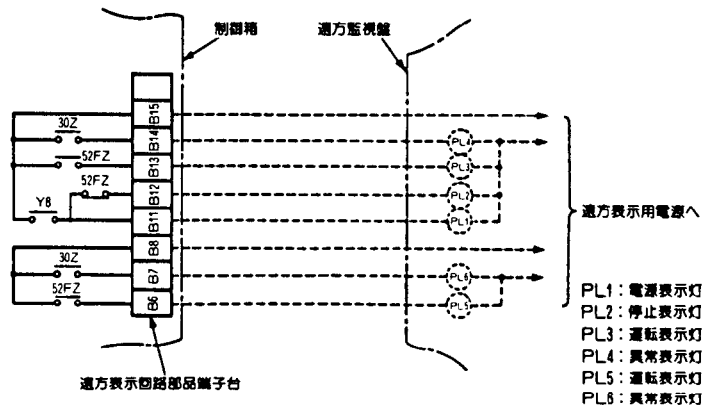
(2)遠方表示回路部品と再起動遅延回路部品を組合わせたものを2.1項(1)の要領で制御箱右下に取付けます。

(3)遠方表示回路部品①を接続する配線4本を、2.1項(2)、(3)に示す要領で接続し、再起動遅延回路部品は、その取付説明書に示す要領で接続します。

(4)各々接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

3. 配線要領

遠方表示回路部品と遠方監視盤との間を下記要領にて配線してください。現地配線は破線で示します。IVφ1.6(最大こう長100m)以上の接続線にて配線してください。



4. 注意事項

4.1 作業完了後誤配線ネジのユルミ等はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。特に機種により制御箱の端子台のファストタブの位置が異なりますので接続線の線番と端子台の記号とをかならず点検してください。

4.2 取付けた部品の板金エッジ部に接続線が当たる箇所があればテープ等適切な方法でエッジ部を覆って配線の保護をしてください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ07KS(ヒートポンプ) PAC-CQ09KS(冷専)

再起動遅延回路部品取付説明書 [P-J 630~J 1000 D C]

P-2 5・3 0 D C

2.2 簡易形遠方操作セット(PAC-CQ4
(1)簡易形遠方操作セットを組み込む前に
ます。(取付ネジ③を4個使用)(図

1. 部 品

P-5~20については別の
説明書をご覧ください。

この箱には、説明書のほかに、下記部品が入っていますのでご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	再起動遅延回路部品	1		③	取付ネジPTT4×10	8	予備含む
②	サ サ エ	1	簡易遠方と 組み合わせ時 使用	④	結束バンド	3	

2. 取付要領

前パネル下(取付ネジ3本)を取外してください。

2.1 本別売品のみ取付ける場合

(1)制御箱の右下の角穴に再起動遅延回路部品①の下部凸部を挿入し、取付穴に取付ネジ③を2個使用して取付けてください。(図1参照)

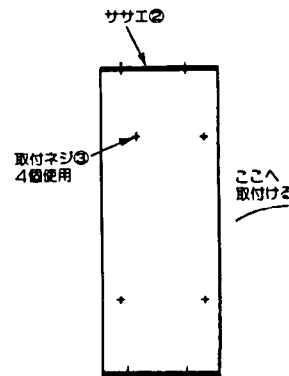
この時、制御箱内の配線を傷つけない、はさみ込まないように注意してください。

(2)制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)を外して、再起動遅延回路部品①より出ているコネクタとそれぞれ接続します。

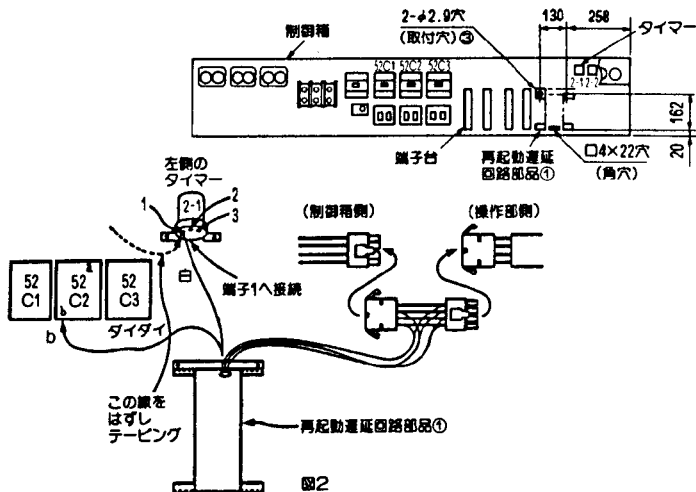
更に再起動遅延回路部品①より出ている白、橙色の接続線をそれぞれ接続します。(図2参照)

▶ 橙色：先端丸形端子、線番b→No2圧縮機用電磁接触器52C2のコイルb端子に接続

▶ 白色：ファストン端子、線番1→タイマー2-1の端子1に接続された線を外し、その後へ接続する。尚、外した線はテーピング処理を実施してください。



(2)再起動遅延回路部品①の取付足A、
操作セットに取付けたササイ②の上
したネジを使用してササイ②に固定
①を取付けます。(図5参照)



(3)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

(4)ヒートポンプ用(PAC-CQ07KS)の場合は、再起動遅延をする回路を

- I) 冷房時暖房時共遅延
- II) 冷房時のみ遅延
- III) 暖房時のみ遅延

の3つのパターンに選択することができます。

工場出荷時はI)の冷房時暖房時共遅延にセットされています。

変更をする時は図3を参照して配線を差しかえてください。

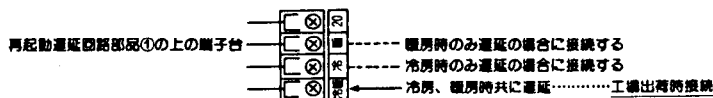
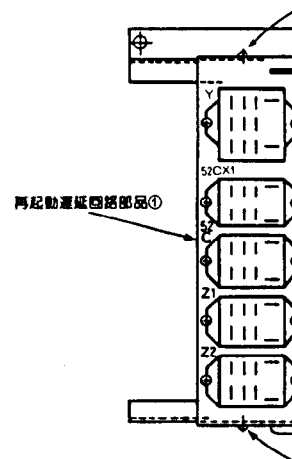


図3



11 RC)と組み合わせて取付ける場合、簡易形遠方操作セットの左にササイ工②を取付け4参照)

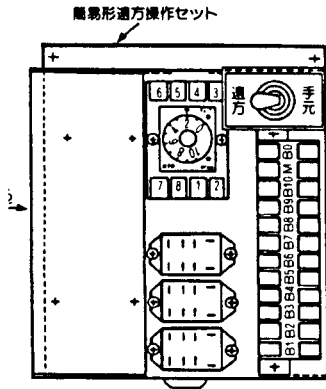


図4

②を外し(取付ネジ各2個)2.2項(1)にて簡易形遠方表示回路部品①に掛けて取付ネジ③、あるいは、取付足A、Bを外し、簡易形遠方操作セットに再起動遅延回路部品

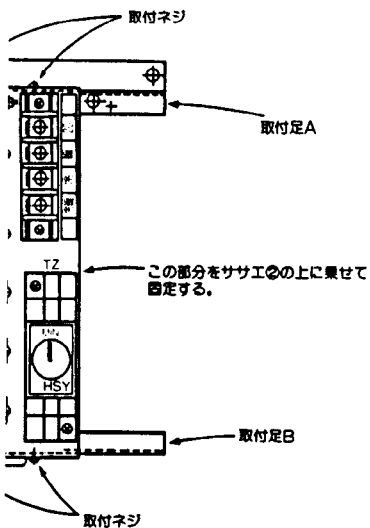


図5

- (3)簡易形遠方操作セットの取付説明書により、簡易形遠方操作セットを制御箱右下に取付けます。(2.1項(1)とほぼ同じ要領です)
- (4)再起動遅延回路部品①は2.1項(2)の要領で、簡易形遠方操作セットはその取付説明書に示す要領でそれぞれ接続します。
- (5)接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

2.3 遠方表示回路部品①(PAC-CQ11DH)と組み合わせて取付ける場合

- (1)再起動遅延回路部品①の取付足A、B及び遠方表示回路部品の取付足A、B(再起動遅延回路部品①の取付足A、Bと同一)を外し(取付ネジ各2個)遠方表示回路部品を右に、再起動遅延回路部品①は左にくるように並べ取付足A、Bに取付けます。(図6参照)

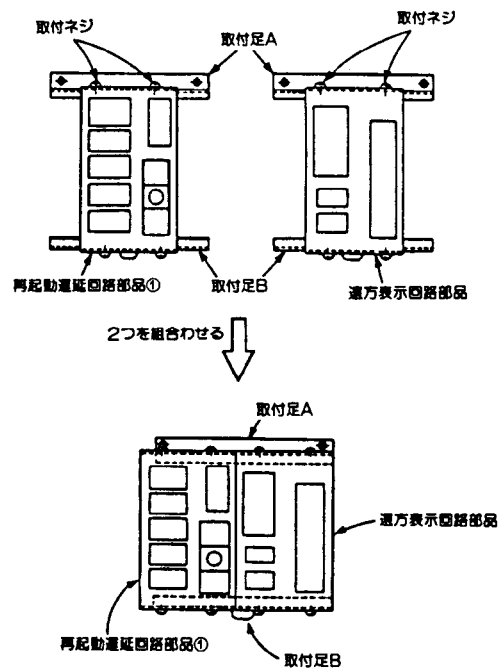


図6

- (2)再起動遅延回路部品①と遠方表示回路部品を組合せたものを2.1項(1)の要領で制御箱右下に取付けます。
- (3)再起動遅延回路部品①は、2.1項(2)、(3)、(4)に示す要領で接続し、遠方表示回路部品は、その取付説明書に示す要領で接続します。
- (4)各々接続後結束バンド④にて適切な箇所を結束してください。

3. 注意事項

- 3.1 作業完了後誤配線ネジのユルミ等はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。
- 3.2 取付けた部品の板金エッジ部に接続線が当たる箇所があればテープ等適切な方法でエッジ部を覆って配線の保護をしてください。
- 3.3 タイマーの設定時間も必ず確認してください。
- 3.4 タイマーの設定時間は、圧縮機が頻繁に発停を繰り返す場合に、焼損するのを防ぐために必要な停止時間で少なくとも3分程度は必要です。工場出荷時は、余裕をみて5分にセットしています。尚タイマーのセットは最大10分まで可能です。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ02RG

冷暖自動切換部品取付説明書

P.5, 20については別の説明書をご覧ください。

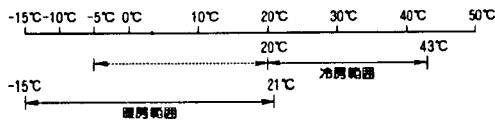
PAH-25・30・J630・J800DC
PWH-30・J1000DC

1. 部品

この箱には、説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	形状	備考
①	コネクタクミタテ CWA1	1		※ PAH-25・30・J630・J800DC PWH-30・J1000DC (容量制御)
②	コネクタクミタテ CWA2	1		※ PAH-25・30・J630・J800DC PWH-30・J1000DC
③	注意書	1		ルームサーモ時に使用

注：※PAH形の場合、別売のファンコントローラの取付が必要です。
▶標準の運転可能な外気温度範囲は下記です。



別売ファンコントローラを取付ける事により上記(-5°C.....20°C)の範囲も
冷房運転可能となり実質的な冷暖自動運転が可能になります。

ファンコントローラ：下表により選定

室内機	PAH-25・J630DC		PAH-30・J800DC	
	標準	低騒音	標準	低騒音
室外機	PVH-8・J200D	X3	PVH-10・J280D	X3
	PAC-CN29CR	X3	PAC-CN29CR	X3
	PVH-8・J200LD	X3	PVH-10・J280LD	X3
	PAC-CN31CR	X3	PAC-CN31CR	X3

2. 部品の使用区分

上記部品は制御方法、機種により下記のように選定して使用します。

制御方法	ボディサーモ	ルームサーモ	ルームサーモ (容量制御)
PAH-25・30・J630・J800DC PWH-30・J1000DC	②コネクタクミタテCWA2	①コネクタクミタテCWA2 ②注意書	②コネクタクミタテCWA1 ③注意書

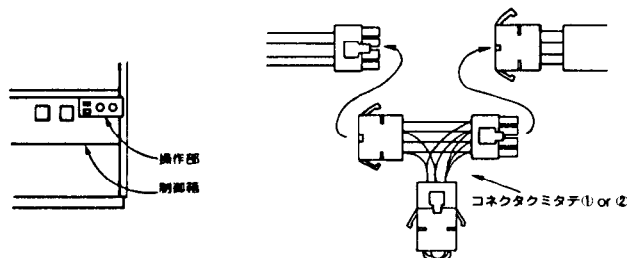
※ルームサーモは
現地手配です。

▶25、30HPは3comp方式ですが、ルームサーモを2器使用する事により
容量制御が可能です。

3. 取付要領

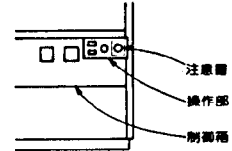
3.1 ボディサーモによる冷暖自動切換の場合

- 本体正面のパネル(下)を取り外します。
- 制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)を外して選定したコネクタクミタテを取り付けます。



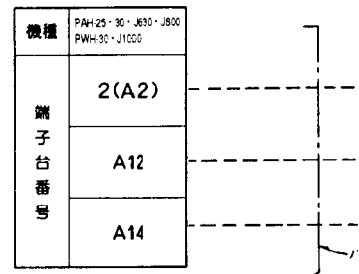
3.2 ルームサーモによる冷暖自動切換の場合

- 本体正面のパネル(下)を取り外します。
- 制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)を外して選定したコネクタクミタテを取り付けます。コネクタクミタテの短絡用ソケット(9P or 6P)を外します。
- 現在本体に取り付けているボディサーモは、IRIY付けたままでも取り外してもどちらでも問題ありません。但し、取り外した場合、外した配線の先端を必ずテーピング処理してください。
- 注意書の貼付
 - ボディサーモをつけたままの場合はそのツマ
 - ボディサーモを外した場合は、外した後の軸

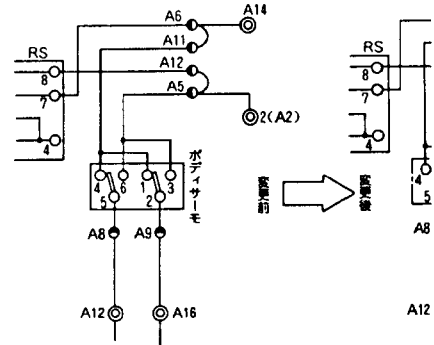


(5) ルームサーモの接続

- 次にルームサーモと本体とを接続します。本体側は制御箱内の端子台へ接続します。現地配線は、破線で示します。IV 1.25mm²同
- 端子台の接続端子番号は、下図によりよく確



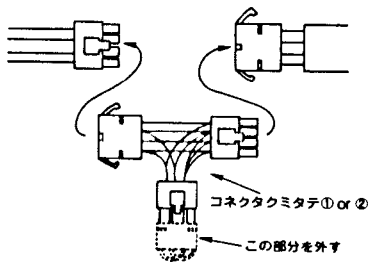
接続例 PAH-25・30・J630・J800を示す。



3.3 ルームサーモによる容量制御方式の冷暖自動切換の場合

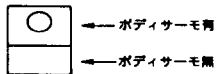
PAH-25・30・J630・J800, PWH-30DC・J1000の場合3 comp方式の室温-67%-0%)による冷暖自動切換ができます。

- 本体正面のパネル(下)を取り外します。
- 制御箱と操作部を接続しているコネクタ(12P)をコネクタクミタテCWA1の短絡用ソケット(9P)を外します。
- 現在本体に取り付けているボディサーモは、取り外し。但し、取り外した場合、外した配線の先端を必ず注意書の貼付
 - ボディサーモを付けたままの場合はそのツマ
 - ボディサーモを外した場合は、外した後の軸
- ルームサーモの接続
 - サーモは2ステップサーモが2器必要です。
 - 2ステップ式
 - ディファレンシャル 1.5deg以上
ステップ 1.5deg以上

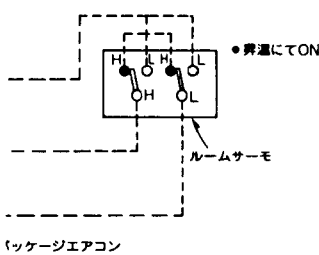


ミを通して貼り付けします。
穴部を塞ぐように貼り付けします。

“注意書”は2段になっていますので
ボディサーモ有無によりいずれかを
使用してください。

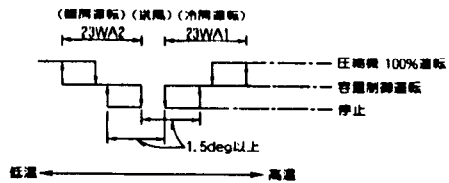


等以上の接続線で配線してください。
認して接続してください。



パッケージエアコン

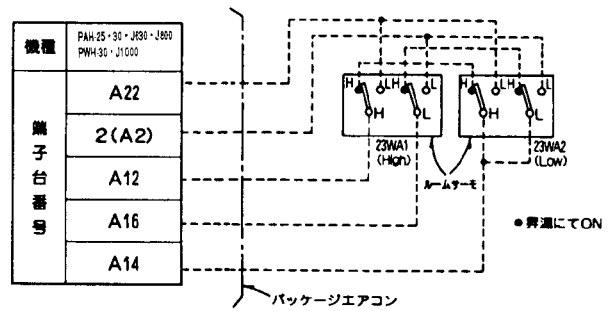
3) 23WA1のOFF点と23WA2のON点の間(23WA2のOFF点と23WA1のON点の間も)は1.5deg以上とってください。冷暖切換わり時送風のモードを設け冷暖繰り返し運転を防止する為に必要です。



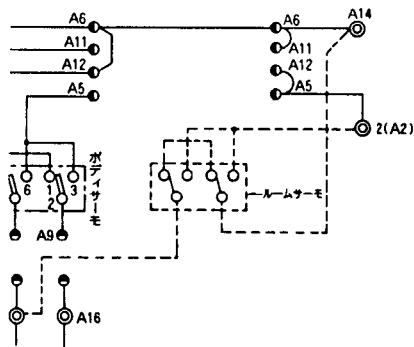
4) 23WA1をHighレンジ側に設定してください。

b) 次にルームサーモと本体とを接続します。
本体側は制御箱内の端子台へ接続します。
現地配線は、破線で示します。IV 1.25mm²同等以上の接続線で配線してください。

c) 端子台の接続端子番号は、下図によりよく確認して接続してください。



接続例 PAH-25・30・J630・J800を示す。

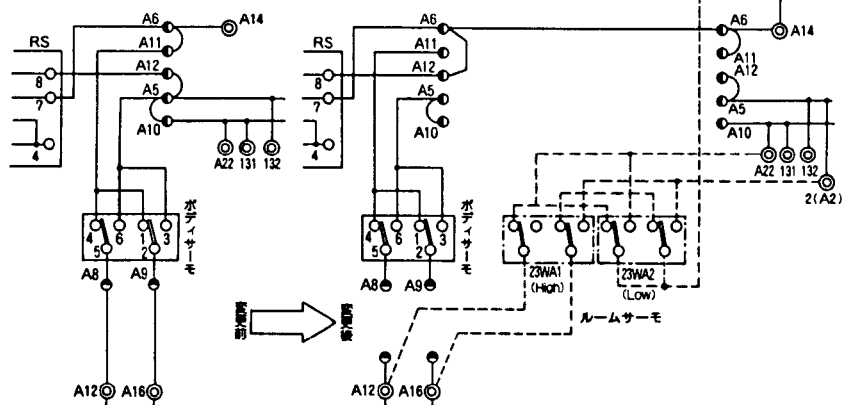


2) 場合
-ムサーモを2個使用することにより容量制御(100%)

外してコネクタミタテCWA1を取り付けます。
と外します。(3.2項(2) 参照)
)付けたままでも取り外してもどちらでも問題ありま
「テーピング処理してください。

ミの上に直接貼り付けします。
穴部を塞ぐように貼り付けします。(3.2項(4) 参照)

個共下記仕様にて選定してください。



ルームサーモ23WA1を
Highレンジ側にする事。

4. 注意事項

- (1) 作業完了後誤配線がないか確認後、試運転をして動作確認をしてください。
- (2) 特に容量制御方式の場合、2つのルームサーモ間の設定温度間隔がそのサーモのステップ間隔より大きく設定しているか、また23WA1がHigh側となっているか確認してください。

MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ13DH

3ステージ容量制御サーモ [P-J630~J1000DC P-25・30DC]

1. 部品

この箱には、説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	サーモクミタテ	1		⑤	ゴムブッシュ	1	
②	表示名板	1		⑥	ケーブルストラップ	1	
③	遅延リレー	1		⑦	結束バンド	4	
④	ビニールチューブ	1		⑧	閉端接続子	6	

2. 取付要領

- 2.1 本体正面下の前パネル下(取付ネジ3本)を取外してください。
- 2.2 操作部の表示灯、つまみを外し表示銘板を剥してください。
表示灯……再使用しますが一端リード線を外して取付板より外してください。
リード線は2.9で元通り結線してください。
つまみ……再使用します。
- 2.3 操作部のロータリスイッチ(取付ネジ2本)と、サーモスタート(取付ネジ2本)を取外してください。
ロータリスイッチリード線を付けたまま外してください。
サーモスタート……本体のサーモスタートは使用しませんのでリード線をコネクタから抜くかまたは切断して付属の閉端接続子⑧にて端部を処理してください。
- 2.4 取付板(取付ネジ※1 2本)を外してください。
- 2.5 図2のように左側の遅延リレー(取付ネジ2本)を外してください。この遅延リレーは使用しませんのでリード線を外してください。
- 2.6 付属の遅延リレー③を、2.5で外した箇所に取付け、配線を図2の要領で接続してください。
- 2.7 サーモクミタテ①を、3項の配線要領を参照して配線し、元通りに取付けてください。
- 2.8 2.2で外した表示灯及び2.3で取外したロータリスイッチをサーモクミタテ①に取付けてください。
- 2.9 表示灯の配線を図1の要領で接続してください。
- 2.10 表示名板②を穴の中心に合わせて貼り、2.2で外したつまみを取付けてください。
- 2.11 センサーは図3のように取付けてください。フィルタや冷却器には絶対接触しないように取付けてください。
また他のリード線と結束しないでください。(誤動作の恐れがあります。)
- 2.12 PAH、PWH型の場合、冷却器への冷媒配管(22.2φ又は25φの太い配管)は120°C程度まで上昇しますのでセンサーのリード線が絶対接触しないように注意してください。

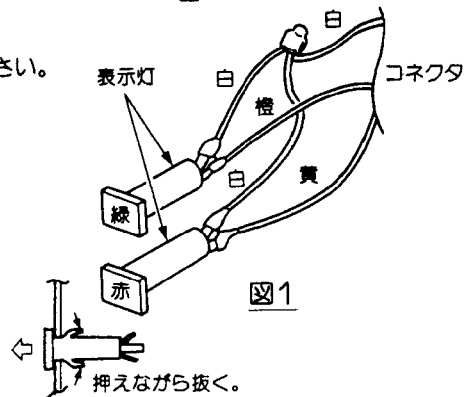


図1

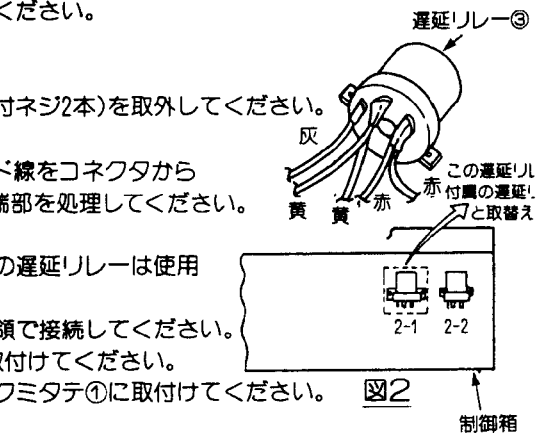


図2

制御箱

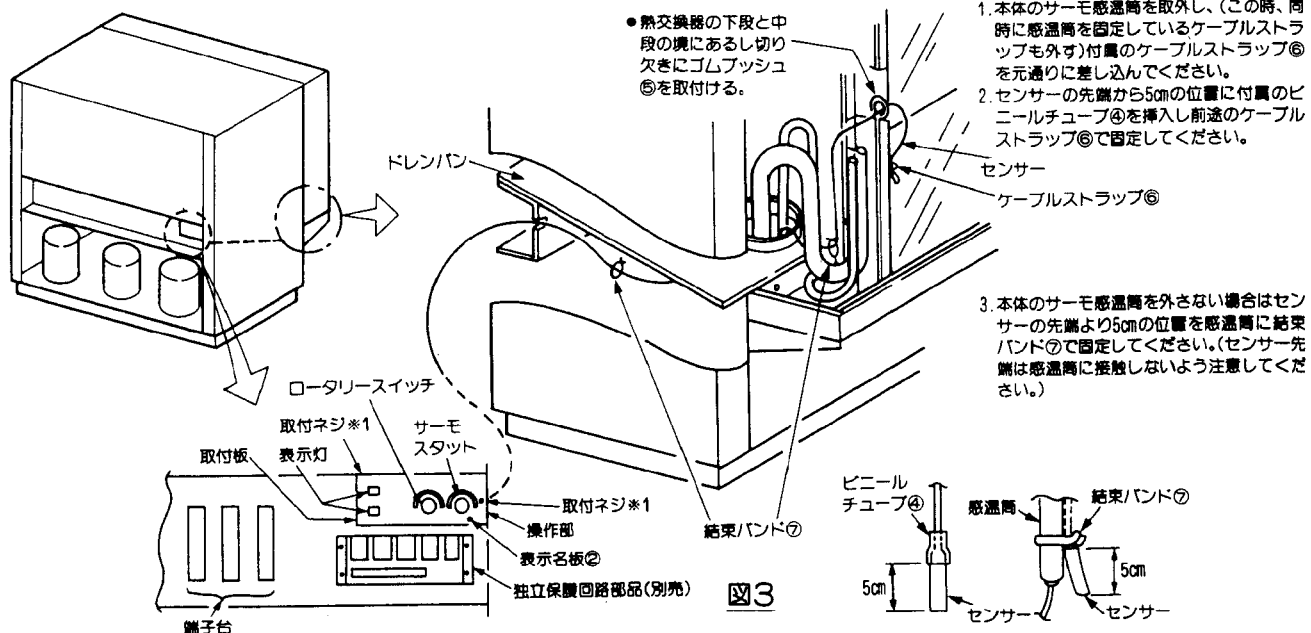
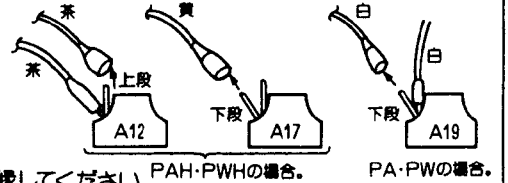


図3

3. 配線要領



3.1 PAH・PWH形の場合、本体側の端子台A12(上段)、A17(下段)

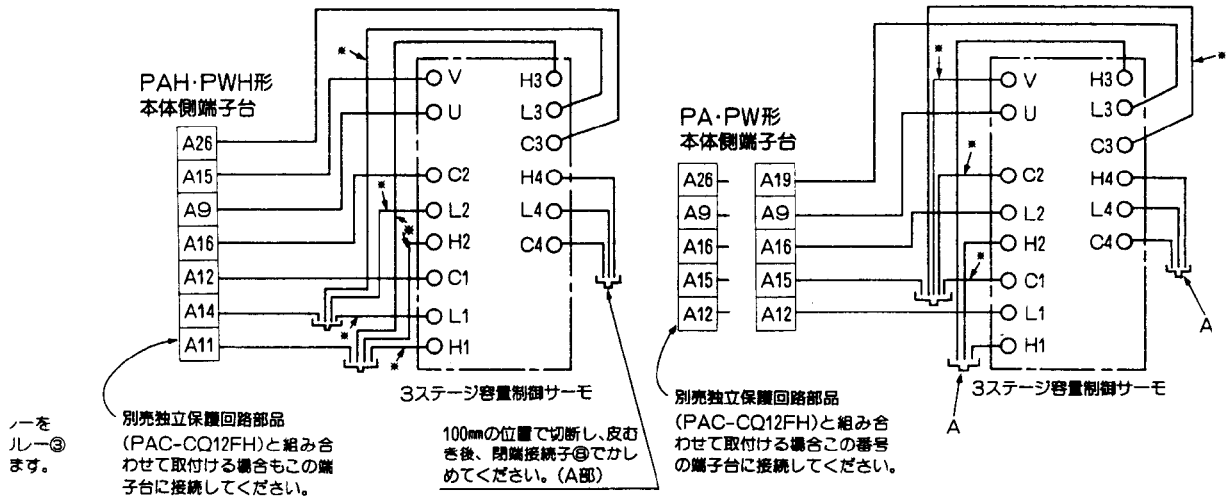
PA・PW形場合、A19(下段)よりリード線を外し絶縁テープ等で絶縁してください。^{PAH・PWHの場合。}

PA・PWの場合。

3.2 3ステージ容量制御サーモ①のリード線を本体端子台に下記要領にて配線してください。

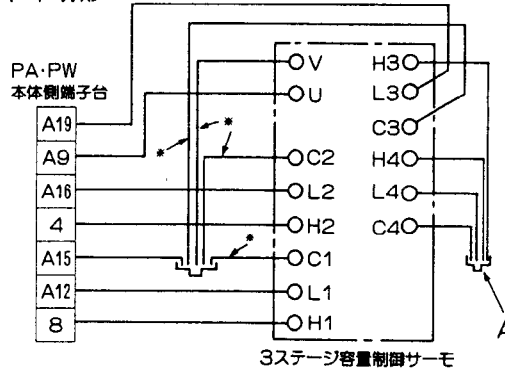
PAH・PWH形

PA・PW形

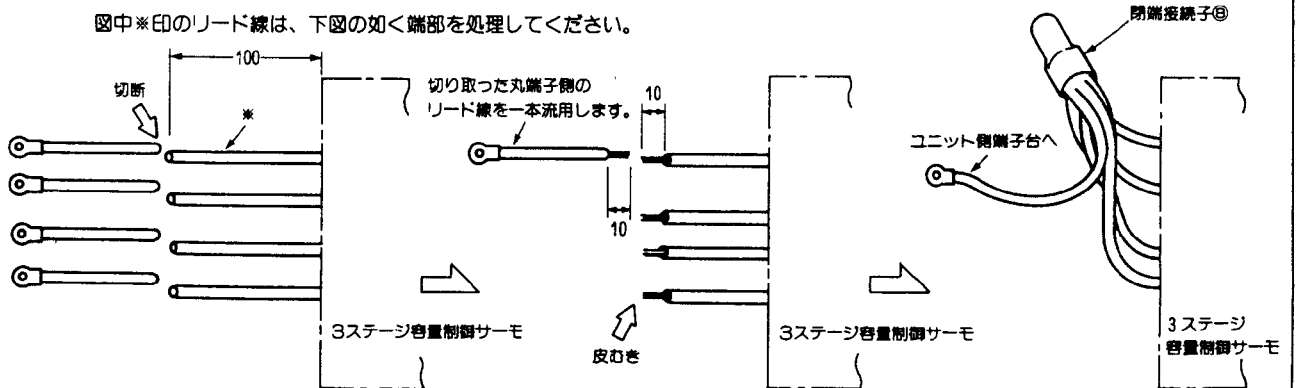


3.3 電気ヒータ(PAC-CK11EH)(PAC-CK12EH)と組み合わせて取付ける場合、下記要領にて配線してください。(PAH・PWH形は併用できません。)

PA・PW形



図中*印のリード線は、下図の如く端部を処理してください。



4. 注意事項

作業完了後誤配線ネジのユルミ等はないか再度確認の上動作チェックを行ってください。特に機種により端子台の位置が異なりますのでサーモクミタテ①と端子台の番号をかみならず確認してください。

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CQ14EK(サーモ付)
PAC-CQ15EK(サーモ無)

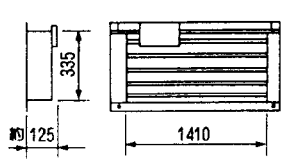
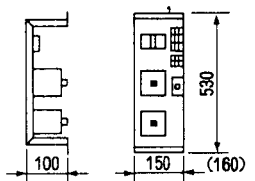
電気ヒータ制御回路部品取付説明書

[P-J 630 ~ J 1000 D C]
P-25・30DC

1. 部品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品名	個数	備考	品番	品名	個数	備考
①	電気ヒータ制御回路部品	1		④	ケーブルストラップ	2	(サーモ付)
②	取付ネジ・PTT5×12	5	予備1	⑤	バンタイ	1	(サーモ付)
③	ゴムブッシュ	1	(サーモ付)	⑥	ホゴチューブ	1	(サーモ付)

2.仕様説明

項目 (別売部品形名)	仕様		説明
電気ヒータ (25kW) (PAC-CK11EH) 電気ヒータ (30kW) (PAC-CK12EH)	ヒータ容量	25kW / 30kW	
	電 源	三相 200V 50/60Hz	
	ヒータ構成	12.5kW×2 / 15kW×2	
	保護装置	過昇防止サーモ・温度ヒューズ	
電気ヒータ制御回路 部品(サーモ付) (PAC-CQ14EK) 電気ヒータ制御回路 部品(サーモ無) (PAC-CQ15EK)	項目	サーモ付 / サーモ無	
	適用ヒータ容量	15kW×2以下 / 30kW×2以下	
	回 路 数	2回路(2ステージ) / 2回路	
	温度調節設定温度	19~30°C / —	
適用機種	冷暖房形 冷房専用形	冷暖房形 冷房専用形 <small>注2参照</small>	

注1)37.5kW~60kWの容量が必要時には上記部品を2個ご使用ください。

(25kW+12.5kW=37.5kW 30kW+15kW=45kW 25kW+25kW=50kW 30kW+30kW=60kW)

(2)冷房専用機種については、ユニット本体の室内温度調節器(2ステージ)を電気ヒータ用制御サーモとして使用できます。ヒートポンプ機種については「サーモ無」の制御回路部品を使用される場合は、別途現地にて制御用サーモの手配が必要となります。

3.取付要領

- 1) 本体正面下側の前パネル(下)を取り外してください。
- 2) 本体側制御箱の左下取付穴と台枠左上の取付穴4カ所に、電気ヒータ制御回路部品①を取付ネジ②により取り付けてください。(図1参照)
- 3) 電気ヒータからの配線を電気ヒータ制御回路部品の裏側から、3カ所の配線取出穴より表側へ出してください。この時、電気ヒータからの配線を傷つけたり、はさみこまないよう注意してください。
- 4) PAH.PWH形の場合、冷却器への冷媒配管は、120°C程度まで上昇しますので、サーモのキャピラリーが絶対接触しないように、注意してください。
- 5) サーモ付の制御回路部品を使用される場合は、図2を参照して取り付けてください。
- 6) 電気ヒータ制御回路部品①の取付穴は、機種によって加工されていない場合がありますので、穴があいていない場合は現地にて、穴加工をお願いします。

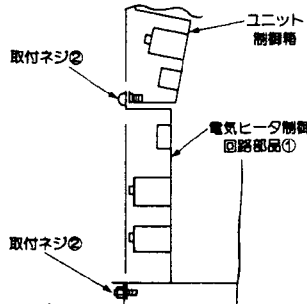
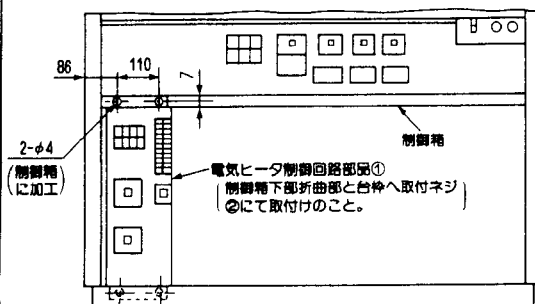


図1

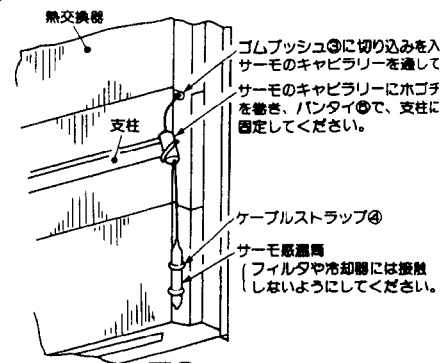


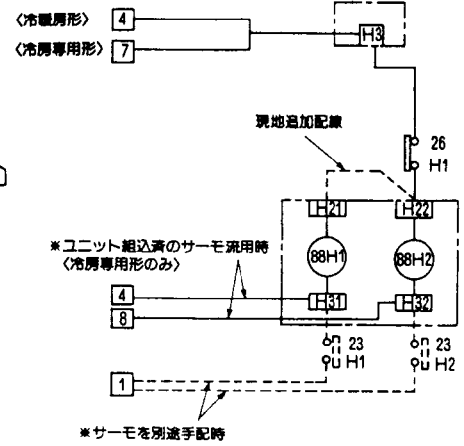
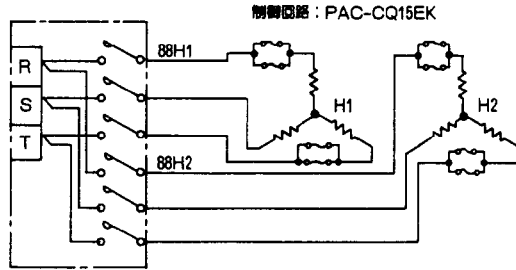
図2(ユニット後面部図)

三菱電機

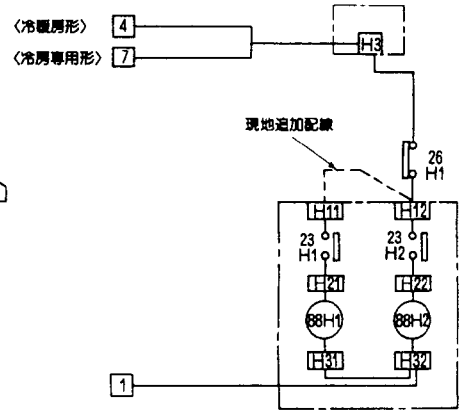
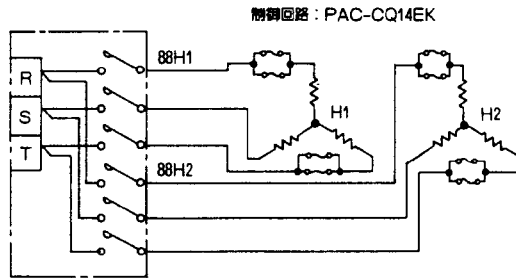
4. 配線要領

- 1). 電気ヒータ制御回路部品と電気ヒータとの間を下記要領にて配線してください。
- 2). 破線で示します現地配線は、IV2.0mm²同等以上にて配線してください。

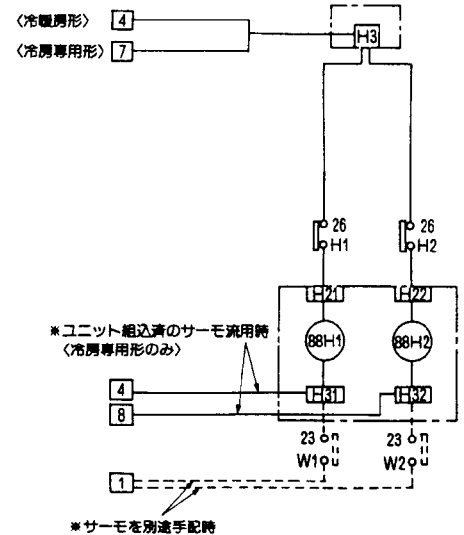
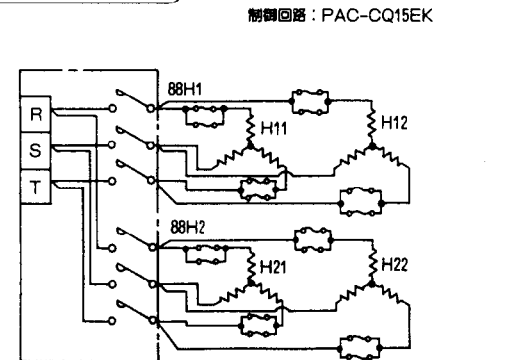
ヒータ1個、サーモ無回路時



ヒータ1個、サーモ付回路時



ヒータ2個、サーモ無回路時



れて、
下さい。
ユーブ

- 注(1) []内の部分は別売制御回路部品を示します。
 (2) 図中R、S、T、1~8、H11~H32は、別売制御回路部品もしくはユニット制御箱内の端子台です。
 (3) ヒータ2個使用時は、上図に示す様に、ヒータ1個中の1ステージ目と2ステージ目を、主回路は並列に、接続してください。

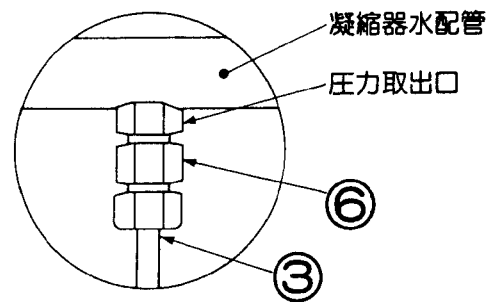
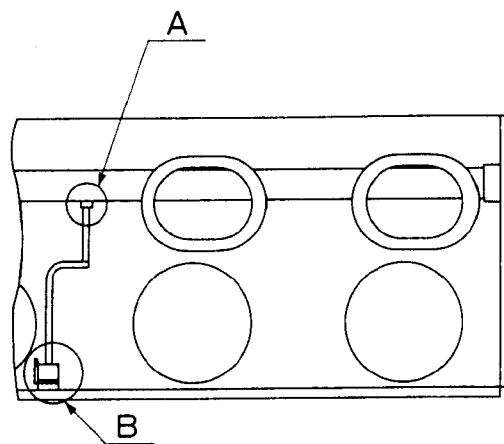
MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品 PAC-CP45WP

水圧保護開閉器取付説明書 [PW(H)-J800・J1000DC PW(H)-25・30DC]

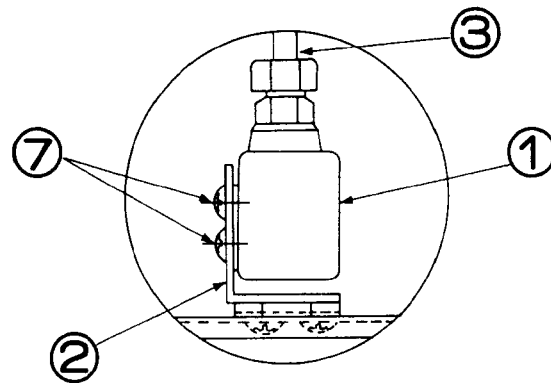
1. 部 品 この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますので、ご確認ください。

品番	品 名	個数	備 考	品番	品 名	個数	備 考
①	水圧保護開閉器	1		⑤	結束バンド	3	配線用
②	取付板	1		⑥	テーパ管継手	1	1/4PT×1/4
③	銅管 6φ×650	1	フレアナット付	⑦	トラスネジ	3	4×6(予備1本)
④	リード線	2	VSF 0.5キ	⑧	タッピンネジ	3	4×10(予備1本)

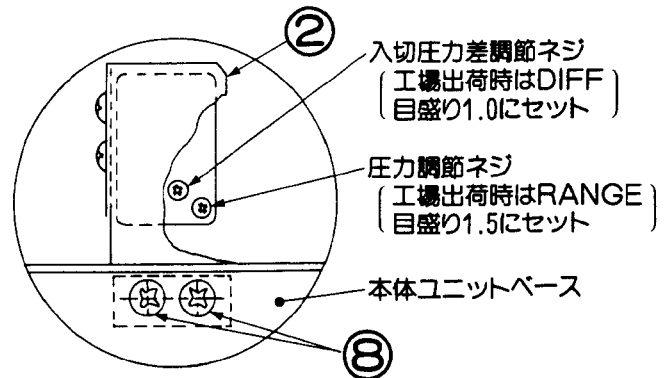
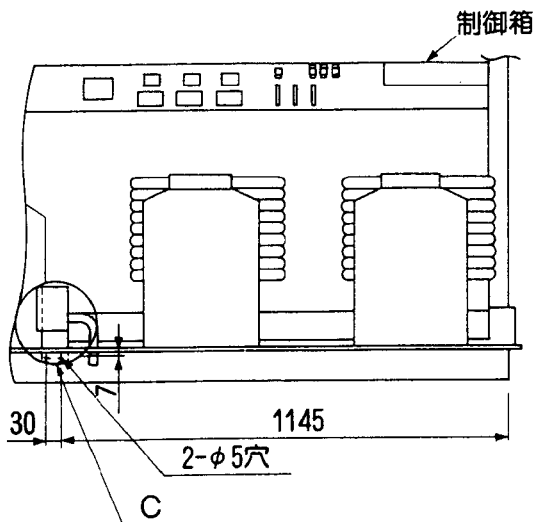
2. 取付要領



A部詳細図



B部詳細図



C部詳細図

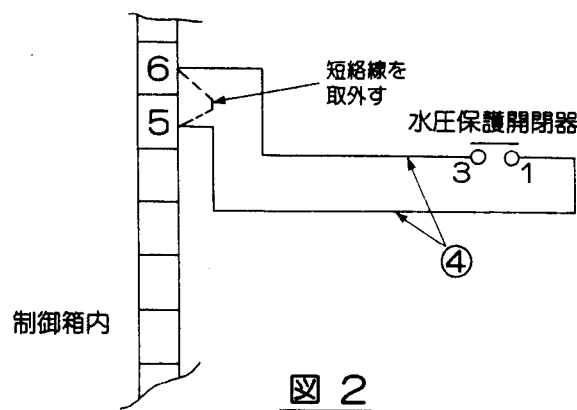
この取付穴は、機種によって加工されていない場合がありますので穴が開いていない場合は、現地にて穴加工願います。

図 1

- (1)前パネル下(取付ネジ3本)を取外してください。
- (2)鋼管③を、水圧保護開閉器①と凝縮器水配管圧力取出口の間に接続してください。
 - 水圧保護開閉器①への接続は、接続口のフレアナットを取外した後鋼管③付属のフレアナット(締付トルク30~50kg・cm)にて接続してください。(図1.B部詳細図)
 - 凝縮器水配管圧力取出口への接続は、取出口のプラグを取外した後テーバ管継手⑥を取付けて、鋼管③付属のフレアナットにて接続してください。(図1.A部詳細図)
(テーバ管継手⑥及び鋼管③フレアナットの締付トルクは30~50kg・cm)
- (3)水圧保護開閉器①を取付板②にネジ止め(トラスネジ⑦2本)した後、図1に示す位置に取付けてください。(タッピンネジ⑧2本)

3.配線要領

- (1)本体制御箱内の端子台⑤、⑥の短絡線を外し、図2の様に配線してください。
- (2)配線接続完了後、適当な位置に結束バンド⑨にて配線を固定してください。



4.設定圧力の調節

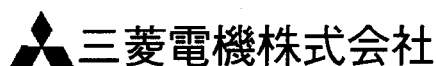
- (1)設定圧力の調節は、図1.C部詳細図に示す調節ネジにて行なってください。
工場出荷時の目盛りのセット値と接点の動作は次の通りです。
 - 圧力調節・RANGE目盛り 1.5にセット 圧力上昇時1.5kg/cm²にて接点①-③ON
 - 入切圧力差・DIFF目盛り 1.0にセット 圧力下降時0.5kg/cm²にて接点①-③OFF
- (2)水圧保護開閉器の設定値(圧力下降時における接点①-③OFFの設定)は、通常の場合停止時の水圧より0.5kg/cm²高めに調節してください。

例. 停止時の水圧が0.3kg/cm²の場合 通常0.8kg/cm²に設定

- 圧力調節・RANGE目盛り 1.8にセット 圧力上昇時1.8kg/cm²にて接点①-③ON
- 入切圧力差・DIFF目盛り 1.0にセット 圧力下降時0.8kg/cm²にて接点①-③OFF

三菱電機 汎用 パッケージエアコン '95年度版

別売部品取付説明マニュアル



〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3 (三菱電機ビル)
 〒640 和歌山市手平6-5-66 和歌山製作所 (0734)36-2111

お問い合わせは下記へどうぞ

本社産業冷熱営業部	〒107	東京都港区赤坂5-2-20 (赤坂パナソニックビル4F)	(03)5573-3691
本社冷熱住設営業部	〒107	東京都港区赤坂5-2-20 (赤坂パナソニックビル4F)	(03)5573-3682
北海道支社	〒060-91	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011)212-3733
東北支社	〒980	仙台市青葉区上杉1-17-1 (三菱電機明治生命仙台ビル)	(022)216-4614
北関東支社	〒331	大宮市大成町4-298 (三菱電機大宮ビル)	(048)653-0251
東関東支社	〒260	千葉市中央区新千葉2-7-2 (大宗センタービル)	(043)241-8683
神奈川支社	〒220-81	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー18F)	(045)224-2621
長野支店	〒380	長野市居町5 (勝山ビル)	(0262)59-1264
新潟支社	〒950	新潟市東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025)241-7224
北陸支社	〒920	金沢市広岡3-1-1 (金沢パナソニックビル4F)	(0762)33-5512
中部支社	〒450	名古屋市中区村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル)	(052)565-3212
静岡支店	〒420	静岡市日出町2-1 (田中・第一ビル)	(054)251-2851
浜松支店	〒430	浜松市板屋町111-2 (浜松アウトドア)	(053)456-7115
岐阜支店	〒500	岐阜市金町4-30 (明治生命岐阜金町ビル)	(0582)63-8787
三重支店	〒514	津市中央2-4 (協栄生命三重支社ビル)	(0592)29-1567
関西支社	〒530	大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06)347-2361
京滋支店	〒600	京都市下京区西洞院通塩小路東塩小路町608-9 (日本生命京都三哲ビル)	(075)361-2191
兵庫支店	〒650	神戸市中央区浪花町59 (神戸朝日ビル15F)	(078)392-8561
和歌山営業所	〒640	和歌山市黒田84-1 (阪和第一ビル5F)	(0734)71-8231
中国支社	〒730	広島市中区中町7-32 (日本生命ビル)	(082)248-5412
岡山支店	〒700	岡山市本町6-36 (第一セントラルビル)	(086)225-5171
山口営業所	〒754	山口市外小郡町小金町4-17	(0839)73-2481
福山営業所	〒720	福山市西町2-10-1	(0849)23-8295
山陰営業所	〒690	松江市西津田5-1-3	(0852)24-9335
鳥取営業所	〒680	鳥取市扇町7-1	(0857)21-0281
四国支社	〒760	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(0878)25-0066
松山支店	〒790	松山市一番町4-1-3 (明治生命松山一番町ビル)	(0899)31-7542
九州支社	〒810	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092)721-2193
(株)三菱電機ライフテック北海道	〒004	札幌市厚別区大谷地東2-1-11	(011)893-1391
(株)三菱電機ライフテック東北	〒983	仙台市宮城野区日の出町2-2-33	(022)231-2634
(株)三菱電機ライフテック関東	〒331	大宮市大成町4-298 (三菱電機大宮ビル)	(048)651-3215
(株)三菱電機ライフテック東京	〒110	東京都台東区東上野4-10-3 (浅野ビル)	(03)3847-4119
(株)三菱電機ライフテック東京 東横営業所	〒277	柏市東上町8-25	(0471)67-7231
(株)三菱電機ライフテック東京 株主営業所	〒231	横浜市中区不老町3-12-5 (下山関内ビル)	(045)664-8345
(株)三菱電機ライフネットワーク 前橋本所	〒141	東京都品川区東五反田1-22-1 (五反田ANビル)	(03)3448-6827
(株)三菱電機ライフテック中部	〒461	名古屋市東区東桜1-4-3 (大信ビル)	(052)972-7251
(株)三菱電機ライフテック中部 北陸支社	〒920	金沢市小坂町西81	(0762)52-1152
(株)三菱電機ライフテック関西	〒564	大阪府吹田市江坂町2-7-8	(06)338-8176
(株)三菱電機ライフテック西日本	〒733	広島市西区商工センター6-2-17	(082)278-7001
(株)三菱電機ライフテック西日本 四国支社	〒761-17	香川県香川郡香川町川東下717-1 (新空港通り)	(0878)79-1066
(株)三菱電機ライフテック九州	〒816	福岡市博多区板付4-6-35	(092)571-6521
沖縄三菱電機販売(株)	〒901-22	沖縄県宜野湾市宇大山7-12-1	(098)898-1111
静岡製作所	〒422	静岡市小鹿3-18-1	(054)285-1111